

## 5. 発生集中交通量

# 荒井地区の道路交通量推計調査 報告書

## 1. 調査の目的と概要

### 1-1 業務目的

荒井西地区、荒井北地区、荒井南地区の計画道路について、将来交通量、及び交差点方向別交通量の算定を行う。

### 1-2 業務内容

#### (1) 道路ネットワークデータの作成

仙台市が平成 23 年 1 月に決定した「新たな幹線道路網」の検討に用いた道路ネットワークに荒井地区内で計画される道路網を追加し、本業務で用いる配分シミュレーション用の道路網データを設定する。

#### (2) 配分シミュレーション

作成した道路ネットワークに将来自動車交通量を配分し、路線別交通量の算定を行う。なお、自動車交通量は、第 4 回仙台都市圏パーソントリップ調査において推計された 2025 年シナリオ 2 の交通量（自動車 OD 表）を用いる。また、配分条件は、仙台市が行った都市計画道路の見直し業務で用いた条件で行う。

#### (3) 交差点方向別交通量の算定

配分シミュレーション結果から、特定の交差点について方向別交通量の算定を行う。

#### (4) とりまとめ

成果品として、以下を取りまとめる。

- ・配分交通量図、混雑度図
- ・交差点方向別交通量の算定結果表

## 2. 道路ネットワークデータの作成

仙台市が平成23年1月に決定した「新たな幹線道路網」の検討に用いた道路ネットワークに荒井地区内で計画される道路網を追加し、本業務で用いる配分シミュレーション用の道路網データを設定した。

また、配分シミュレーションに用いる道路ネットワークデータでは、道路区間ごとに車線数等の条件を表すQVコードを付加することが必要である。設定したQVコード、及びその条件を以下に示す。

(出典：「平成22年度 都市計画道路網見直しに伴う都市計画変更に向けた予備的検討調査業務委託 平成23年3月 仙台市都市整備局総合交通政策部交通政策課」)

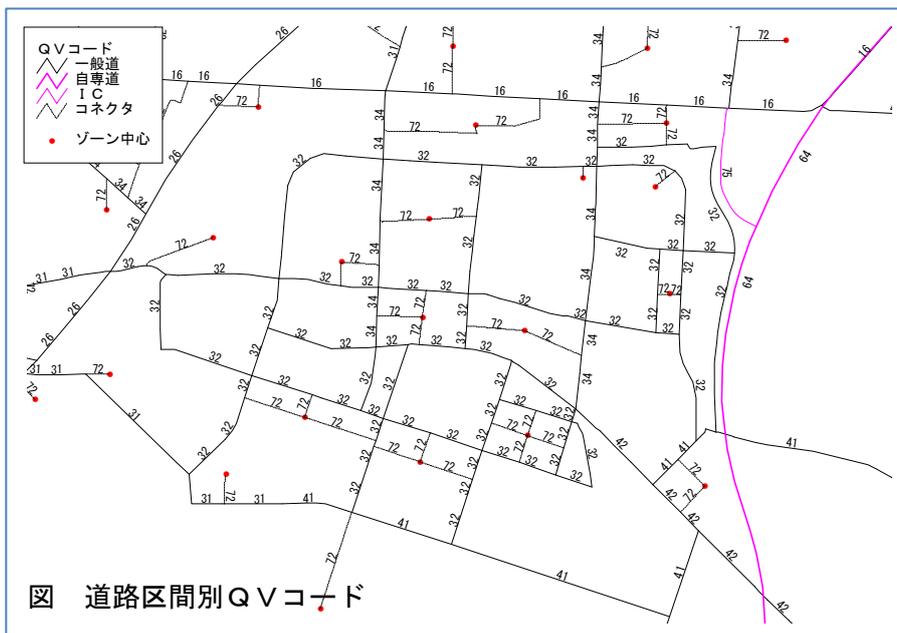
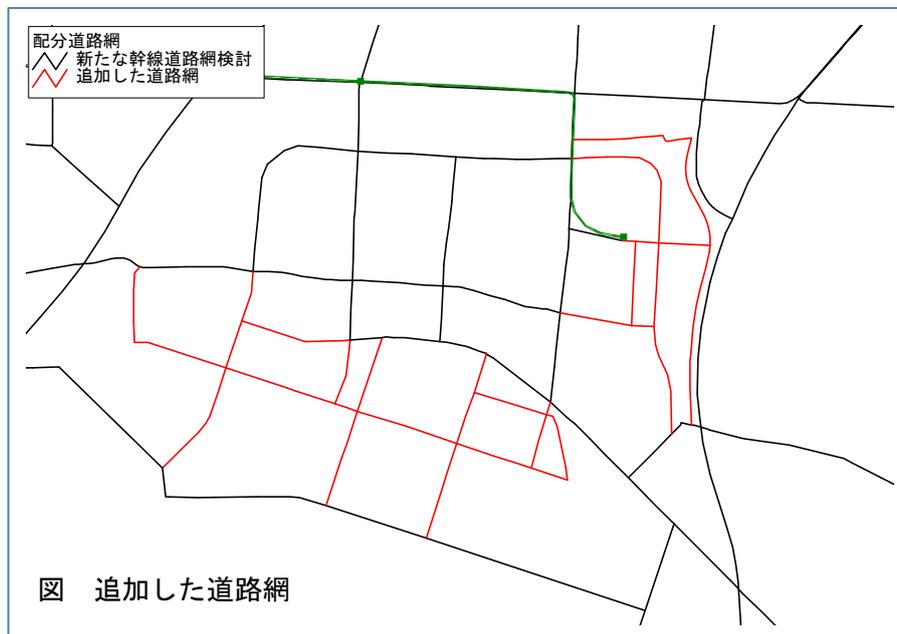


表 QVコード別条件一覧

道路機能	地域区分	車線数	QVコード	速度条件 (Km/h)		容量条件(台/日)				備 考
				Vmax	Vmin	設計基準 交通量	交差点補 正率	Q0	Qmax	
主要幹線	市街地	8	18	40	10	96,000	0.6	57,600	100,800	
		6	16	40	10	72,000	0.6	43,200	75,600	
		4	14	40	10	48,000	0.6	28,800	50,400	
		2	12	30	10	10,000	0.8	8,000	14,000	
	その他	8	28	50	15	88,000	-	88,000	154,000	
		6	26	50	15	66,000	-	66,000	115,500	
		4	24	50	15	44,000	-	44,800	78,400	
		2	22	50	15	9,000	-	9,000	15,750	
幹線	市街地	8	38	40	10	96,000	0.6	57,600	100,800	
		6	36	40	10	72,000	0.6	43,200	75,600	
		4	34	40	10	48,000	0.6	28,800	50,400	
		2	32	30	10	10,000	0.8	8,000	14,000	
		2	31	30	10	9,000	0.8	7,200	12,600	
	その他	8	48	50	10	72,000	-	72,000	126,000	
		6	46	50	10	54,000	-	54,000	94,500	
		4	44	50	10	36,000	-	36,000	63,000	
		2	42	40	10	8,000	-	8,000	14,000	
		2	41	30	10	8,000	-	8,000	14,000	
高速	平地	4	54	120	30	48,000	-	48,000	84,000	
	山地	4	53	80	20	36,000	-	36,000	63,000	
	平地	2	52	80	20	14,000	-	14,000	24,500	
	山地	2	51	60	15	10,000	-	10,000	17,500	
自専道		4	66	60	10	68,000	-	68,000	119,000	
		4	64	120	30	48,000	-	48,000	84,000	
		4	63	80	20	44,000	-	44,000	77,000	
		2	62	100	25	14,000	-	14,000	24,500	
		2	61	80	20	14,000	-	14,000	24,500	
交差点の 連続立体 化		4	68	60	15	48,000	-	48,000	84,000	
		6	69	60	15	72,000	-	72,000	126,000	
特殊リンク		2	72	30	30	10,000	-	10,000	10,000	セントロイドのコネクター
		2	73	30	30	10,000	-	10,000	10,000	IC料金ダミー
		2	74	30	30	10,000	-	10,000	10,000	鉄道駅と道路のコネクター
		2	75	30	30	10,000	-	10,000	10,000	ICアプローチ(ランプ)
		2	77	30	30	10,000	-	10,000	10,000	駅自由通路

### 3. 配分シミュレーション

作成した道路ネットワークに将来自動車交通量を配分し、路線別交通量の算定を行った。なお、自動車交通量は、第4回仙台都市圏パーソントリップ調査において推計された2025年シナリオ2の自動車交通量（自動車OD表）を用いた。

配分手法は、前記の仙台市が行った都市計画道路の見直し業務で用いた手法を適用した。

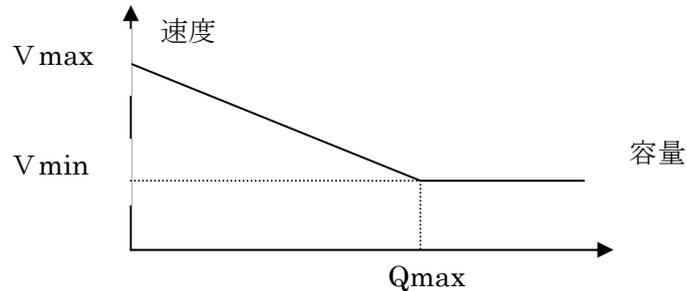
#### 3-1 配分手法の概要

##### 1) 配分手法

- ・配分手法： 容量制約付き分割配分
- ・分割回数： 10回
- ・分割比： 1 : 1 : 1 : 1 : 1 : 1 : 1 : 1 : 1
- ・高速道路交通量推計： 時間評価値による

##### 2) QV式

- ・以下に示すQV式タイプを用いた。



##### 3) ゾーン数

- ・都市圏外を含め、全1,892ゾーンでシミュレーションを行っている。

##### 4) 車種数

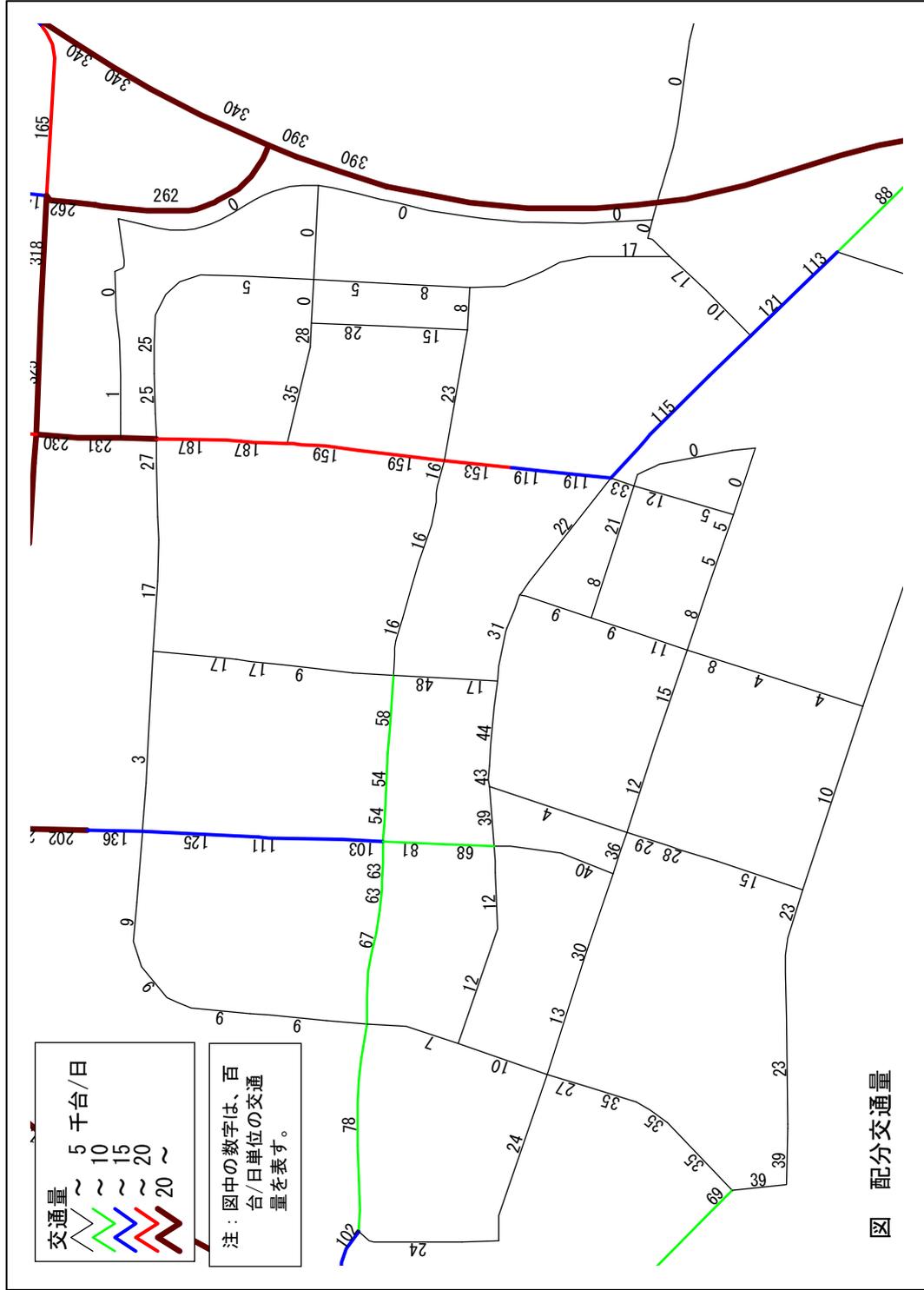
- ・4車種別の自動車OD表
- 車種： 乗用車、バス、小型貨物車、普通貨物車

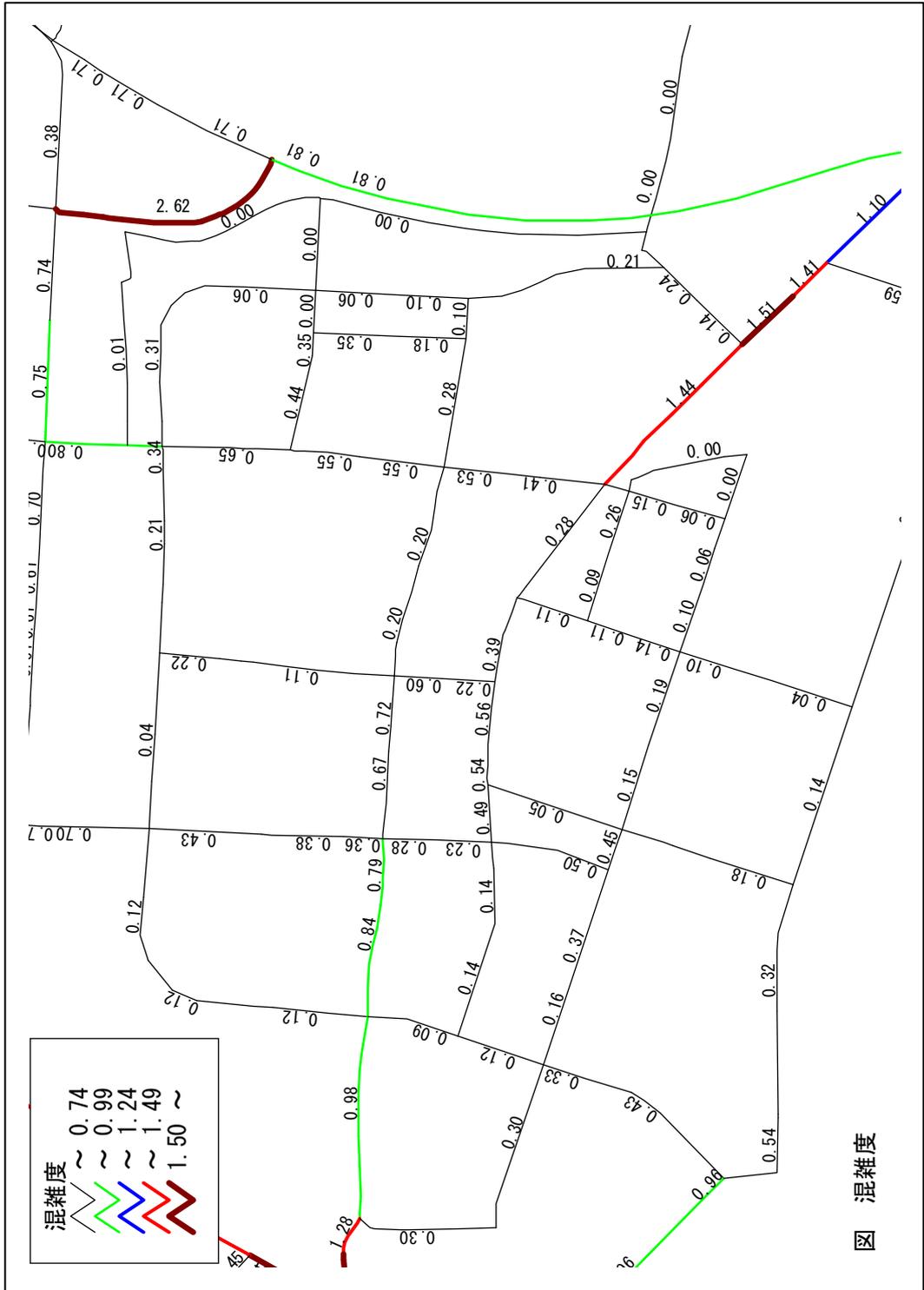
##### 5) 時間評価値と料金体系

- ・時間評価値 25.97円/分
- ・高速道路は一律に、ターミナルチャージ+対距離料金とした。  
ターミナルチャージ：150円  
対距離料金 普通車：24.6円/km、大型車：37.4円/km

### 3-2 配分シミュレーション結果

以下に、配分シミュレーション結果として、交通量図、及び混雑度図を示す。





#### 4. 交差点方向別交通量の算定

配分シミュレーション結果から、以下の交差点10箇所の交差点方向別交通量の算定を行った。

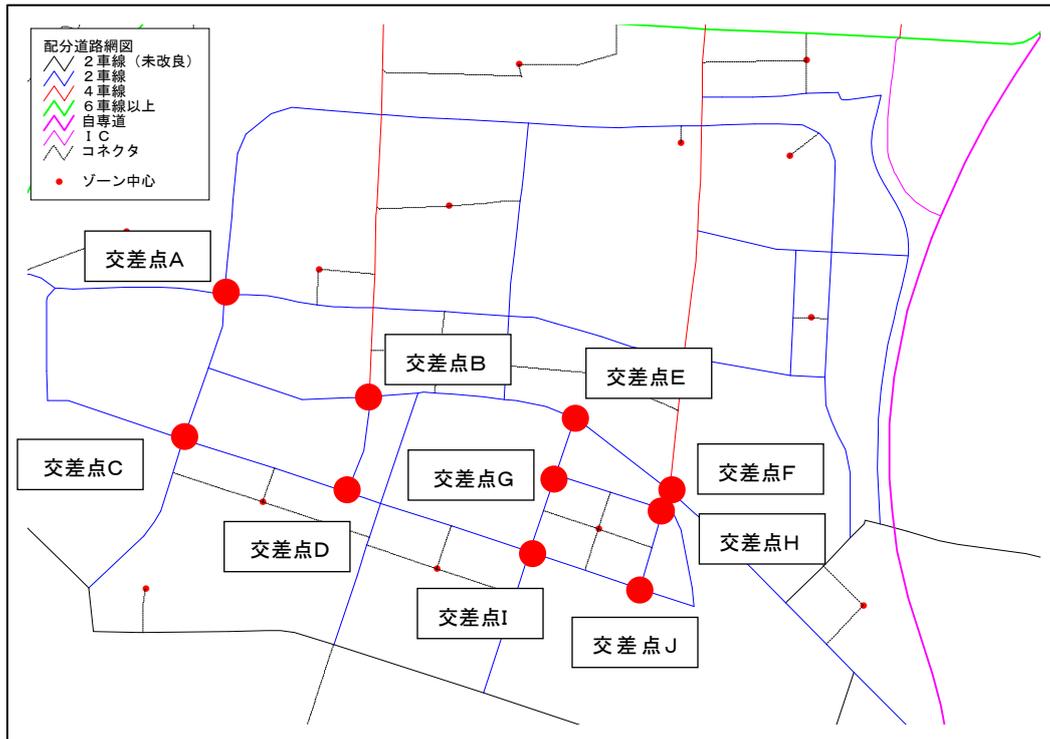


図 交差点方向別交通量算定箇所

交差点方向別交通量

単位:台/日

交差点	方向a	方向b	方向a → 方向b					方向b → 方向a				
			乗用車	バス	小型貨物車	普通貨物車	全車	乗用車	バス	小型貨物車	普通貨物車	全車
交差点A	①	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	①	④	240	0	59	14	313	338	0	10	16	364
	①	③	88	0	22	5	115	133	0	1	2	136
	②	④	2,884	35	276	203	3,398	2,919	35	207	143	3,304
	②	③	3	0	0	1	4	3	0	0	0	3
交差点B	④	③	201	0	24	17	242	191	0	9	5	205
	②	①	1,169	20	107	63	1,359	1,064	0	282	54	1,400
	②	③	3	0	5	3	11	4	0	1	0	5
	②	④	398	0	25	16	439	578	0	62	34	674
	①	③	1,608	0	176	79	1,863	1,890	2	155	51	2,098
交差点C	①	④	20	0	2	1	23	21	0	0	0	21
	③	④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	①	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	①	③	318	0	40	18	376	534	0	39	19	592
	①	④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交差点D	②	③	189	0	1	0	190	114	0	0	0	114
	②	④	533	0	3	0	536	432	0	3	1	436
	③	④	682	0	58	22	762	568	0	52	21	641
	②	①	1,096	2	129	46	1,273	863	0	96	44	1,003
	②	④	722	0	4	0	726	568	0	3	1	572
交差点E	①	④	748	0	85	38	871	798	0	27	5	830
	④	②	862	0	264	53	1,179	891	20	87	54	1,052
	④	③	352	0	27	9	388	482	0	31	10	523
交差点F	②	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④	②	862	0	264	53	1,179	891	20	87	54	1,052
	④	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	②	①	3,153	128	1,009	303	4,593	3,193	146	728	310	4,377
交差点G	②	③	137	0	0	0	137	175	0	4	0	179
	①	③	1,262	0	72	28	1,362	1,604	0	2	0	1,606
	①	③	173	0	20	3	196	281	0	26	7	314
	①	②	179	0	7	6	192	201	0	5	3	209
	③	②	199	0	0	0	199	155	0	2	1	158
交差点H	①	④	965	0	45	18	1,028	1,018	0	6	0	1,024
	①	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	①	③	434	0	27	10	471	761	0	0	0	761
	④	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交差点I	②	③	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④	③	37	0	11	2	50	61	0	65	8	134
	④	①	485	0	3	1	489	510	0	5	1	516
	④	②	122	0	0	0	122	208	0	1	0	209
	③	①	62	0	0	0	62	28	0	0	0	28
	③	②	263	0	0	0	263	220	0	11	1	232
交差点J	①	②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	②	①	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	②	④	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	①	④	209	0	9	1	219	264	0	0	0	264

注:方向は、交差点を中心に、①:北、②:東、③:南、④:西を表す

### <参考：配分対象ゾーン>

本調査で用いたゾーン区分は、第4回仙台都市圏パーソントリップ調査において設定された小ゾーンである。以下に検討対象地区のゾーン境界と配分対象道路網を示す。

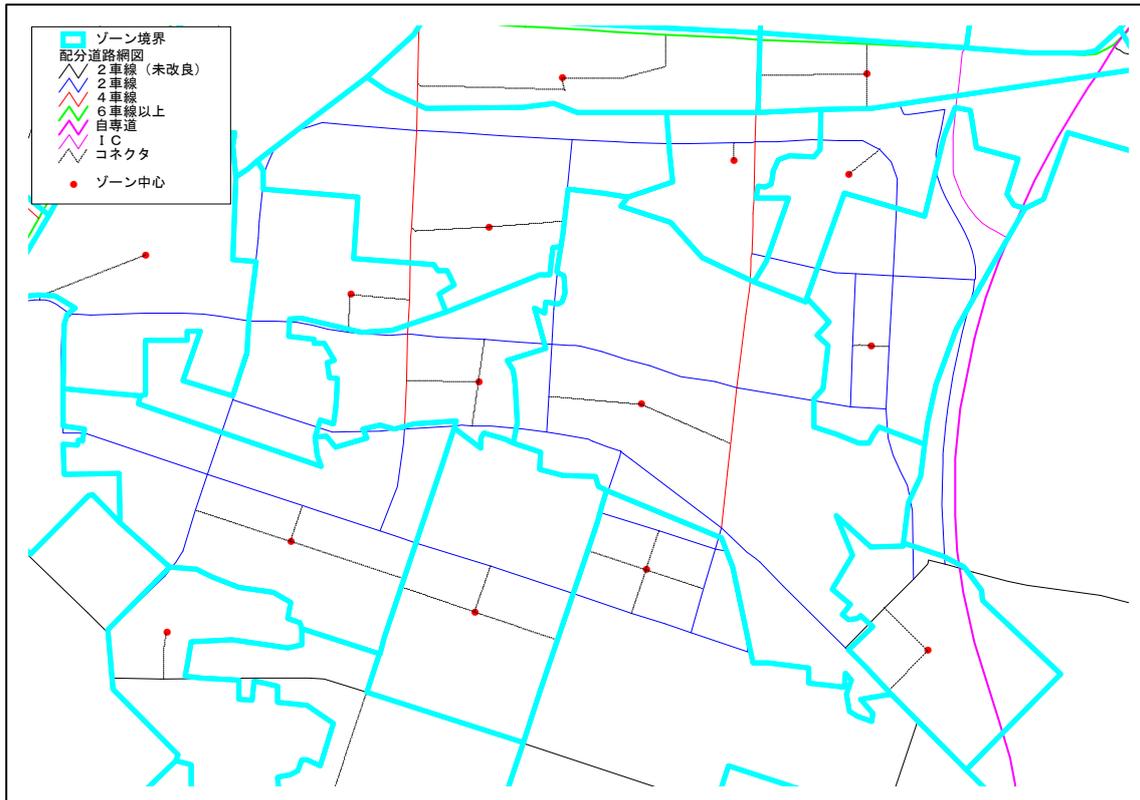


図 ゾーン境界と配分対象道路網

## 6. 地 質

# ボーリング柱状図

調査名 仙台市荒井西土地区画整理組合設立認可申請書作成業務

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	B0-1		調査位置	(仮)仙台市荒井西土地区画整理事業地内			北緯		
発注機関	仙台市荒井西土地区画整理組合設立準備委員会			調査期間	平成 24年 4月 20日 ~ 24年 4月 26日			東経	
調査業者名	(株)パスコ、(株)三洋設計共同企業体 電話 (022-299-9521)		主任技師	長谷川正範		現代代理人	長谷川正範	コ鑑定者	菅原勝也
ボーリング責任者	久能勝也								
孔口標高	4.75m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 270° 西 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 東邦製 D-1 型試錐機 エンジン ヤンマー製 NFD-10
総掘進長	18.45m	度	0°	向	0°			ハンマー落下用具	半自動落下式
								ポンプ	東邦製 BG-3B

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色相対調度	相対稠度	相対稠度	記	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値				
0	4.35	0.40	0.40		表土	暗褐			0.20mまで耕作土を主体とし、草根を多く混入する。全様に砂質シルトを主体とする。	1.15	1/35	1/35					
1					粘土質シルト	淡褐灰〜暗灰			全様に不均質な粘土質シルトからなる。0.70~0.90m間に砂質シルトを挟む。全様に腐植物を多く混入する。所々腐植物の薄層を挟む。含水高く軟らかい。	1.50	1/35	1/35					
2					有機質シルト	淡褐灰〜暗灰			全様に不均質な有機質シルトからなる。全様に腐植物を多く混入する。所々腐植物の薄層を挟む。	2.15	1/34	1/34					
3	1.25	3.10	3.50		シルト質細砂	暗灰			砂は均一な細砂を主体とする。少量の腐植物を混入する。	2.49	1/34	1/34					
4					シルト	暗灰			全様に腐植物を混入する。	3.15	1/33	1/33					
5	-0.25	1.50	5.00		砂質粘土	暗青灰			全様に不均質に砂を混入する。少量の腐植物を混入する。	3.48	1/33	1/33					
6	-0.75	0.50	5.50		細砂	暗青灰			不均一な細砂を主体とする。腐植物を混入する。	4.15	1/31	1/31					
7	-1.55	0.80	6.30		砂質シルト	暗青灰			不均一で少量の細砂を混入する。	4.46	1/31	1/31					
8	-2.75	1.20	7.50		砂質シルト	暗青灰			所々に砂分を多く混入する。全様に少量の腐植物を混入する。8.0m付近に木片を混入する。	5.15	2/33	2/33					
9	-3.65	0.75	8.30		砂質シルト	暗青灰			所々に砂分を多く混入する。全様に少量の腐植物を混入する。8.0m付近に木片を混入する。	5.48	1/33	1/33					
10	-4.05	0.20	8.50		砂質シルト	暗青灰			所々に砂分を多く混入する。全様に少量の腐植物を混入する。8.0m付近に木片を混入する。	6.15	1/31	1/31					
11	-6.40	2.35	11.15		砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	6.46	2/31	2/31					
12					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	7.15	2/31	2/31					
13					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	7.46	2/31	2/31					
14					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	8.15	2/30	2/30					
15					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	8.45	1/30	1/30					
16					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	9.15	1/30	1/30					
17					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	9.45	2/30	2/30					
18	-13.70	7.30	18.45		砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	10.15	2/32	2/32					
19					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	10.47	18/19	50/19					
20					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	11.15	18/9	50/19					
21					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	11.84	32/16	50/16					
					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	12.15	16/6	50/16					
					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	12.81	16/10	39/30					
					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	13.45	6/9	17/30					
					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	14.15	6/9	17/30					
					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	14.45	11/15	38/30					
					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	15.15	11/15	38/30					
					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	15.45	19/15	50/30					
					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	16.15	19/15	50/30					
					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	16.45	15/16	50/29					
					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	17.15	15/16	50/29					
					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	17.44	8/14	36/30					
					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	18.15	8/14	36/30					
					砂	暗青灰〜暗灰			φ2~20mmの円〜亜円礫を主体とする。所々φ40mmの円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。14.25~14.37m前に粘土を挟む。下部では礫の密集する所が見られる。17.80m以下深褐色を呈する。	18.45							

# ボーリング柱状図

調 査 名 仙 台 市 荒 井 西 土 地 区 画 整 理 組 合 設 立 認 可 申 請 書 作 成 業 務

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	B0-2		調査位置	(仮) 仙台市荒井西土地区画整理事業地内				北緯				
発注機関	仙台市荒井西土地区画整理組合設立準備委員会			調査期間	平成 24年 4月 18日 ~ 24年 4月 19日			東経				
調査業者名	(株)パスコ、(株)三洋設計共同企業体 電話 (022-299-9521)		主任技師	長谷川正範		現代理人	長谷川正範	コ鑑定者	菅原勝也	ボーリング責任者	久能勝也	
孔口標高	3.82m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦製 D-1 型試錐機	ハンマー 落下用具	半自動落下式
総掘進長	8.45m	度	0°	向				エンジン	ヤンマー製 NFD-10	ポンプ	東邦製 BG-3B	

標尺 (m)	層厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日		
								深 度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	値						
3.57	0.25	0.25		表土	暗灰		耕作土を主体とし、草根を混入する。										
1.63	1.73	2.00		粘土質シルト	暗灰		全般的に不均質な粘土質シルトからなる。全般的に腐植物を混入する。含水が高く軟らかい。	1.15	1/33	1/33							
0.82	1.00	3.00		砂混じりシルト	暗灰		全般的に不規則に砂を混入する。腐植物を混入する。	1.48	1/15	1/17	2/32						
-0.53	1.35	4.35		有機質シルト	暗灰		全般的に腐植物を多く混入する。所々腐植土状を呈する。	2.15	1/15	1/15	2/30						
-2.10	1.65	6.00		細砂	暗灰		全般的に均一な細砂からなる。所々黒灰色の繊維様が見られる。	4.15	2	3	3	6/30					
-4.63	2.45	8.45		雑混じり砂	暗灰		砂は不均一な細～中砂を主体とする。6.30～8.45m間に礫を多く混入する。礫はφ2～20mm程度の円礫を主体とする。	4.45	13	14	17	44/30					
								5.15	12	13	14	39/30					
								5.45	12	14	18	44/30					
								7.45	14	15	17	45/30					
								8.15									
								8.45									

# ボーリング柱状図

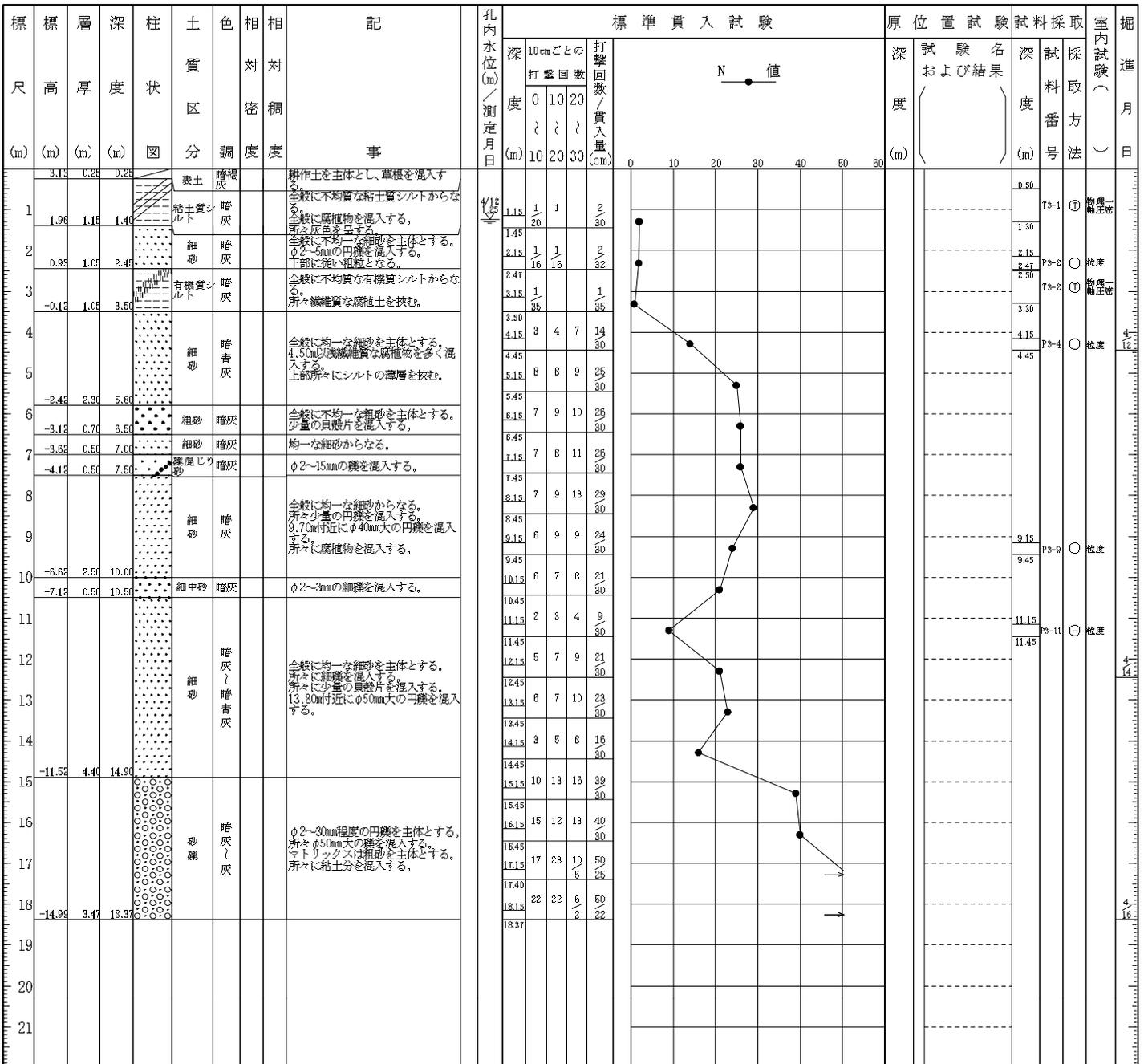
調査名 仙台市荒井西土地地区画整理組合設立認可申請書作成業務

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	B0-3		調査位置	(仮)仙台市荒井西土地地区画整理事業地内			北緯		
発注機関	仙台市荒井西土地地区画整理組合設立準備委員会			調査期間	平成24年4月12日～24年4月17日		東経		
調査業者名	(株)パスコ、(株)三洋設計共同企業体 電話(022-299-9521)		主任技師	長谷川正範		現代代理人	長谷川正範	コ鑑定者	菅原勝也
ボーリング責任者	久能勝也								
孔口標高	3.38m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 270° 西 180°	東 0° 南 90°	地盤勾配	水平0°	
総掘進長	18.37m	度	0°	向	0°	使用機種	東邦製 D-1 型試錐機	ハンマー 落下用具	半自動落下式
						エンジン	ヤンマー製 NFD-10	ポンプ	東邦製 BG-3B



# ボーリング柱状図

調査名 仙台市荒井西土地区画整理組合設立認可申請書作成業務

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	B0-4			調査位置	(仮)仙台市荒井西土地区画整理事業地内			北緯			
発注機関	仙台市荒井西土地区画整理組合設立準備委員会				調査期間	平成24年4月21日～24年4月26日			東経		
調査業者名	(株)パスコ、(株)三洋設計共同企業体 電話(022-299-9521)		主任技師	長谷川正範		現代場代理人	長谷川正範	コ鑑定者	菅原勝也	ボーリング責任者	鎌田丈広
孔口標高	6.02m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 270° 西 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	東邦製 D-0 型試験機	ハンマー 落下用具	半自動落下式
総掘進長	20.35m	度	0°	向				エンジン	ヤンマー製 NFD-10	ポンプ	東邦製 BG-3B

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相對密度	相對稠度	相対稠度	相対稠度	記	標準貫入試験				原位置試験 深 (m)	試験名 および結果	深 (m)	採取番号	採取方法	室内試験 ( )	掘進月日		
												深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	値									
5.67	0.35	0.35			表土	暗褐色					0.20mまで耕作土からなり、草根を混入する。	4/21 1.20												
1					粘土質シルト	褐色					全般的に不均質な粘土質シルトからなる。全般的に繊維質な腐植物を混入する。0.70~0.95m間に褐色の砂質シルトを挟む。	1.15 1/30	1/30											
2					シルト質 じり砂	暗褐色					全般的に不均質な細砂を主体とする。細砂を少量混入する。	1.45 1/35	1/35											
3	2.62	3.05	3.40		有機質シルト	暗褐色					全般的に不均質な有機質シルトからなる。所々腐植土状を呈する。所々に砂の薄層やブロックを介在する。	2.50 1/30	1/30											
4	1.77	0.65	4.25		粘土	暗褐色					粘性大。全般的に腐植物を混入する。	3.45 1/30	1/30											
5					砂質粘土	緑青灰					全般的に不均質な砂質粘土からなる。所々砂を多く混入する。2m以下粘性が強く硬い。	4.45 0 1/20	1/30											
6	-0.48	2.25	6.50		砂	暗青灰					礫はφ2~15mm大の円礫を主体とする。最大φ30mm程度の円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。	5.15 0 1/30	1/30											
7	-0.96	0.53	7.00		砂	暗青灰					礫はφ2~15mm大の円礫を主体とする。15.5~17.0m間にφ50mm大の円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。	6.15 0 1/30	1/30											
8					粘土質シルト	緑青灰					不均質な砂質シルトからなる。	7.45 1 1 1 3/30	3/30											
9	-3.03	2.05	9.05		砂	暗青灰					礫はφ2~15mm大の円礫を主体とする。15.5~17.0m間にφ50mm大の円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。	8.15 1 1 1 3/30	3/30											
10					砂	暗青灰					不均質な砂質シルトからなる。	8.45 8 9 11 28/30	28/30											
11					砂	暗青灰					礫はφ2~15mm大の円礫を主体とする。15.5~17.0m間にφ50mm大の円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。	9.15 15 14 14 43/30	43/30											
12	-5.88	2.85	11.90		砂質シルト	緑青灰					不均質な砂質シルトからなる。	10.45 5 1 1 7/30	7/30											
13	-6.33	0.45	12.35		砂	暗青灰					礫はφ2~15mm大の円礫を主体とする。15.5~17.0m間にφ50mm大の円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。	11.45 1 2 9 12/30	12/30											
14					砂	暗青灰					礫はφ2~15mm大の円礫を主体とする。15.5~17.0m間にφ50mm大の円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。	12.45 20 14 13 47/30	47/30											
15					砂	暗青灰					礫はφ2~15mm大の円礫を主体とする。15.5~17.0m間にφ50mm大の円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。	13.45 8 10 9 27/30	27/30											
16					砂	暗青灰					礫はφ2~15mm大の円礫を主体とする。15.5~17.0m間にφ50mm大の円礫を混入する。マトリックスは粗砂を主体とする。	14.45 25 16 9 50/26	50/26											
17	-11.08	4.75	17.10		粘土質砂	茶褐色					含水が高く緩い。	15.41 19 26 5/2	5/2											
18	-11.63	0.53	17.63		粘土混じり砂	茶褐色					礫はφ2~15mmの円礫を主体とする。マトリックスは粗砂を主体とし、所々粘土を多く混入する。所々礫の混入が少なくなる。	16.37 1 1 2 4/30	4/30											
19					砂	暗青灰					礫はφ2~15mmの円礫を主体とする。マトリックスは粗砂を主体とし、所々粘土を多く混入する。所々礫の混入が少なくなる。	17.45 8 8 3 19/30	19/30											
20					砂	暗青灰					礫はφ2~15mmの円礫を主体とする。マトリックスは粗砂を主体とし、所々粘土を多く混入する。所々礫の混入が少なくなる。	18.45 23 27 50/20	50/20											
21	-14.33	2.70	20.35		砂	暗青灰					礫はφ2~15mmの円礫を主体とする。マトリックスは粗砂を主体とし、所々粘土を多く混入する。所々礫の混入が少なくなる。	19.35 18 32 50/20	50/20											

# ボーリング柱状図

調査名 仙台市荒井西土地区画整理組合設立認可申請書作成業務

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	B0-5		調査位置	(仮)仙台市荒井西土地区画整理事業地内			北緯					
発注機関	仙台市荒井西土地区画整理組合設立準備委員会			調査期間	平成24年4月12日～24年4月16日			東経				
調査業者名	(株)パスコ、(株)三洋設計共同企業体 電話(022-299-9521)		主任技師	長谷川正範	現代理人	長谷川正範	コ鑑定者	菅原勝也	ボーリング責任者	三浦光郎		
孔口標高	4.74m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北0° 270° 西 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	試錐機	東邦製 D-1 型試錐機	ハンマー 落下用具	半自動落下式
総掘進長	10.45m	度		向				エンジン	ヤンマー製 NFD-12	ポンプ	東邦製 BG-3B	

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色相	対密	対稠	相対稠度	相対密度	相対稠度	相対密度	相対稠度	相対密度	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験	掘進		
															深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N値					深 (m)	試験名および結果
4.44	0.30	0.30			表土	暗褐色									4/12									
1.15					粘土質シルト	褐色									1.15	1/27	1/6	2/35						
2.94	1.50	1.80			粘土質シルト	褐色									1.50	3/7	11/30	21/30						
1.24	1.70	3.50			細砂	青灰									2.15	3/12	2/8	3/35						
					有機質シルト	暗褐色									2.45	1/30		1/30						
-0.66	1.90	5.40			有機質シルト	暗褐色									3.15	1/26	1/6	2/32						
-1.16	0.50	5.90			有機質シルト	暗褐色									3.50	6/8	8/10	24/30						
					細砂	青灰									4.15	15/20	15/6	50/26						
-3.66	2.50	8.40			細砂	青灰									4.45	13/16	17/46	30/30						
					細砂	青灰									5.15	11/14	19/44	44/30						
-5.71	2.05	10.45			細砂	青灰									6.15	10/16	21/47	30/30						

# ボーリング柱状図

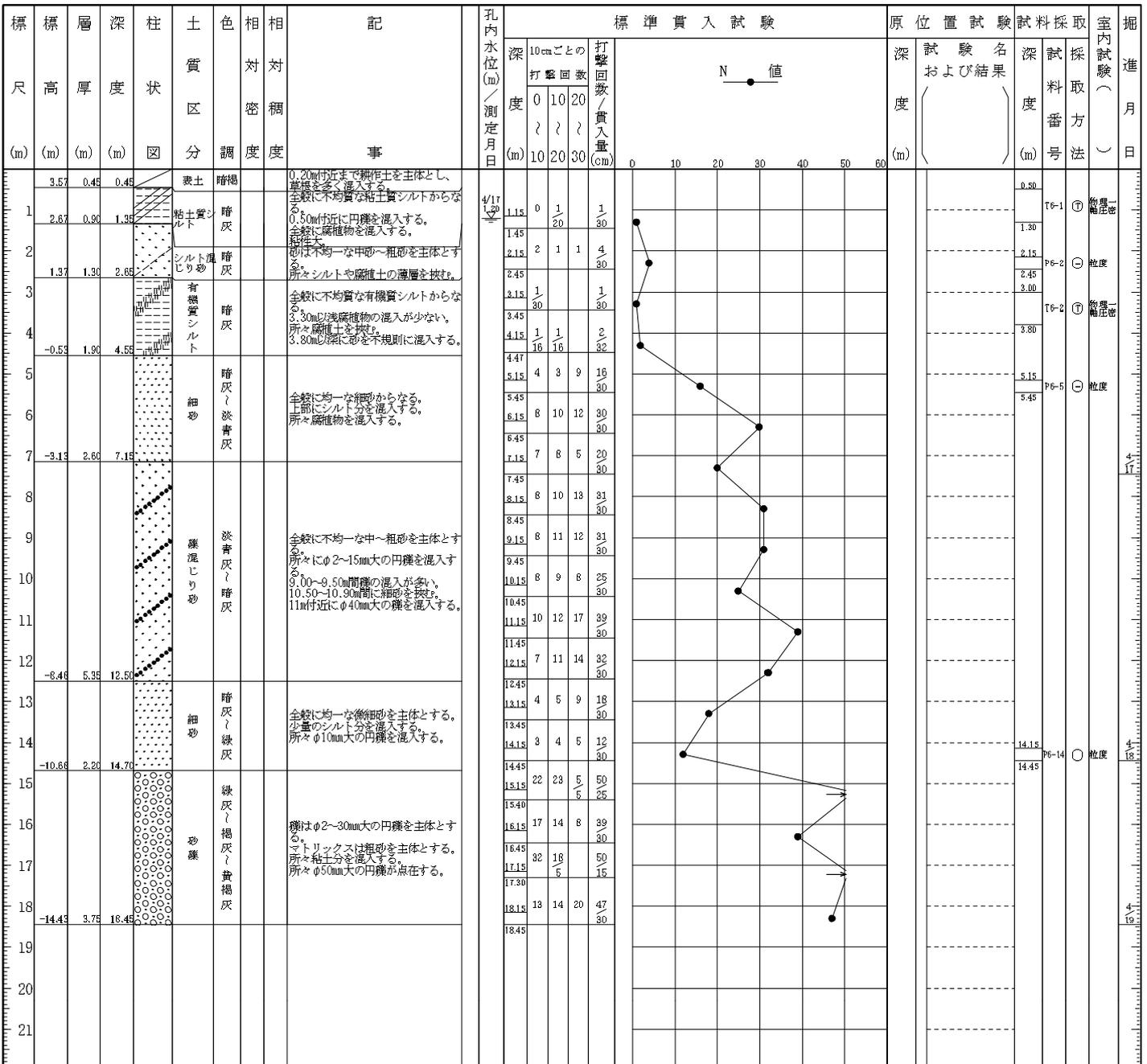
調査名 仙台市荒井西土地地区画整理組合設立認可申請書作成業務

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	B0-6		調査位置	(仮)仙台市荒井西土地地区画整理事業地内			北緯		
発注機関	仙台市荒井西土地地区画整理組合設立準備委員会			調査期間	平成24年4月17日～24年4月20日			東経	
調査業者名	(株)パスコ、(株)三洋設計共同企業体 電話(022-299-9521)		主任技師	長谷川正範		現代代理人	長谷川正範	コ鑑定者	菅原勝也
ボーリング責任者	鎌田丈広								
孔口標高	4.02m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 270° 西 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種	東邦製 D-0 型試錐機
総掘進長	18.45m	度		向		エンジン	ヤンマー製 NFD-10	ハンマー落下用具	半自動落下式
								ポンプ	東邦製 BG-3B



# ボーリング柱状図

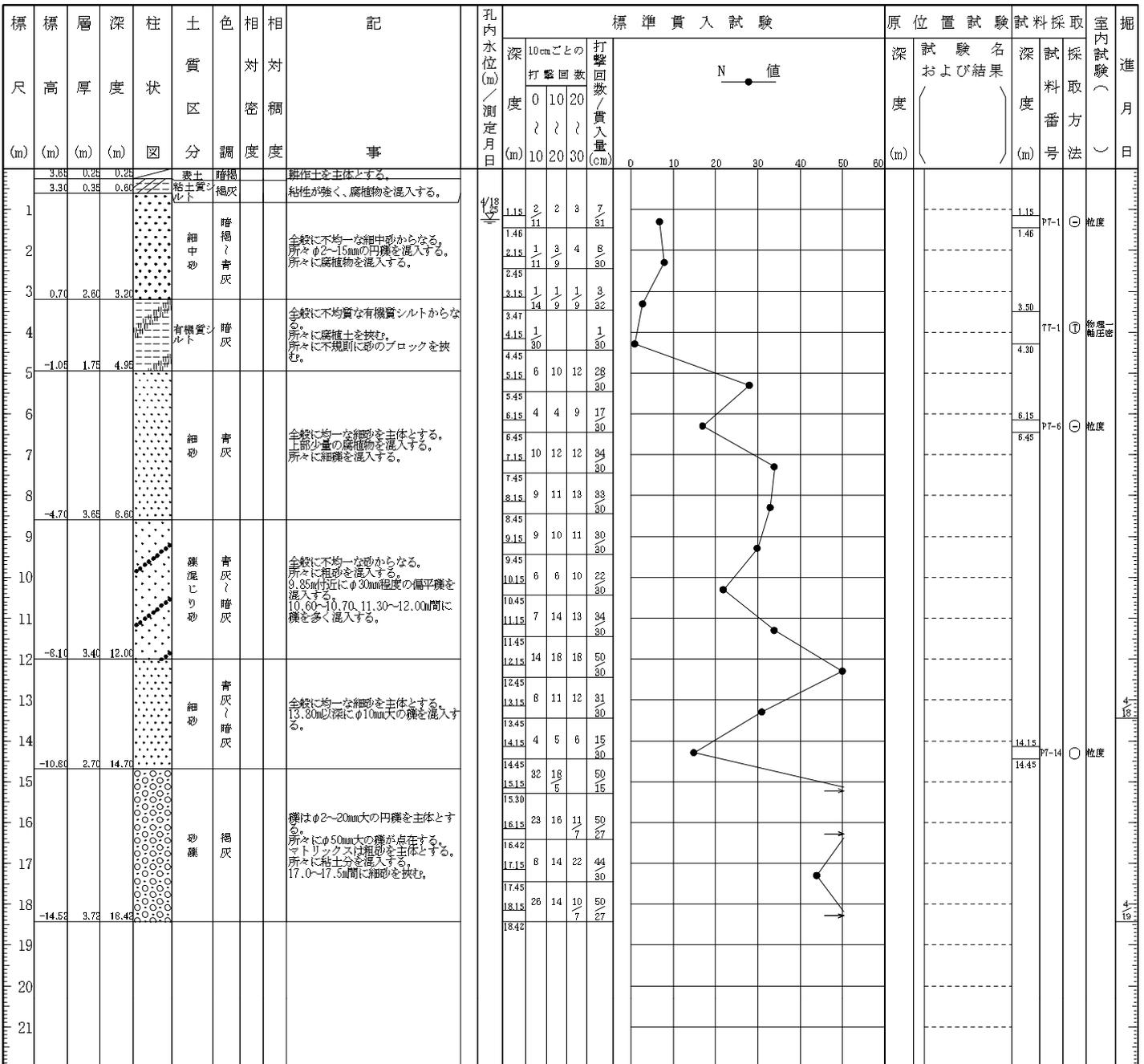
調査名 仙台市荒井西土地地区画整理組合設立認可申請書作成業務

ボーリングNo.   

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	B0-7		調査位置	(仮)仙台市荒井西土地地区画整理事業地内			北緯		
発注機関	仙台市荒井西土地地区画整理組合設立準備委員会			調査期間	平成 24年 4月 17日 ~ 24年 4月 20日			東経	
調査業者名	(株)パスコ、(株)三洋設計共同企業体 電話 (022-299-9521)		主任技師	長谷川正範		現代代理人	長谷川正範	コ鑑定者	菅原勝也
ボーリング責任者	鷗橋一								
孔口標高	3.90m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 東邦製 D-1 型試錐機 エンジン ヤンマー製 NFD-10
総掘進長	18.42m	度				ハンマー落下用具	半自動落下式		
						ポンプ	東邦製 BG-3B		



# ボーリング柱状図

調査名 仙台市荒井西土地区画整理組合設立認可申請書作成業務

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	B0-8		調査位置	(仮)仙台市荒井西土地区画整理事業地内			北緯		
発注機関	仙台市荒井西土地区画整理組合設立準備委員会			調査期間	平成 24年 4月 日 ~ 24年 4月 日		東経		
調査業者名	(株)パスコ、(株)三洋設計共同企業体 電話 (022-299-9521)		主任技師	長谷川正範	現代場代理人	長谷川正範	コ鑑定者	菅原勝也	
ボーリング責任者	鷗橋一		試験機	東邦製 D-1 型試験錐機		ハンマー	半自動落下式		
エンジン	ヤンマー製 NFD-10		ポンプ	東邦製 BG-3B					
孔口標高	5.23m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	
総掘進長	13.45m	度							

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色相	対密度	相対稠度	記	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験	掘進
									深	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量	値				
5.23	0.24	0.24		表土	暗褐色			耕作土からなり、草根を混入する。	4/4	1.15	0	0				
1				粘土質シルト	褐灰～暗灰			全般的に不均質な粘土質シルトからなる。所々に腐植物を混入する。含水が高く軟らかい。	1.50	0	1	35				
2									2.15	0	1	35				
3									2.50	0	1	35				
4	0.73	4.30	4.50	腐植土	黒灰			全般的に繊維質な腐植土からなる。所々にシルトの混入を伴う。	3.15	1	1	35				
5				有機質シルト	暗灰			全般的に不均質な有機質シルトからなる。所々に砂をブロック状に挟む。6.35～6.80m間に砂分を多く混入する。7.35m以深に礫を混入する。	4.15	0	1	35				
6	-0.27	1.00	5.50						4.50	1		35				
7									5.15	1		35				
8									5.50	1		35				
9									6.15	1	1	35				
10									6.46	1	1	35				
11									7.15	1	1	30				
12									7.45	3	4	11				
13									8.15	9	4	4				
14									8.45	9	11	7				
15									9.15	9	11	27				
16									9.45	9	11	32				
17									10.15	9	11	30				
18									10.45	10	10	30				
19									11.15	10	10	30				
20									11.45	13	16	45				
21									12.15	13	16	45				
									12.45	9	12	33				
									12.15	9	12	33				
									13.45			30				

# ボーリング柱状図

調査名 仙台市荒井西土地区画整理組合設立認可申請書作成業務

ボーリングNo. 

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	B0-9		調査位置	(仮)仙台市荒井西土地区画整理事業地内						北緯			
発注機関	仙台市荒井西土地区画整理組合設立準備委員会						調査期間	平成 24年 4月 14日 ~ 24年 4月 16日			東経		
調査業者名	(株)パスコ、(株)三洋設計共同企業体 電話 (022-299-9521)		主任技師	長谷川正範			現場代理人	長谷川正範	コ鑑定者	菅原勝也	ボーリング責任者	鎌田丈広	
孔口標高	4.63m	角	180° 上	90°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦製 D-0 型試錐機	ハンマー 落下用具	半自動落下式
総掘進長	9.45m	度							エンジン	ヤンマー製 NFD-10	ポンプ	東邦製 BG-3B	

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	相対稠度	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日	
												深	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量	値					深
4.38	0.25	0.25	表土	暗褐色								4/14	1.15	1	1	3				
3.63	0.75	1.00	粘土質シルト	褐灰								4/15	1.45	1	1	3				
1.63	1.80	2.80	シルト質砂	暗灰								2.50	1	1	1	3	P9-2	①	腐植質	
1.13	0.70	3.50	シルト質砂	暗灰								3.15	3	1	1	5				
-0.72	1.85	5.35	有機質シルト	暗灰								3.45	1	1	2	30				
												4.15	1	1	2	30				
												4.45	2	2	1	5				
												5.15	2	2	1	5				
												5.45	5	10	15	30				
												6.15	8	16	20	44				
												7.45	8	11	13	32				
												8.15	10	13	11	34				
												9.15								
												9.45								

# ボーリング柱状図

調査名 仙台市荒井西土地区画整理組合設立認可申請書作成業務

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Bo-10		調査位置	(仮)仙台市荒井西土地区画整理事業地内			北緯		
発注機関	仙台市荒井西土地区画整理組合設立準備委員会			調査期間	平成 24年 4月 12日 ~ 24年 4月 23日			東経	
調査業者名	(株)パスコ、(株)三洋設計共同企業体 電話 (022-299-9521)		主任技師	長谷川正範		現代理人	長谷川正範	コ鑑定者	菅原勝也
ボーリング責任者	鷗橋一								
孔口標高	3.95m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 東邦製 D-1 型試錐機 エンジン ヤンマー製 NFD-10
総掘進長	15.45m	度	0°	向				ハンマー落下用具	半自動落下式
								ポンプ	東邦製 BG-3B

標尺 (m)	層高 (m)	厚 (m)	深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	標準貫入試験				原位置試験 深 (m)	試験名および結果	試料採取番号	採取方法	室内試験 ( )	掘進月日
										深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	値						
3.60	0.35	0.35			表土	暗褐色			0.20mまで耕作土からなり、草根を混入する。	1.15	1	1	3						
2.80	0.80	1.15			粘土質シルト	暗灰色			粘性が強い、全粒に腐植物を混入する。	1.50	1	1	3						
					粘土質シルト	暗灰色			全粒に不均質な粘土質シルトからなる。全粒に腐植物を混入する。上部に砂質シルトを挟む。含水量が高く軟らかい。3.85~4.25m間に有機質シルトを挟む。	2.15	1	1	2						
					粘土質シルト	暗灰色				3.52	1	1	3						
					粘土質シルト	暗灰色				4.15	1	3	10						
					粘土質シルト	暗灰色				4.45	7	10	28						
					粘土質シルト	暗灰色				5.15	9	12	36						
					粘土質シルト	暗灰色				6.15	9	12	36						
					粘土質シルト	暗灰色				6.45	7	8	27						
					粘土質シルト	暗灰色				7.45	9	11	33						
					粘土質シルト	暗灰色				8.15	9	11	33						
					粘土質シルト	暗灰色				8.45	8	8	27						
					粘土質シルト	暗灰色				9.15	8	8	27						
					粘土質シルト	暗灰色				9.45	8	11	33						
					粘土質シルト	暗灰色				10.15	8	11	33						
					粘土質シルト	暗灰色				10.45	7	9	28						
					粘土質シルト	暗灰色				11.15	7	9	28						
					粘土質シルト	暗灰色				11.45	11	20	50						
					粘土質シルト	暗灰色				12.15	11	20	50						
					粘土質シルト	暗灰色				12.45	8	12	37						
					粘土質シルト	暗灰色				13.15	8	12	37						
					粘土質シルト	暗灰色				13.45	8	9	31						
					粘土質シルト	暗灰色				14.15	8	9	31						
					粘土質シルト	暗灰色				14.45	13	18	49						
					粘土質シルト	暗灰色				15.15	13	18	49						
					粘土質シルト	暗灰色				15.45									

# ボーリング柱状図

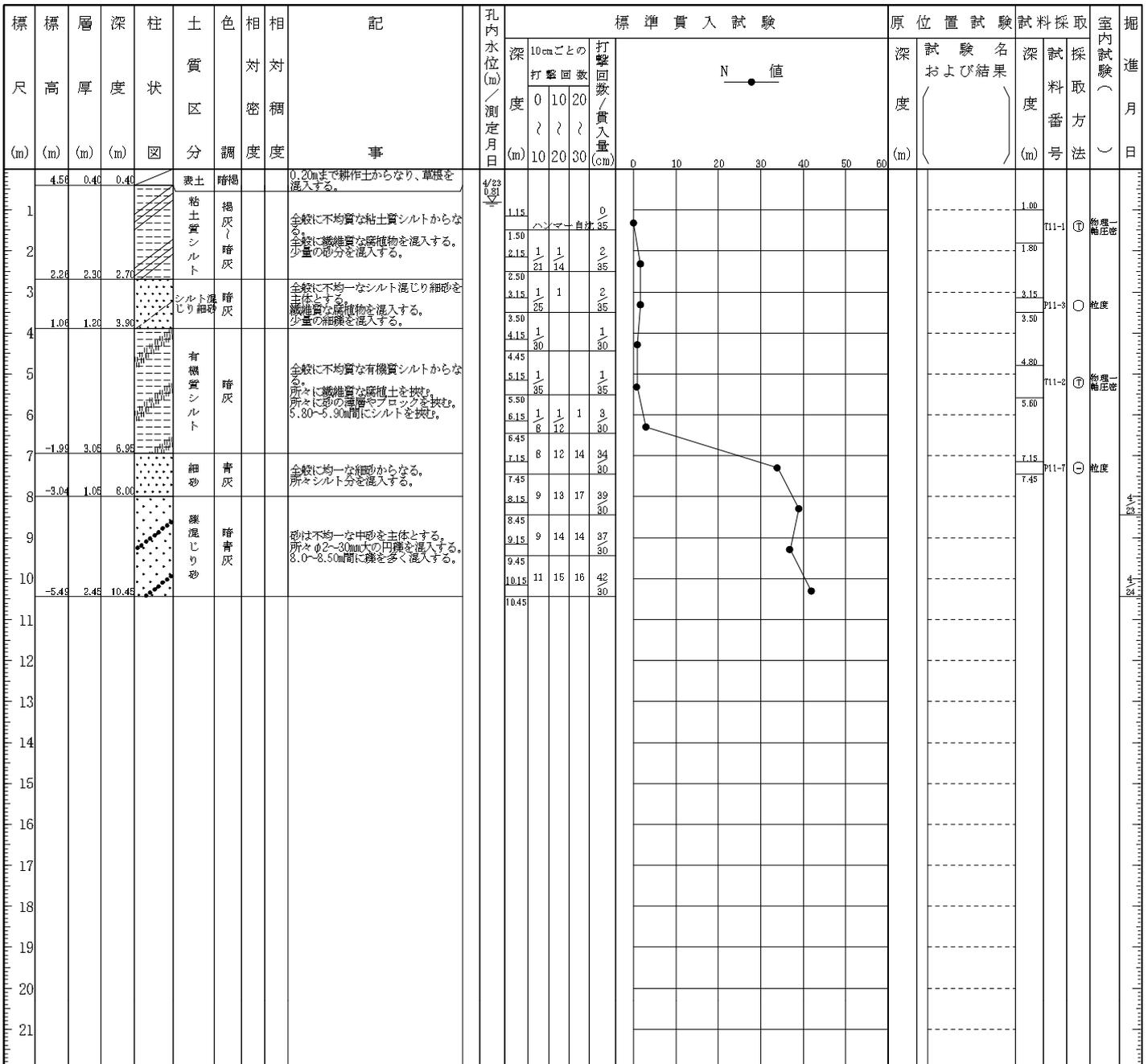
調 査 名 仙 台 市 荒 井 西 土 地 区 画 整 理 組 合 設 立 認 可 申 請 書 作 成 業 務

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Bo-11			調査位置	(仮) 仙台市荒井西土地区画整理事業地内				北緯			
発注機関	仙台市荒井西土地区画整理組合設立準備委員会				調査期間	平成 24年 4月 23日 ~ 24年 4月 25日				東経		
調査業者名	(株)パスコ、(株)三洋設計共同企業体 電話 (022-299-9521)		主任技師	長谷川正範		現代場代理人	長谷川正範	コ鑑定者	菅原勝也	ボーリング責任者	秋山友一	
孔口標高	4.96m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 西 270° 南 180° 東 90°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦製 D-0 型試錐機	ハンマー 落下用具	半自動落下式
総掘進長	10.45m	度	0°	向		エンジン	ヤンマー製 NFD-10	ポンプ		東邦製 BG-3B		



調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務		
測点番号：S-1	標高：4.19	試験者：鶴橋一
調査年月日：2012年4月25日	天候：晴れ	

No.	荷重 Wsw (kN)	半回転数 N a	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1 m当りの 半回転数 Nsw	記 事
1	0.05		0.10	10		
2	0.15		0.13	3		
3	0.25		0.15	2		
4	0.50		0.22	7		
5	0.75		0.30	8		
6	0.25		0.53	23		
7	0.50		0.63	10		
8	0.25		1.13	50		
9	0.50		1.88	75		じわじわ
10	0.75		2.00	12		
11	0.50		2.27	27		
12	0.75		2.50	23		
13	0.50		2.62	12		
14	0.75		3.50	88		
15	1.00		3.90	40		
16	0.75		4.09	19		
17	1.00		4.30	21		
18	1.00	3.0	4.50	20	15	
19	1.00		4.75	25		
20	1.00	6.0	5.00	25	24	砂音
21	1.00	15.0	5.25	25	60	＃
22	1.00	25.0	5.50	25	100	＃
23	1.00	50.0	5.69	19	263	＃
24	1.00	31.0	5.75	6	517	非常にしぶい

備考：



# スウェーデン式サウンディング試験

【 報告用紙 】 1/1

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号： S-1

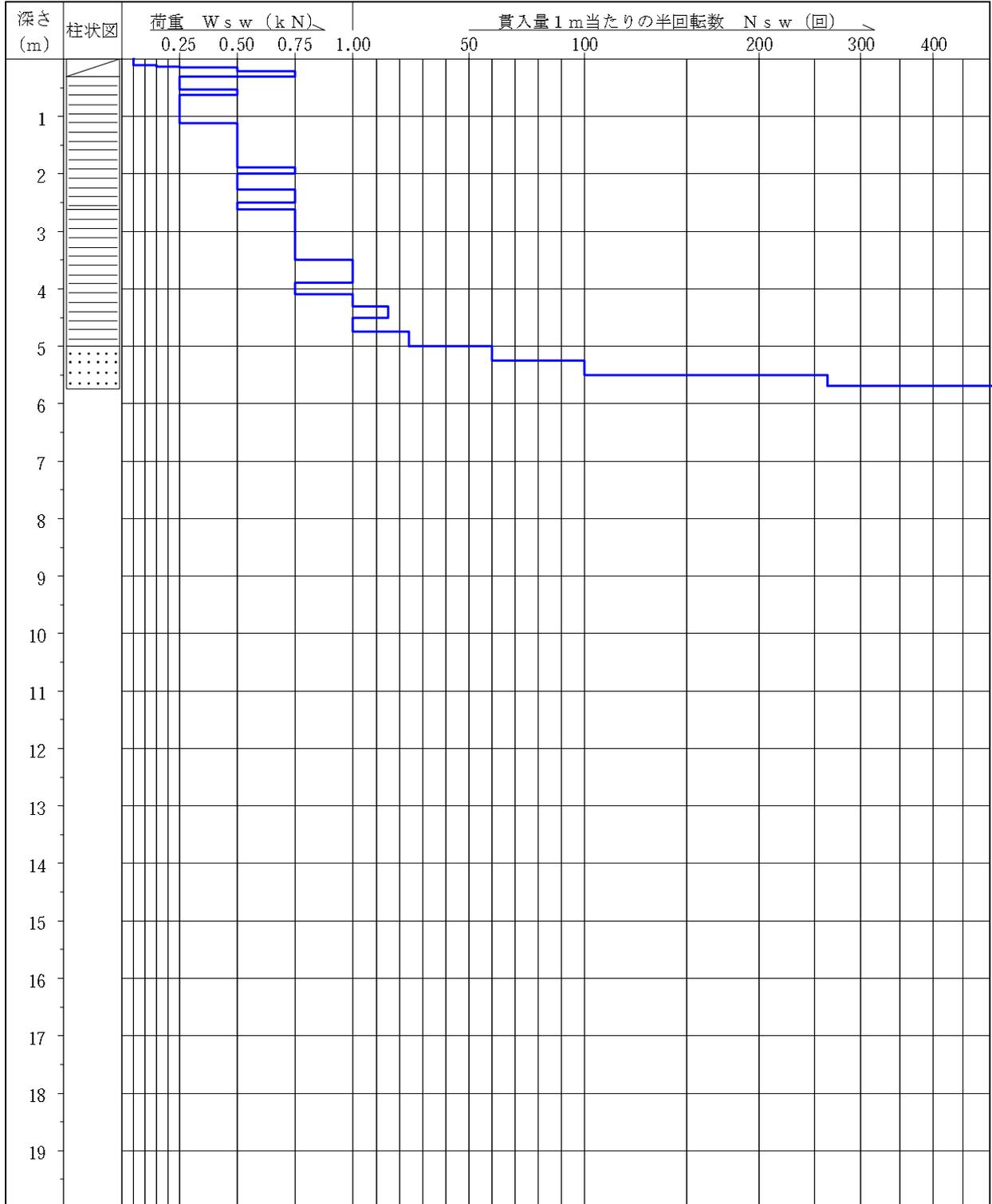
標 高： 4.19

試験者： 朝橋一

調査年月日： 2012年4月25日

天 候： 晴れ

最終貫入深度： 5.75 m



## スウェーデン式サウンディング試験

## 記録用紙

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号：S-2

標高：3.80

試験者：鶴橋一

調査年月日：2012年4月25日

天候：晴れ

No.	荷重 W <sub>sw</sub> (kN)	半回転数 N <sub>a</sub>	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1 m当りの 半回転数 N <sub>sw</sub>	記 事
1	0.05		0.09	9		
2	0.15		0.16	7		
3	0.25		0.18	2		
4	0.50		0.24	6		
5	0.75		0.30	6		
6	1.00		0.40	10		
7	0.50		0.75	35		
8	0.25		1.09	34		
9	0.50		1.50	41		じわじわ
10	0.75		1.53	3		
11	1.00		1.54	1		
12	1.00	7.0	1.75	21	33	砂音
13	1.00	7.0	2.00	25	28	#
14	1.00	14.0	2.25	25	56	#
15	1.00	16.0	2.50	25	64	#
16	1.00	30.0	2.75	25	120	#
17	1.00	30.0	3.00	25	120	#
18	1.00	17.0	3.25	25	68	#
19	1.00		3.50	25		するする
20	0.75		3.58	8		じわじわ
21	1.00		4.07	49		
22	1.00	2.0	4.25	18	11	
23	1.00		4.33	8		じわじわ
24	1.00	2.0	4.50	17	12	
25	1.00		4.79	29		じわじわ
26	1.00	3.0	5.00	21	14	無音
27	1.00	4.0	5.25	25	16	#
28	1.00	8.0	5.50	25	32	砂音
29	1.00	7.0	5.75	25	28	#
30	1.00	13.0	6.00	25	52	#
31	1.00	50.0	6.16	16	313	#
32	1.00	25.0	6.25	9	278	#

備考：



# スウェーデン式サウンディング試験

【 報告用紙 】 1/1

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号： S-2

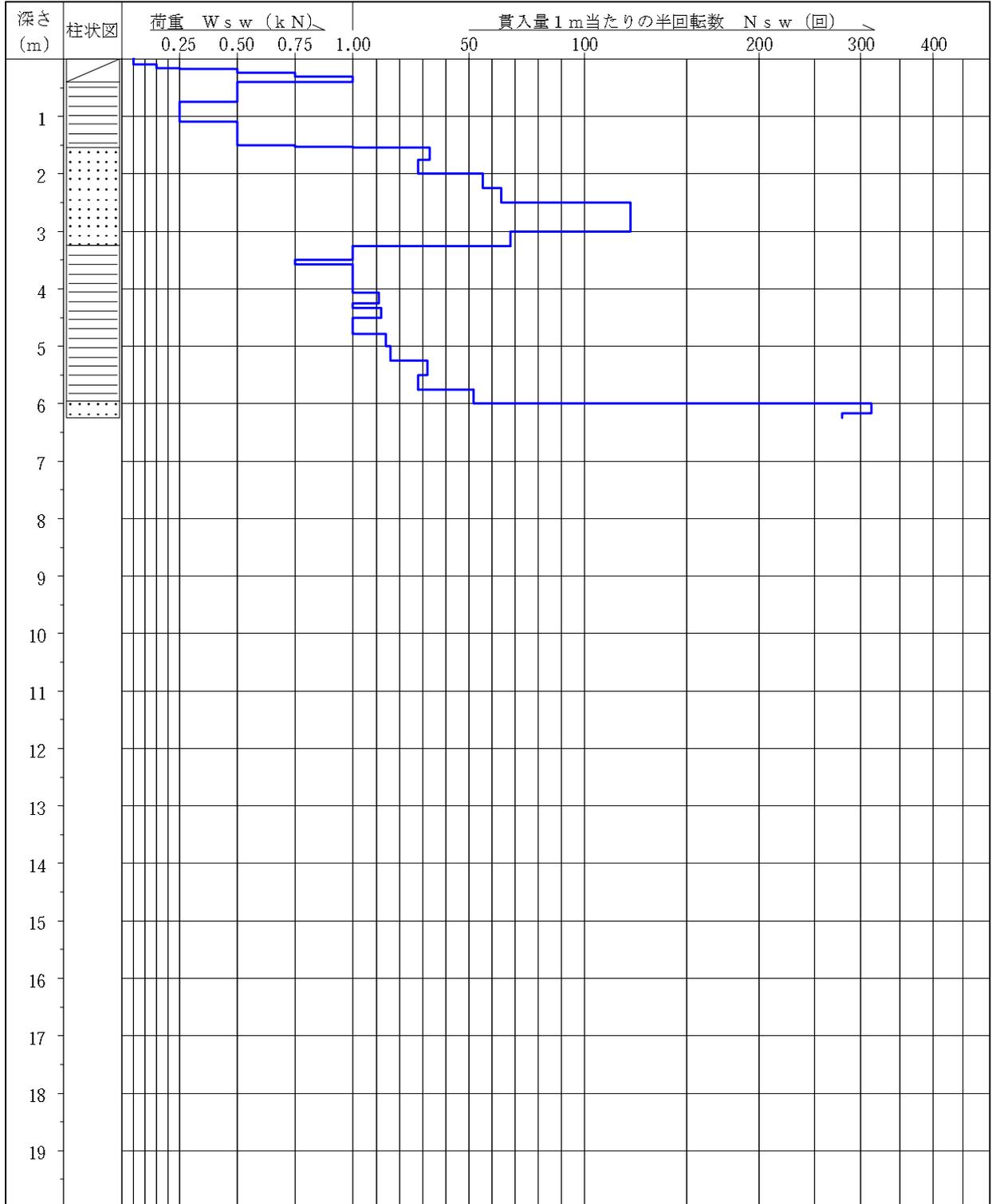
標 高： 3.80

試験者： 朝橋一

調査年月日： 2012年4月25日

天 候： 晴れ

最終貫入深度： 6.25 m



## スウェーデン式サウンディング試験

記録用紙

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号：S-3

標高：5.14

試験者：鶴橋一

調査年月日：2012年4月24日

天候：晴れ

No.	荷重 W <sub>sw</sub> (kN)	半回転数 N <sub>a</sub>	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当りの 半回転数 N <sub>sw</sub>	記 事
1	0.05		0.08	8		
2	0.15		0.11	3		
3	0.25		0.13	2		
4	0.50		0.18	5		
5	0.75		0.40	22		
6	0.50		0.75	35		
7	0.25		1.14	39		
8	0.50		1.25	11		
9	0.75		1.46	21		じわじわ
10	1.00		1.55	9		
11	1.00	1.0	1.60	5	20	
12	1.00		1.84	24		
13	1.00	2.0	2.00	16	13	
14	1.00	2.0	2.25	25	8	
15	1.00	2.0	2.50	25	8	
16	0.75		3.82	132		
17	1.00		4.39	57		
18	1.00	2.0	4.50	11	18	
19	1.00		4.69	19		するする
20	1.00	1.0	4.75	6	17	じわじわ
21	1.00	5.0	5.00	25	20	
22	1.00		5.05	5		
23	1.00	4.0	5.25	20	20	
24	1.00	9.0	5.50	25	36	
25	1.00	8.0	5.75	25	32	
26	1.00	45.0	6.00	25	180	非常にしぶい
27	1.00	32.0	6.25	25	128	＃
28	1.00	7.0	6.50	25	28	
29	1.00		6.54	4		＃
30	1.00	11.0	6.75	21	52	＃
31	1.00	13.0	7.00	25	52	＃
32	1.00	17.0	7.25	25	68	しぶい
33	1.00	26.0	7.50	25	104	＃
34	1.00	30.0	7.75	25	120	＃
35	1.00	24.0	8.00	25	96	＃
36	1.00	23.0	8.25	25	92	＃
37	1.00	28.0	8.50	25	112	＃
38	1.00	44.0	8.75	25	176	＃
39	1.00	23.0	9.00	25	92	＃
40	1.00	21.0	9.25	25	84	

備 考：





# スウェーデン式サウンディング試験

【 報告用紙 】 1/1

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号： S-3

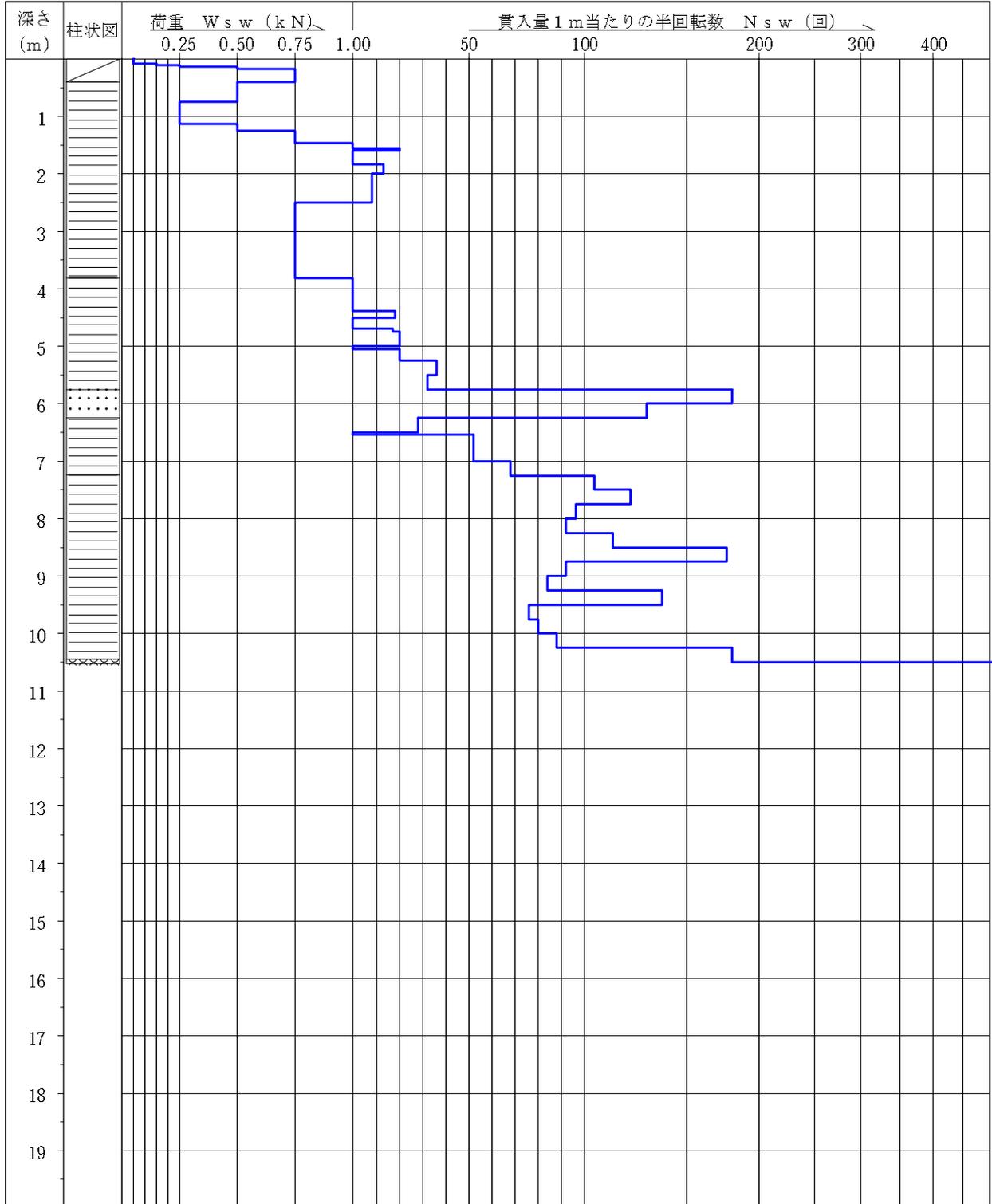
標 高： 5.14

試験者： 朝橋一

調査年月日： 2012年4月24日

天 候： 晴れ

最終貫入深度： 10.53 m



スウェーデン式サウンディング試験	記録用紙
------------------	------

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務		
測点番号：S-4	標高：4.42	試験者：鶴橋一
調査年月日：2012年4月25日		天候：晴れ

No.	荷重 W <sub>sw</sub> (kN)	半回転数 N <sub>a</sub>	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1 m当りの 半回転数 N <sub>sw</sub>	記 事
1	0.05		0.09	9		
2	0.15		0.13	4		
3	0.25		0.15	2		
4	0.50		0.19	4		
5	0.75		0.21	2		
6	1.00		0.25	4		
7	1.00	3.0	0.50	25	12	
8	1.00		0.75	25		
9	0.75		1.00	25		じわじわ
10	1.00	2.0	1.25	25	8	
11	0.75		1.54	29		
12	1.00		1.60	6		
13	0.75		2.25	65		
14	1.00		2.58	33		
15	1.00	2.0	2.75	17	12	
16	1.00	3.0	3.00	25	12	
17	0.75		3.15	15		
18	1.00		3.35	20		
19	1.00	2.0	3.50	15	13	
20	1.00		3.69	19		じわじわ
21	1.00	1.0	3.75	6	17	無音
22	1.00	3.0	4.00	25	12	#
23	1.00	4.0	4.25	25	16	#
24	1.00	4.0	4.50	25	16	#
25	1.00	5.0	4.75	25	20	#
26	1.00	8.0	5.00	25	32	4.90より砂音
27	1.00	37.0	5.25	25	148	#
28	1.00	50.0	5.42	17	294	非常にしぶい

備考：



# スウェーデン式サウンディング試験

【 報告用紙 】 1/1

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号： S-4

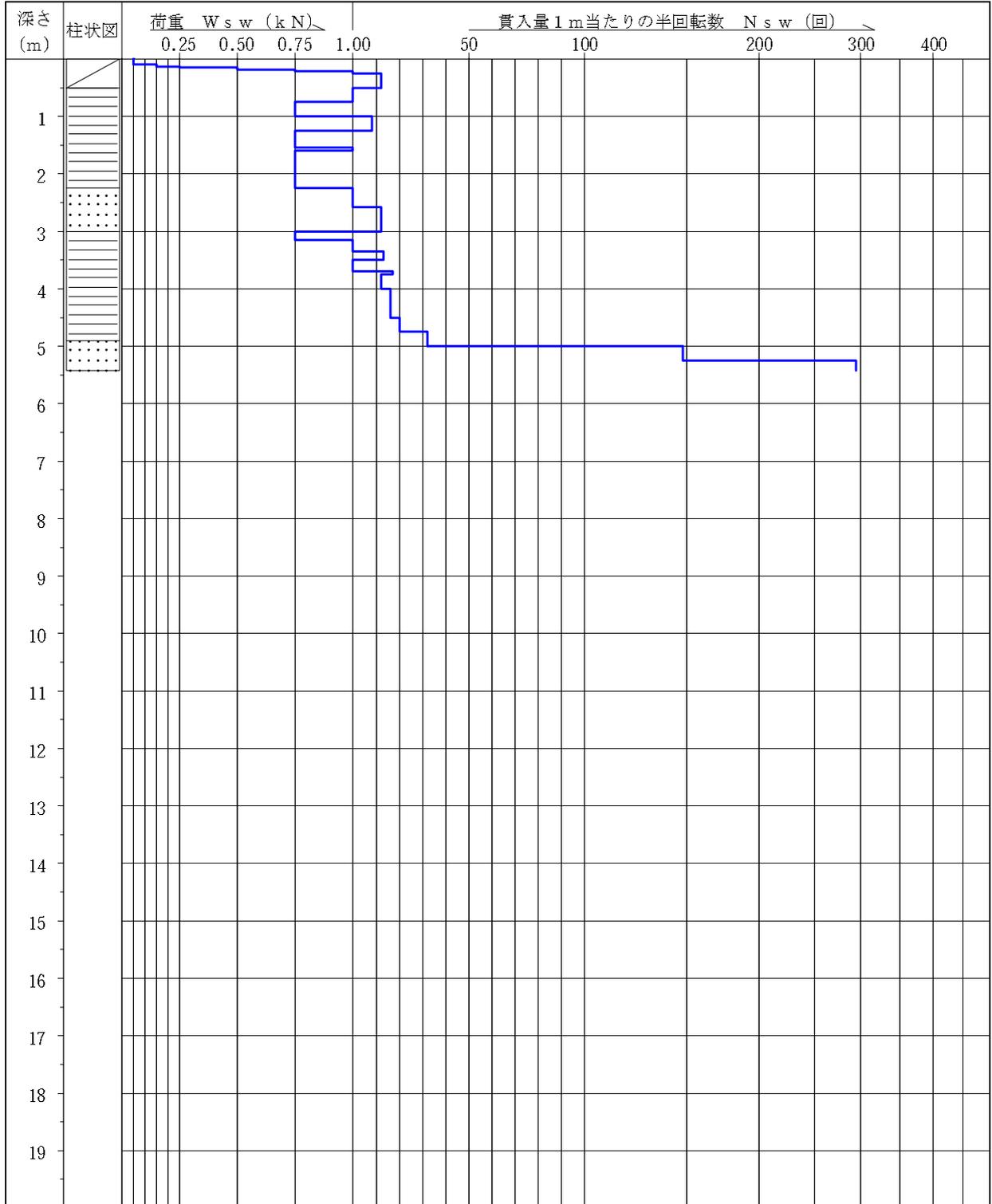
標 高： 4.42

試験者： 朝橋一

調査年月日： 2012年4月25日

天 候： 晴れ

最終貫入深度： 5.42 m



## スウェーデン式サウンディング試験

記録用紙

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号：S-5

標高：3.73

試験者：鶴橋一

調査年月日：2012年4月25日

天候：晴れ

No.	荷重 W <sub>sw</sub> (kN)	半回転数 N <sub>a</sub>	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1m当たりの 半回転数 N <sub>sw</sub>	記 事
1	0.05		0.06	6		
2	0.15		0.09	3		
3	0.25		0.13	4		
4	0.50		0.20	7		
5	0.75		0.25	5		
6	1.00		0.29	4		
7	1.00	2.0	0.40	11	18	
8	0.50		0.52	12		
9	0.75		0.70	18		じわじわ
10	0.50		1.10	40		
11	0.75		1.18	8		
12	1.00		1.25	7		
13	1.00	3.0	1.50	25	12	砂音
14	1.00		1.52	2		
15	1.00	2.0	1.75	23	9	砂音
16	1.00	5.0	2.00	25	20	#
17	1.00	11.0	2.25	25	44	#
18	1.00	4.0	2.50	25	16	#
19	1.00		3.00	50		
20	0.75		3.11	11		じわじわ
21	1.00		3.68	57		無音
22	1.00	1.0	3.75	7	14	#
23	1.00	3.0	4.00	25	12	#
24	1.00	6.0	4.25	25	24	#
25	1.00	6.0	4.50	25	24	#
26	1.00	41.0	4.75	25	164	砂音
27	1.00	50.0	4.92	17	294	#

備考：



# スウェーデン式サウンディング試験

【 報告用紙 】 1/1

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号： S-5

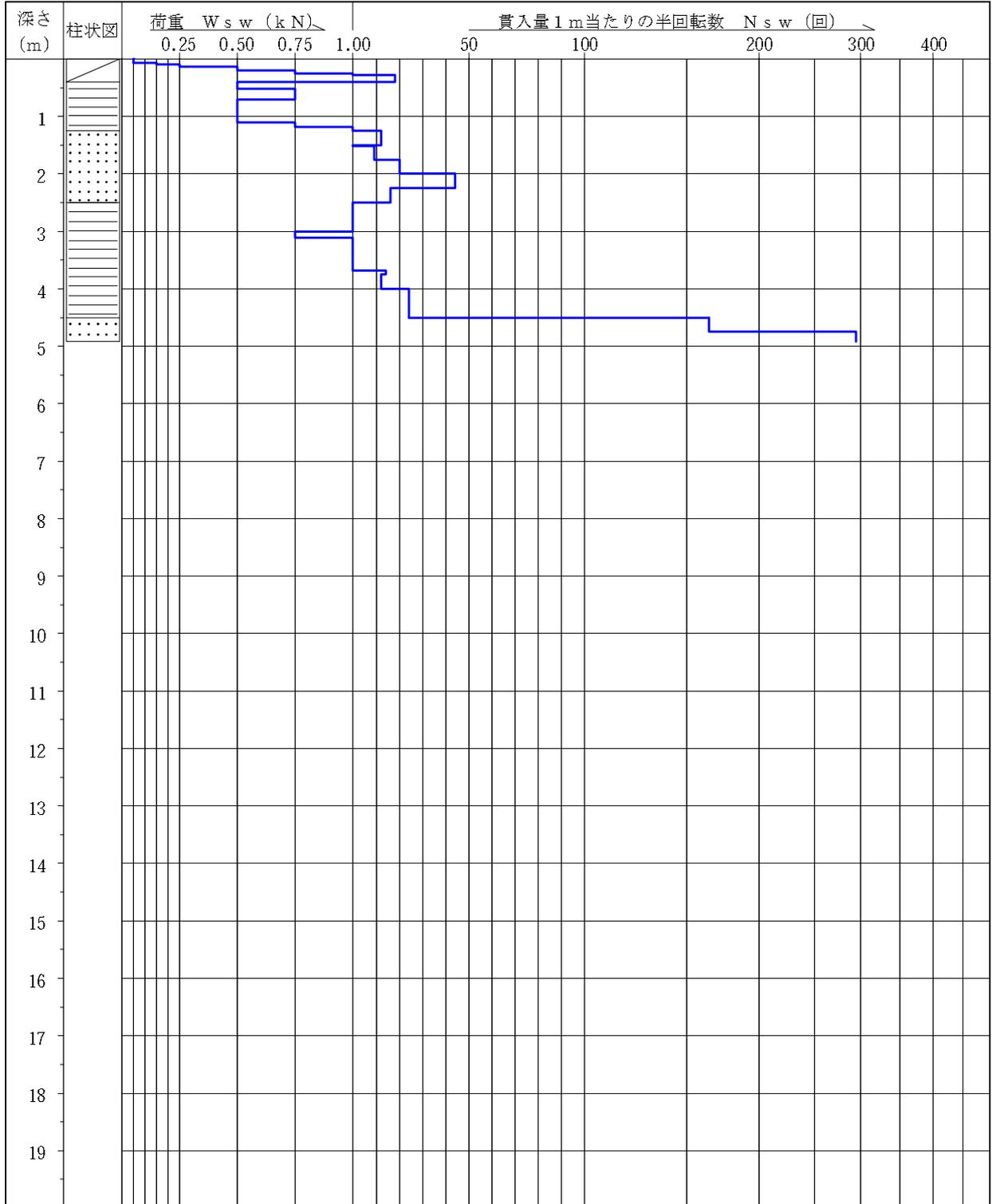
標 高： 3.73

試験者： 朝橋一

調査年月日： 2012年4月25日

天 候： 晴れ

最終貫入深度： 4.92 m



## スウェーデン式サウンディング試験

記録用紙

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号：S-6

標高：3.70

試験者：鵜橋一

調査年月日：2012年4月26日

天候：晴れ

No.	荷重 W <sub>sw</sub> (kN)	半回転数 N <sub>a</sub>	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1 m 当りの 半回転数 N <sub>sw</sub>	記 事
1	0.05		0.07	7		
2	0.15		0.10	3		
3	0.25		0.13	3		
4	0.50		0.19	6		
5	0.75		0.25	6		
6	1.00		0.31	6		
7	1.00	2.0	0.50	19	11	
8	0.50		0.75	25		
9	0.75		1.00	25		じわじわ
10	0.50		1.40	40		
11	0.75		1.50	10		
12	0.50		1.72	22		
13	0.75		1.75	3		
14	1.00	3.0	2.00	25	12	砂音
15	1.00	6.0	2.25	25	24	#
16	1.00	7.0	2.50	25	28	#
17	1.00	1.0	2.60	10	10	#
18	0.75		3.09	49		
19	1.00		3.63	54		
20	1.00	2.0	4.00	37	5	
21	1.00	5.0	4.25	25	20	無音
22	1.00	43.0	4.50	25	172	砂音
23	1.00	50.0	4.67	17	294	#
24	1.00	30.0	4.75	8	375	#
25	1.00	50.0	4.92	17	294	#

備考：



# スウェーデン式サウンディング試験

【 報告用紙 】 1/1

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号： S-6

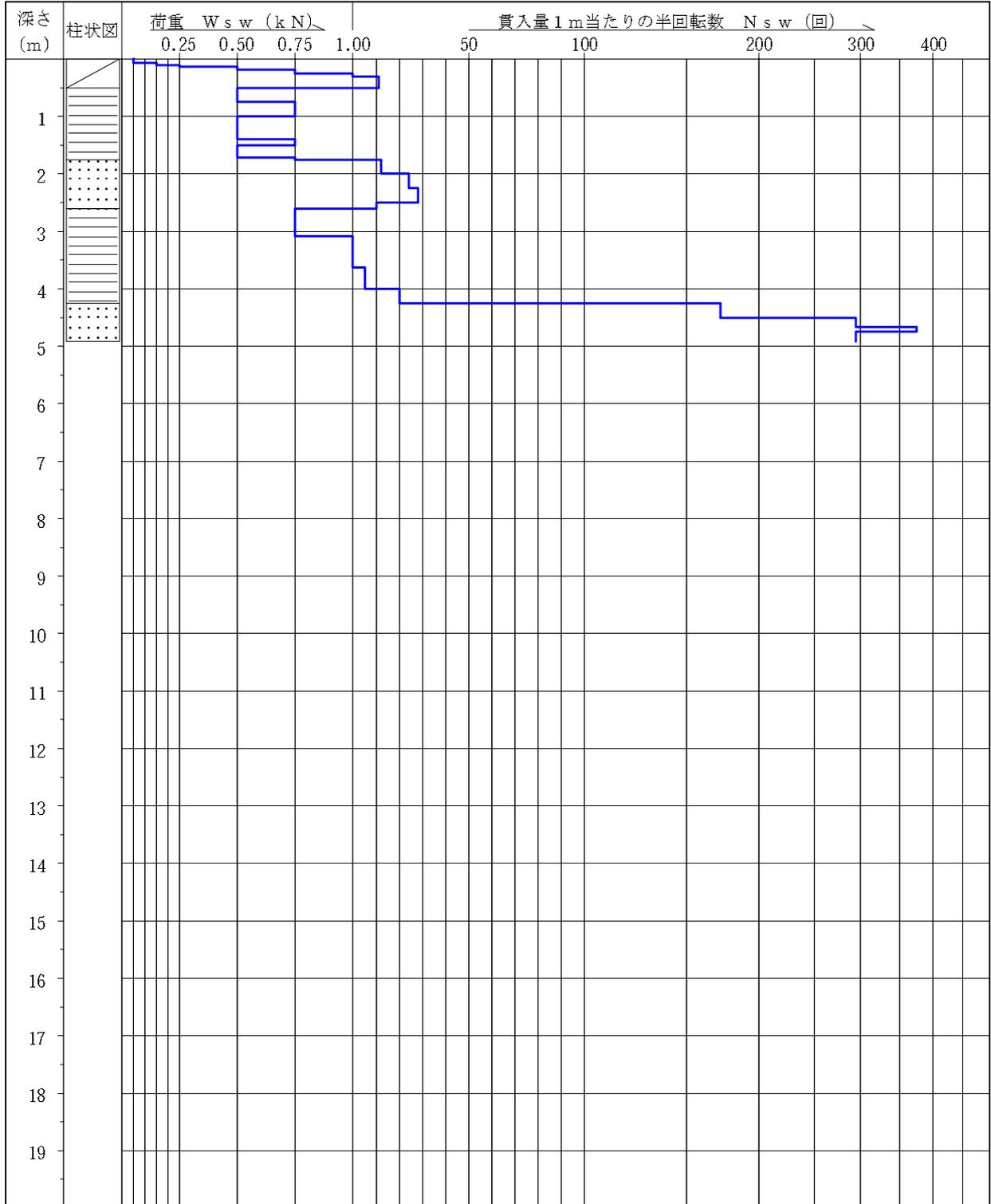
標 高： 3.70

試験者： 朝橋一

調査年月日： 2012年4月26日

天 候： 晴れ

最終貫入深度： 4.92 m



## スウェーデン式サウンディング試験

記録用紙

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号：S-7

標高：6.04

試験者：鶴橋一

調査年月日：2012年4月24日

天候：晴れ

No.	荷重 W <sub>sw</sub> (kN)	半回転数 N <sub>a</sub>	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1 m当りの 半回転数 N <sub>sw</sub>	記 事
1	0.05		0.07	7		
2	0.15		0.13	6		
3	0.25		0.17	4		
4	0.50		0.24	7		
5	0.75		0.28	4		
6	1.00		0.31	3		
7	1.00	3.0	0.50	19	16	
8	1.00	3.0	0.75	25	12	
9	1.00	2.0	0.95	20	10	
10	0.75		1.08	13		無音
11	1.00		1.50	42		
12	1.00	3.0	1.75	25	12	砂音
13	1.00	4.0	2.00	25	16	
14	1.00	7.0	2.25	25	28	礫
15	1.00	6.0	2.50	25	24	#
16	1.00	3.0	2.75	25	12	#
17	1.00		3.03	28		じわじわ
18	1.00	3.0	3.25	22	14	
19	1.00	3.0	3.50	25	12	
20	0.75		3.55	5		じわじわ
21	1.00		3.84	29		#
22	1.00	3.0	4.00	16	19	
23	1.00		4.05	5		じわじわ
24	1.00	4.0	4.25	20	20	無音
25	1.00	7.0	4.50	25	28	#
26	1.00		4.53	3		#
27	1.00	7.0	4.75	22	32	無音
28	1.00	9.0	5.00	25	36	#
29	1.00	11.0	5.25	25	44	#
30	1.00	11.0	5.50	25	44	#
31	1.00	11.0	5.75	25	44	#
32	1.00	13.0	6.00	25	52	#
33	1.00	12.0	6.25	25	48	#
34	1.00	16.0	6.50	25	64	#
35	1.00	16.0	6.75	25	64	#
36	1.00	23.0	7.00	25	92	#
37	1.00	21.0	7.25	25	84	#
38	1.00	21.0	7.50	25	84	#
39	1.00	24.0	7.75	25	96	#
40	1.00	50.0	7.88	13	385	礫音

備考：





# スウェーデン式サウンディング試験

【 報告用紙 】 1/1

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号： S-7

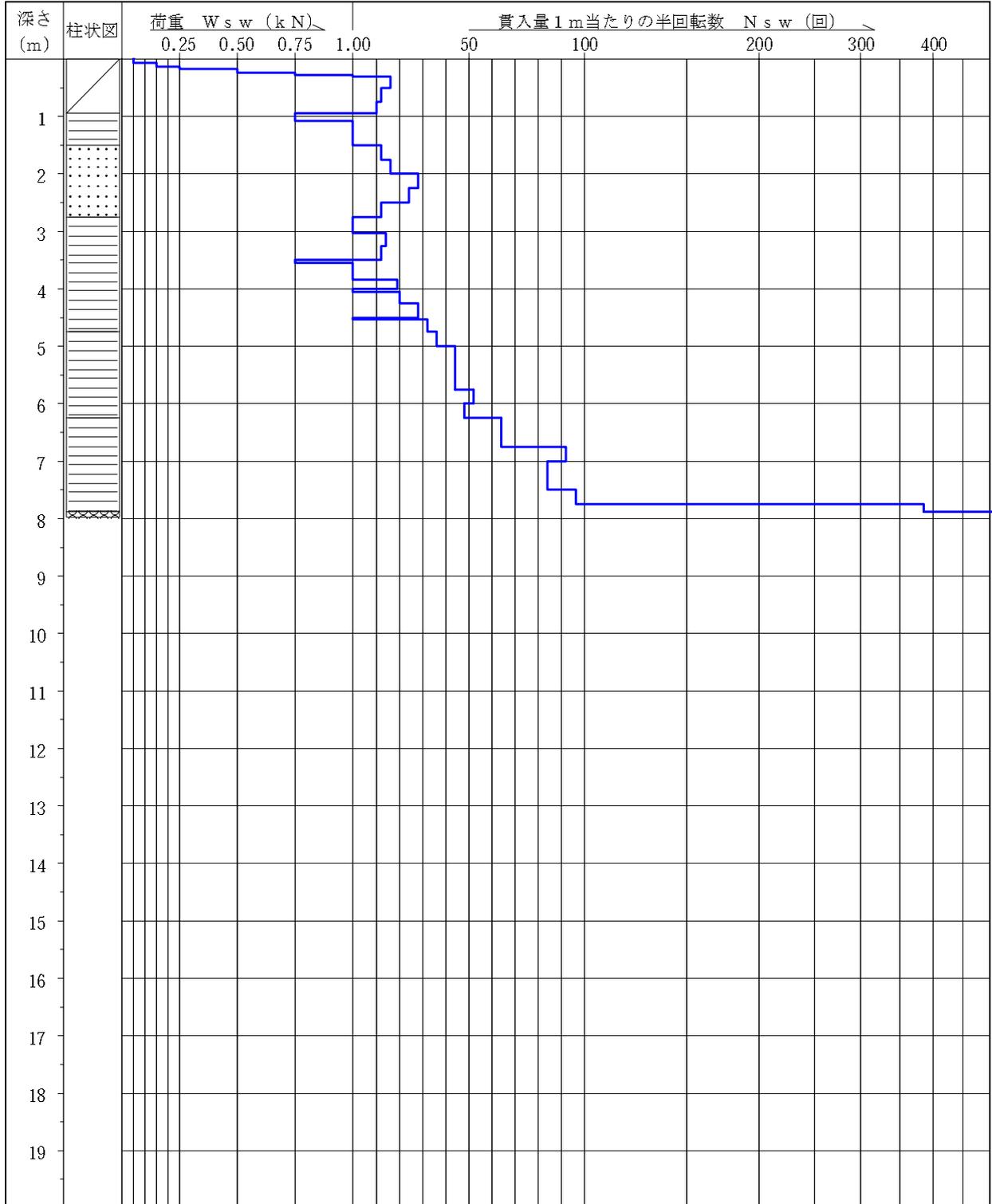
標 高： 6.04

試験者： 朝橋一

調査年月日： 2012年4月24日

天 候： 晴れ

最終貫入深度： 7.98 m



## スウェーデン式サウンディング試験

記録用紙

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号：S-8

標高：4.82

試験者：鶴橋一

調査年月日：2012年4月24日

天候：晴れ

No.	荷重 W <sub>sw</sub> (kN)	半回転数 N <sub>a</sub>	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1 m 当たりの 半回転数 N <sub>sw</sub>	記 事
1	0.05		0.08	8		
2	0.15		0.12	4		
3	0.25		0.14	2		
4	0.50		0.16	2		
5	0.75		0.21	5		
6	1.00		0.26	5		
7	1.00	3.0	0.50	24	13	
8	0.75		0.60	10		
9	0.50		1.60	100		じわじわ
10	0.75		1.77	17		無音
11	1.00		1.81	4		
12	1.00	5.0	2.00	19	26	砂音
13	1.00	14.0	2.25	25	56	#
14	1.00	17.0	2.50	25	68	#
15	1.00	25.0	2.75	25	100	#
16	1.00	27.0	3.00	25	108	#
17	1.00	27.0	3.25	25	108	#
18	1.00	36.0	3.50	25	144	礫
19	1.00	5.0	3.55	5	100	
20	1.00		4.50	95		じわじわ
21	1.00	3.0	4.75	25	12	
22	1.00	3.0	5.00	25	12	
23	1.00		5.14	14		
24	1.00	2.0	5.25	11	18	無音
25	1.00	5.0	5.50	25	20	#
26	1.00	10.0	5.75	25	40	#
27	1.00	17.0	6.00	25	68	#
28	1.00	24.0	6.25	25	96	砂音
29	1.00	30.0	6.50	25	120	#
30	1.00	50.0	6.64	14	357	#

備考：



# スウェーデン式サウンディング試験

【 報告用紙 】 1/1

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号： S-8

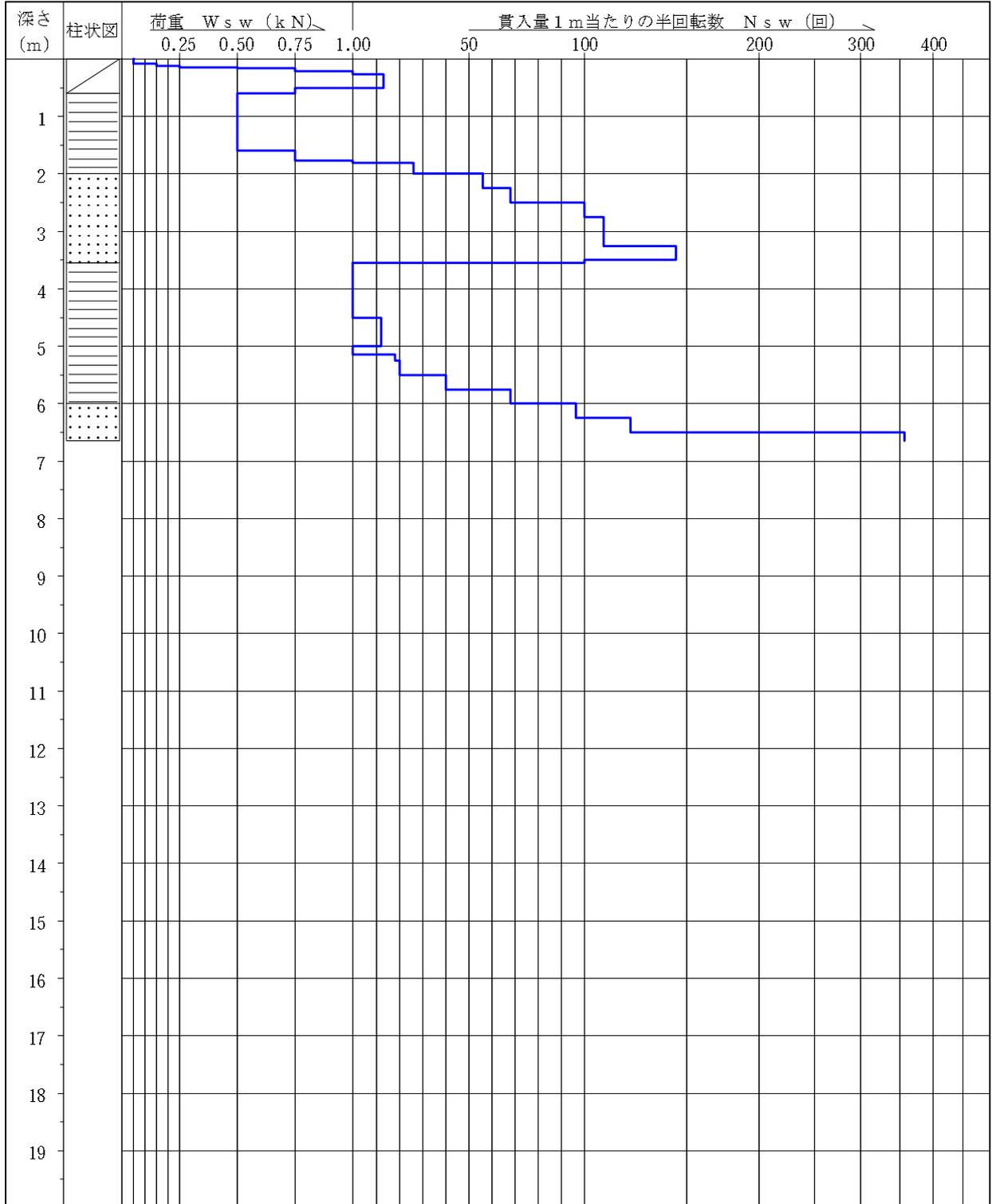
標 高： 4.82

試験者： 朝橋一

調査年月日： 2012年4月24日

天 候： 晴れ

最終貫入深度： 6.64 m



スウェーデン式サウンディング試験	記録用紙
------------------	------

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務  
 測点番号：S-9 標高：4.00 試験者：鵜橋一  
 調査年月日：2012年4月26日 天候：晴れ

No.	荷重 W <sub>sw</sub> (kN)	半回転数 N <sub>a</sub>	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1 m 当たり の半回転数 N <sub>sw</sub>	記 事
1	0.05		0.05	5		
2	0.15		0.13	8		
3	0.25		0.15	2		
4	0.50		0.19	4		
5	0.75		0.25	6		
6	1.00		0.35	10		
7	1.00	2.0	0.50	15	13	
8	1.00		0.75	25		
9	0.75		1.00	25		
10	1.00		1.04	4		
11	1.00	2.0	1.25	21	10	じわじわ
12	1.00	4.0	1.50	25	16	無音
13	1.00	4.0	1.75	25	16	
14	1.00	8.0	2.00	25	32	ややしぶい
15	1.00	2.0	2.25	25	8	
16	1.00		2.35	10		
17	1.00	2.0	2.50	15	13	
18	1.00		2.75	25		
19	1.00	3.0	3.00	25	12	
20	1.00		3.06	6		
21	1.00	2.0	3.25	19	11	
22	1.00	5.0	3.50	25	20	
23	1.00		3.54	4		
24	1.00	4.0	3.75	21	19	じわじわ
25	1.00	6.0	4.00	25	24	
26	1.00	8.0	4.25	25	32	
27	1.00	10.0	4.50	25	40	
28	1.00	12.0	4.75	25	48	
29	1.00	24.0	5.00	25	96	砂音
30	1.00	58.0	5.25	25	232	＃
31	1.00	75.0	5.50	25	300	＃

備 考：



# スウェーデン式サウンディング試験

【 報告用紙 】 1/1

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号： S-9

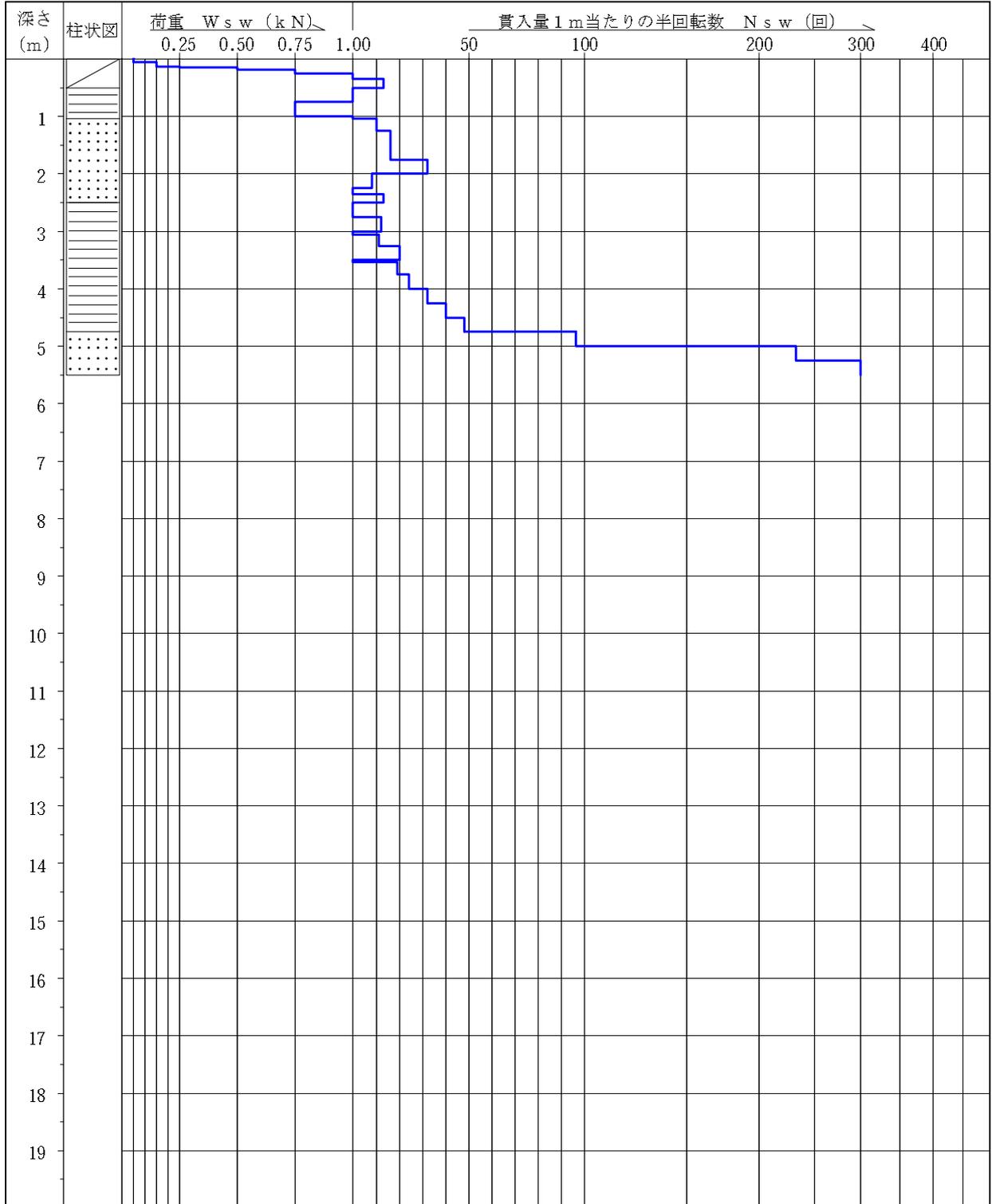
標 高： 4.00

試験者： 朝橋一

調査年月日： 2012年4月26日

天 候： 晴れ

最終貫入深度： 5.50 m



調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務		
測点番号：S-10	標高：3.96	試験者：鶴橋一
調査年月日：2012年4月26日		天候：晴れ

No.	荷重 W <sub>sw</sub> (kN)	半回転数 N <sub>a</sub>	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1 m 当りの 半回転数 N <sub>sw</sub>	記 事
1	0.05		0.08	8		
2	0.25		0.10	2		
3	0.50		0.13	3		
4	0.75		0.15	2		
5	1.00		0.17	2		
6	1.00	1.0	0.25	8	13	
7	1.00	2.0	0.50	25	8	
8	1.00		0.78	28		じわじわ
9	1.00	2.0	0.85	7	29	無音
10	0.75		1.00	15		
11	1.00		1.04	4		
12	0.75		1.50	46		
13	1.00		1.51	1		
14	1.00	4.0	1.75	24	17	
15	1.00	3.0	2.00	25	12	ややしぶい
16	1.00	2.0	2.25	25	8	
17	0.75		2.58	33		
18	1.00		2.63	5		
19	1.00	1.0	2.75	12	8	
20	0.75		3.25	50		
21	1.00		3.50	25		
22	1.00	3.0	3.75	25	12	
23	1.00	3.0	4.00	25	12	
24	1.00	4.0	4.25	25	16	
25	1.00	26.0	4.50	25	104	砂音
26	1.00	50.0	4.67	17	294	＃
27	1.00	14.0	4.75	8	175	＃
28	1.00	29.0	5.00	25	116	＃
29	1.00	64.0	5.25	25	256	＃
30	1.00	50.0	5.38	13	385	＃

備考：



# スウェーデン式サウンディング試験

【 報告用紙 】 1/1

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号： S-10

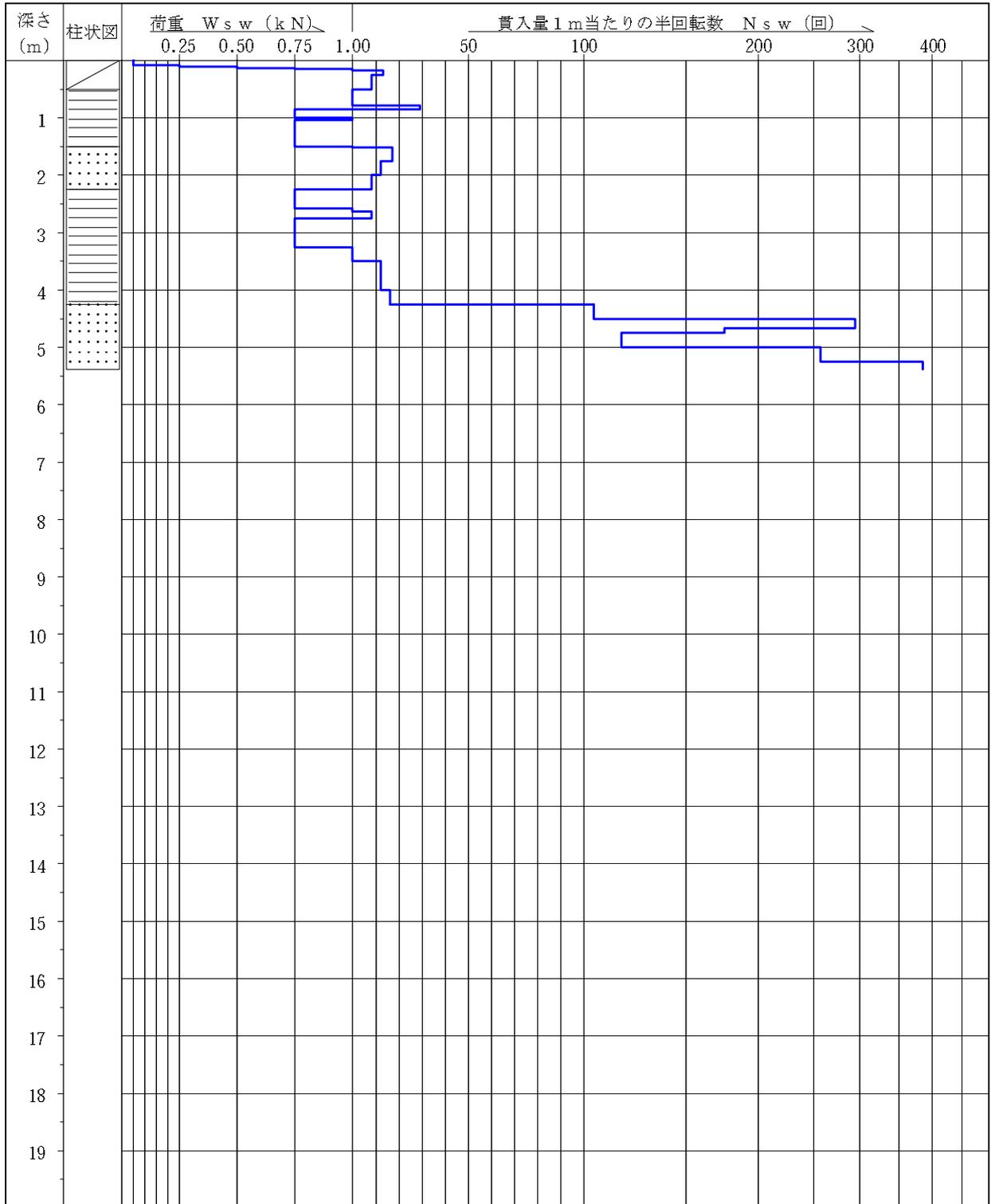
標 高： 3.96

試験者： 朝橋一

調査年月日： 2012年4月26日

天 候： 晴れ

最終貫入深度： 5.38 m



## スウェーデン式サウンディング試験

記録用紙

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号：S-11

標高：5.46

試験者：鶴橋一

調査年月日：2012年4月24日

天候：晴れ

No.	荷重 W <sub>sw</sub> (kN)	半回転数 N <sub>a</sub>	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1 m当りの 半回転数 N <sub>sw</sub>	記 事
1	0.05		0.12	12		
2	0.15		0.14	2		
3	0.25		0.17	3		
4	0.50		0.31	14		
5	0.75		0.50	19		
6	0.25		0.78	28		
7	0.50		1.61	83		
8	0.75		2.00	39		
9	0.50		2.05	5		
10	0.75		3.21	116		
11	1.00		3.27	6		
12	1.00	6.0	3.50	23	26	砂音
13	1.00	7.0	3.75	25	28	#
14	1.00	3.0	4.00	25	12	#
15	1.00		4.56	56		じわじわ
16	1.00	2.0	4.75	19	11	
17	1.00		4.86	11		じわじわ
18	1.00	2.0	5.00	14	14	
19	1.00	3.0	5.25	25	12	
20	1.00		5.45	20		
21	1.00	1.0	5.50	5	20	
22	1.00	5.0	5.75	25	20	
23	1.00	8.0	6.00	25	32	
24	1.00	7.0	6.25	25	28	
25	1.00	6.0	6.50	25	24	
26	1.00	8.0	6.75	25	32	
27	1.00	10.0	7.00	25	40	無音
28	1.00	13.0	7.25	25	52	#
29	1.00	32.0	7.50	25	128	#
30	1.00	23.0	7.75	25	92	#
31	1.00	12.0	8.00	25	48	
32	1.00	14.0	8.25	25	56	
33	1.00	18.0	8.50	25	72	
34	1.00	22.0	8.75	25	88	
35	1.00	23.0	9.00	25	92	
36	1.00	47.0	9.25	25	188	礫音

備考：



# スウェーデン式サウンディング試験

【 報告用紙 】 1/1

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号： S-11

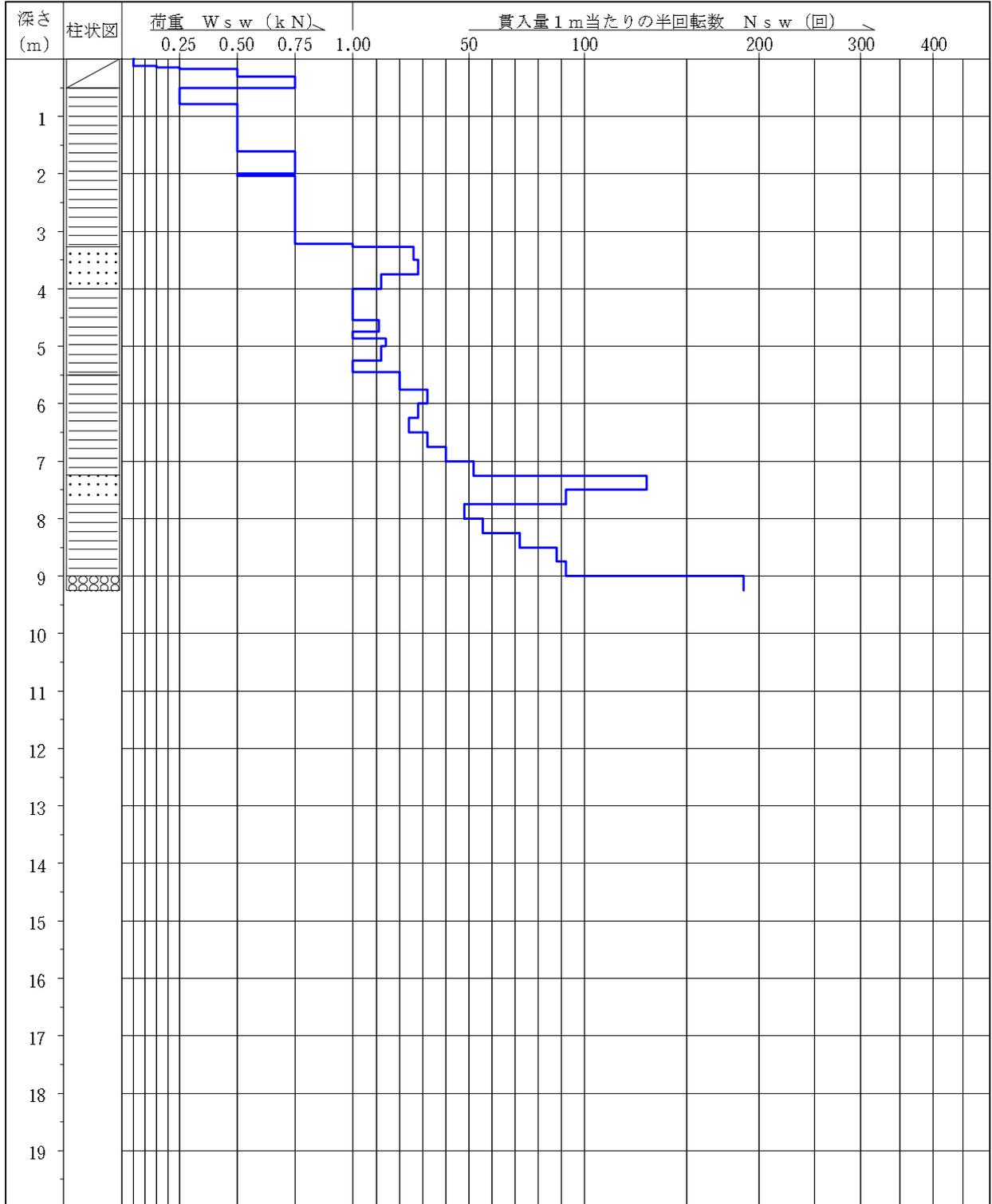
標 高： 5.46

試験者： 朝橋一

調査年月日： 2012年4月24日

天 候： 晴れ

最終貫入深度： 9.25 m







# スウェーデン式サウンディング試験

【 報告用紙 】 1/1

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号： S-12

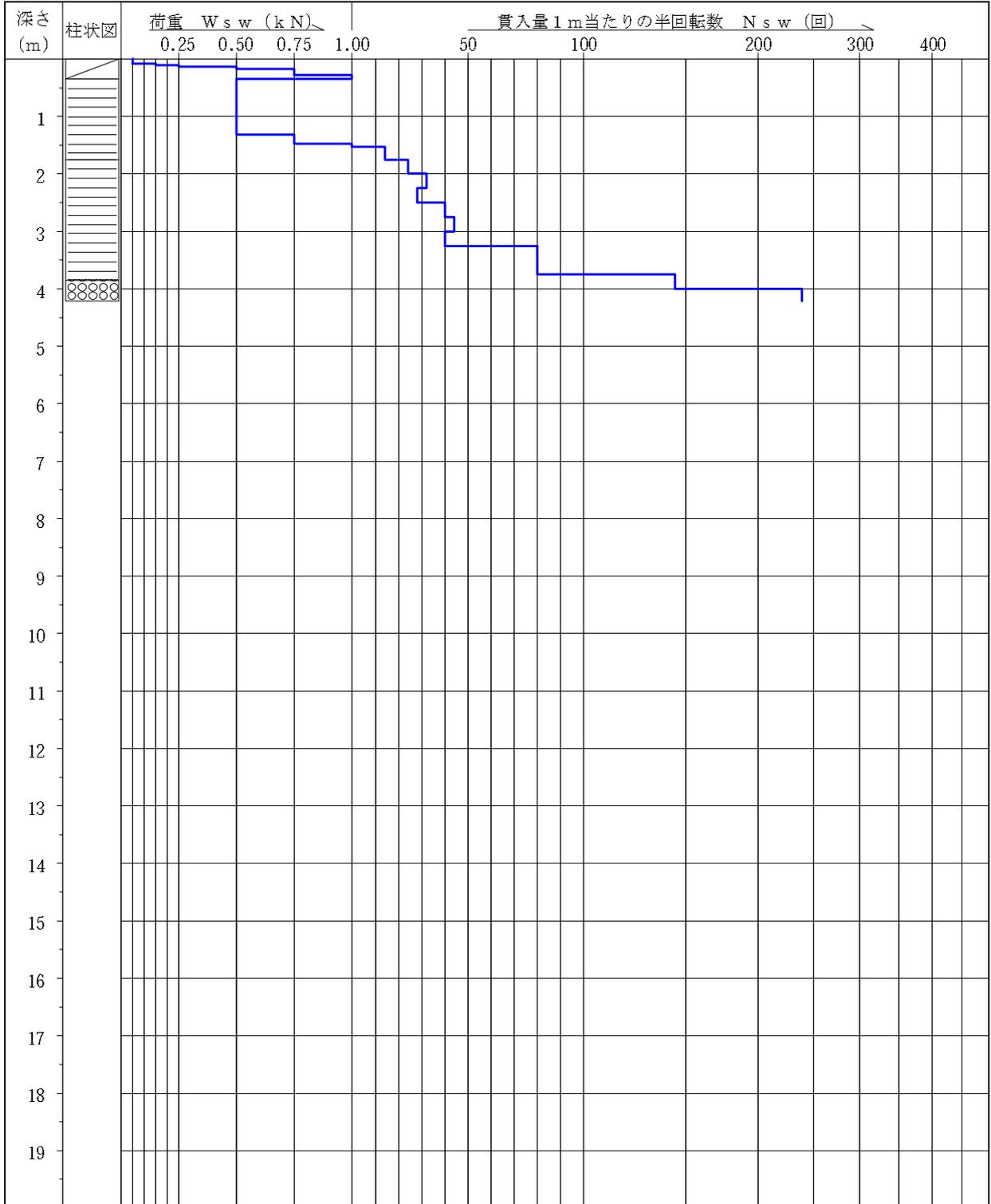
標 高： 4.85

試験者： 朝橋一

調査年月日： 2012年4月25日

天 候： 晴れ

最終貫入深度： 4.21 m



## スウェーデン式サウンディング試験

記録用紙

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号：S-13

標高：4.04

試験者：鵜橋一

調査年月日：2012年4月26日

天候：晴れ

No.	荷重 W <sub>sw</sub> (kN)	半回転数 N <sub>a</sub>	貫入深さ D (m)	貫入量 L (cm)	1 m当りの 半回転数 N <sub>sw</sub>	記 事
1	0.05		0.11	11		
2	0.15		0.15	4		
3	0.25		0.18	3		
4	0.50		0.25	7		
5	0.75		0.30	5		
6	1.00		0.41	11		
7	1.00	2.0	0.50	9	22	
8	0.75		0.52	2		
9	1.00		0.66	14		じわじわ
10	1.00	2.0	0.75	9	22	無音
11	1.00	4.0	1.00	25	16	
12	1.00	4.0	1.25	25	16	
13	0.50		1.57	32		
14	0.75		1.75	18		
15	1.00		1.80	5		#
16	1.00	5.0	2.00	20	25	#
17	1.00	4.0	2.25	25	16	#
18	1.00		2.31	6		
19	1.00	7.0	2.50	19	37	砂音
20	1.00	13.0	2.75	25	52	#
21	1.00	16.0	3.00	25	64	#
22	1.00	16.0	3.25	25	64	#
23	1.00	26.0	3.50	25	104	#
24	1.00	2.0	3.75	25	8	無音
25	1.00	3.0	4.00	25	12	#
26	1.00	4.0	4.25	25	16	#
27	1.00	11.0	4.50	25	44	砂音
28	1.00	12.0	4.75	25	48	#
29	1.00	39.0	5.00	25	156	#
30	1.00	50.0	5.13	13	385	#
31	1.00	50.0	5.25	12	417	#

備考：



# スウェーデン式サウンディング試験

【 報告用紙 】 1/1

調査名・調査地点：仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

測点番号： S-13

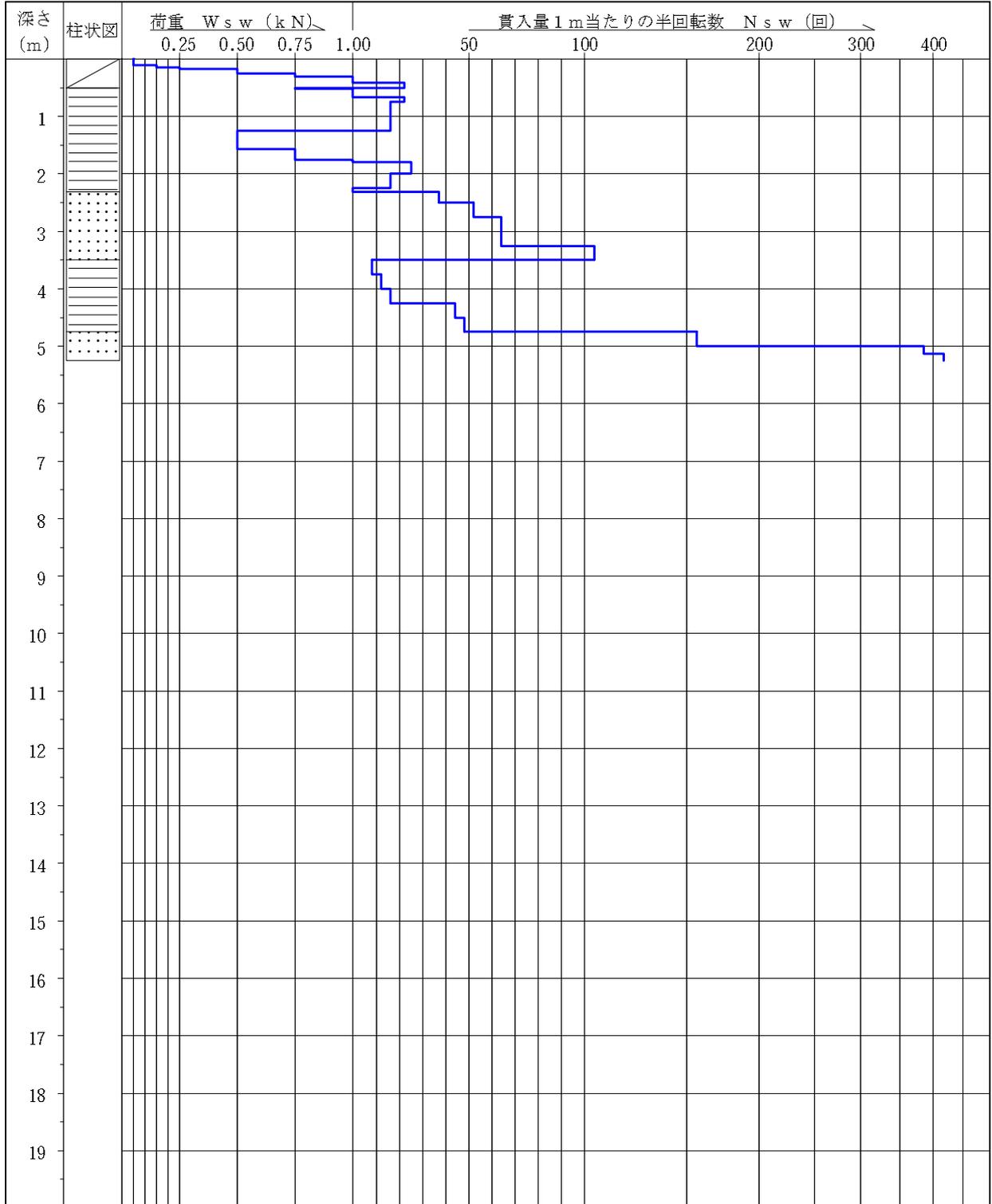
標 高： 4.04

試験者： 朝橋一

調査年月日： 2012年4月26日

天 候： 晴れ

最終貫入深度： 5.25 m



土質試験結果一覧表（基礎地盤）

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

整理年月日 平成 24年 5月 14日

整理担当者 寺岡 貴史

試料番号 (深さ)		T3-1 (0.60~1.40m)	T3-2 (2.50~3.30m)			
一般	湿潤密度 $\rho_r$ g/cm <sup>3</sup>	1.443	1.162			
	乾燥密度 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>	0.755	0.347			
	土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.563	2.041			
	自然含水比 $w_n$ %	90.5	233.0			
	間隙比 $e$	2.395	4.882			
	飽和度 $S_r$ %	96.8	97.4			
粒度	石分 (75mm以上) %					
	礫分 <sup>1)</sup> (2~75mm) %	0.0	0.0			
	砂分 <sup>1)</sup> (0.075~2mm) %	0.8	4.0			
	シルト分 <sup>1)</sup> (0.005~0.075mm) %	52.0	42.5			
	粘土分 <sup>1)</sup> (0.005mm未満) %	47.2	53.5			
	最大粒径 mm	2	2			
	均等係数 $U_c$	-	-			
ロレンツィン曲線特性	液性限界 $w_L$ %	105.3	273.1			
	塑性限界 $w_p$ %	46.6	105.1			
	塑性指数 $I_p$	58.7	168.0			
分類	地盤材料の 分類名	シルト (高液性限界)	有機質粘土 (高液性限界)			
	分類記号	(MH)	(OH)			
	試験方法	段階載荷	段階載荷			
圧密	圧縮指数 $C_c$	0.97	2.61			
	圧密降伏応力 $p_0$ kN/m <sup>2</sup>	39.0	64.2			
一軸圧縮	一軸圧縮強さ $q_u$ kN/m <sup>2</sup>	31.4	99.2			
		28.1	92.0			
せん断	試験条件					
	全応力	$c$ kN/m <sup>2</sup>				
		$\phi$ °				
	有効応力	$c'$ kN/m <sup>2</sup>				
$\phi'$ °						

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料に対する百分率で表す。

[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.102kgf/cm<sup>2</sup>]

JIS A 1225	土の湿潤密度試験 (ノギス法)	
------------	-----------------	--

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
 組合設立認可申請書作成業務 試験年月日 平成 24年 4月 25日

試料番号 (深さ) T3-1 (0.60~1.40m) 試験者 寺岡 貴史

供試体 No			1	2		
供試体の質量 $m$ g			280.54	286.08		
供試体	直	上部 cm	5.000	5.000		
		中部 cm	5.000	5.000		
	径	下部 cm	5.000	5.000		
		平均値 $D$ cm	5.000	5.000		
体積	高さ	cm	10.000	10.000		
		cm	10.000	10.000		
	平均値 $H$ cm	10.000	10.000			
体積 $V = (\pi D^2 / 4) H$ cm <sup>3</sup>			196.35	196.35		
含水	容器 No					
	$m_a$ g		280.54	286.08		
	$m_b$ g		144.91	151.52		
	$m_c$ g					
水比	$w$ %		93.6	88.8		
	容器 No					
	$m_a$ g					
	$m_b$ g					
$m_c$ g						
$w$ %						
平均値 $w$ %			93.6	88.8		
湿潤密度 $\rho_t = m/V$ g/cm <sup>3</sup>			1.429	1.457		
乾燥密度 $\rho_s = \rho_t / (1 + w/100)$ g/cm <sup>3</sup>			0.738	0.772		
間隙比 $e = (\rho_s / \rho_s) - 1$			2.473	2.320		
飽和度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ %			97.0	98.1		
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>			2.563	平均値 $w$ %	91.2	平均値 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup> 1.443
平均値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>			0.755	平均値 $e$	2.397	平均値 $S_r$ % 97.6

特記事項

JIS A 1225	土の湿潤密度試験（ノギス法）	
------------	----------------	--

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
 組合設立認可申請書作成業務 試験年月日 平成 24年 4月 25日

試料番号（深さ） T3-2（2.50～3.30m） 試験者 寺岡 貴史

供試体 No			1	2			
供試体の質量 $m$ g			227.23	229.18			
供試体	直	上部 cm	5.000	5.000			
		中部 cm	5.000	5.000			
		下部 cm	5.000	5.000			
		平均値 $D$ cm	5.000	5.000			
	高さ	cm	10.000	10.000			
		cm	10.000	10.000			
		平均値 $H$ cm	10.000	10.000			
	体積 $V = (\pi D^2 / 4) H$ cm <sup>3</sup>			196.35	196.35		
	含水	容器 No					
		$m_a$ g		227.23	229.18		
$m_b$ g		67.09	69.09				
$m_c$ g							
$w$ %		238.7	231.7				
水比	容器 No						
	$m_a$ g						
	$m_b$ g						
	$m_c$ g						
	$w$ %						
平均値 $w$ %			238.7	231.7			
湿潤密度 $\rho_t = m/V$ g/cm <sup>3</sup>			1.157	1.167			
乾燥密度 $\rho_s = \rho_t / (1 + w/100)$ g/cm <sup>3</sup>			0.342	0.352			
間隙比 $e = (\rho_s / \rho_s) - 1$			4.968	4.798			
飽和度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ %			98.1	98.6			
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>			2.041	平均値 $w$ %	235.2	平均値 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup> 1.162	
平均値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>			0.347	平均値 $e$	4.883	平均値 $S_r$ % 98.4	

特記事項

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
 組合設立認可申請書作成業務 試験年月日 平成 24年 5月 1日

試 験 者 寺岡 貴史

試料番号 (深さ)		T3-1 (0.60~1.40m)			T3-2 (2.50~3.30m)		
ピクノメーター No		228	248	210	315	316	363
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 $m_b$ g		159.339	157.809	158.374	153.125	153.890	151.999
$m_b$ をはかったときの内容物の温度 $T$ °C		20.0	20.0	20.0	22.1	22.1	22.1
$T$ °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm <sup>3</sup>		0.99820	0.99820	0.99820	0.99775	0.99775	0.99775
温度 $T$ °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_s^{(1)}$ g		146.016	144.718	145.462	151.431	151.947	150.678
試料の 炉乾燥質量	容 器 No	228	248	210	315	316	363
	(炉乾燥試料+容器)質量g	58.431	57.026	58.530	44.518	45.825	43.378
	容 器 質 量 g	36.606	35.583	37.386	41.189	42.039	40.792
$m_s$ g		21.825	21.443	21.144	3.329	3.786	2.586
土 粒 子 の 密 度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.562	2.563	2.564	2.032	2.050	2.040
平 均 値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.563			2.041		
試料番号 (深さ)							
ピクノメーター No							
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 $m_b$ g							
$m_b$ をはかったときの内容物の温度 $T$ °C							
$T$ °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm <sup>3</sup>							
温度 $T$ °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_s^{(1)}$ g							
試料の 炉乾燥質量	容 器 No						
	(炉乾燥試料+容器)質量g						
	容 器 質 量 g						
$m_s$ g							
土 粒 子 の 密 度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>							
平 均 値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>							
試料番号 (深さ)							
ピクノメーター No							
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 $m_b$ g							
$m_b$ をはかったときの内容物の温度 $T$ °C							
$T$ °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm <sup>3</sup>							
温度 $T$ °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_s^{(1)}$ g							
試料の 炉乾燥質量	容 器 No						
	(炉乾燥試料+容器)質量g						
	容 器 質 量 g						
$m_s$ g							
土 粒 子 の 密 度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>							
平 均 値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>							

特記事項

1) ピクノメーターの検定結果から求める。

$$\rho_s = \frac{m_s}{m_s + (m_b - m_s)} \times \rho_w(T)$$

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 5月 2日

試験者 寺岡 貴史

試料番号 (深さ)	T3-1 (0.60~1.40m)			T3-2 (2.50~3.30m)		
容器 No.	97	287	306	64	210	381
$m_a$ g	90.17	76.82	94.04	62.69	63.06	66.37
$m_b$ g	60.30	53.17	62.21	37.48	37.80	39.08
$m_c$ g	26.97	27.18	27.23	26.62	27.22	27.12
$w$ %	89.62	91.00	90.99	232.14	238.75	228.18
平均値 $w$ %	90.5			233.0		
特記事項						

試料番号 (深さ)						
容器 No.						
$m_a$ g						
$m_b$ g						
$m_c$ g						
$w$ %						
平均値 $w$ %						
特記事項						

試料番号 (深さ)						
容器 No.						
$m_a$ g						
$m_b$ g						
$m_c$ g						
$w$ %						
平均値 $w$ %						
特記事項						

試料番号 (深さ)						
容器 No.						
$m_a$ g						
$m_b$ g						
$m_c$ g						
$w$ %						
平均値 $w$ %						
特記事項						

試料番号 (深さ)						
容器 No.						
$m_a$ g						
$m_b$ g						
$m_c$ g						
$w$ %						
平均値 $w$ %						
特記事項						

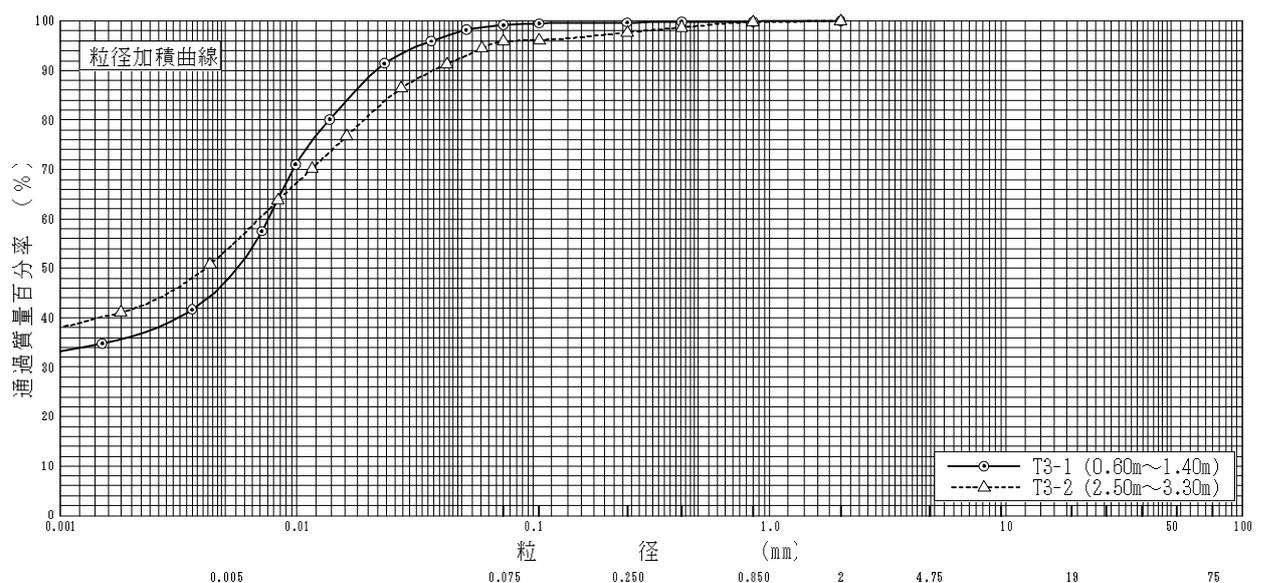
$$w = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$$

$m_a$  : (試料 + 容器)質量  
 $m_b$  : (炉乾燥試料 + 容器)質量  
 $m_c$  : 容器質量

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業 試験年月日 平成 24年 5月 7日  
 組合設立認可申請書作成業務

試 験 者 寺 岡 貴 史

試料番号 (深 さ)	T3-1 (0.60~1.40m)		T3-2 (2.50~3.30m)		試 料 番 号 (深 さ)	T3-1 (0.60~1.40m)	T3-2 (2.50~3.30m)																																							
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%		粗 礫 分 %	中 礫 分 %	細 礫 分 %	粗 砂 分 %	中 砂 分 %	細 砂 分 %	シ ル ト 分 %	粘 土 分 %	2mmふるい通過質量百分率 %	425μmふるい通過質量百分率 %	75μmふるい通過質量百分率 %	最大 粒 径 mm	60 % 粒 径 $D_{60}$ mm	50 % 粒 径 $D_{50}$ mm	30 % 粒 径 $D_{30}$ mm	10 % 粒 径 $D_{10}$ mm	均 等 係 数 $U_c$	曲 率 係 数 $U_c'$	土 粒 子 の 密 度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	使用した分散剤	溶液濃度, 溶液添加量	20 % 粒 径 $D_{20}$ mm																			
ふる い 分 析	7E		7E		粗 礫 分 %	-	-	中 礫 分 %	-	-	細 礫 分 %	-	-	粗 砂 分 %	0.1	0.2	中 砂 分 %	0.2	2.1	細 砂 分 %	0.5	1.7	シ ル ト 分 %	52.0	42.5	粘 土 分 %	47.2	53.5	2mmふるい通過質量百分率 %	100.0	100.0	425μmふるい通過質量百分率 %	99.8	98.7	75μmふるい通過質量百分率 %	99.2	96.0	最大 粒 径 mm	2	2	60 % 粒 径 $D_{60}$ mm	0.0076	0.0069	50 % 粒 径 $D_{50}$ mm	0.0056	0.0041
	5E		5E		30 % 粒 径 $D_{30}$ mm	-	-	10 % 粒 径 $D_{10}$ mm	-	-	均 等 係 数 $U_c$	-	-	曲 率 係 数 $U_c'$	-	-	土 粒 子 の 密 度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.563	2.041	使用した分散剤	ヘキサメチル酸トリウム	ヘキサメチル酸トリウム	溶液濃度, 溶液添加量	飽和溶液, 10ml	飽和溶液, 10ml	20 % 粒 径 $D_{20}$ mm	-	-																		
	37.5		37.5		0.0521	98.2	0.0607	94.5	0.0370	95.9	0.0432	91.3	0.0235	91.4	0.0276	86.4	0.0138	80.1	0.0162	76.7	0.0099	71.0	0.0116	70.2	0.0071	57.5	0.0083	63.7	0.0036	41.6	0.0043	50.8	0.0015	34.8	0.0018	41.1										
	2E		2E		0.0015	34.8	0.0018	41.1																																						
	2	100.0	2	100.0	20 % 粒 径 $D_{20}$ mm	-	-																																							
	0.85C	99.9	0.85C	99.8	10 % 粒 径 $D_{10}$ mm	-	-																																							
	0.42E	99.8	0.42E	98.7	均 等 係 数 $U_c$	-	-																																							
	0.25C	99.7	0.25C	97.7	曲 率 係 数 $U_c'$	-	-																																							
	0.10E	99.5	0.10E	96.2	土 粒 子 の 密 度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.563	2.041																																							
	0.07E	99.2	0.07E	96.0	使用した分散剤	ヘキサメチル酸トリウム	ヘキサメチル酸トリウム																																							
					溶液濃度, 溶液添加量	飽和溶液, 10ml	飽和溶液, 10ml																																							
					20 % 粒 径 $D_{20}$ mm	-	-																																							



粘 土      シ ル ト      細 砂      中 砂      粗 砂      細 礫      中 礫      粗 礫

特記事項

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 5月 9日

試験者 寺岡 貴史

試料番号(深さ) T3-1 (0.60~1.40m)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		105.3
47	98.6	46.6	塑性限界 $w_p$ %	46.6
34	102.1	46.4		塑性指数 $I_p$
28	104.0	46.7		58.7
24	105.8			
18	108.7			

試料番号(深さ) T3-2 (2.50~3.30m)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		273.1
33	268.1	105.7	塑性限界 $w_p$ %	105.1
26	272.6	105.4		塑性指数 $I_p$
20	276.8	104.1		168.0
17	279.5			
14	283.9			

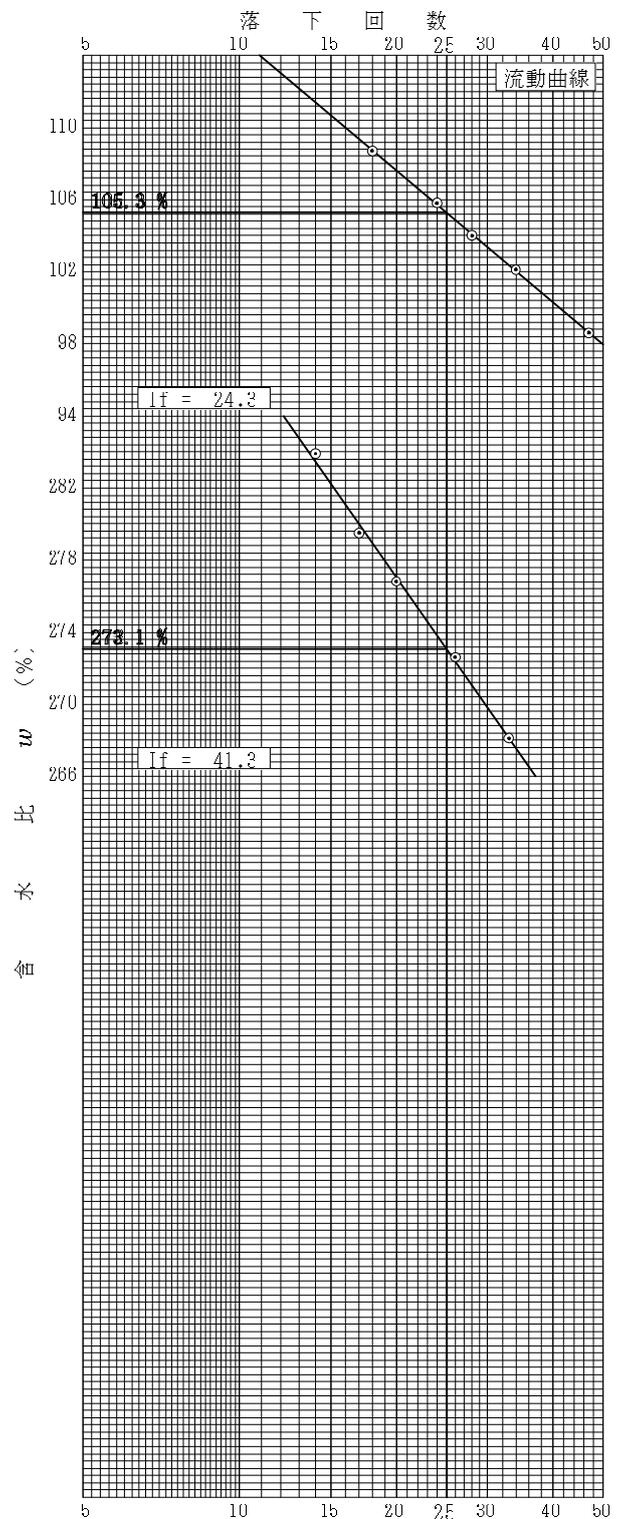
試料番号(深さ)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
			塑性限界 $w_p$ %	
			塑性指数 $I_p$	

試料番号(深さ)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
			塑性限界 $w_p$ %	
			塑性指数 $I_p$	

特記事項



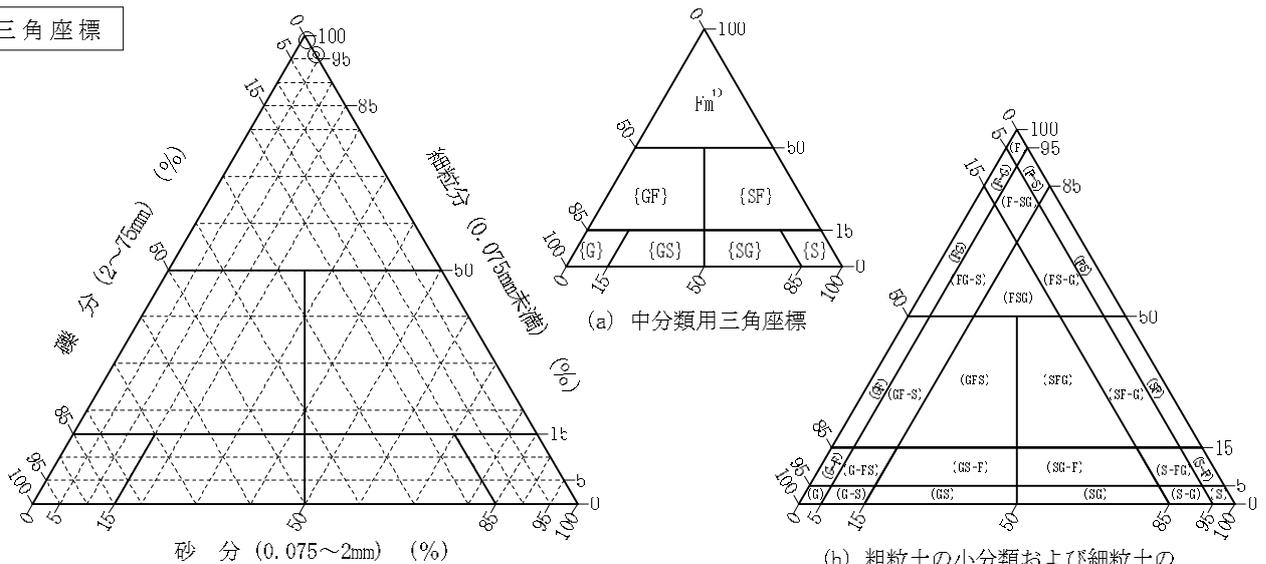
調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 5月 9日

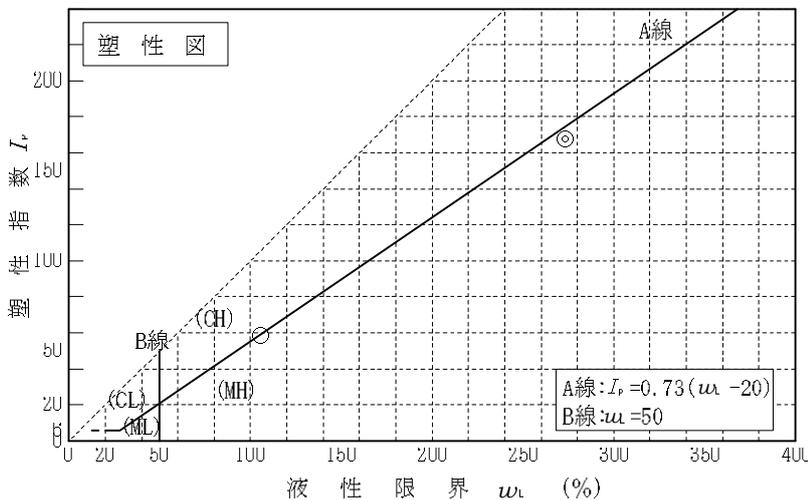
試験者 寺岡 貴史

試料番号 (深さ)	T3-1 (0.60~1.40m)	T3-2 (2.50~3.30m)			
石分(75mm以上) %					
礫分(2~75mm) %	0.0	0.0			
砂分(0.075~2mm) %	0.8	4.0			
細粒分(0.075mm未満) %	99.2	96.0			
シルト分(0.005~0.075mm)%	52.0	42.5			
粘土分(0.005mm未満) %	47.2	53.5			
最大粒径 mm	2	2			
均等係数 $U_c$	-	-			
液性限界 $w_L$ %	105.3	273.1			
塑性限界 $w_p$ %	46.6	105.1			
塑性指数 $I_p$	58.7	168.0			
地盤材料の分類名	シルト (高液性限界)	有機質粘土 (高液性限界)			
分類記号	(MH)	(OH)			
凡例記号	○	◎			

三角座標



(b) 粗粒土の小分類および細粒土の細分類用三角座標



特記事項 1) 主に観察と塑性図で判別分類

JIS A 1216  
JGS 0511

土の一軸圧縮試験(強度・変形特性)

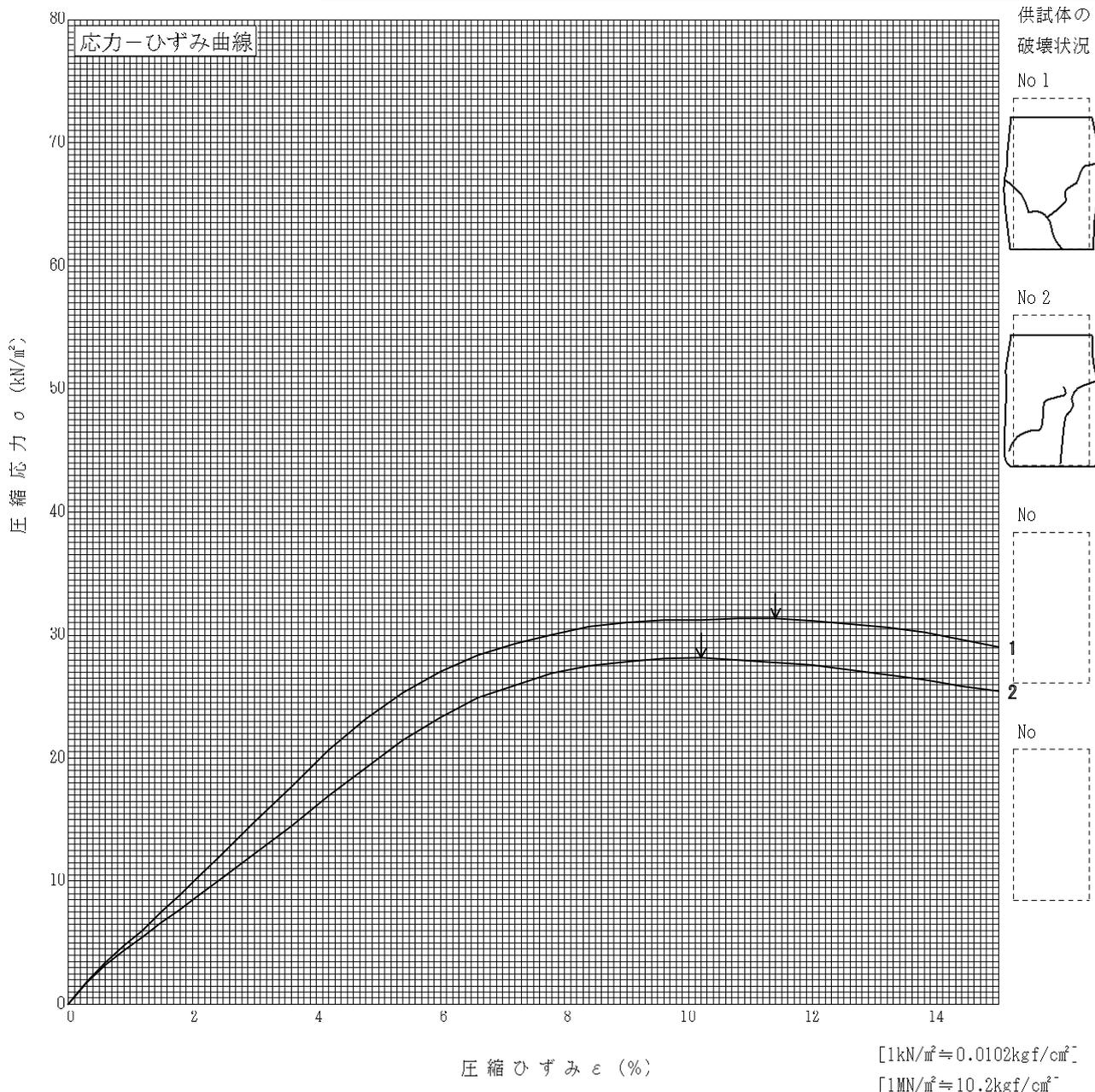
調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 25日

試料番号(深さ) T3-1 (0.60~1.40m)

試験者 石川 慎平

土質名称	液性限界 $w_L$ (%)	塑性限界 $w_P$ (%)	ひずみ速度 %/min	特記事項 1) 必要に応じて記載する。	供試体 No	1	2
	105.3	46.6	1.0	$E_{50} = \frac{q_0}{\frac{2}{\epsilon_{50}} / 10}$	試料の状態	乱さない	乱さない
					高さ $h$ cm	10.00	10.00
					直径 $D$ cm	5.00	5.00
					質量 $m$ g	280.54	286.08
					湿潤密度 $\rho_r$ g/cm <sup>3</sup>	1.429	1.457
					含水比 $w$ %	93.6	88.8
					一軸圧縮強さ $q_0$ kN/m <sup>2</sup>	31.4	28.1
					破壊ひずみ $\epsilon_f$ %	11.40	10.20
					変形係数 $E_{50}$ MN/m <sup>2</sup>	0.494	0.403
				鋭敏比 $S_r$			



JIS A 1216  
JGS 0511

土の一軸圧縮試験(強度・変形特性)

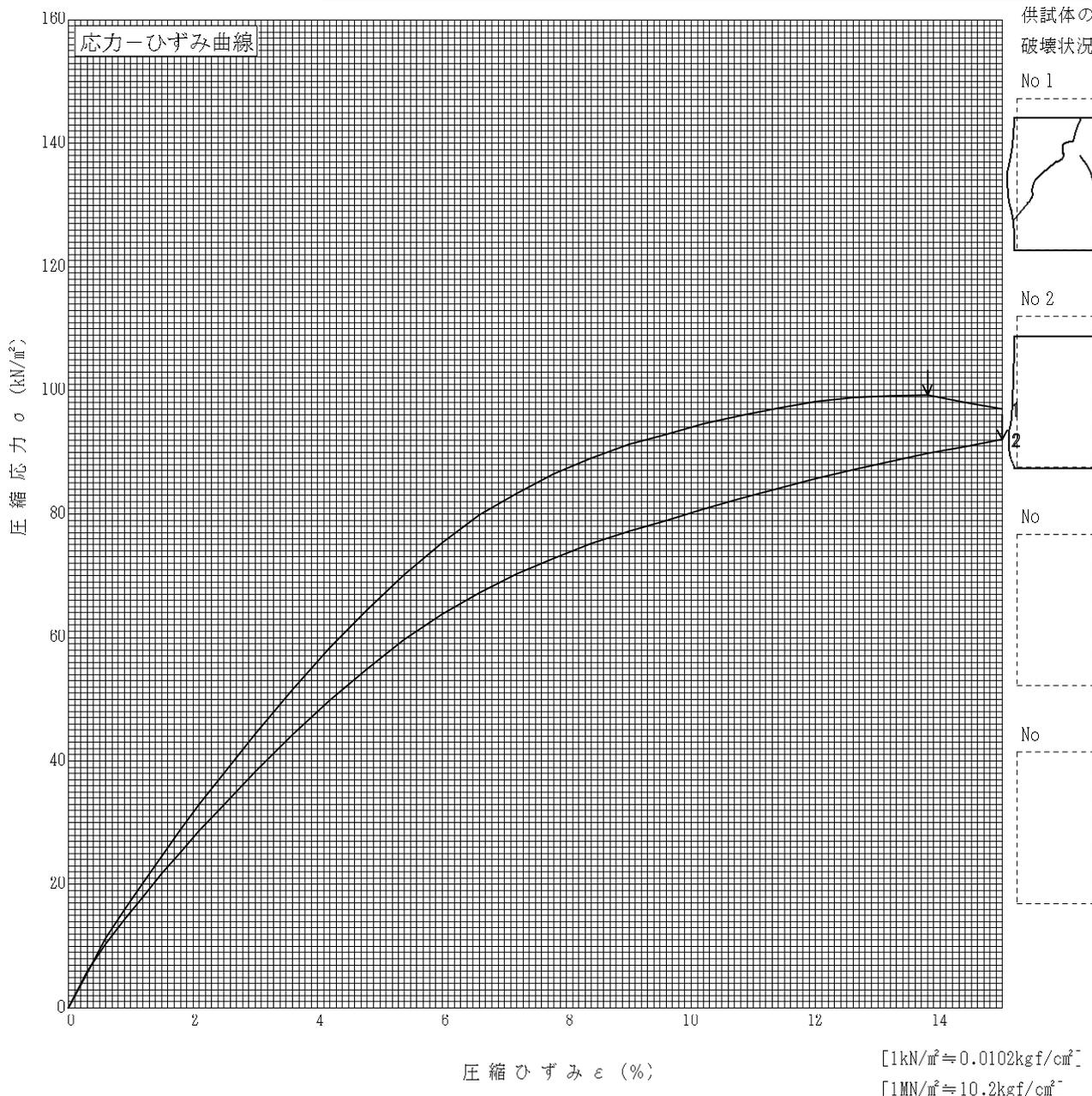
調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 25日

試料番号(深さ) T3-2 (2.50~3.30m)

試験者 石川 慎平

土質名称	磯森土(磯森層) (備)	供試体 No	1	2		
液性限界 $w_L^{(1)}$ %	273.1	試料の状態	乱さない	乱さない		
塑性限界 $w_p^{(1)}$ %	105.1	高さ $h$ cm	10.00	10.00		
ひずみ速度 %/min	1.0	直径 $D$ cm	5.00	5.00		
特記事項 1) 必要に応じて記載する。 $E_{50} = \frac{2}{\epsilon_{50}} / 10$	質量 $m$ g		227.23	229.18		
	湿潤密度 $\rho_r^{(1)}$ g/cm <sup>3</sup>		1.157	1.167		
	含水比 $w$ %		238.7	231.7		
	一軸圧縮強さ $q_u$ kN/m <sup>2</sup>		99.2	92.0		
	破壊ひずみ $\epsilon_f$ %		13.80	15.00		
	変形係数 $E_{50}^{(1)}$ MN/m <sup>2</sup>		1.44	1.22		
	鋭敏比 $S_r^{(1)}$					



JIS A 1217	土の段階載荷による圧密試験 (計算書)
------------	---------------------

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
 組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 23日

試料番号 (深さ) T3-1 (0.60~1.40m) 試験者 寺岡 貴史

試験機 No.		供 試 体	直 径 $D$ cm	6.000	初 期 状 態	含水比 $w_0$ %	90.7
最低~最高室温 °C	18-25		断 面 積 $A$ cm <sup>2</sup>	28.27		間隙比 $e_0$ , 体積比 $V_0$	2.415
土質名称	沙(高粘性) (細)		高 さ $H_0$ cm	2.000		湿潤密度 $\rho_r$ g/cm <sup>3</sup>	1.431
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.563		質 量 $m_0$ g	80.92		飽和度 $S_r$ %	96.3
液性限界 $w_L$ %	105.3		炉乾燥質量 $m$ g	42.43		圧縮指数 $C_c$	0.97
塑性限界 $w_p$ %	46.6		実質高さ $H_s$ cm	0.5856		圧密降伏応力 $p_v$ kN/m <sup>2</sup>	39.0

載荷 段階	圧密圧力 $p$ kN/m <sup>2</sup>	圧力増分 $\Delta p$ kN/m <sup>2</sup>	圧 密 量 $\Delta H$ cm	供試体高さ $H$ cm	平均供試体高さ $\bar{H}$ cm	圧 縮 ひ ず み $\Delta \epsilon = \Delta H / \bar{H} \times 100\%$	体積圧縮係数 $m_v$ m <sup>2</sup> /kN	間隙比 $e = H / H_0 - 1$ 体積比 $V = H / H_0$
0	0.0			2.0000				2.415
		5.0	0.0245		1.9878	1.233	2.47E-3	
1	5.0			1.9755				2.373
		5.0	0.0272		1.9619	1.386	2.77E-3	
2	10.0			1.9483				2.327
		10.0	0.0444		1.9261	2.305	2.31E-3	
3	20.0			1.9039				2.251
		20.0	0.0793		1.8643	4.254	2.13E-3	
4	40.0			1.8246				2.116
		40.0	0.1317		1.7588	7.488	1.87E-3	
5	80.0			1.6929				1.891
		80.0	0.1676		1.6091	10.416	1.30E-3	
6	160.0			1.5253				1.605
		160.0	0.1705		1.4401	11.839	7.40E-4	
7	320.0			1.3548				1.314
		320.0	0.1526		1.2785	11.936	3.73E-4	
8	640.0			1.2022				1.053
		-635.0	-0.1682		1.2863	-13.076	2.06E-4	
9	5.0			1.3704				1.340
10								

載荷 段階	平均圧密圧力 $\bar{p}$ kN/m <sup>2</sup>	$t_{50}, t_{100}$ min	圧密係数 $c_v$ cm <sup>2</sup> /d	透水係数 $k$ m/s	一次圧密量 $\Delta H_1$ cm	一次圧密比 $r = \Delta H_1 / \Delta H$	補正圧密係数 $c'_v = r c_v$ cm <sup>2</sup> /d	透水係数 $k'$ m/s
0								
1	2.5	0.65	1855.8	5.20E-8	0.0087	0.355	658.8	1.85E-8
2	7.1	1.29	910.9	2.86E-8	0.0084	0.309	281.5	8.85E-9
3	14.1	1.17	968.0	2.54E-8	0.0153	0.345	334.0	8.76E-9
4	28.3	1.53	693.5	1.68E-8	0.0284	0.358	248.3	6.00E-9
5	56.6	1.71	552.2	1.17E-8	0.0530	0.402	222.0	4.71E-9
6	113.1	2.65	298.3	4.40E-9	0.0836	0.499	148.9	2.20E-9
7	226.3	2.67	237.1	1.99E-9	0.0860	0.504	119.5	1.00E-9
8	452.5	3.08	162.0	6.86E-10	0.0794	0.520	84.2	3.57E-10
9	56.6							
10								

特記事項

$$H_s = m_v / (\rho_s A)$$

$$H = H' - \Delta H$$

$$\bar{H} = (H + H') / 2$$

$$m_v = (\Delta \epsilon / 100) / \Delta p$$

$$S_r = w_0 \rho_s / (e_0 \rho_w)$$

$$\bar{p} = \sqrt{p \cdot p'}$$

$$\sqrt{t} \text{法} : c_v = 305 \times \bar{H}^2 / t_{50}$$
~~$$\text{曲線定規法} : c_v = 70.9 \times \bar{H}^2 / t_{50}$$~~

$$k = c_v m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$$

$$k' = c'_v m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$$

ただし,  $\gamma_w = 9.81 \text{ kN/m}^3$

[1kN/m<sup>2</sup> = 0.102kgf/cm<sup>2</sup>]

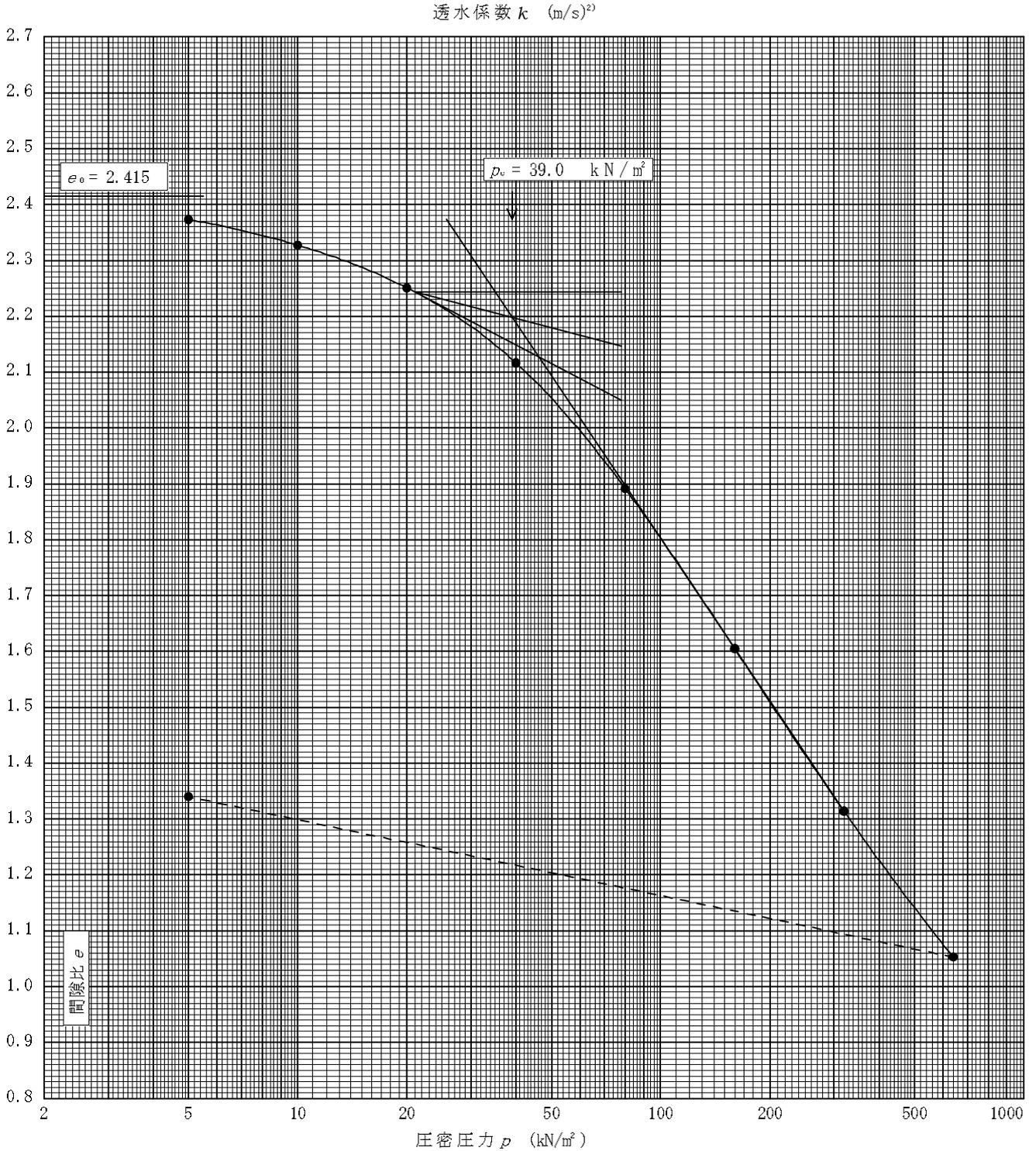
調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 23日

試料番号(深さ) T3-1 (0.60~1.40m)

試験者 寺岡 貴史

土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	液性限界 $w_L$ %	塑性限界 $w_p$ %	初期含水比 $w_0$ %	初期間隙比 $e_0$ 初期体積比 $f_0$	圧縮指数 $C_c$	圧密降伏応力 $p_c$ kN/m <sup>2</sup>	ひずみ速度 <sup>1)</sup> %/min
2.563	105.3	46.6	90.7	2.415	0.97	39.0	



特記事項

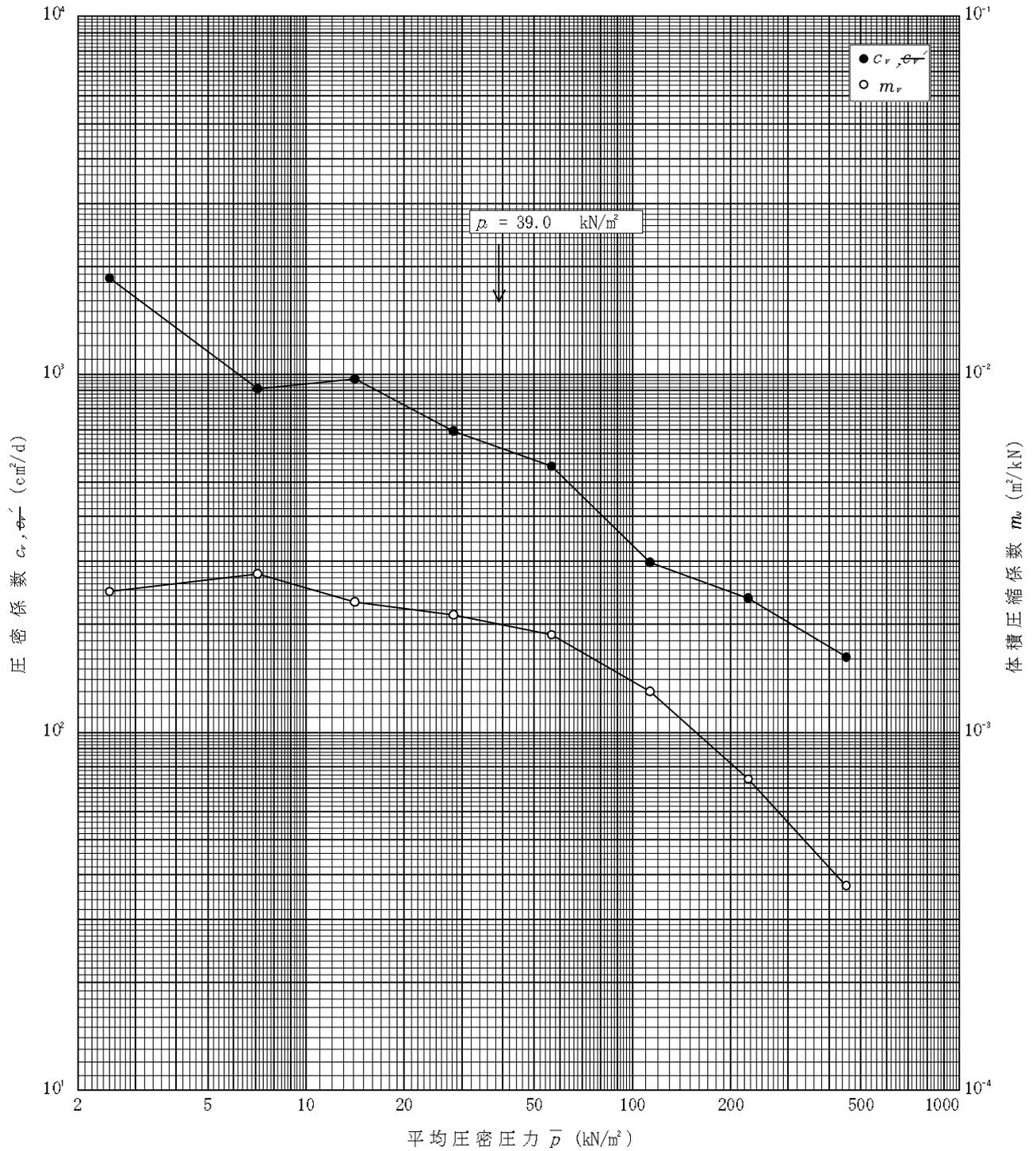
- 1) 定ひずみ速度載荷による圧密試験の時のみ記入する。
- 2) 定ひずみ速度載荷による圧密試験の時のみ使用する。  
[1kN/m<sup>2</sup>≒0.0102kgf/cm<sup>2</sup>]

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 23日

試料番号(深さ) T3-1 (0.60~1.40m)

試験者 寺岡 貴史



特記事項

[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.0102kgf/cm<sup>2</sup>]

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業 試験年月日 平成 24年 4月 23日  
 組合設立認可申請書作成業務

試料番号 (深さ) T3-2 (2.50~3.30m) 試験者 寺岡 貴史

試験機 No.			直 径 $D$ cm	6.000	初 期	含水比 $w_0$ %	214.6	
最低~最高室温 °C	18-25		断 面 積 $A$ cm <sup>2</sup>	28.27	状 態	間隙比 $e_0$ , 体積比 $V_v$	4.534	
土 質 名 称	機質土(高粘性) (細)		高 さ $H_0$ cm	2.000		湿潤密度 $\rho_r$ g/cm <sup>3</sup>	1.160	
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.041		質 量 $m_v$ g	65.60	体 態	飽和度 $S_r$ %	96.6	
液性限界 $w_L$ %	273.1		炉乾燥質量 $m_s$ g	20.85		圧縮指数 $C_c$	2.61	
塑性限界 $w_p$ %	105.1		実質高さ $H_s$ cm	0.3614	圧密降伏応力 $p_v$ kN/m <sup>2</sup>	64.2		
載荷 段階	圧密圧力 $p$ kN/m <sup>2</sup>	圧力増分 $\Delta p$ kN/m <sup>2</sup>	圧 密 量 $\Delta H$ cm	供試体高さ $H$ cm	平均供試体高さ $\bar{H}$ cm	圧 縮 ひ ず み $\Delta \epsilon = \Delta H / \bar{H} \times 100\%$	体積圧縮係数 $m_v$ m <sup>3</sup> /kN	間隙比 $e = H / H_0 - 1$ 体積比 $V_v = H / H_0$
0	0.0			2.0000				4.534
		5.0	0.0149		1.9926	0.748	1.50E-3	
1	5.0			1.9851				4.493
		5.0	0.0172		1.9765	0.870	1.74E-3	
2	10.0			1.9679				4.445
		10.0	0.0273		1.9543	1.397	1.40E-3	
3	20.0			1.9406				4.370
		20.0	0.0453		1.9180	2.362	1.18E-3	
4	40.0			1.8953				4.244
		40.0	0.1252		1.8327	6.831	1.71E-3	
5	80.0			1.7701				3.898
		80.0	0.2836		1.6283	17.417	2.18E-3	
6	160.0			1.4865				3.113
		160.0	0.2650		1.3540	19.572	1.22E-3	
7	320.0			1.2215				2.380
		320.0	0.2068		1.1181	18.496	5.78E-4	
8	640.0			1.0147				1.808
		-635.0	-0.3169		1.1732	-27.012	4.25E-4	
9	5.0			1.3316				2.685
10								
載荷 段階	平均圧密圧力 $\bar{p}$ kN/m <sup>2</sup>	$t_{50}, t_{90}$ min	圧密係数 $c_v$ cm <sup>2</sup> /d	透水係数 $k$ m/s	一次圧密量 $\Delta H_1$ cm	一次圧密比 $r = \Delta H_1 / \Delta H$	補正圧密係数 $c'_v = r c_v$ cm <sup>2</sup> /d	透水係数 $k'$ m/s
0	2.5	0.76	1594.9	2.72E-8	0.0053	0.356	567.8	9.67E-9
1	7.1	1.22	977.5	1.93E-8	0.0044	0.256	250.2	4.94E-9
2	14.1	1.56	747.4	1.19E-8	0.0084	0.308	230.2	3.66E-9
3	28.3	1.78	630.9	8.45E-9	0.0153	0.338	213.2	2.86E-9
4	56.6	3.05	336.2	6.53E-9	0.0378	0.302	101.5	1.97E-9
5	113.1	14.71	55.0	1.36E-9	0.1554	0.548	30.1	7.45E-10
6	226.3	14.89	37.6	5.21E-10	0.1356	0.512	19.3	2.67E-10
7	452.5	18.49	20.6	1.35E-10	0.0988	0.478	9.8	6.43E-11
8								
9	56.6							
10								

特記事項

$$H_s = m_v / (\rho_s A)$$

$$H = H' - \Delta H$$

$$\bar{H} = (H + H') / 2$$

$$m_v = (\Delta \epsilon / 100) / \Delta p$$

$$S_r = w_0 \rho_s / (e_0 \rho_w)$$

$$\bar{p} = \sqrt{p \cdot p'}$$

$$\sqrt{t} \text{法} : c_v = 305 \times \bar{H}^2 / t_{50}$$
~~$$\text{曲線定規法} : c_v = 70.9 \times \bar{H}^2 / t_{50}$$~~

$$k = c_v m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$$

$$k' = c'_v m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$$

ただし,  $\gamma_w = 9.81 \text{ kN/m}^3$

[1kN/m<sup>2</sup> = 0.102kgf/cm<sup>2</sup>]

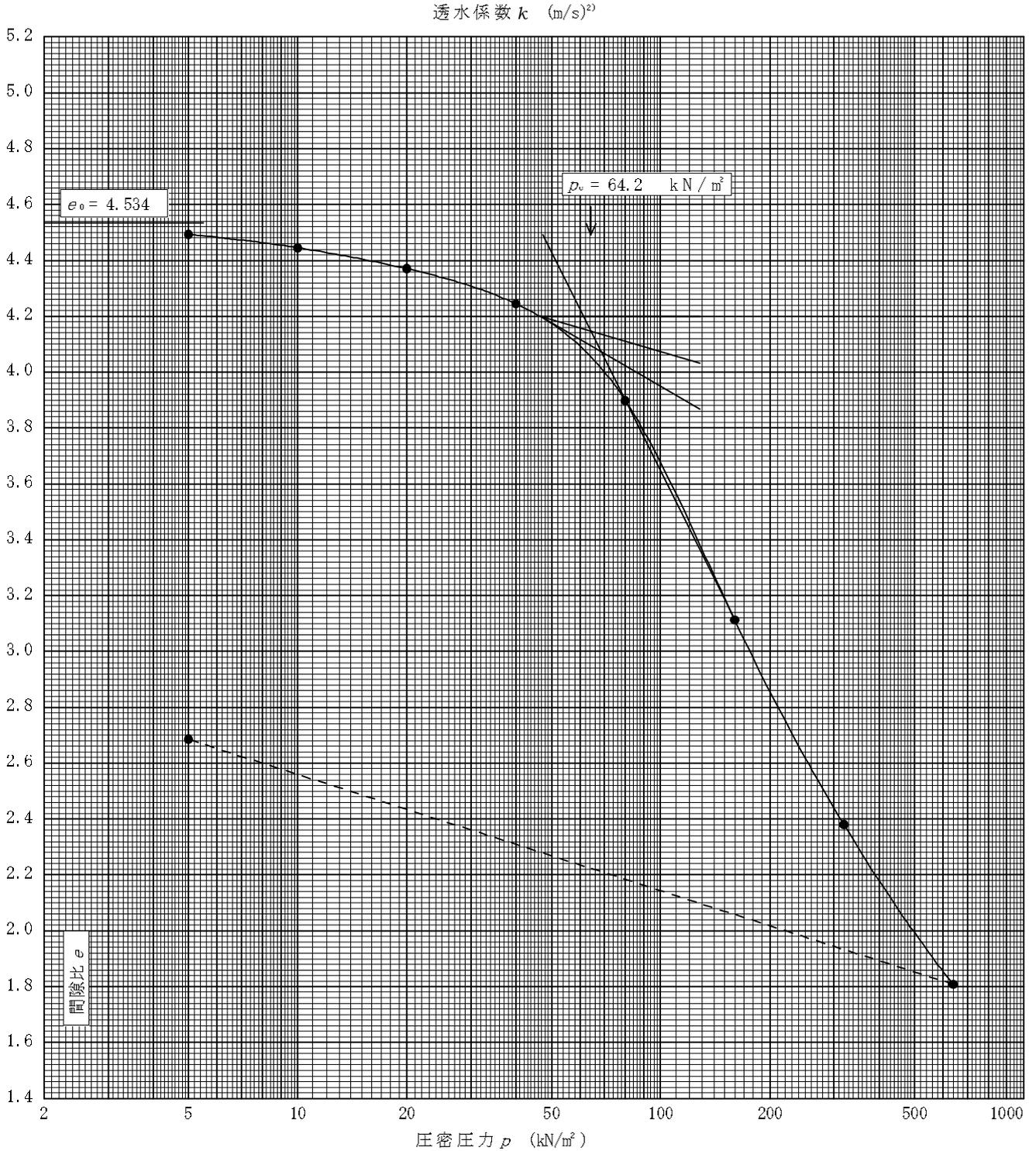
調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 23日

試料番号(深さ) T3-2 (2.50~3.30m)

試験者 寺岡 貴史

土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	液性限界 $w_L$ %	塑性限界 $w_p$ %	初期含水比 $w_0$ %	初期間隙比 $e_0$ 初期体積比 $f_0$	圧縮指数 $C_c$	圧密降伏応力 $p_c$ kN/m <sup>2</sup>	ひずみ速度 <sup>1)</sup> %/min
2.041	273.1	105.1	214.6	4.534	2.61	64.2	



特記事項

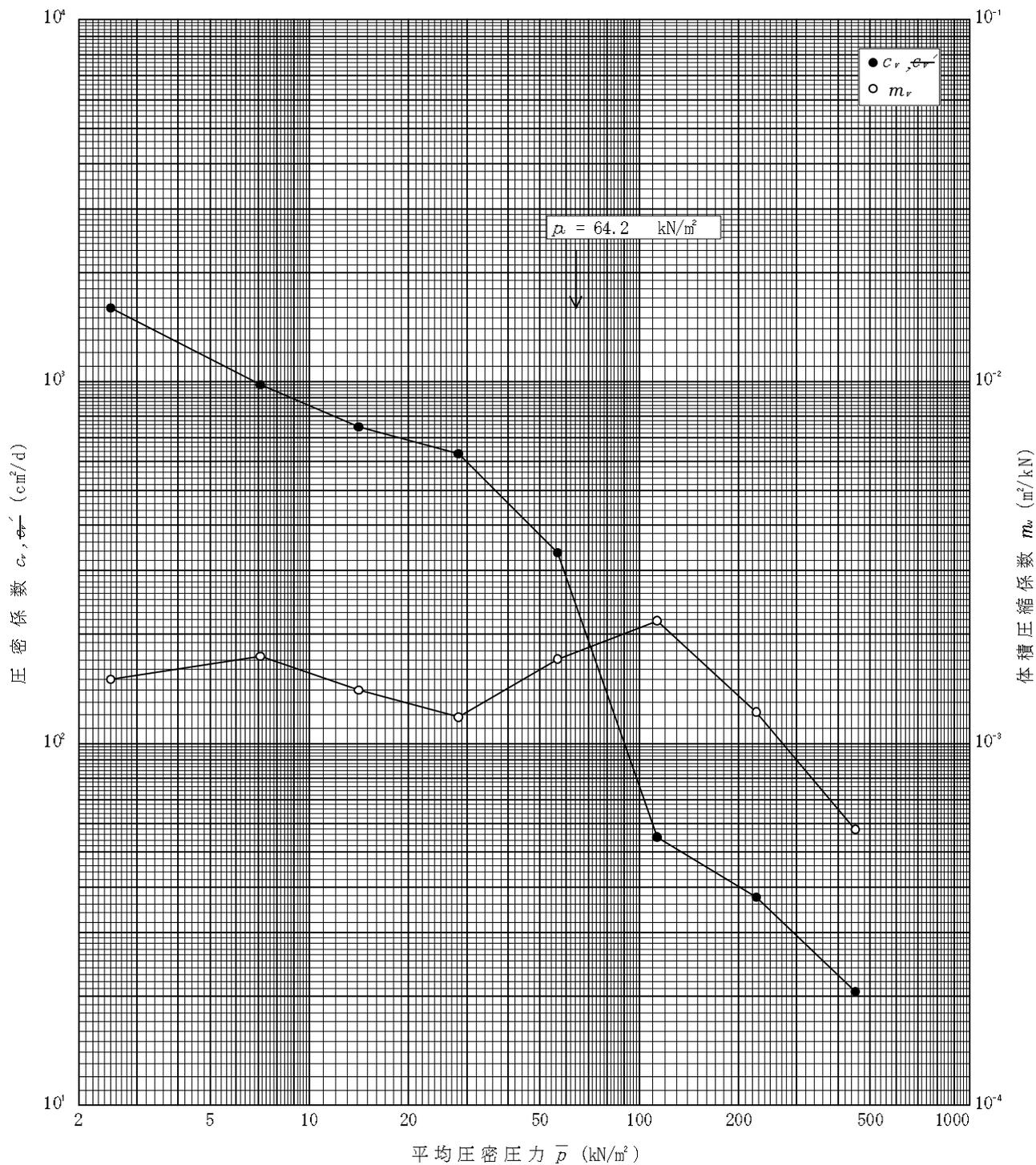
- 1) 定ひずみ速度載荷による圧密試験の時のみ記入する。
- 2) 定ひずみ速度載荷による圧密試験の時のみ使用する。  
[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.1012kgf/cm<sup>2</sup>]

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 23日

試料番号(深さ) T3-2 (2.50~3.30m)

試験者 寺岡 貴史



特記事項

[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.102kgf/cm<sup>2</sup>]

## 土質試験結果一覧表（基礎地盤）

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

整理年月日 平成 24年 5月 14日

整理担当者 寺岡 貴史

試料番号 (深 さ)	T5-1 (1.10~1.80m)	T5-2 (4.00~4.80m)			
一般	湿潤密度 $\rho_r$ g/cm <sup>3</sup>	1.487	1.285		
	乾燥密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	0.837	0.546		
	土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.563	2.386		
	自然含水比 $w_n$ %	76.9	132.4		
	間隙比 $e$	2.062	3.370		
	飽和度 $S_r$ %	95.6	93.7		
粒度	石分 (75mm以上) %				
	礫分 <sup>1)</sup> (2~75mm) %	0.0	0.0		
	砂分 <sup>1)</sup> (0.075~2mm) %	7.3	0.9		
	シルト分 <sup>1)</sup> (0.005~0.075mm) %	49.3	46.1		
	粘土分 <sup>1)</sup> (0.005mm未満) %	43.4	53.0		
	最大粒径 mm	0.850	2		
	均等係数 $U_c$	-	-		
ロレンツマンシェー特性	液性限界 $w_L$ %	86.2	171.5		
	塑性限界 $w_p$ %	43.8	68.5		
	塑性指数 $I_p$	42.4	103.0		
分類	地盤材料の 分類名	砂まじりシルト (高液性限界)	有機質粘土 (高液性限界)		
	分類記号	(MH-S)	(OH)		
	試験方法	段階載荷	段階載荷		
圧密	圧縮指数 $C_c$	0.60	1.22		
	圧密降伏応力 $p_e$ kN/m <sup>2</sup>	83.2	98.4		
	一軸圧縮強さ $q_u$ kN/m <sup>2</sup>	35.4	67.1		
せん断	試験条件				
	全応力	$c$ kN/m <sup>2</sup>			
		$\phi$ °			
	有効応力	$c'$ kN/m <sup>2</sup>			
$\phi'$ °					

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料  
に対する百分率で表す。

[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.102kgf/cm<sup>2</sup>]

JIS A 1225	土の湿潤密度試験（ノギス法）	
------------	----------------	--

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
 組合設立認可申請書作成業務 試験年月日 平成 24年 4月 25日

試料番号（深さ） T5-1（1.10～1.80m） 試験者 寺岡 貴史

供試体 No			1	2		
供試体の質量 $m$ g			282.92	301.01		
供 試 体 径	直	上 部 cm	5.000	5.000		
		中 部 cm	5.000	5.000		
	下 部 cm	5.000	5.000			
		平 均 値 $D$ cm	5.000	5.000		
体 高 積 さ	高 cm	10.000	10.000			
		10.000	10.000			
	平 均 値 $H$ cm	10.000	10.000			
体積 $V = (\pi D^2 / 4) H$ cm <sup>3</sup>			196.35	196.35		
含 水 比	容 器 No					
	$m_a$ g		282.92	301.01		
	$m_b$ g		152.51	176.04		
	$m_c$ g					
	$w$ %		85.5	71.0		
水 比	容 器 No					
	$m_a$ g					
	$m_b$ g					
	$m_c$ g					
	$w$ %					
平 均 値 $w$ %			85.5	71.0		
湿潤密度 $\rho_t = m/V$ g/cm <sup>3</sup>			1.441	1.533		
乾燥密度 $\rho_d = \rho_t / (1 + w/100)$ g/cm <sup>3</sup>			0.777	0.896		
間 隙 比 $e = (\rho_s / \rho_d) - 1$			2.299	1.860		
飽 和 度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ %			95.3	97.8		
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>			2.563	平均値 $w$ %	78.3	平均値 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup>
平 均 値 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>			0.837	平均値 $e$	2.080	平均値 $S_r$ %
特記事項						

JIS A 1225	土の湿潤密度試験（ノギス法）	
------------	----------------	--

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
 組合設立認可申請書作成業務 試験年月日 平成 24年 4月 25日

試料番号（深さ） T5-2（4.00～4.80m） 試験者 寺岡 貴史

供試体 No			1	2		
供試体の質量 $m$ g			248.51	256.02		
供 試 体 径	直	上 部 cm	5.000	5.000		
		中 部 cm	5.000	5.000		
	下 部 cm	5.000	5.000			
		平 均 値 $D$ cm	5.000	5.000		
体 高 積 さ	高 cm	10.000	10.000			
		10.000	10.000			
	平 均 値 $H$ cm	10.000	10.000			
体積 $V = (\pi D^2 / 4) H$ cm <sup>3</sup>			196.35	196.35		
含 水 比	容 器 No					
	$m_a$ g		248.51	256.02		
	$m_b$ g		104.60	109.74		
	$m_c$ g					
	$w$ %		137.6	133.3		
比	容 器 No					
	$m_a$ g					
	$m_b$ g					
	$m_c$ g					
	$w$ %					
平 均 値 $w$ %			137.6	133.3		
湿潤密度 $\rho_t = m/V$ g/cm <sup>3</sup>			1.266	1.304		
乾燥密度 $\rho_s = \rho_t / (1 + w/100)$ g/cm <sup>3</sup>			0.533	0.559		
間 隙 比 $e = (\rho_s / \rho_s) - 1$			3.477	3.268		
飽 和 度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ %			94.4	97.3		
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>			2.386	平均値 $w$ %	135.5	平均値 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup> 1.285
平 均 値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>			0.546	平均値 $e$	3.373	平均値 $S_r$ % 95.9

特記事項

JIS A 1202	土 粒 子 の 密 度 試 験 (測定)
------------	----------------------

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
 組合設立認可申請書作成業務 試験年月日 平成 24年 5月 1日

試 験 者 寺岡 貴史

試料番号 (深さ)		T5-1 (1.10~1.80m)			T5-2 (4.00~4.80m)		
ピクノメーター No		217	225	268	212	208	257
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 $m_b$ g		155.835	158.431	155.224	150.683	151.030	155.713
$m_b$ をはかったときの内容物の温度 $T$ °C		20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
$T$ °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm <sup>3</sup>		0.99820	0.99820	0.99820	0.99820	0.99820	0.99820
温度 $T$ °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_s^{(1)}$ g		141.522	143.802	140.693	140.954	140.711	145.955
試料の 炉乾燥質量	容器 No	217	225	268	212	208	257
	(炉乾燥試料+容器)質量g	55.407	58.201	56.442	50.421	50.671	53.930
	容器質量 g	31.970	34.240	32.642	33.676	32.944	37.158
$m_s$ g		23.437	23.961	23.800	16.745	17.727	16.772
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.564	2.563	2.563	2.382	2.389	2.387
平均値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.563			2.386		
試料番号 (深さ)							
ピクノメーター No							
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 $m_b$ g							
$m_b$ をはかったときの内容物の温度 $T$ °C							
$T$ °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm <sup>3</sup>							
温度 $T$ °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_s^{(1)}$ g							
試料の 炉乾燥質量	容器 No						
	(炉乾燥試料+容器)質量g						
	容器質量 g						
$m_s$ g							
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>							
平均値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>							
試料番号 (深さ)							
ピクノメーター No							
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 $m_b$ g							
$m_b$ をはかったときの内容物の温度 $T$ °C							
$T$ °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm <sup>3</sup>							
温度 $T$ °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_s^{(1)}$ g							
試料の 炉乾燥質量	容器 No						
	(炉乾燥試料+容器)質量g						
	容器質量 g						
$m_s$ g							
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>							
平均値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>							

特記事項

1) ピクノメーターの検定結果から求める。

$$\rho_s = \frac{m_s}{m_s + (m_s - m_b)} \times \rho_w(T)$$

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 5月 2日

試験者 寺岡 貴史

試料番号 (深さ)	T5-1 (1.10~1.80m)			T5-2 (4.00~4.80m)		
容器 No.	165	173	283	57	90	153
$m_a$ g	87.37	85.67	92.01	66.89	67.80	71.69
$m_b$ g	61.19	60.21	63.78	44.15	44.74	46.01
$m_c$ g	27.25	27.06	26.95	27.07	27.12	26.72
$w$ %	77.14	76.80	76.65	133.14	130.87	133.13
平均値 $w$ %	76.9			132.4		
特記事項						

試料番号 (深さ)						
容器 No.						
$m_a$ g						
$m_b$ g						
$m_c$ g						
$w$ %						
平均値 $w$ %						
特記事項						

試料番号 (深さ)						
容器 No.						
$m_a$ g						
$m_b$ g						
$m_c$ g						
$w$ %						
平均値 $w$ %						
特記事項						

試料番号 (深さ)						
容器 No.						
$m_a$ g						
$m_b$ g						
$m_c$ g						
$w$ %						
平均値 $w$ %						
特記事項						

試料番号 (深さ)						
容器 No.						
$m_a$ g						
$m_b$ g						
$m_c$ g						
$w$ %						
平均値 $w$ %						
特記事項						

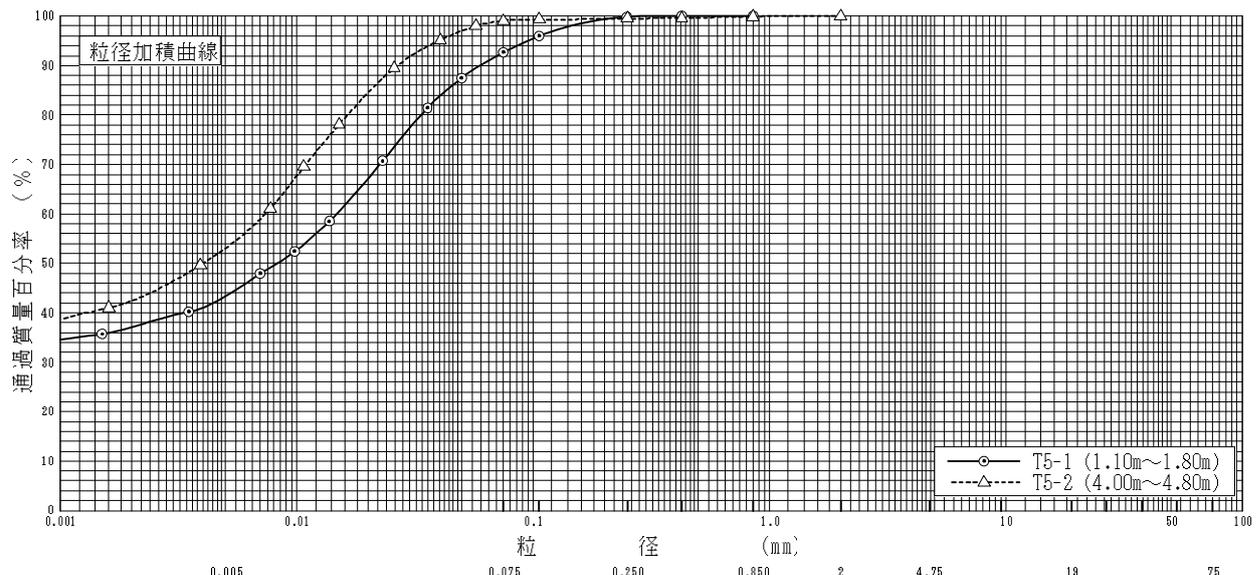
$$w = \frac{m_a - m_b}{m_b - m_c} \times 100$$

$m_a$  : (試料 + 容器)質量  
 $m_b$  : (炉乾燥試料 + 容器)質量  
 $m_c$  : 容器質量

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業 試験年月日 平成 24年 5月 7日  
 組合設立認可申請書作成業務

試験者 寺岡 貴史

試料番号 (深 さ)	T5-1 (1.10~1.80m)		T5-2 (4.00~4.80m)		試 料 番 号 (深 さ)	T5-1 (1.10~1.80m)	T5-2 (4.00~4.80m)
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%		粗 礫 分 %	粗 礫 分 %
ふる る い 分 析	7E		7E		中 礫 分 %	-	-
	5E		5E		細 礫 分 %	-	-
	37.5		37.5		粗 砂 分 %	-	0.1
	2E		2E		中 砂 分 %	0.2	0.4
	1E		1E		細 砂 分 %	7.1	0.4
	9.5		9.5		シ ル ト 分 %	49.3	46.1
	4.7E		4.7E		粘 土 分 %	43.4	53.0
	2		2	100.0	2mmふるい通過質量百分率 %	100.0	100.0
	0.85C	100.0	0.85C	99.9	425μmふるい通過質量百分率 %	100.0	99.6
	0.42E	100.0	0.42E	99.6	75μmふるい通過質量百分率 %	92.7	99.1
	0.25C	99.8	0.25C	99.5	最大 粒 径 mm	0.850	2
	0.10E	96.0	0.10E	99.3	60 % 粒 径 $D_{60}$ mm	0.015	0.0074
	0.07E	92.7	0.07E	99.1	50 % 粒 径 $D_{50}$ mm	0.0083	0.0040
沈 降 分 析	0.0498	87.5	0.0572	98.0	30 % 粒 径 $D_{30}$ mm	-	-
	0.0357	81.4	0.0405	95.2	10 % 粒 径 $D_{10}$ mm	-	-
	0.0231	70.7	0.0258	89.5	均 等 係 数 $U_c$	-	-
	0.0137	58.5	0.0151	78.1	曲 率 係 数 $U_c'$	-	-
	0.0098	52.4	0.0107	69.5	土 粒 子 の 密 度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.563	2.386
	0.0070	47.9	0.0077	61.0	使用した分散剤	ヘキサタリル酸ナトリウム	ヘキサタリル酸ナトリウム
	0.0035	40.2	0.0039	49.6	溶液濃度, 溶液添加量	飽和溶液, 10ml	飽和溶液, 10ml
	0.0015	35.7	0.0016	41.0	20 % 粒 径 $D_{20}$ mm	-	-



粘 土	シ ル ト	細 砂	中 砂	粗 砂	細 礫	中 礫	粗 礫
-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

特記事項

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 5月 9日

試験者 寺岡 貴史

試料番号(深さ) T5-1 (1.10~1.80m)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		86.2
34	83.9	43.9	塑性限界 $w_p$ %	
28	85.3	43.6		43.8
24	86.3	44.0	塑性指数 $I_p$	
18	88.6			42.4
13	91.6			

試料番号(深さ) T5-2 (4.00~4.80m)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		171.5
30	169.0	68.9	塑性限界 $w_p$ %	
27	170.1	68.8		68.5
23	172.5	67.7	塑性指数 $I_p$	
20	174.9			103.0
15	180.4			

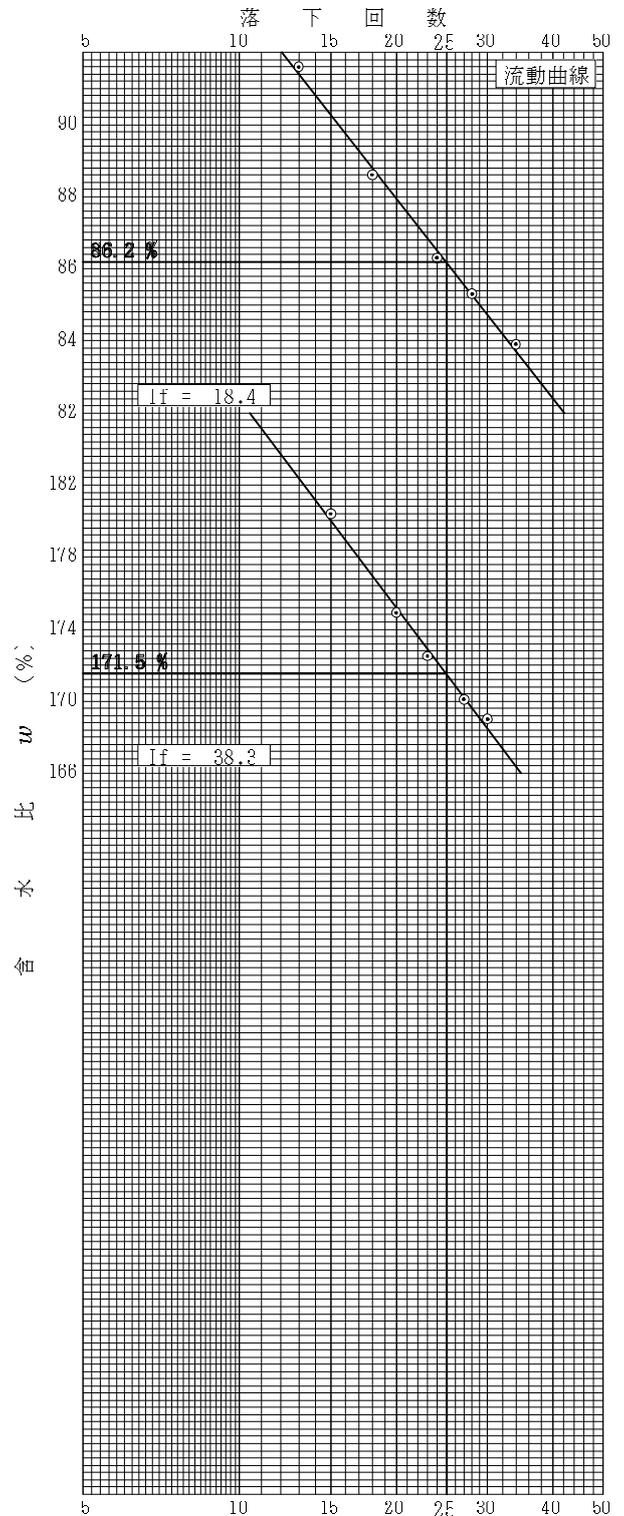
試料番号(深さ)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
			塑性限界 $w_p$ %	
			塑性指数 $I_p$	

試料番号(深さ)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
			塑性限界 $w_p$ %	
			塑性指数 $I_p$	

特記事項

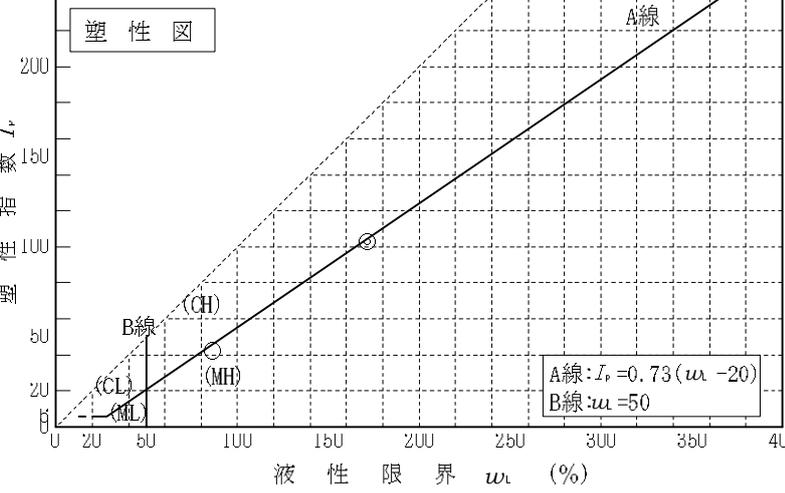
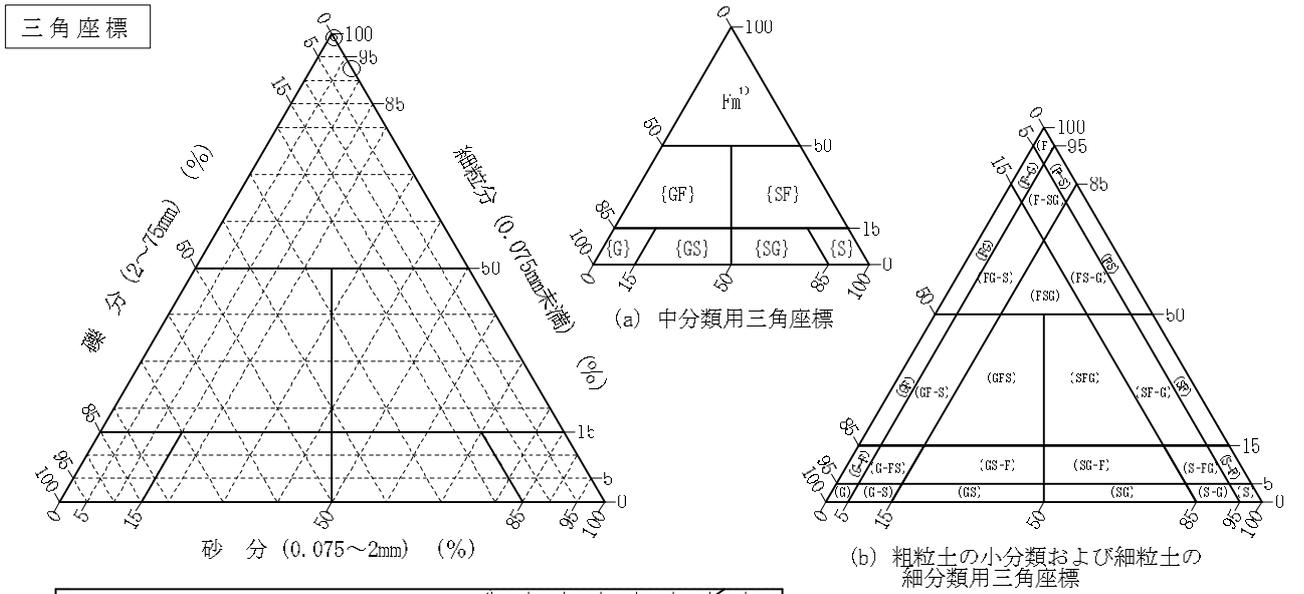


調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
 組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 5月 9日

試験者 寺岡 貴史

試料番号 (深さ)	T5-1 (1.10~1.80m)	T5-2 (4.00~4.80m)			
石分(75mm以上) %					
礫分(2~75mm) %	0.0	0.0			
砂分(0.075~2mm) %	7.3	0.9			
細粒分(0.075mm未満) %	92.7	99.1			
シルト分(0.005~0.075mm)%	49.3	46.1			
粘土分(0.005mm未満) %	43.4	53.0			
最大粒径 mm	0.850	2			
均等係数 $U_c$	-	-			
液性限界 $w_L$ %	86.2	171.5			
塑性限界 $w_p$ %	43.8	68.5			
塑性指数 $I_p$	42.4	103.0			
地盤材料の分類名	砂まじりシルト (高液性限界)	有機質粘土 (高液性限界)			
分類記号	(MH-S)	(OH)			
凡例記号	○	◎			



特記事項 1) 主に観察と塑性図で判別分類

JIS A 1216  
JGS 0511

土の一軸圧縮試験(強度・変形特性)

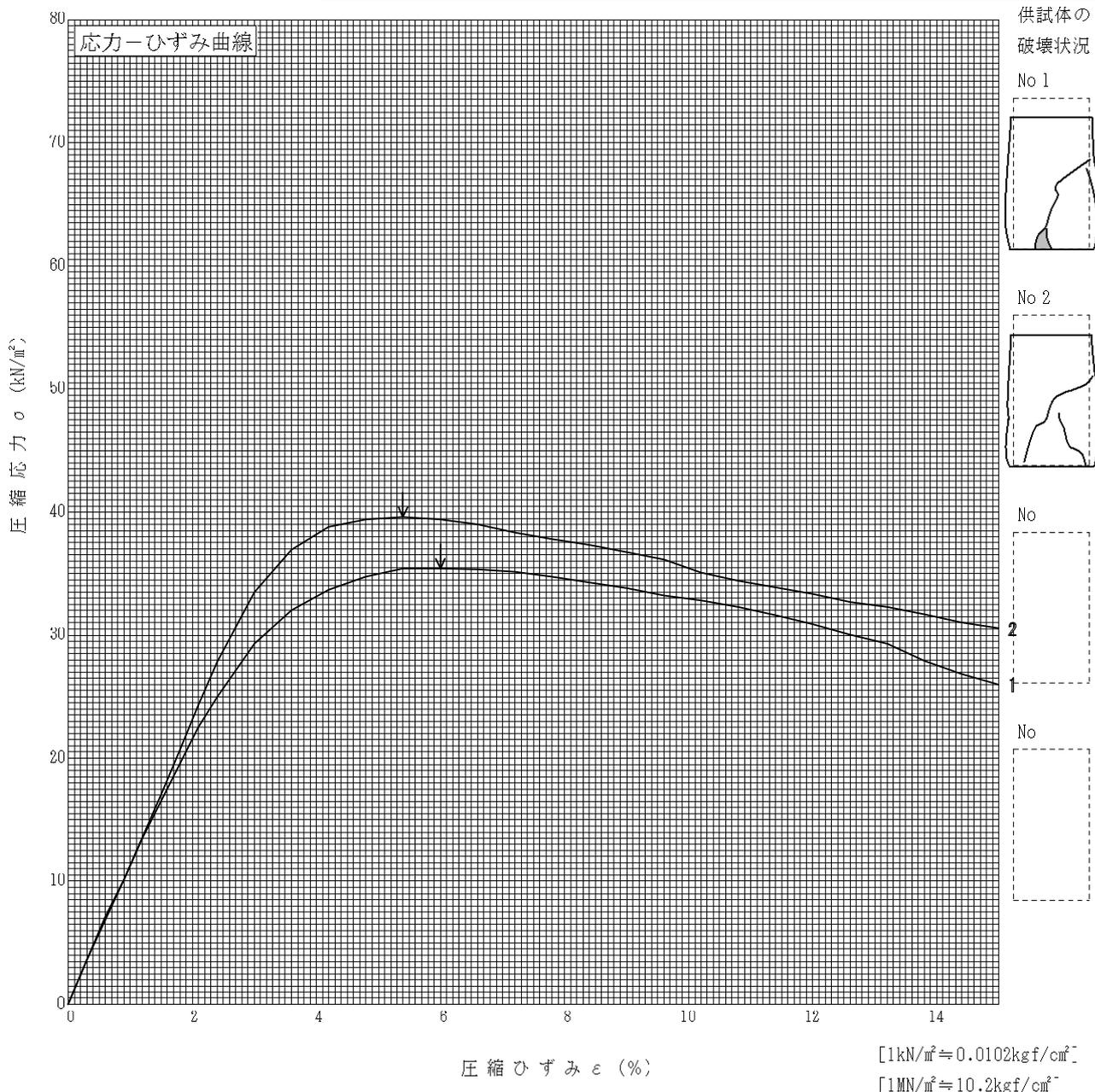
調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 25日

試料番号(深さ) T5-1 (1.10~1.80m)

試験者 石川 慎平

土質名称	液性限界 $w_L$ %	塑性限界 $w_P$ %	ひずみ速度 %/min	特記事項 1) 必要に応じて記載する。	供試体 No	1	2
	86.2	43.8	1.0	$E_{50} = \frac{q_0}{\frac{2}{\epsilon_{50}} / 10}$	試料の状態	乱さない	乱さない
					高さ $h$ cm	10.00	10.00
					直径 $D$ cm	5.00	5.00
					質量 $m$ g	282.92	301.01
					湿潤密度 $\rho_r$ g/cm <sup>3</sup>	1.441	1.533
					含水比 $w$ %	85.5	71.0
					一軸圧縮強さ $q_0$ kN/m <sup>2</sup>	35.4	39.6
					破壊ひずみ $\epsilon_f$ %	6.00	5.40
					変形係数 $E_{50}$ MN/m <sup>2</sup>	1.10	1.15
				鋭敏比 $S_r$			



JIS A 1216  
JGS 0511

土の一軸圧縮試験(強度・変形特性)

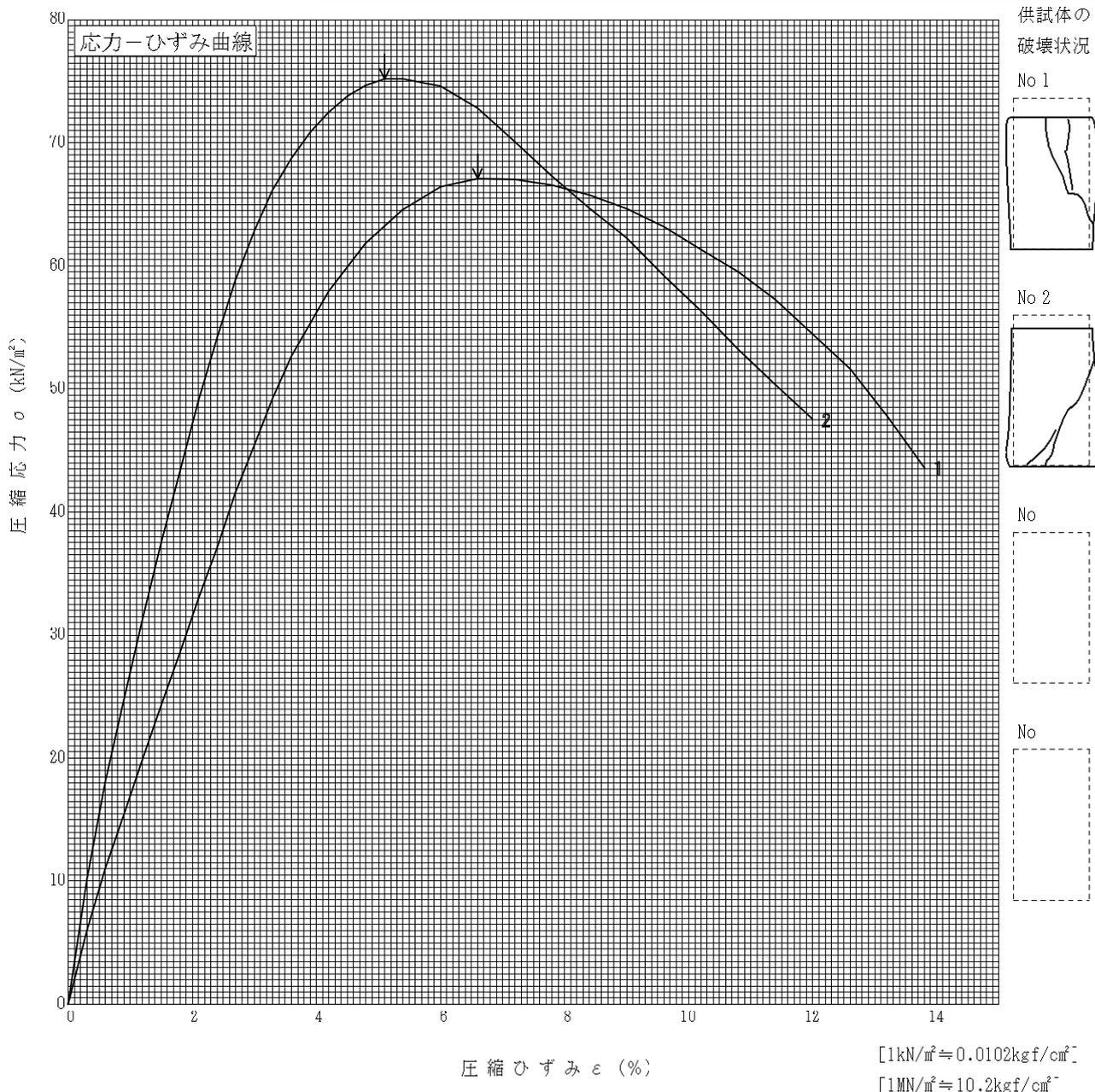
調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 25日

試料番号(深さ) T5-2 (4.00~4.80m)

試験者 石川 慎平

土質名称	磯森土(磯森層) (備)	供試体 No	1	2	
液性限界 $w_L^{(1)}$ %	171.5	試料の状態	乱さない	乱さない	
塑性限界 $w_p^{(1)}$ %	68.5	高さ $h$ cm	10.00	10.00	
ひずみ速度 %/min	1.0	直径 $D$ cm	5.00	5.00	
特記事項 1) 必要に応じて記載する。 $E_{50} = \frac{q_0}{\frac{2}{\epsilon_{50}}} / 10$	質量 $m$ g		248.51	256.02	
	湿潤密度 $\rho_r^{(1)}$ g/cm <sup>3</sup>		1.266	1.304	
	含水比 $w$ %		137.6	133.3	
	一軸圧縮強さ $q_0$ kN/m <sup>2</sup>		67.1	75.2	
	破壊ひずみ $\epsilon_f$ %		6.60	5.10	
	変形係数 $E_{50}^{(1)}$ MN/m <sup>2</sup>		1.57	2.50	
	鋭敏比 $S_r^{(1)}$				



JIS A 1217 土の段階載荷による圧密試験 (計算書)

調査件名 仙台市荒井西土地地区画整理事業 試験年月日 平成 24年 4月 23日  
 組合設立認可申請書作成業務

試料番号 (深さ) T5-1 (1.10~1.80m) 試験者 寺岡 貴史

試験機 No.		直 径 $D$ cm	6.000	初 期	含水比 $w_0$ %	74.5
最低~最高室温 °C	18-25	断 面 積 $A$ cm <sup>2</sup>	28.27	状 態	間隙比 $e_0$ , 体積比 $V_0$	1.942
土質名称	砂(中) 礫(小) 質	高 さ $H_0$ cm	2.000		湿潤密度 $\rho_r$ g/cm <sup>3</sup>	1.520
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.563	質 量 $m_0$ g	85.95		飽和度 $S_r$ %	98.3
液性限界 $w_L$ %	86.2	炉乾燥質量 $m$ g	49.26		圧縮指数 $C_c$	0.60
塑性限界 $w_p$ %	43.8	実質高さ $H_s$ cm	0.6799		圧密降伏応力 $p_v$ kN/m <sup>2</sup>	83.2

載荷段階	圧密圧力 $p$ kN/m <sup>2</sup>	圧力増分 $\Delta p$ kN/m <sup>2</sup>	圧 密 量 $\Delta H$ cm	供試体高さ $H$ cm	平均供試体高さ $\bar{H}$ cm	圧 縮 ひ ず み $\Delta \epsilon = \Delta H / \bar{H} \times 100\%$	体積圧縮係数 $m_v$ m <sup>2</sup> /kN	間隙比 $e = H / H_0 - 1$ 体積比 $V = H / H_0$
0	0.0			2.0000				1.942
1	5.0	5.0	0.0094	1.9906	1.9953	0.471	9.42E-4	1.928
2	10.0	5.0	0.0113	1.9793	1.9850	0.569	1.14E-3	1.911
3	20.0	10.0	0.0187	1.9606	1.9700	0.949	9.49E-4	1.884
4	40.0	20.0	0.0336	1.9270	1.9438	1.729	8.65E-4	1.834
5	80.0	40.0	0.0586	1.8684	1.8977	3.088	7.72E-4	1.748
6	160.0	80.0	0.0939	1.7745	1.8215	5.155	6.44E-4	1.610
7	320.0	160.0	0.1196	1.6549	1.7147	6.975	4.36E-4	1.434
8	640.0	320.0	0.1230	1.5319	1.5934	7.719	2.41E-4	1.253
9	1280.0	640.0	0.1228	1.4091	1.4705	8.351	1.30E-4	1.073
10	5.0	-1275.0	-0.1105	1.5196	1.4644	-7.546	5.92E-5	1.235

載荷段階	平均圧密圧力 $\bar{p}$ kN/m <sup>2</sup>	$t_{50}, t_{90}$ min	圧密係数 $c_v$ cm <sup>2</sup> /d	透水係数 $k$ m/s	一次圧密量 $\Delta H_1$ cm	一次圧密比 $r = \Delta H_1 / \Delta H$	補正圧密係数 $c'_v = r c_v$ cm <sup>2</sup> /d	透水係数 $k'$ m/s
0								
1	2.5	0.58	2095.5	2.24E-8	0.0036	0.383	802.6	8.58E-9
2	7.1	0.95	1266.2	1.64E-8	0.0033	0.292	369.7	4.79E-9
3	14.1	0.89	1331.2	1.43E-8	0.0077	0.412	548.5	5.91E-9
4	28.3	0.91	1267.5	1.24E-8	0.0129	0.384	486.7	4.78E-9
5	56.6	0.98	1121.8	9.83E-9	0.0254	0.433	485.7	4.26E-9
6	113.1	1.23	823.5	6.02E-9	0.0458	0.488	401.9	2.94E-9
7	226.3	1.17	767.2	3.80E-9	0.0651	0.544	417.4	2.07E-9
8	452.5	1.06	731.2	2.00E-9	0.0718	0.584	427.0	1.17E-9
9	905.1	0.99	666.8	9.84E-10	0.0712	0.580	386.7	5.71E-10
10	80.0							

特記事項  $H_s = m_s / (\rho_s A)$   
 $H = H' - \Delta H$   
 $\bar{H} = (H + H') / 2$   
 $m_s = (\Delta \epsilon / 100) / \Delta p$   
 $S_r = w_0 \rho_s / (e_0 \rho_w)$   
 $\bar{p} = \sqrt{p \cdot p'}$   
 $\sqrt{t}$ 法:  $c_v = 305 \times \bar{H}^2 / t_{50}$   
~~曲線定規法:  $c_v = 70.9 \times \bar{H}^2 / t_{50}$~~   
 $k = c_v m_s \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$   
 $k' = c'_v m_s \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$   
 ただし,  $\gamma_w = 9.81 \text{ kN/m}^3$   
 [1kN/m<sup>2</sup> = 0.102kgf/cm<sup>2</sup>]

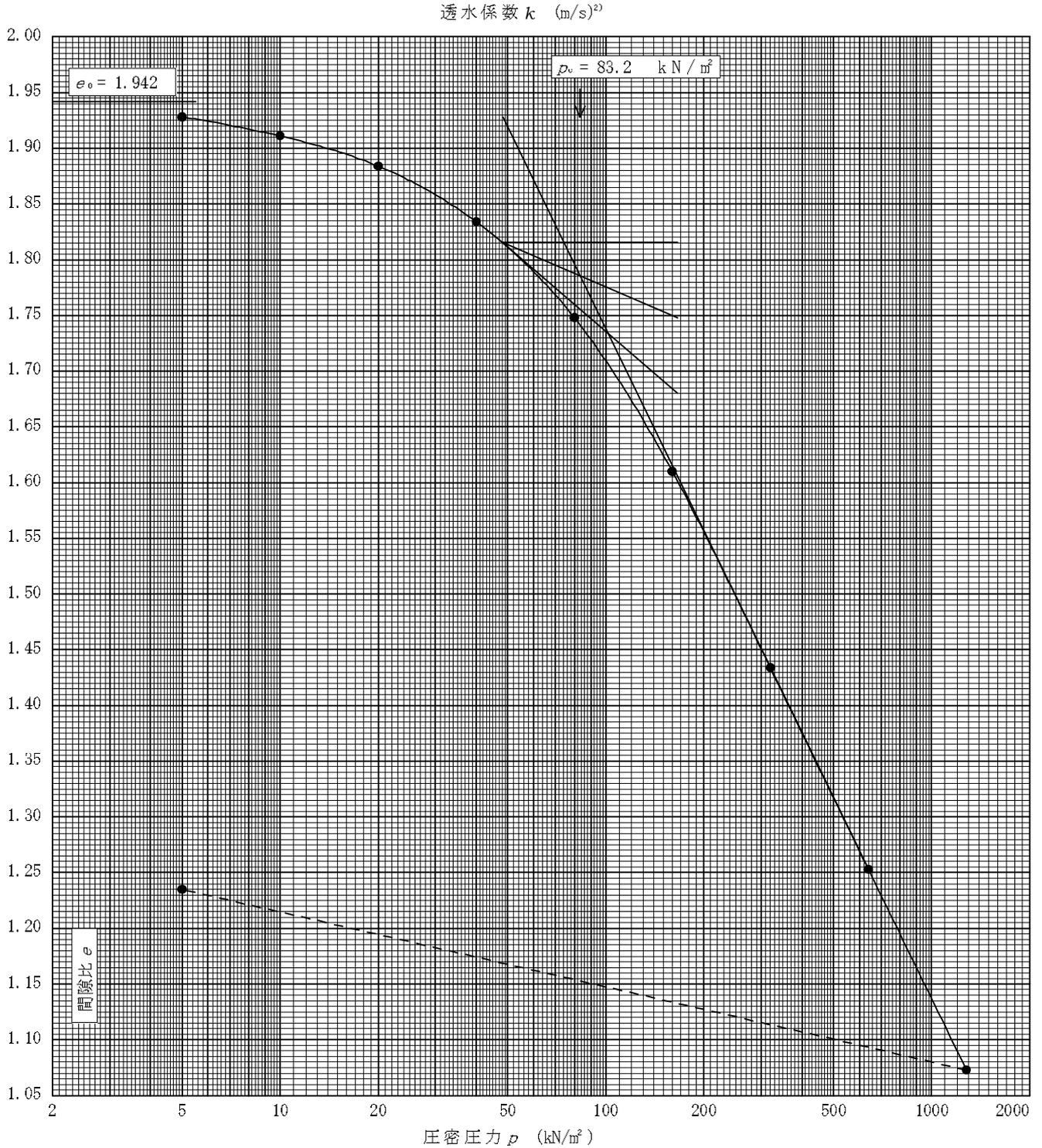
調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 23日

試料番号(深さ) T5-1 (1.10~1.80m)

試験者 寺岡 貴史

土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	液性限界 $w_L$ %	塑性限界 $w_p$ %	初期含水比 $w_0$ %	初期間隙比 $e_0$ 初期体積比 $f_0$	圧縮指数 $C_c$	圧密降伏応力 $p_v$ kN/m <sup>2</sup>	ひずみ速度 <sup>1)</sup> %/min
2.563	86.2	43.8	74.5	1.942	0.60	83.2	



特記事項

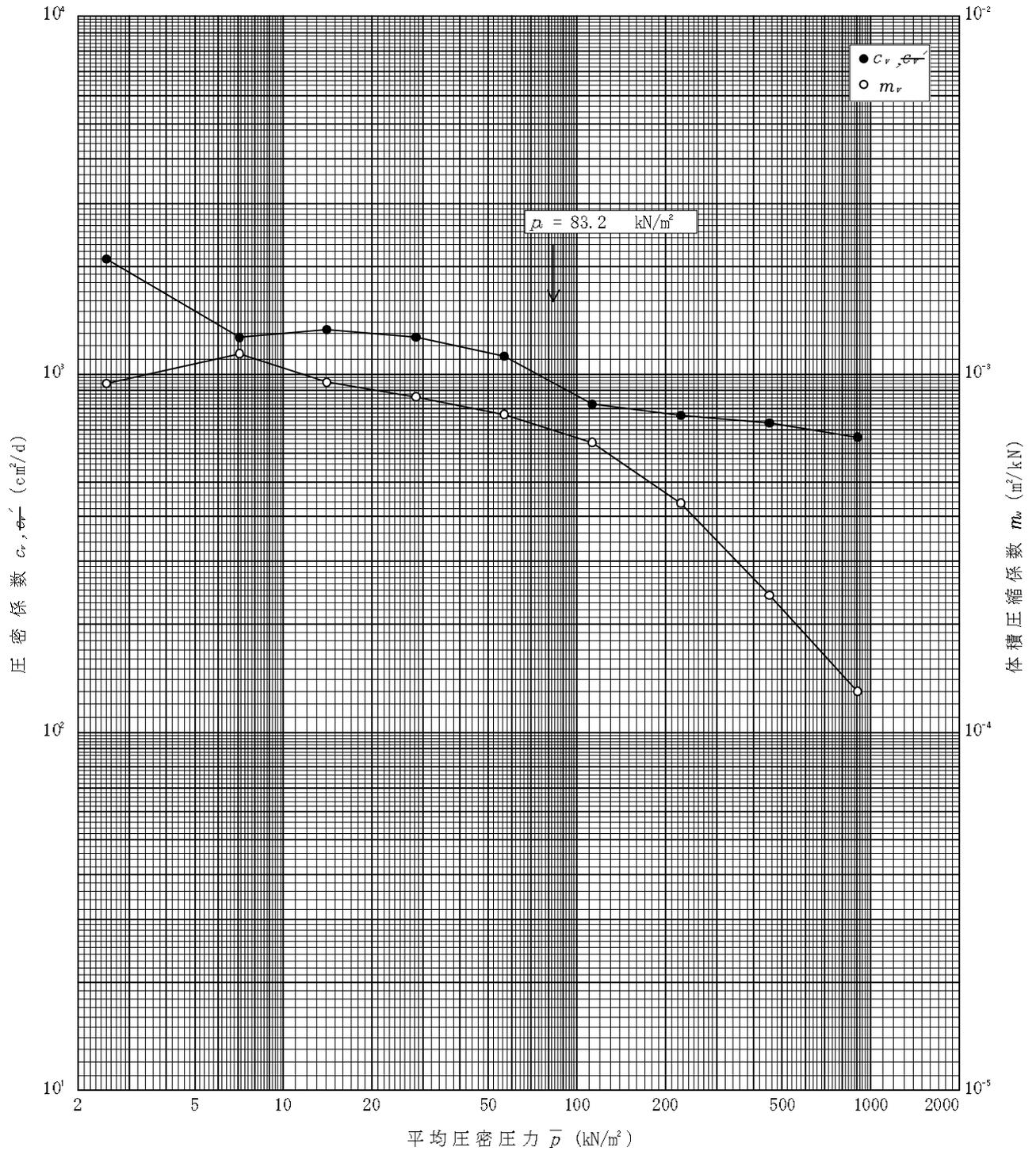
- 1) 定ひずみ速度載荷による圧密試験の時のみ記入する。
- 2) 定ひずみ速度載荷による圧密試験の時のみ使用する。  
[1kN/m<sup>2</sup>≒0.0102kgf/cm<sup>2</sup>]

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 23日

試料番号(深さ) T5-1 (1.10~1.80m)

試験者 寺岡 貴史



特記事項

[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.102kgf/cm<sup>2</sup>]

JIS A 1217	土の段階載荷による圧密試験（計算書）
------------	--------------------

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業 試験年月日 平成 24年 4月 23日  
 組合設立認可申請書作成業務

試料番号（深さ） T5-2 (4.00~4.80m) 試験者 寺岡 貴史

試験機 No.			直 径 $D$ cm	6.000	初 期	含水比 $w_0$ %	137.6	
最低~最高室温 °C	18-25		断 面 積 $A$ cm <sup>2</sup>	28.27	状 態	間隙比 $e_0$ , 体積比 $V_v$	3.521	
土 質 名 称	機質土(高粘性限) (細)		高 さ $H_0$ cm	2.000		湿潤密度 $\rho_r$ g/cm <sup>3</sup>	1.254	
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.386		質 量 $m_v$ g	70.91	体	飽和度 $S_r$ %	93.2	
液性限界 $w_L$ %	171.5		炉乾燥質量 $m_s$ g	29.84		圧縮指数 $C_c$	1.22	
塑性限界 $w_p$ %	68.5		実質高さ $H_s$ cm	0.4424	圧密降伏応力 $p_v$ kN/m <sup>2</sup>		98.4	
載荷段階	圧密圧力 $p$ kN/m <sup>2</sup>	圧力増分 $\Delta p$ kN/m <sup>2</sup>	圧 密 量 $\Delta H$ cm	供試体高さ $H$ cm	平均供試体高さ $\bar{H}$ cm	圧 縮 ひ ず み $\Delta \epsilon = \Delta H / \bar{H} \times 100\%$	体積圧縮係数 $m_v$ m <sup>3</sup> /kN	間隙比 $e = H/H_0 - 1$ 体積比 $V_v = H/H_0$
0	0.0			2.0000				3.521
1	5.0	5.0	0.0086	1.9914	1.9957	0.431	8.62E-4	3.501
2	10.0	5.0	0.0110	1.9804	1.9859	0.554	1.11E-3	3.476
3	20.0	10.0	0.0186	1.9618	1.9711	0.944	9.44E-4	3.434
4	40.0	20.0	0.0283	1.9477	1.9477	1.453	7.27E-4	3.370
5	80.0	40.0	0.0515	1.9335	1.9078	2.699	6.75E-4	3.254
6	160.0	80.0	0.1074	1.8820	1.8283	5.874	7.34E-4	3.011
7	320.0	160.0	0.1627	1.7746	1.6933	9.608	6.01E-4	2.644
8	640.0	320.0	0.1607	1.6119	1.5316	10.492	3.28E-4	2.280
9	5.0	-635.0	-0.1882	1.4512	1.5453	-12.179	1.92E-4	2.280
10				1.6394				2.706
載荷段階	平均圧密圧力 $\bar{p}$ kN/m <sup>2</sup>	$t_{50}, t_{90}$ min	圧密係数 $c_v$ cm <sup>2</sup> /d	透水係数 $k$ m/s	一次圧密量 $\Delta H_1$ cm	一次圧密比 $r = \Delta H_1 / \Delta H$	補正圧密係数 $c'_v = r c_v$ cm <sup>2</sup> /d	透水係数 $k'$ m/s
0	2.5	0.56	2171.2	2.13E-8	0.0030	0.349	757.7	7.42E-9
1	7.1	1.05	1146.6	1.45E-8	0.0034	0.309	354.3	4.47E-9
2	14.1	1.08	1098.2	1.18E-8	0.0063	0.339	372.3	3.99E-9
3	28.3	1.00	1158.1	9.56E-9	0.0101	0.357	413.4	3.41E-9
4	56.6	1.05	1058.2	8.11E-9	0.0193	0.375	396.8	3.04E-9
5	113.1	1.82	560.7	4.67E-9	0.0420	0.391	219.2	1.83E-9
6	226.3	2.45	357.3	2.44E-9	0.0772	0.474	169.4	1.16E-9
7	452.5	2.39	299.6	1.12E-9	0.0731	0.455	136.3	5.08E-10
9	56.6							

特記事項

$$H_s = m_s / (\rho_s A)$$

$$H = H' - \Delta H$$

$$\bar{H} = (H + H') / 2$$

$$m_v = (\Delta \epsilon / 100) / \Delta p$$

$$S_r = w_0 \rho_s / (e_0 \rho_w)$$

$$\bar{p} = \sqrt{p \cdot p'}$$

$$\sqrt{t} \text{法} : c_v = 305 \times \bar{H}^2 / t_{50}$$
~~$$\text{曲線定規法} : c_v = 70.9 \times \bar{H}^2 / t_{50}$$~~

$$k = c_v m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$$

$$k' = c'_v m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$$

ただし,  $\gamma_w = 9.81 \text{ kN/m}^3$

[1kN/m<sup>2</sup> = 0.1012kgf/cm<sup>2</sup>]

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

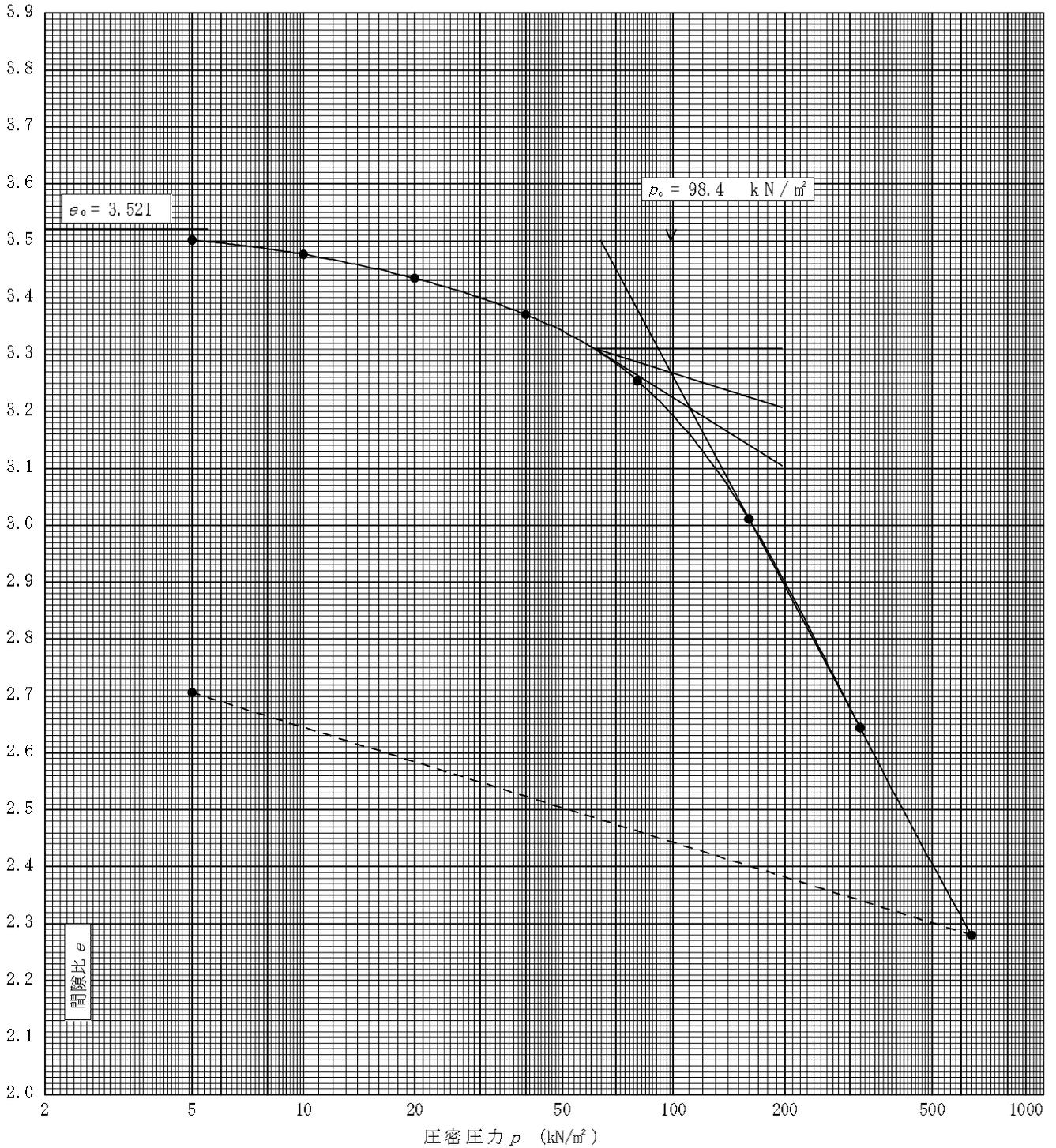
試験年月日 平成 24年 4月 23日

試料番号(深さ) T5-2 (4.00~4.80m)

試験者 寺岡 貴史

土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	液性限界 $w_L$ %	塑性限界 $w_p$ %	初期含水比 $w_0$ %	初期間隙比 $e_0$ 初期体積比 $f_0$	圧縮指数 $C_c$	圧密降伏応力 $p_c$ kN/m <sup>2</sup>	ひずみ速度 <sup>1)</sup> %/min
2.386	171.5	68.5	137.6	3.521	1.22	98.4	

透水係数  $k$  (m/s)<sup>2)</sup>



特記事項

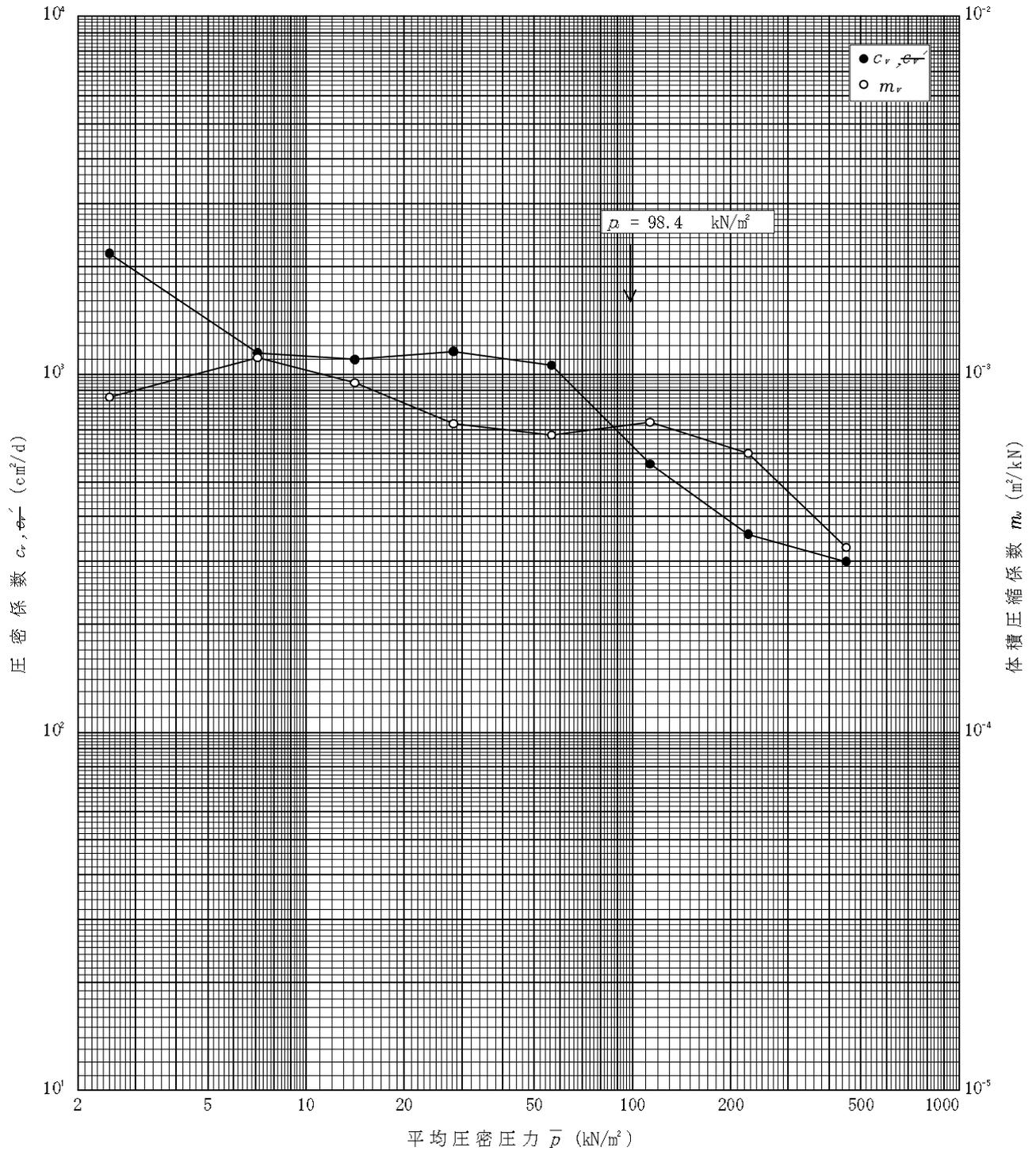
- 1) 定ひずみ速度載荷による圧密試験の時のみ記入する。
- 2) 定ひずみ速度載荷による圧密試験の時のみ使用する。  
[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.1012kgf/cm<sup>2</sup>]

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 23日

試料番号(深さ) T5-2 (4.00~4.80m)

試験者 寺岡 貴史



特記事項

[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.102kgf/cm<sup>2</sup>]

## 土質試験結果一覧表（基礎地盤）

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

整理年月日 平成 24年 5月 14日

整理担当者 寺岡 貴史

試料番号 (深 さ)		T8-1 (1.50~2.30m)	T8-2 (4.50~5.30m)	T8-3 (5.50~6.30m)			
一般	湿潤密度 $\rho_r$ g/cm <sup>3</sup>	1.458	1.128	1.150			
	乾燥密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	0.796	0.320	0.344			
	土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.567	1.869	2.028			
	自然含水比 $w_n$ %	82.0	249.8	230.7			
	間隙比 $e$	2.225	4.841	4.895			
	飽和度 $S_r$ %	94.6	96.4	95.6			
粒度	石分 (75mm以上) %						
	礫分 <sup>1)</sup> (2~75mm) %	0.0	0.0	0.0			
	砂分 <sup>1)</sup> (0.075~2mm) %	0.3	7.8	4.7			
	シルト分 <sup>1)</sup> (0.005~0.075mm) %	46.6	36.9	39.9			
	粘土分 <sup>1)</sup> (0.005mm未満) %	53.1	55.3	55.4			
	最大粒径 mm	2	2	2			
	均等係数 $U_c$	-	-	-			
ロレンツマンシェー特性	液性限界 $w_L$ %	81.7	294.6	245.6			
	塑性限界 $w_p$ %	41.8	130.6	106.2			
	塑性指数 $I_p$	39.9	164.0	139.4			
分類	地盤材料の 分類名	シルト (高液性限界)	砂まじり 高有機質土	有機質粘土 (高液性限界)			
	分類記号	(MH)	{Pt-S}	(OH)			
	試験方法	段階載荷	段階載荷	段階載荷			
圧密	圧縮指数 $C_c$	0.66	3.93	3.66			
	圧密降伏応力 $p_e$ kN/m <sup>2</sup>	64.6	71.8	69.8			
	一軸圧縮強さ $q_u$ kN/m <sup>2</sup>	23.6	97.5	91.7			
せん断	試験条件						
	全応力	$c$ kN/m <sup>2</sup> $\phi$ °					
せん断	有効応力	$c'$ kN/m <sup>2</sup> $\phi'$ °					

特記事項

1) 石分を除いた75mm未満の土質材料  
に対する百分率で表す。

[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.102kgf/cm<sup>2</sup>]

(社)地盤工学会 **6161**

JIS A 1225	土の湿潤密度試験 (ノギス法)	
------------	-----------------	--

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
 組合設立認可申請書作成業務 試験年月日 平成 24年 4月 27日

試料番号 (深さ) T8-1 (1.50~2.30m) 試験者 寺岡 貴史

供試体 No		1	2			
供試体の質量 $m$ g		282.91	289.59			
供試体	直	上部 cm	5.000	5.000		
		中部 cm	5.000	5.000		
	径	下部 cm	5.000	5.000		
		平均値 $D$ cm	5.000	5.000		
体積	高さ	cm	10.000	10.000		
		cm	10.000	10.000		
	平均値 $H$ cm	10.000	10.000			
体積 $V = (\pi D^2 / 4) H$ cm <sup>3</sup>		196.35	196.35			
含水	容器 No					
	$m_a$ g		282.91	289.59		
	$m_b$ g		151.96	160.50		
	$m_c$ g					
	$w$ %		86.2	80.4		
水比	容器 No					
	$m_a$ g					
	$m_b$ g					
	$m_c$ g					
	$w$ %					
平均値 $w$ %		86.2	80.4			
湿潤密度 $\rho_t = m/V$ g/cm <sup>3</sup>		1.441	1.475			
乾燥密度 $\rho_d = \rho_t / (1 + w/100)$ g/cm <sup>3</sup>		0.774	0.818			
間隙比 $e = (\rho_s / \rho_d) - 1$		2.317	2.138			
飽和度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ %		95.5	96.5			
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.567	平均値 $w$ %	83.3	平均値 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup>	1.458
平均値 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>		0.796	平均値 $e$	2.228	平均値 $S_r$ %	96.0

特記事項

JIS A 1225	土の湿潤密度試験（ノギス法）	
------------	----------------	--

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
 組合設立認可申請書作成業務 試験年月日 平成 24年 4月 27日

試料番号（深さ） T8-2（4.50～5.30m） 試験者 寺岡 貴史

供試体 No			1	2		
供試体の質量 $m$ g			226.78	216.09		
供試体	直	上部 cm	5.000	5.000		
		中部 cm	5.000	5.000		
	径	下部 cm	5.000	5.000		
		平均値 $D$ cm	5.000	5.000		
体積	高さ	cm	10.000	10.000		
		cm	10.000	10.000		
	平均値 $H$ cm	10.000	10.000			
体積 $V = (\pi D^2 / 4) H$ cm <sup>3</sup>			196.35	196.35		
含水	容器 No					
	$m_a$ g		226.78	216.09		
	$m_b$ g		72.29	53.19		
	$m_c$ g					
	$w$ %		213.7	306.3		
比	容器 No					
	$m_a$ g					
	$m_b$ g					
	$m_c$ g					
	$w$ %					
平均値 $w$ %			213.7	306.3		
湿潤密度 $\rho_t = m/V$ g/cm <sup>3</sup>			1.155	1.101		
乾燥密度 $\rho_d = \rho_t / (1 + w/100)$ g/cm <sup>3</sup>			0.368	0.271		
間隙比 $e = (\rho_s / \rho_d) - 1$			4.079	5.897		
飽和度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ %			97.9	97.1		
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>			1.869	平均値 $w$ %	260.0	平均値 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup> 1.128
平均値 $\rho_d$ g/cm <sup>3</sup>			0.320	平均値 $e$	4.988	平均値 $S_r$ % 97.5

特記事項

JIS A 1225	土の湿潤密度試験（ノギス法）	
------------	----------------	--

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
 組合設立認可申請書作成業務 試験年月日 平成 24年 4月 27日

試料番号（深さ） T8-3（5.50～6.30m） 試験者 寺岡 貴史

供試体 No			1	2		
供試体の質量 $m$ g			231.88	219.72		
供試体	直	上部 cm	5.000	5.000		
		中部 cm	5.000	5.000		
	径	下部 cm	5.000	5.000		
		平均値 $D$ cm	5.000	5.000		
体積	高	cm	10.000	10.000		
		cm	10.000	10.000		
	平均値 $H$ cm	10.000	10.000			
体積 $V = (\pi D^2 / 4) H$ cm <sup>3</sup>			196.35	196.35		
含水	容器 No					
	$m_a$ g		231.88	219.72		
	$m_b$ g		75.28	59.74		
	$m_c$ g					
$w$ %		208.0	267.8			
水比	容器 No					
	$m_a$ g					
	$m_b$ g					
	$m_c$ g					
	$w$ %					
平均値 $w$ %		208.0	267.8			
湿潤密度 $\rho_t = m/V$ g/cm <sup>3</sup>			1.181	1.119		
乾燥密度 $\rho_s = \rho_t / (1 + w/100)$ g/cm <sup>3</sup>			0.383	0.304		
間隙比 $e = (\rho_s / \rho_s) - 1$			4.295	5.671		
飽和度 $S_r = w \rho_s / (e \rho_w)$ %			98.2	95.8		
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>			2.028	平均値 $w$ %	237.9	平均値 $\rho_t$ g/cm <sup>3</sup> 1.150
平均値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>			0.344	平均値 $e$	4.983	平均値 $S_r$ % 97.0

特記事項

JIS A 1202	土 粒 子 の 密 度 試 験 (測定)
------------	----------------------

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務 試験年月日 平成 24年 5月 1日

試 験 者 寺岡 貴史

試料番号 (深さ)		T8-1 (1.50~2.30m)			T8-2 (4.50~5.30m)		
ピクノメーター No		213	246	204	309	338	371
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 $m_b$ g		152.518	158.156	153.479	146.410	147.531	146.039
$m_b$ をはかったときの内容物の温度 $T$ °C		20.0	20.0	20.0	22.1	22.1	22.1
$T$ °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm <sup>3</sup>		0.99820	0.99820	0.99820	0.99775	0.99775	0.99775
温度 $T$ °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_s^1$ g		138.632	144.198	138.548	144.951	146.067	144.279
試料の 炉乾燥質量	容器 No	213	246	204	309	338	371
	(炉乾燥試料+容器)質量g	53.669	56.670	54.701	39.509	41.212	40.580
	容器質量 g	30.927	33.830	30.302	36.373	38.074	36.808
$m_s$ g		22.742	22.840	24.399	3.136	3.138	3.772
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.563	2.567	2.572	1.866	1.870	1.871
平均値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.567			1.869		
試料番号 (深さ)		T8-3 (5.50~6.30m)					
ピクノメーター No		310	378	388			
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 $m_b$ g		155.593	152.635	153.559			
$m_b$ をはかったときの内容物の温度 $T$ °C		22.1	22.1	22.1			
$T$ °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm <sup>3</sup>		0.99775	0.99775	0.99775			
温度 $T$ °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_s^1$ g		153.000	150.543	151.166			
試料の 炉乾燥質量	容器 No	310	378	388			
	(炉乾燥試料+容器)質量g	48.227	46.102	46.612			
	容器質量 g	43.135	41.985	41.889			
$m_s$ g		5.092	4.117	4.723			
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.033	2.029	2.022			
平均値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>		2.028					
試料番号 (深さ)							
ピクノメーター No							
(試料+蒸留水+ピクノメーター)の質量 $m_b$ g							
$m_b$ をはかったときの内容物の温度 $T$ °C							
$T$ °Cにおける蒸留水の密度 $\rho_w(T)$ g/cm <sup>3</sup>							
温度 $T$ °Cの蒸留水を満たしたときの (蒸留水+ピクノメーター)質量 $m_s^1$ g							
試料の 炉乾燥質量	容器 No						
	(炉乾燥試料+容器)質量g						
	容器質量 g						
$m_s$ g							
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>							
平均値 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>							

特記事項

1) ピクノメーターの検定結果から求める。

$$\rho_s = \frac{m_s}{m_s + (m_b - m_s)} \times \rho_w(T)$$

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 5月 2日

試験者 寺岡 貴史

試料番号 (深さ)	T8-1 (1.50~2.30m)			T8-2 (4.50~5.30m)		
容器 No.	47	317	326	34	26	77
$m_s$ g	80.37	78.96	84.34	65.20	62.89	61.99
$m_b$ g	56.25	55.61	58.47	37.96	37.20	36.90
$m_c$ g	26.87	27.00	27.00	26.90	26.67	27.22
$w$ %	82.10	81.61	82.21	246.29	243.97	259.19
平均値 $w$ %	82.0			249.8		
特記事項						

試料番号 (深さ)	T8-3 (5.50~6.30m)					
容器 No.	32	96	112			
$m_s$ g	64.32	65.80	62.22			
$m_b$ g	38.33	38.98	37.72			
$m_c$ g	27.20	27.07	27.22			
$w$ %	233.51	225.19	233.33			
平均値 $w$ %	230.7					
特記事項						

試料番号 (深さ)						
容器 No.						
$m_s$ g						
$m_b$ g						
$m_c$ g						
$w$ %						
平均値 $w$ %						
特記事項						

試料番号 (深さ)						
容器 No.						
$m_s$ g						
$m_b$ g						
$m_c$ g						
$w$ %						
平均値 $w$ %						
特記事項						

試料番号 (深さ)						
容器 No.						
$m_s$ g						
$m_b$ g						
$m_c$ g						
$w$ %						
平均値 $w$ %						
特記事項						

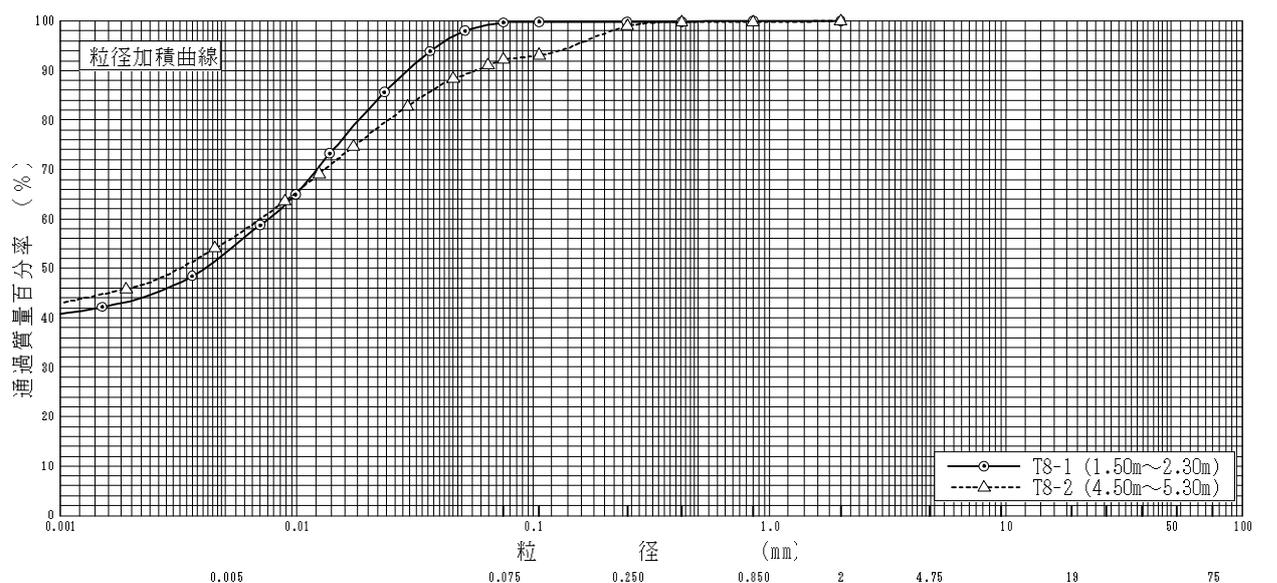
$$w = \frac{m_s - m_b}{m_c - m_b} \times 100$$

$m_s$  : (試料 + 容器)質量  
 $m_b$  : (炉乾燥試料 + 容器)質量  
 $m_c$  : 容器質量

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業 試験年月日 平成 24年 5月 7日  
 組合設立認可申請書作成業務

試 験 者 寺岡 貴史

試料番号 (深 さ)	T8-1 (1.50~2.30m)		T8-2 (4.50~5.30m)		試 料 番 号 (深 さ)	T8-1 (1.50~2.30m)	T8-2 (4.50~5.30m)
	粒 径 mm	通過質量百分率%	粒 径 mm	通過質量百分率%			
ふる る い 分 析	7E		7E		粗 礫 分 率 %	-	-
	5E		5E		中 礫 分 率 %	-	-
	37.5		37.5		細 礫 分 率 %	-	-
	26.5		26.5		粗 砂 分 率 %	0.0	0.2
	1E		1E		中 砂 分 率 %	0.1	0.8
	9.5		9.5		細 砂 分 率 %	0.2	6.8
	4.7b		4.7E		シルト分率 %	46.6	36.9
	2	100.0	2	100.0	粘土分率 %	53.1	55.3
	0.85C	100.0	0.85C	99.8	2mmふるい通過質量百分率 %	100.0	100.0
	0.42E	99.9	0.42E	99.8	425μmふるい通過質量百分率 %	99.9	99.8
	0.25C	99.9	0.25C	99.0	75μmふるい通過質量百分率 %	99.7	92.2
	0.10E	99.8	0.10E	93.1	最大粒径 mm	2	2
	0.07E	99.7	0.07E	92.2	60 % 粒径 $D_{60}$ mm	0.0076	0.0070
沈 降 分 析	0.0515	98.0	0.0643	91.0	50 % 粒径 $D_{50}$ mm	0.0041	0.0032
	0.0366	93.9	0.0458	88.3	30 % 粒径 $D_{30}$ mm	-	-
	0.0235	85.6	0.0294	82.8	10 % 粒径 $D_{10}$ mm	-	-
	0.0138	73.2	0.0173	74.6	均等係数 $U_c$	-	-
	0.0099	64.9	0.0124	69.1	曲率係数 $U_c'$	-	-
	0.0070	58.7	0.0089	63.6	土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.567	1.869
	0.0036	48.4	0.0045	54.0	使用した分散剤	ヘキサタリル酸トリウム	ヘキサタリル酸トリウム
	0.0015	42.2	0.0019	45.8	溶液濃度, 溶液添加量	飽和溶液, 10ml	飽和溶液, 10ml
				20 % 粒径 $D_{20}$ mm	-	-	



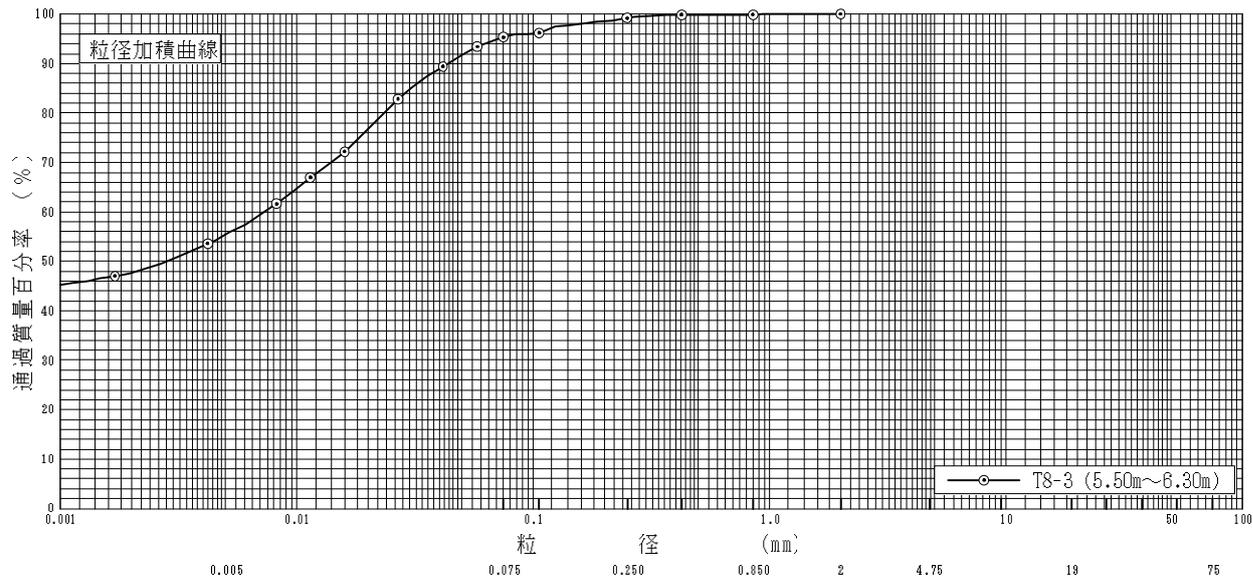
粘 土	シ ル ト	細 砂	中 砂	粗 砂	細 礫	中 礫	粗 礫
-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

特記事項

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業 試験年月日 平成 24年 5月 7日  
 組合設立認可申請書作成業務

試験者 寺岡 貴史

試料番号 (深さ)	T8-3 (5.50~6.30m)		試料番号 (深さ)		T8-3 (5.50~6.30m)	
	粒径 mm	通過質量百分率%	粒径 mm	通過質量百分率%	粗 礫 分 %	-
ふるい 分け 析	75		75		中 礫 分 %	-
	52		52		細 礫 分 %	-
	37.5		37.5		粗 砂 分 %	0.1
	26.5		26.5		中 砂 分 %	0.7
	19		19		細 砂 分 %	3.9
	9.5		9.5		シルト分 %	39.9
	4.75		4.75		粘土分 %	55.4
	2	100.0	2		2mmふるい通過質量百分率 %	100.0
	0.850	99.9	0.850		425μmふるい通過質量百分率 %	99.8
	0.425	99.8	0.425		75μmふるい通過質量百分率 %	95.3
	0.250	99.2	0.250		最大粒径 mm	2
	0.106	96.2	0.106		60 % 粒径 $D_{60}$ mm	0.0073
	0.075	95.3	0.075		50 % 粒径 $D_{50}$ mm	0.0028
沈 降 分 析	0.0581	93.4			30 % 粒径 $D_{30}$ mm	-
	0.0415	89.4			10 % 粒径 $D_{10}$ mm	-
	0.0268	82.8			均等係数 $U_c$	-
	0.0159	72.2			曲率係数 $U_c'$	-
	0.0114	66.9			土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.028
	0.0082	61.6			使用した分散剤	ヘキサメチル酸トリウム
	0.0042	53.6			溶液濃度, 溶液添加量	飽和溶液, 10ml
0.0017	47.0			20 % 粒径 $D_{20}$ mm	-	



粘 土	シ ル ト	細 砂	中 砂	粗 砂	細 礫	中 礫	粗 礫
-----	-------	-----	-----	-----	-----	-----	-----

特記事項

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 5月 11日

試験者 寺岡 貴史

試料番号(深さ) T8-1 (1.50~2.30m)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		81.7
32	80.1	42.0		塑性限界 $w_p$ %
28	81.0	42.3		41.8
23	82.4	41.1		塑性指数 $I_p$
18	83.6			39.9
15	84.5			

試料番号(深さ) T8-2 (4.50~5.30m)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		294.6
43	285.6	130.9		塑性限界 $w_p$ %
29	290.9	130.2		130.6
23	295.2	130.8		塑性指数 $I_p$
19	298.9			164.0
14	306.9			

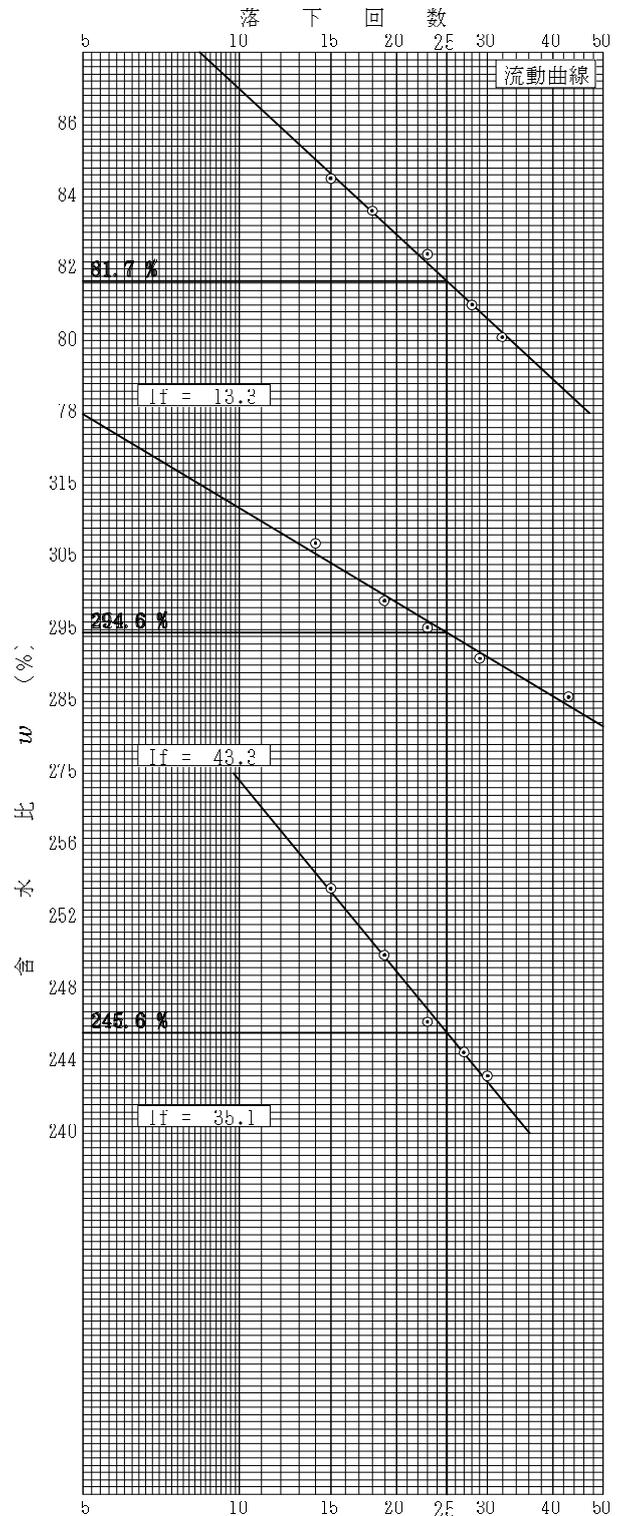
試料番号(深さ) T8-3 (5.50~6.30m)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		245.6
30	243.2	106.3		塑性限界 $w_p$ %
27	244.5	106.1		106.2
23	246.2	106.3		塑性指数 $I_p$
19	249.9			139.4
15	253.6			

試料番号(深さ)

液性限界試験		塑性限界試験		液性限界 $w_L$ %
落下回数	含水比 $w$ %	含水比 $w$ %		
				塑性限界 $w_p$ %
				塑性指数 $I_p$

特記事項



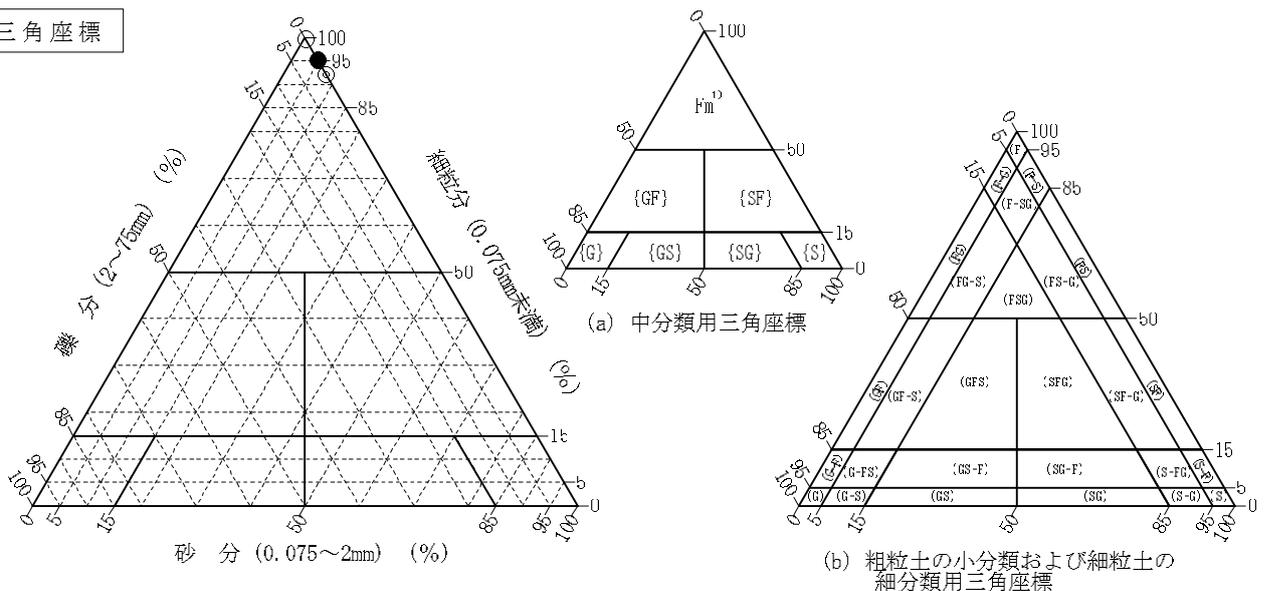
調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 5月 11日

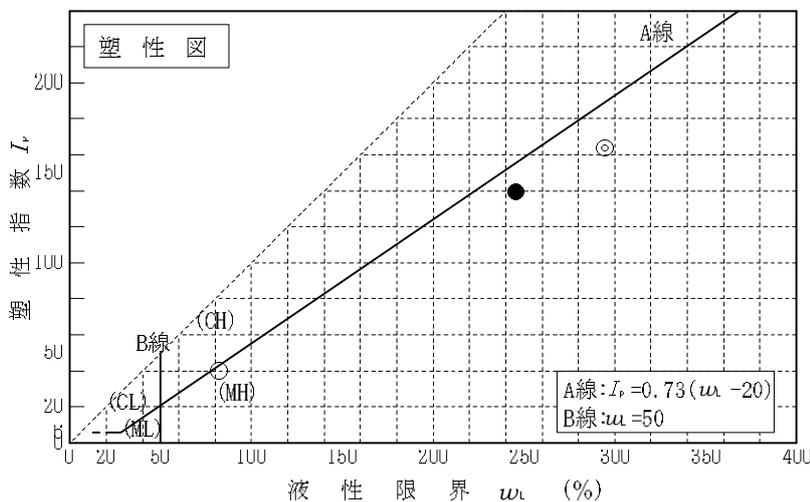
試験者 寺岡 貴史

試料番号 (深さ)	T8-1 (1.50~2.30m)	T8-2 (4.50~5.30m)	T8-3 (5.50~6.30m)			
石分(75mm以上) %						
礫分(2~75mm) %	0.0	0.0	0.0			
砂分(0.075~2mm) %	0.3	7.8	4.7			
細粒分(0.075mm未満) %	99.7	92.2	95.3			
シルト分(0.005~0.075mm)%	46.6	36.9	39.9			
粘土分(0.005mm未満) %	53.1	55.3	55.4			
最大粒径 mm	2	2	2			
均等係数 $U_c$	-	-	-			
液性限界 $w_L$ %	81.7	294.6	245.6			
塑性限界 $w_p$ %	41.8	130.6	106.2			
塑性指数 $I_p$	39.9	164.0	139.4			
地盤材料の分類名	シルト (高液性限界)	砂まじり 高有機質土	有機質粘土 (高液性限界)			
分類記号	(MH)	{Pt-S}	(OH)			
凡例記号	○	◎	●			

三角座標



特記事項 1) 主に観察と塑性図で判別分類



JIS A 1216  
JGS 0511

土の一軸圧縮試験(強度・変形特性)

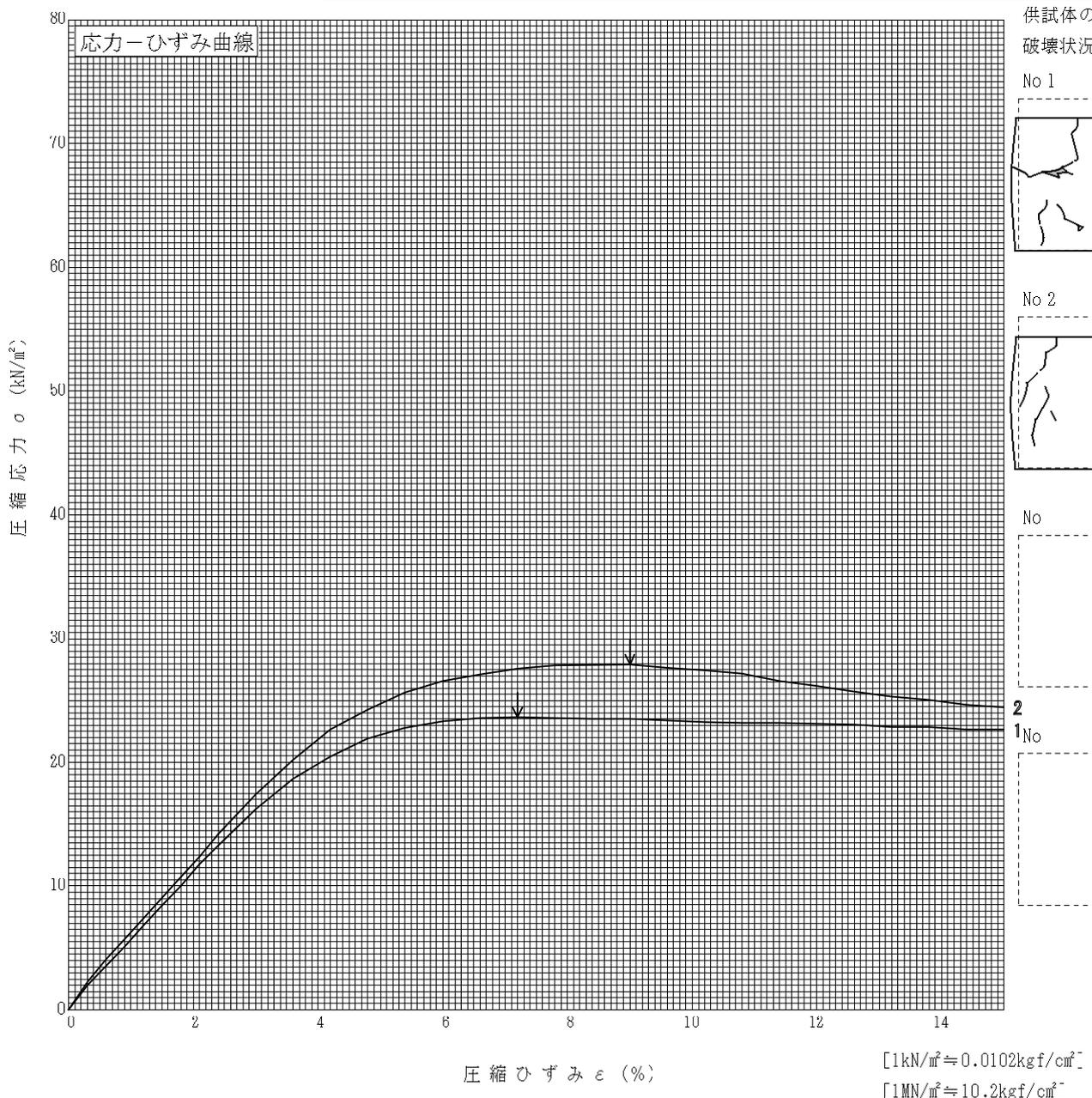
調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 27日

試料番号(深さ) T8-1 (1.50~2.30m)

試験者 石川 慎平

土質名称	液性限界 $w_L$ (%)	塑性限界 $w_P$ (%)	ひずみ速度 %/min	特記事項 1) 必要に応じて記載する。	供試体 No	1	2
	81.7	41.8	1.0	$E_{50} = \frac{q_u}{\frac{2}{\epsilon_{50}}} / 10$	試料の状態	乱さない	乱さない
					高さ $h$ cm	10.00	10.00
					直径 $D$ cm	5.00	5.00
					質量 $m$ g	282.91	289.59
					湿潤密度 $\rho_r$ g/cm <sup>3</sup>	1.441	1.475
					含水比 $w$ %	86.2	80.4
					一軸圧縮強さ $q_u$ kN/m <sup>2</sup>	23.6	27.9
					破壊ひずみ $\epsilon_f$ %	7.20	9.00
					変形係数 $E_{50}$ MN/m <sup>2</sup>	0.558	0.591
				鋭敏比 $S_r$			



JIS A 1216  
JGS 0511

土の一軸圧縮試験 (強度・変形特性)

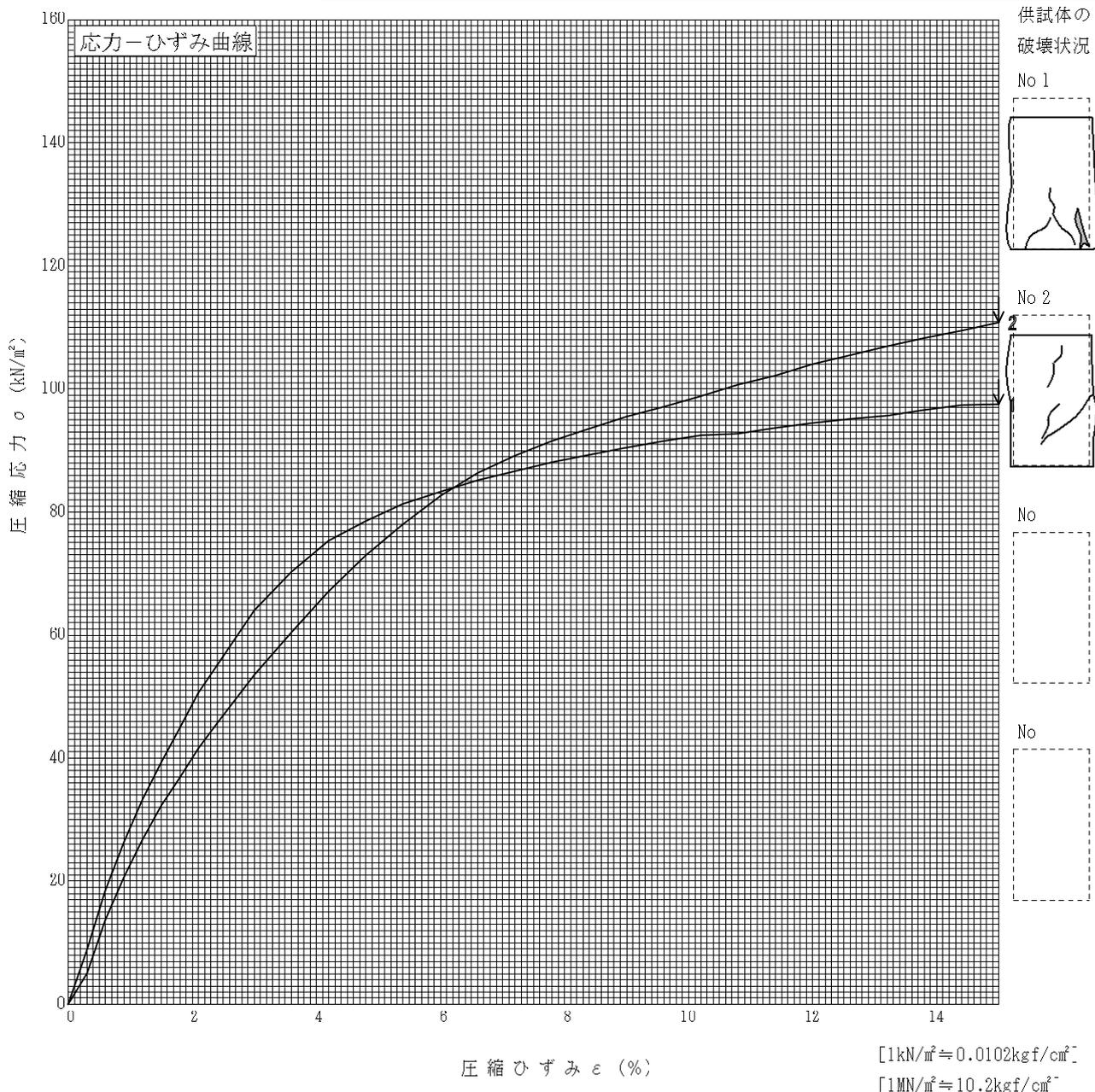
調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 27日

試料番号 (深さ) T8-2 (4.50~5.30m)

試験者 石川 慎平

土質名称	供試体 No	1	2	
液性限界 $w_l$ %	294.6	乱さない	乱さない	
塑性限界 $w_p$ %	130.6	高さ $h$ cm	10.00	10.00
ひずみ速度 %/min	1.0	直径 $D$ cm	5.00	5.00
特記事項 1) 必要に応じて記載する。 $E_{50} = \frac{q_0}{\varepsilon_{50}} / 10$	質量 $m$ g	226.78	216.09	
	湿潤密度 $\rho_r$ g/cm <sup>3</sup>	1.155	1.101	
	含水比 $w$ %	213.7	306.3	
	一軸圧縮強さ $q_0$ kN/m <sup>2</sup>	97.5	111	
	破壊ひずみ $\varepsilon_f$ %	15.00	15.00	
	変形係数 $E_{50}$ MN/m <sup>2</sup>	2.44	1.76	
	鋭敏比 $S_r$			



JIS A 1216  
JGS 0511

土の一軸圧縮試験(強度・変形特性)

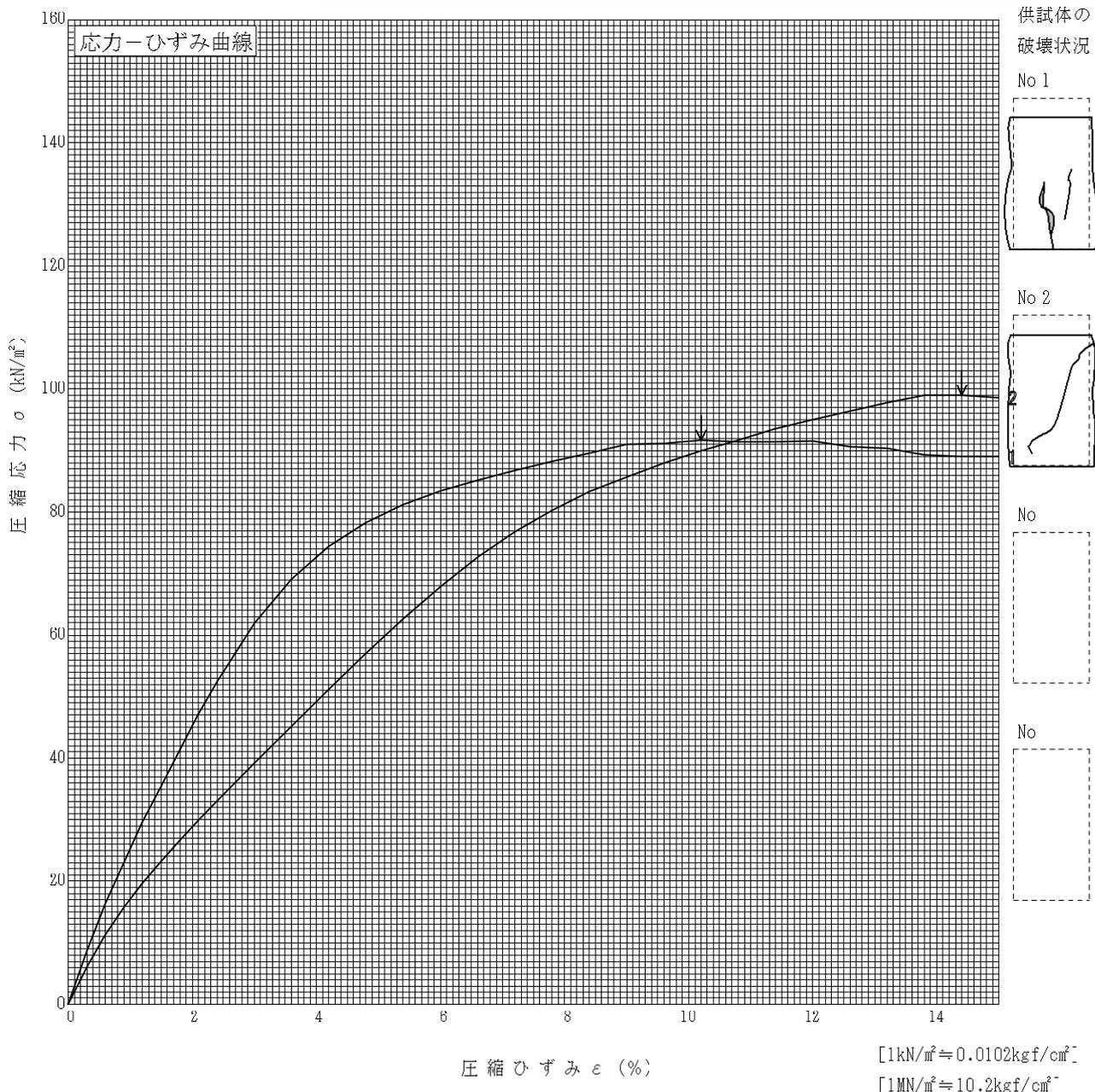
調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 27日

試料番号(深さ) T8-3 (5.50~6.30m)

試験者 石川 慎平

土質名称	磯森土(高粘性) (備)	供試体 No	1	2	
液性限界 $w_l^{(1)}$ %	245.6	試料の状態	乱さない	乱さない	
塑性限界 $w_p^{(1)}$ %	106.2	高さ $h$ cm	10.00	10.00	
ひずみ速度 %/min	1.0	直径 $D$ cm	5.00	5.00	
特記事項 1) 必要に応じて記載する。 $E_{50} = \frac{q_0}{\varepsilon_{50}} / 10$	質量 $m$ g		231.88	219.72	
	湿潤密度 $\rho_r^{(1)}$ g/cm <sup>3</sup>		1.181	1.119	
	含水比 $w$ %		208.0	267.8	
	一軸圧縮強さ $q_0$ kN/m <sup>2</sup>		91.7	99.0	
	破壊ひずみ $\varepsilon_f$ %		10.20	14.40	
	変形係数 $E_{50}^{(1)}$ MN/m <sup>2</sup>		2.26	1.23	
	鋭敏比 $S_r^{(1)}$				



JIS A 1217	土の段階載荷による圧密試験 (計算書)
------------	---------------------

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業 試験年月日 平成 24年 4月 23日  
 組合設立認可申請書作成業務

試料番号 (深さ) T8-1 (1.50~2.30m) 試験者 寺岡 貴史

試験機 No.		供 試 体	直 径 $D$ cm	6.000	初 期 状 態	含水比 $w_0$ %	77.1
最低~最高室温 °C	18-25		断 面 積 $A$ cm <sup>2</sup>	28.27		間隙比 $e_0$ , 体積比 $V_0$	2.025
土 質 名 称	沙 (高粘性) (細)		高 さ $H_0$ cm	2.000		湿潤密度 $\rho_w$ g/cm <sup>3</sup>	1.502
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.567		質 量 $m_0$ g	84.96		飽和度 $S_{r0}$ %	97.7
液性限界 $w_L$ %	81.7		炉乾燥質量 $m$ g	47.98		圧縮指数 $C_c$	0.66
塑性限界 $w_p$ %	41.8		実質高さ $H_s$ cm	0.6612		圧密降伏応力 $p_c$ kN/m <sup>2</sup>	64.6

載荷 段階	圧密圧力 $p$ kN/m <sup>2</sup>	圧力増分 $\Delta p$ kN/m <sup>2</sup>	圧 密 量 $\Delta H$ cm	供試体高さ $H$ cm	平均供試体高さ $\bar{H}$ cm	圧 縮 ひ ず み $\Delta \epsilon = \Delta H / \bar{H} \times 100\%$	体積圧縮係数 $m_v$ m <sup>2</sup> /kN	間隙比 $e = H / H_0 - 1$ 体積比 $V = H / H_0$
0	0.0			2.0000				2.025
		5.0	0.0120		1.9940	0.602	1.20E-3	
1	5.0			1.9880				2.007
		5.0	0.0145		1.9808	0.732	1.46E-3	
2	10.0			1.9735				1.985
		10.0	0.0246		1.9612	1.254	1.25E-3	
3	20.0			1.9489				1.948
		20.0	0.0420		1.9279	2.179	1.09E-3	
4	40.0			1.9069				1.884
		40.0	0.0724		1.8707	3.870	9.68E-4	
5	80.0			1.8345				1.775
		80.0	0.1153		1.7769	6.489	8.11E-4	
6	160.0			1.7192				1.600
		160.0	0.1312		1.6536	7.934	4.96E-4	
7	320.0			1.5880				1.402
		320.0	0.1269		1.5246	8.323	2.60E-4	
8	640.0			1.4611				1.210
		-635.0	-0.1081		1.5152	-7.134	1.12E-4	
9	5.0			1.5692				1.373
10								

載荷 段階	平均圧密圧力 $\bar{p}$ kN/m <sup>2</sup>	$t_{50}, t_{90}$ min	圧密係数 $c_v$ cm <sup>2</sup> /d	透水係数 $k$ m/s	一次圧密量 $\Delta H_1$ cm	一次圧密比 $r = \Delta H_1 / \Delta H$	補正圧密係数 $c'_v = r c_v$ cm <sup>2</sup> /d	透水係数 $k'$ m/s
0								
1	2.5	0.78	1556.2	2.12E-8	0.0036	0.300	466.9	6.36E-9
2	7.1	1.25	958.2	1.59E-8	0.0038	0.262	251.0	4.16E-9
3	14.1	1.28	917.3	1.30E-8	0.0083	0.337	309.1	4.39E-9
4	28.3	1.35	840.5	1.04E-8	0.0157	0.374	314.3	3.89E-9
5	56.6	1.37	779.8	8.57E-9	0.0269	0.372	290.1	3.19E-9
6	113.1	1.73	557.2	5.13E-9	0.0551	0.478	266.3	2.45E-9
7	226.3	1.61	518.5	2.92E-9	0.0660	0.503	260.8	1.47E-9
8	452.5	1.58	449.1	1.33E-9	0.0653	0.515	231.3	6.83E-10
9	56.6							
10								

特記事項

$$H_s = m_s / (\rho_s A)$$

$$H = H' - \Delta H$$

$$\bar{H} = (H + H') / 2$$

$$m_s = (\Delta \epsilon / 100) / \Delta p$$

$$S_r = w_0 \rho_s / (e_0 \rho_w)$$

$$\bar{p} = \sqrt{p \cdot p'}$$

$$\sqrt{t} \text{法: } c_v = 305 \times \bar{H}^2 / t_{50}$$
~~$$\text{曲線定規法: } c_v = 70.9 \times \bar{H}^2 / t_{50}$$~~

$$k = c_v m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$$

$$k' = c'_v m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$$

ただし,  $\gamma_w = 9.81 \text{ kN/m}^3$

[1kN/m<sup>2</sup> = 0.102kgf/cm<sup>2</sup>]

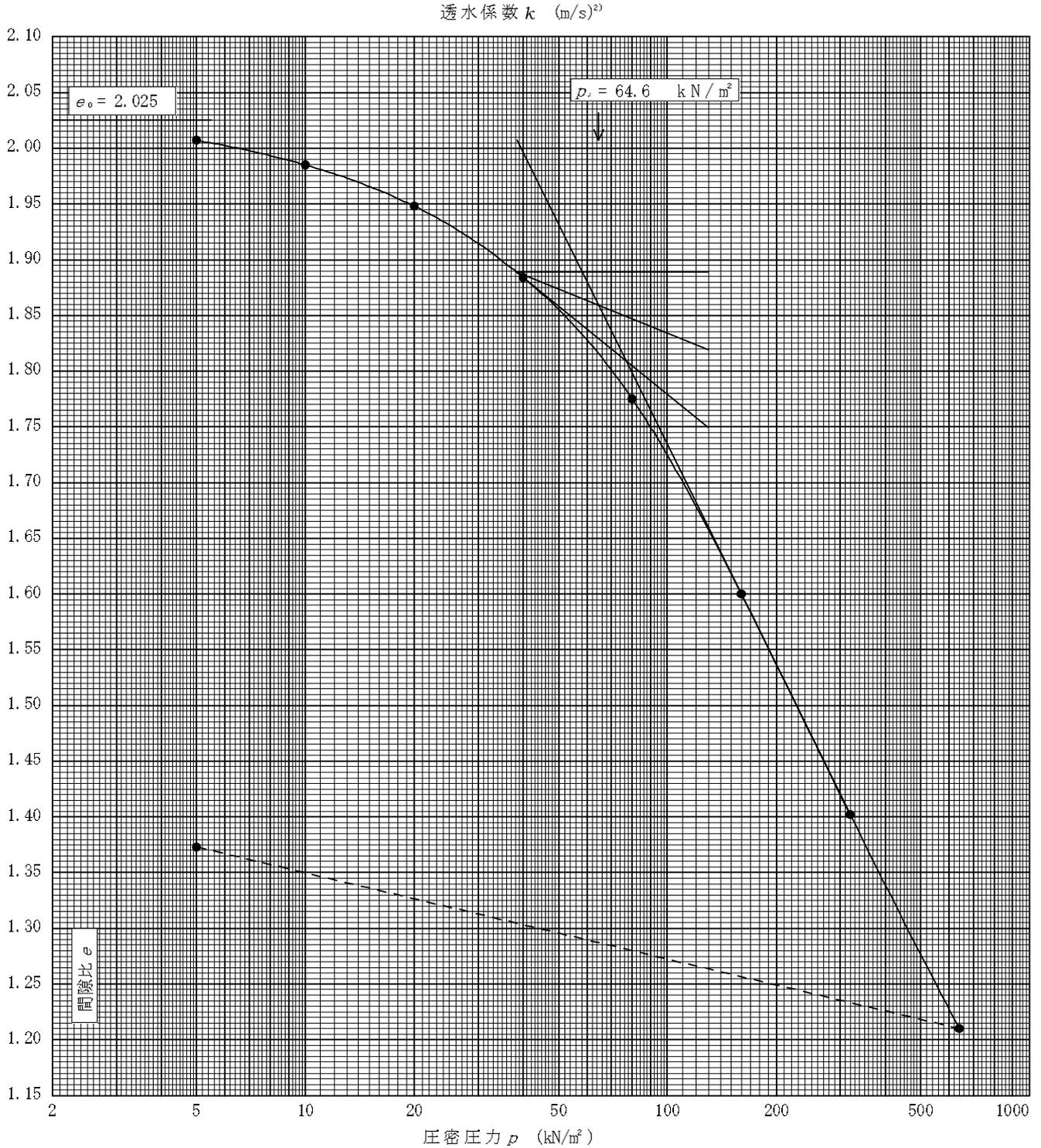
調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 23日

試料番号(深さ) T8-1 (1.50~2.30m)

試験者 寺岡 貴史

土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	液性限界 $w_L$ %	塑性限界 $w_p$ %	初期含水比 $w_0$ %	初期間隙比 $e_0$ 初期体積比 $f_0$	圧縮指数 $C_c$	圧密降伏応力 $p_c$ kN/m <sup>2</sup>	ひずみ速度 <sup>1)</sup> %/min
2.567	81.7	41.8	77.1	2.025	0.66	64.6	



特記事項

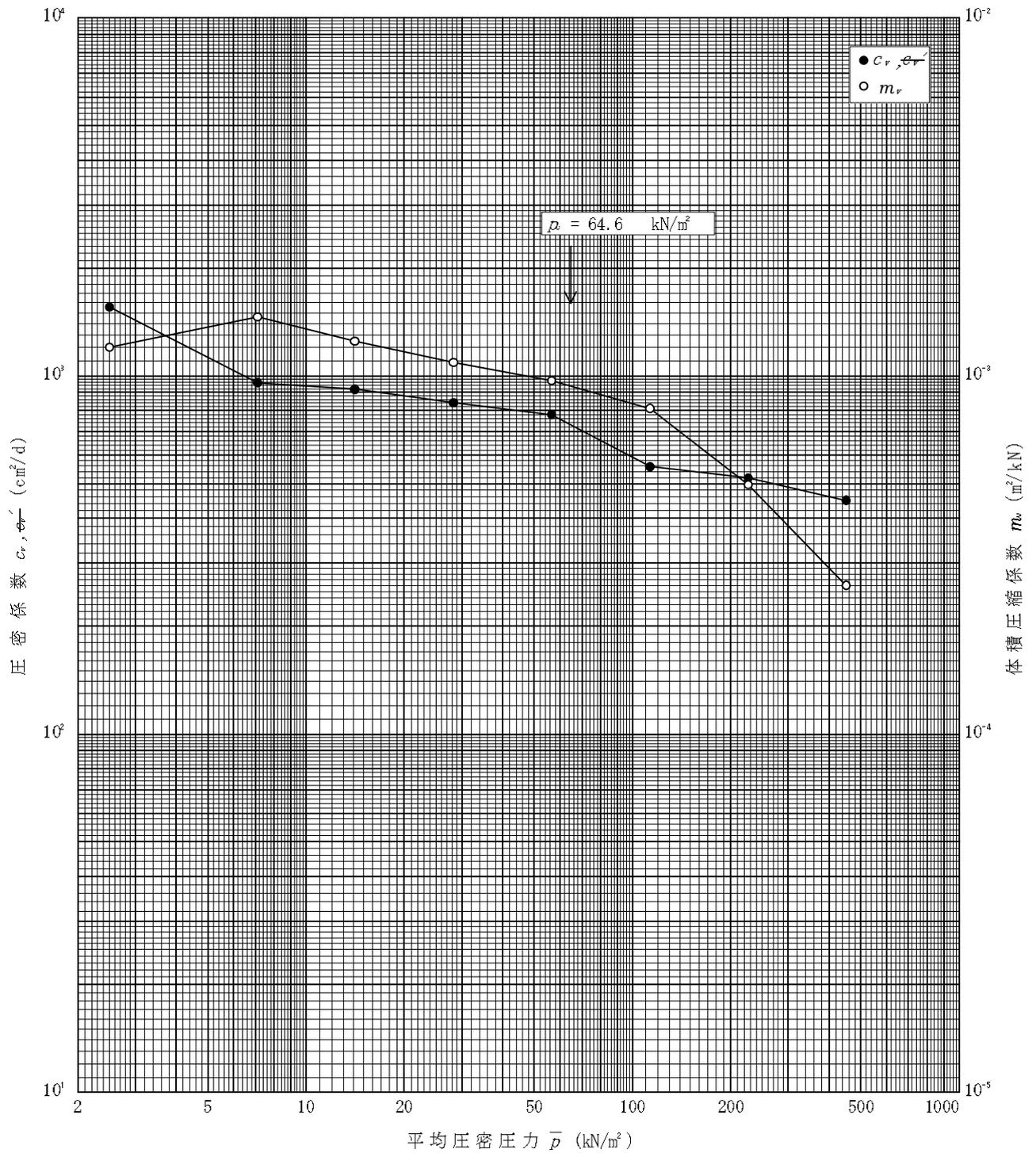
- 1) 定ひずみ速度载荷による圧密試験の時のみ記入する。
- 2) 定ひずみ速度载荷による圧密試験の時のみ使用する。  
[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.0102kgf/cm<sup>2</sup>]

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 23日

試料番号(深さ) T8-1 (1.50~2.30m)

試験者 寺岡 貴史



特記事項

[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.102kgf/cm<sup>2</sup>]

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業 試験年月日 平成 24年 4月 23日  
 組合設立認可申請書作成業務

試料番号（深さ） T8-2（4.50～5.30m） 試験者 寺岡 貴史

試験機 No.		供 試 体	直 径 $D$ cm	6.000	初 期 状 態	含水比 $w_0$ %	328.6
最低～最高室温 °C	18-25		断 面 積 $A$ cm <sup>2</sup>	28.27		間隙比 $e_0$ , 体積比 $V_0$	6.559
土質名称	砂じり粘土 (H-3)		高 さ $H_0$ cm	2.000		湿潤密度 $\rho_r$ g/cm <sup>3</sup>	1.060
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	1.869		質 量 $m_0$ g	59.92		飽和度 $S_r$ %	93.6
液性限界 $w_L$ %	294.6		炉乾燥質量 $m_s$ g	13.98		圧縮指数 $C_c$	3.93
塑性限界 $w_p$ %	130.6		実質高さ $H_s$ cm	0.2646		圧密降伏応力 $p_v$ kN/m <sup>2</sup>	71.8

載荷段階	圧密圧力 $p$ kN/m <sup>2</sup>	圧力増分 $\Delta p$ kN/m <sup>2</sup>	圧 密 量 $\Delta H$ cm	供試体高さ $H$ cm	平均供試体高さ $\bar{H}$ cm	圧 縮 ひ ず み $\Delta \epsilon = \Delta H / \bar{H} \times 100\%$	体積圧縮係数 $m_v$ m <sup>2</sup> /kN	間隙比 $e = H / H_0 - 1$ 体積比 $V = H / H_0$
0	0.0			2.0000				6.559
		5.0	0.0143		1.9929	0.718	1.44E-3	
1	5.0			1.9857				6.505
		5.0	0.0183		1.9766	0.926	1.85E-3	
2	10.0			1.9674				6.435
		10.0	0.0230		1.9559	1.176	1.18E-3	
3	20.0			1.9444				6.348
		20.0	0.0385		1.9252	2.000	1.00E-3	
4	40.0			1.9059				6.203
		40.0	0.1003		1.8558	5.405	1.35E-3	
5	80.0			1.8056				5.824
		80.0	0.3062		1.6525	18.530	2.32E-3	
6	160.0			1.4994				4.667
		160.0	0.3130		1.3429	23.308	1.46E-3	
7	320.0			1.1864				3.484
		320.0	0.2396		1.0666	22.464	7.02E-4	
8	640.0			0.9468				2.578
		-635.0	-0.3658		1.1297	-32.380	5.10E-4	
9	5.0			1.3126				3.961
10								

載荷段階	平均圧密圧力 $\bar{p}$ kN/m <sup>2</sup>	$t_{50}, t_{90}$ min	圧密係数 $c_v$ cm <sup>2</sup> /d	透水係数 $k$ m/s	一次圧密量 $\Delta H_1$ cm	一次圧密比 $r = \Delta H_1 / \Delta H$	補正圧密係数 $c'_v = r c_v$ cm <sup>2</sup> /d	透水係数 $k'$ m/s
0								
1	2.5	0.53	2287.7	3.74E-8	0.0033	0.231	528.5	8.64E-9
2	7.1	0.76	1569.4	3.30E-8	0.0029	0.158	248.0	5.21E-9
3	14.1	0.79	1478.3	1.98E-8	0.0054	0.235	347.4	4.65E-9
4	28.3	0.87	1300.6	1.48E-8	0.0100	0.260	338.2	3.84E-9
5	56.6	1.28	821.4	1.26E-8	0.0276	0.275	225.9	3.46E-9
6	113.1	5.69	146.5	3.86E-9	0.1306	0.427	62.6	1.65E-9
7	226.3	7.50	73.4	1.22E-9	0.1313	0.419	30.8	5.11E-10
8	452.5	9.48	36.6	2.92E-10	0.0978	0.408	14.9	1.19E-10
9	56.6							
10								

特記事項

$$H_s = m_s / (\rho_s A)$$

$$H = H' - \Delta H$$

$$\bar{H} = (H + H') / 2$$

$$m_v = (\Delta \epsilon / 100) / \Delta p$$

$$S_r = w_0 \rho_s / (e_0 \rho_w)$$

$$\bar{p} = \sqrt{p \cdot p'}$$

$$\sqrt{t} \text{法} : c_v = 305 \times \bar{H}^2 / t_{50}$$
~~$$\text{曲線定規法} : c_v = 70.9 \times \bar{H}^2 / t_{50}$$~~

$$k = c_v m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$$

$$k' = c'_v m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$$

ただし,  $\gamma_w = 9.81 \text{ kN/m}^3$

[1kN/m<sup>2</sup> = 0.102kgf/cm<sup>2</sup>]

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

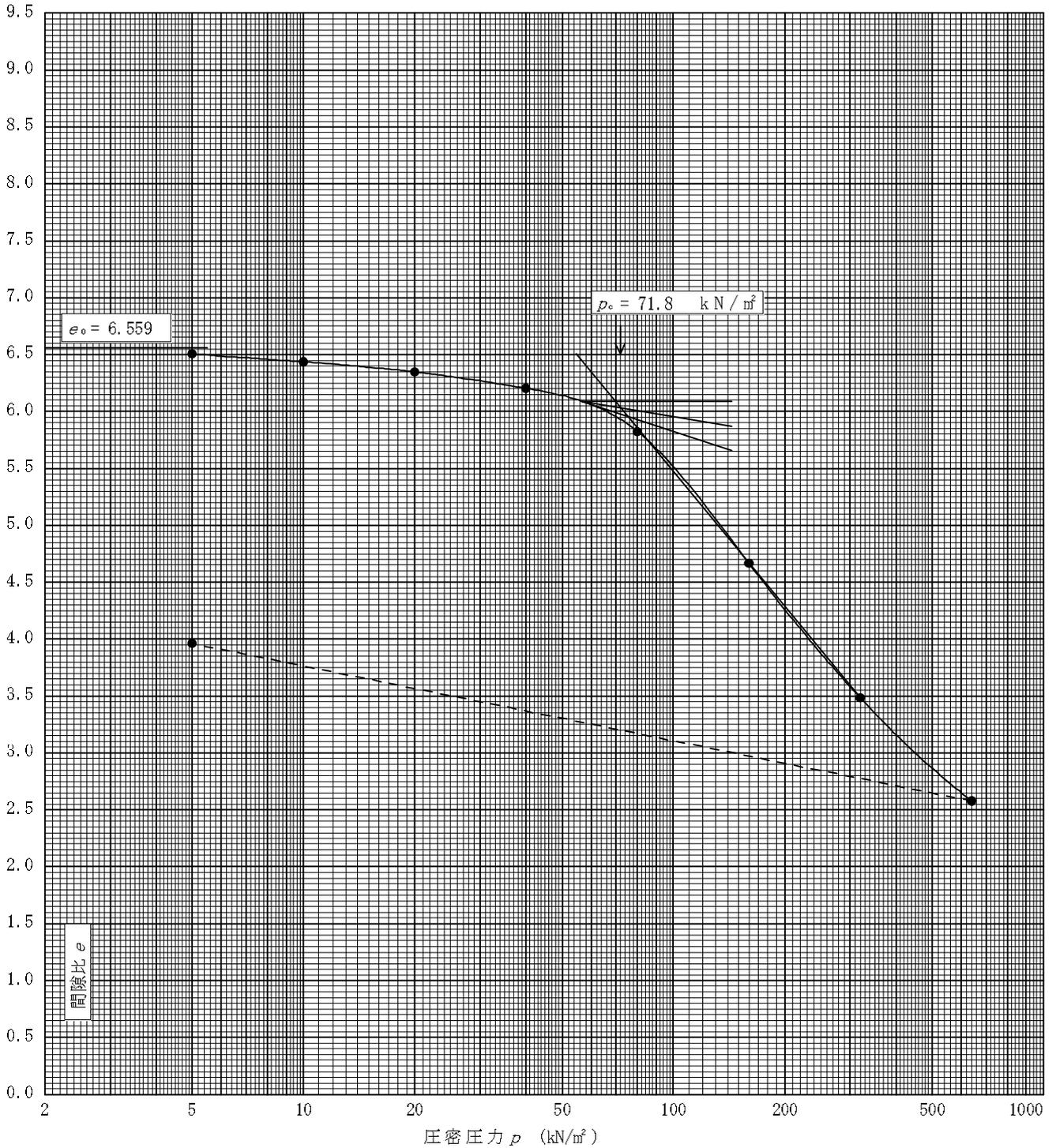
試験年月日 平成 24年 4月 23日

試料番号(深さ) T8-2 (4.50~5.30m)

試験者 寺岡 貴史

土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	液性限界 $w_L$ %	塑性限界 $w_p$ %	初期含水比 $w_0$ %	初期間隙比 $e_0$ 初期体積比 $f_0$	圧縮指数 $C_c$	圧密降伏応力 $p_c$ kN/m <sup>2</sup>	ひずみ速度 <sup>1)</sup> %/min
1.869	294.6	130.6	328.6	6.559	3.93	71.8	

透水係数  $k$  (m/s)<sup>2)</sup>



特記事項

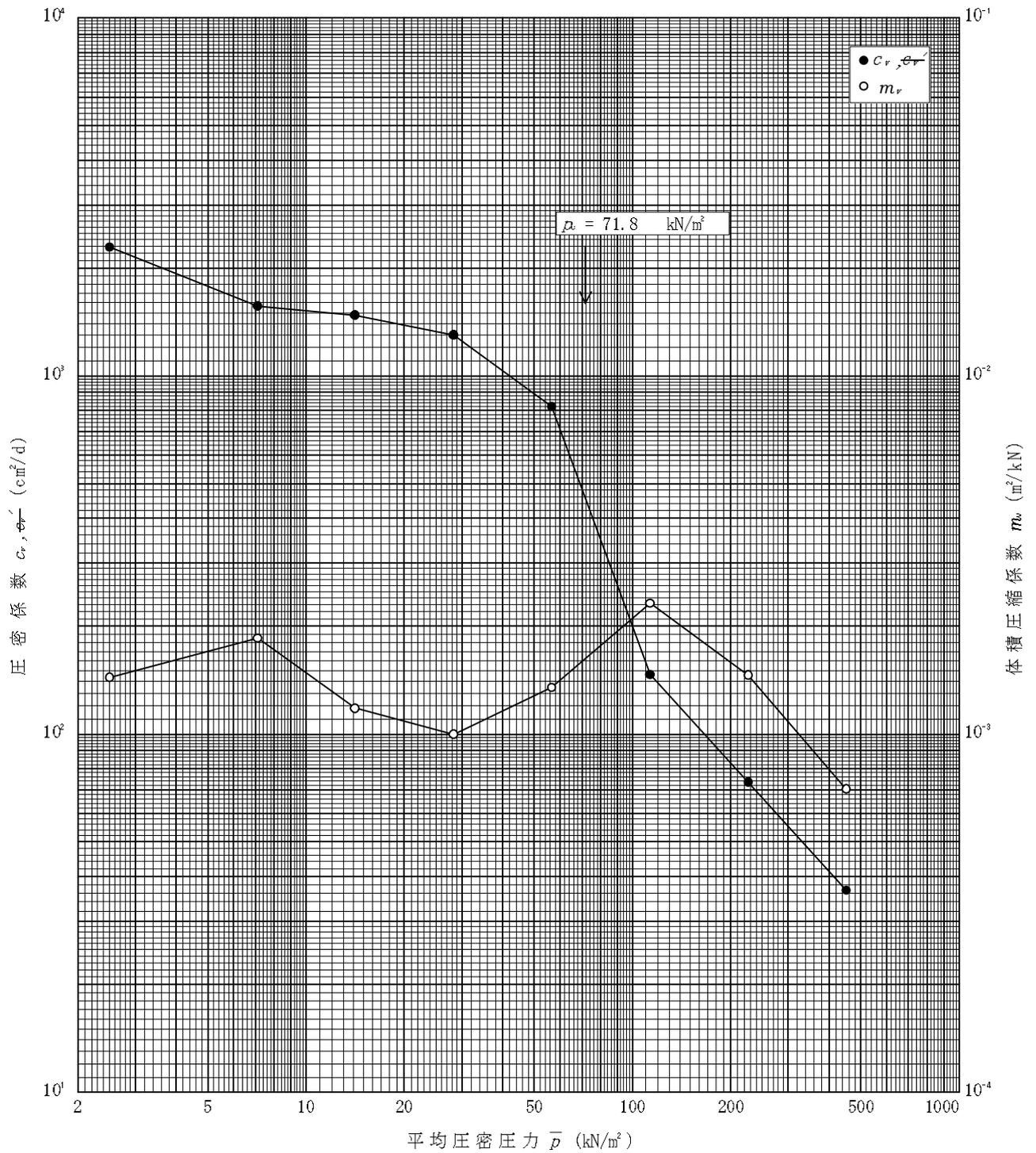
- 1) 定ひずみ速度載荷による圧密試験の時のみ記入する。
- 2) 定ひずみ速度載荷による圧密試験の時のみ使用する。  
[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.0102kgf/cm<sup>2</sup>]

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 23日

試料番号(深さ) T8-2 (4.50~5.30m)

試験者 寺岡 貴史



特記事項

[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.102kgf/cm<sup>2</sup>]

JIS A 1217	土の段階載荷による圧密試験 (計算書)
------------	---------------------

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
 組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 23日

試料番号 (深さ) T8-3 (5.50~6.30m) 試験者 寺岡 貴史

試験機 No.		供 試 体	直 径 $D$ cm	6.000	初 期 状 態	含水比 $w_0$ %	224.1
最低~最高室温 °C	18-25		断 面 積 $A$ cm <sup>2</sup>	28.27		間隙比 $e_0$ , 体積比 $V_0$	4.785
土質名称	機糞土(高粘性) (M)		高 さ $H_0$ cm	2.000		湿潤密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	1.136
土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	2.028		質 量 $m_0$ g	64.24		飽和度 $S_r$ %	95.0
液性限界 $w_L$ %	245.6		炉乾燥質量 $m_s$ g	19.82		圧縮指数 $C_c$	3.66
塑性限界 $w_p$ %	106.2		実質高さ $H_s$ cm	0.3457		圧密降伏応力 $p_v$ kN/m <sup>2</sup>	69.8

載荷 段階	圧密圧力 $p$ kN/m <sup>2</sup>	圧力増分 $\Delta p$ kN/m <sup>2</sup>	圧 密 量 $\Delta H$ cm	供試体高さ $H$ cm	平均供試体高さ $\bar{H}$ cm	圧 縮 ひ ず み $\Delta \epsilon = \Delta H / \bar{H} \times 100\%$	体積圧縮係数 $m_v$ m <sup>2</sup> /kN	間隙比 $e = H / H_0 - 1$ 体積比 $V = H / H_0$
0	0.0			2.0000				4.785
		5.0	0.0145		1.9928	0.728	1.46E-3	
1	5.0			1.9855				4.743
		5.0	0.0163		1.9774	0.824	1.65E-3	
2	10.0			1.9692				4.696
		10.0	0.0239		1.9573	1.221	1.22E-3	
3	20.0			1.9453				4.627
		20.0	0.0407		1.9250	2.114	1.06E-3	
4	40.0			1.9046				4.509
		40.0	0.1252		1.8420	6.797	1.70E-3	
5	80.0			1.7794				4.147
		80.0	0.3808		1.5890	23.965	3.00E-3	
6	160.0			1.3986				3.046
		160.0	0.3450		1.2261	28.138	1.76E-3	
7	320.0			1.0536				2.048
		320.0	0.2507		0.9283	27.006	8.44E-4	
8	640.0			0.8029				1.323
		-635.0	-0.3115		0.9587	-32.492	5.12E-4	
9	5.0			1.1144				2.224
10								

載荷 段階	平均圧密圧力 $\bar{p}$ kN/m <sup>2</sup>	$t_{50}, t_{100}$ min	圧密係数 $c_v$ cm <sup>2</sup> /d	透水係数 $k$ m/s	一次圧密量 $\Delta H_1$ cm	一次圧密比 $r = \Delta H_1 / \Delta H$	補正圧密係数 $c'_v = r c_v$ cm <sup>2</sup> /d	透水係数 $k'$ m/s
0								
1	2.5	0.41	2956.9	4.90E-8	0.0039	0.269	795.4	1.32E-8
2	7.1	0.85	1404.3	2.63E-8	0.0031	0.190	266.8	5.00E-9
3	14.1	0.57	2051.8	2.84E-8	0.0051	0.213	437.0	6.05E-9
4	28.3	0.66	1714.0	2.06E-8	0.0104	0.256	438.8	5.28E-9
5	56.6	0.79	1311.1	2.53E-8	0.0367	0.293	384.2	7.42E-9
6	113.1	2.72	283.4	9.65E-9	0.1593	0.418	118.5	4.04E-9
7	226.3	6.17	74.4	1.49E-9	0.1543	0.447	33.3	6.65E-10
8	452.5	10.42	25.2	2.41E-10	0.1091	0.435	11.0	1.05E-10
9	56.6							
10								

特記事項

$$H_s = m_s / (\rho_s A)$$

$$H = H' - \Delta H$$

$$\bar{H} = (H + H') / 2$$

$$m_v = (\Delta \epsilon / 100) / \Delta p$$

$$S_r = w_0 \rho_s / (e_0 \rho_w)$$

$$\bar{p} = \sqrt{p \cdot p'}$$

$$\sqrt{t} \text{法} : c_v = 305 \times \bar{H}^2 / t_{50}$$
~~$$\text{曲線定規法} : c_v = 70.9 \times \bar{H}^2 / t_{50}$$~~

$$k = c_v m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$$

$$k' = c'_v m_v \gamma_w / (8.64 \times 10^8)$$

ただし,  $\gamma_w = 9.81 \text{ kN/m}^3$

[1kN/m<sup>2</sup> = 0.102kgf/cm<sup>2</sup>]

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

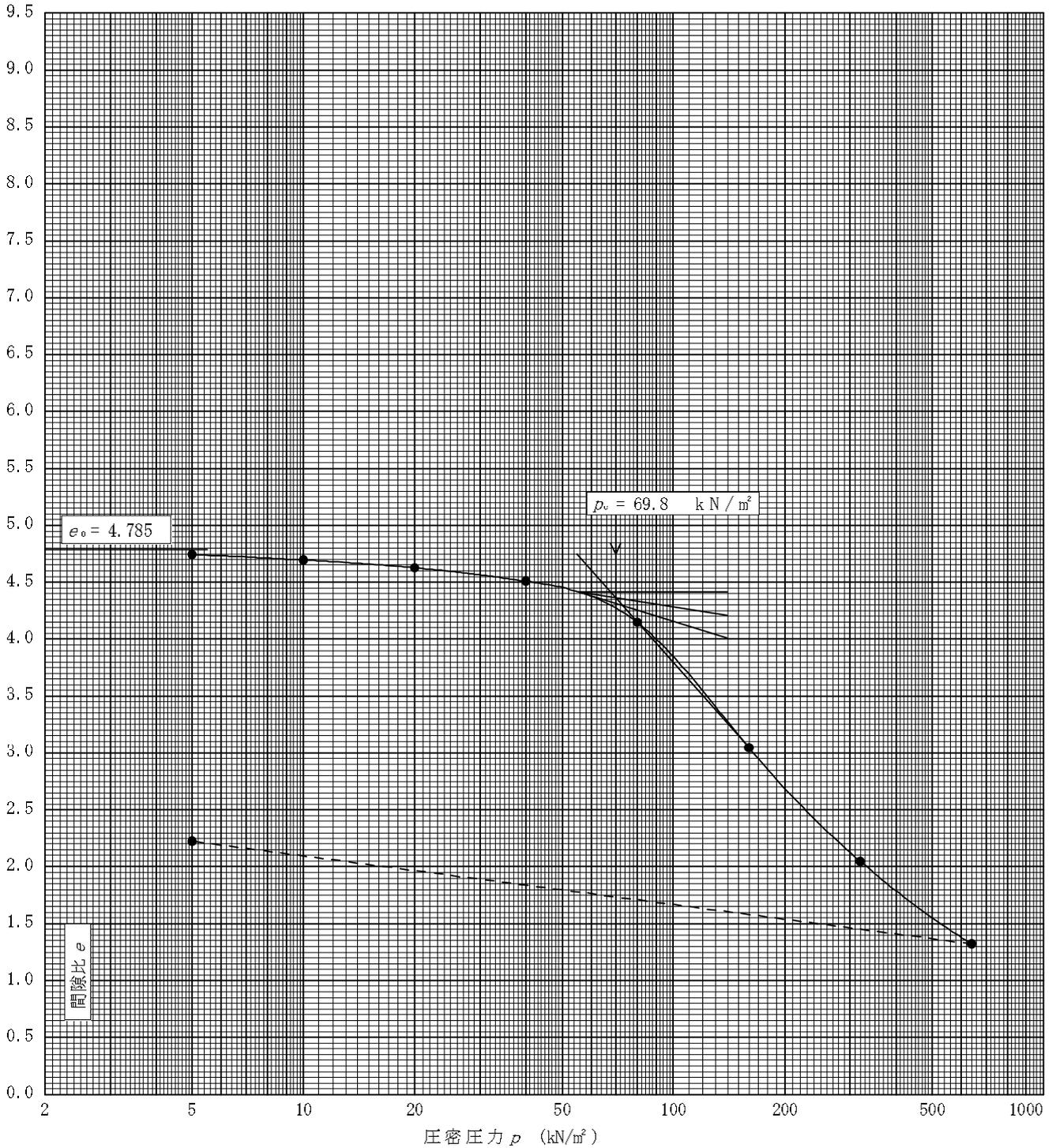
試験年月日 平成 24年 4月 23日

試料番号(深さ) T8-3 (5.50~6.30m)

試験者 寺岡 貴史

土粒子の密度 $\rho_s$ g/cm <sup>3</sup>	液性限界 $w_L$ %	塑性限界 $w_p$ %	初期含水比 $w_0$ %	初期間隙比 $e_0$ 初期体積比 $f_0$	圧縮指数 $C_c$	圧密降伏応力 $p_v$ kN/m <sup>2</sup>	ひずみ速度 <sup>1)</sup> %/min
2.028	245.6	106.2	224.1	4.785	3.66	69.8	

透水係数  $k$  (m/s)<sup>2)</sup>



特記事項

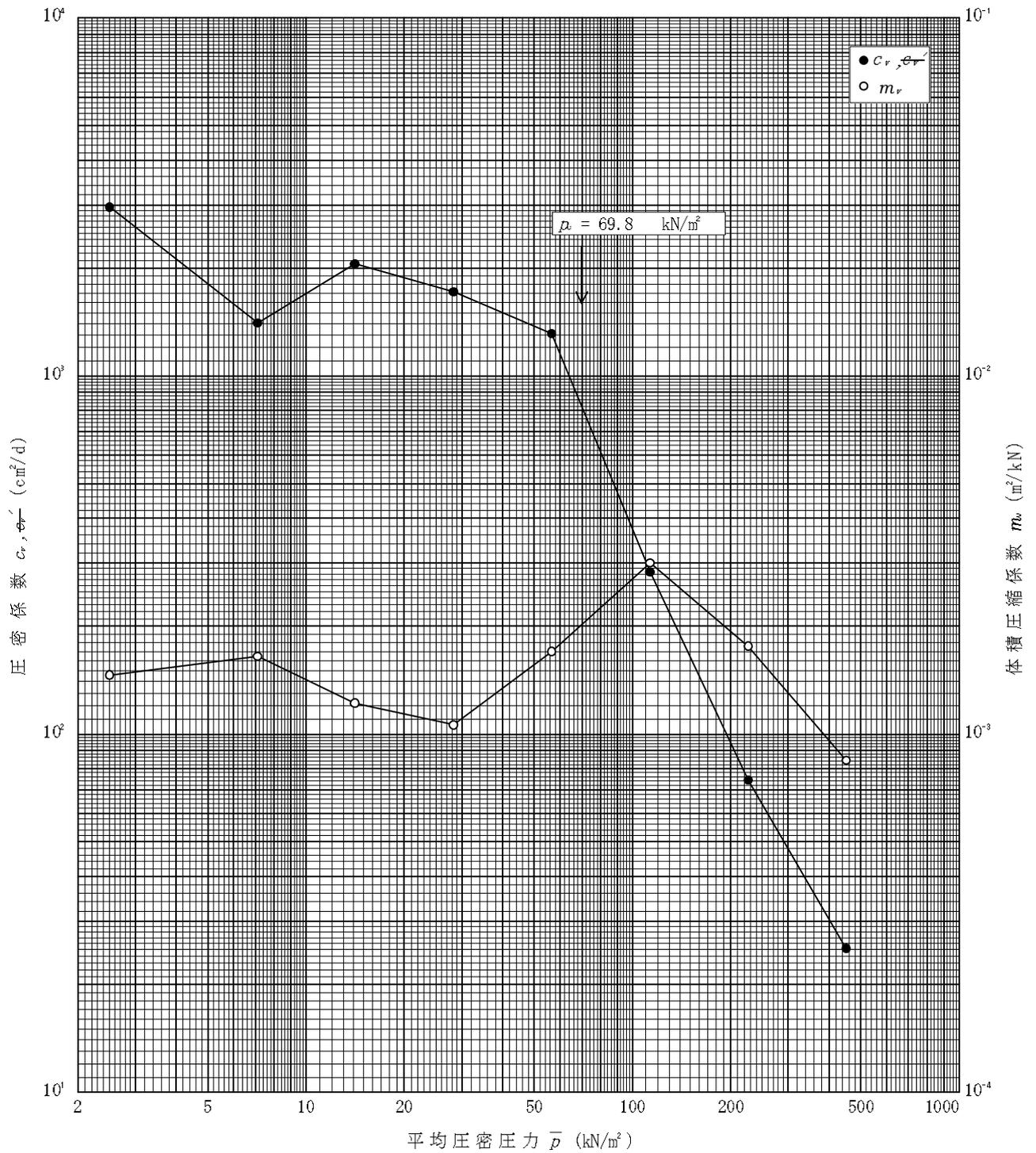
- 1) 定ひずみ速度載荷による圧密試験の時のみ記入する。
- 2) 定ひずみ速度載荷による圧密試験の時のみ使用する。  
[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.0102kgf/cm<sup>2</sup>]

調査件名 仙台市荒井西土地区画整理事業  
組合設立認可申請書作成業務

試験年月日 平成 24年 4月 23日

試料番号(深さ) T8-3 (5.50~6.30m)

試験者 寺岡 貴史

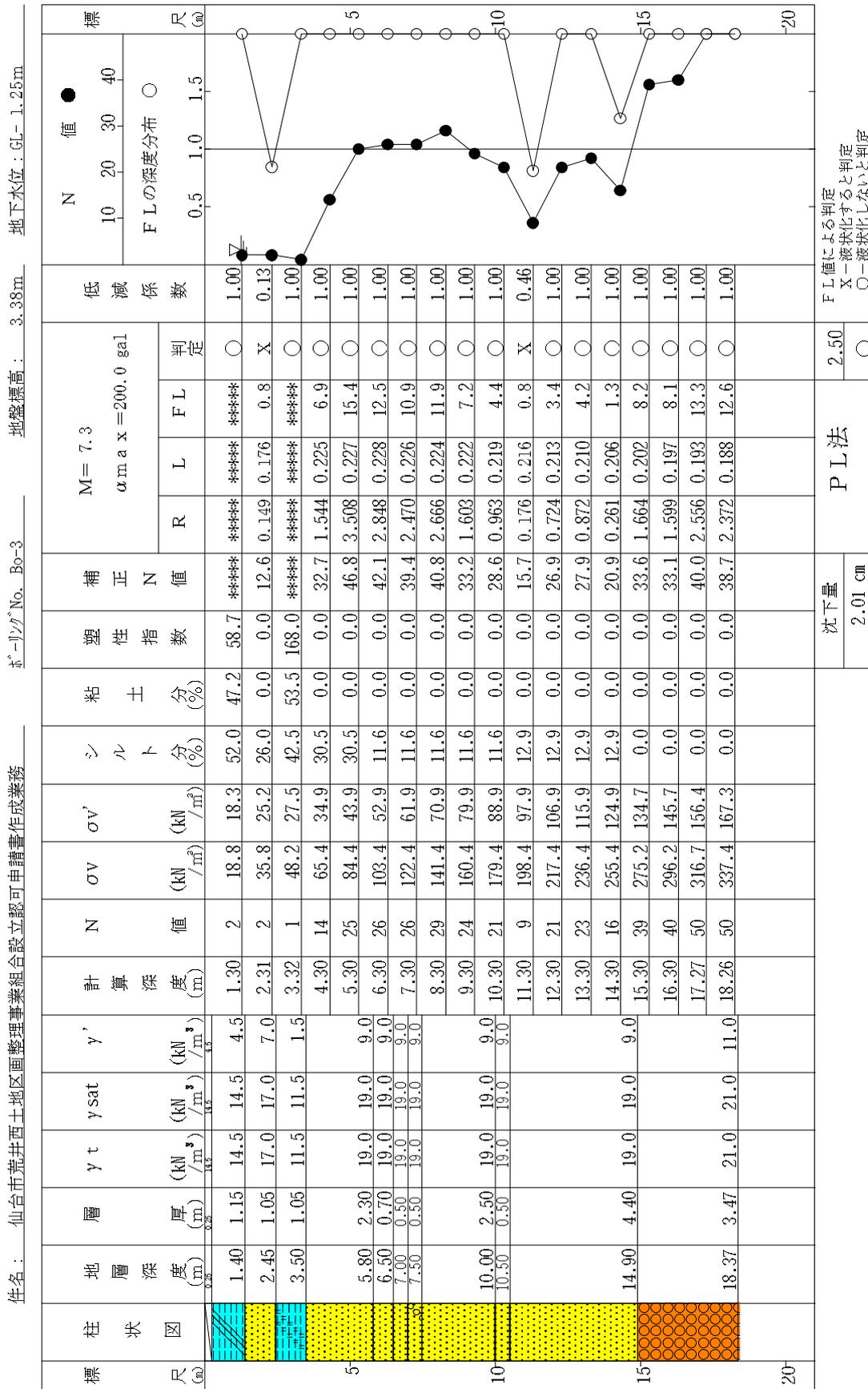


特記事項

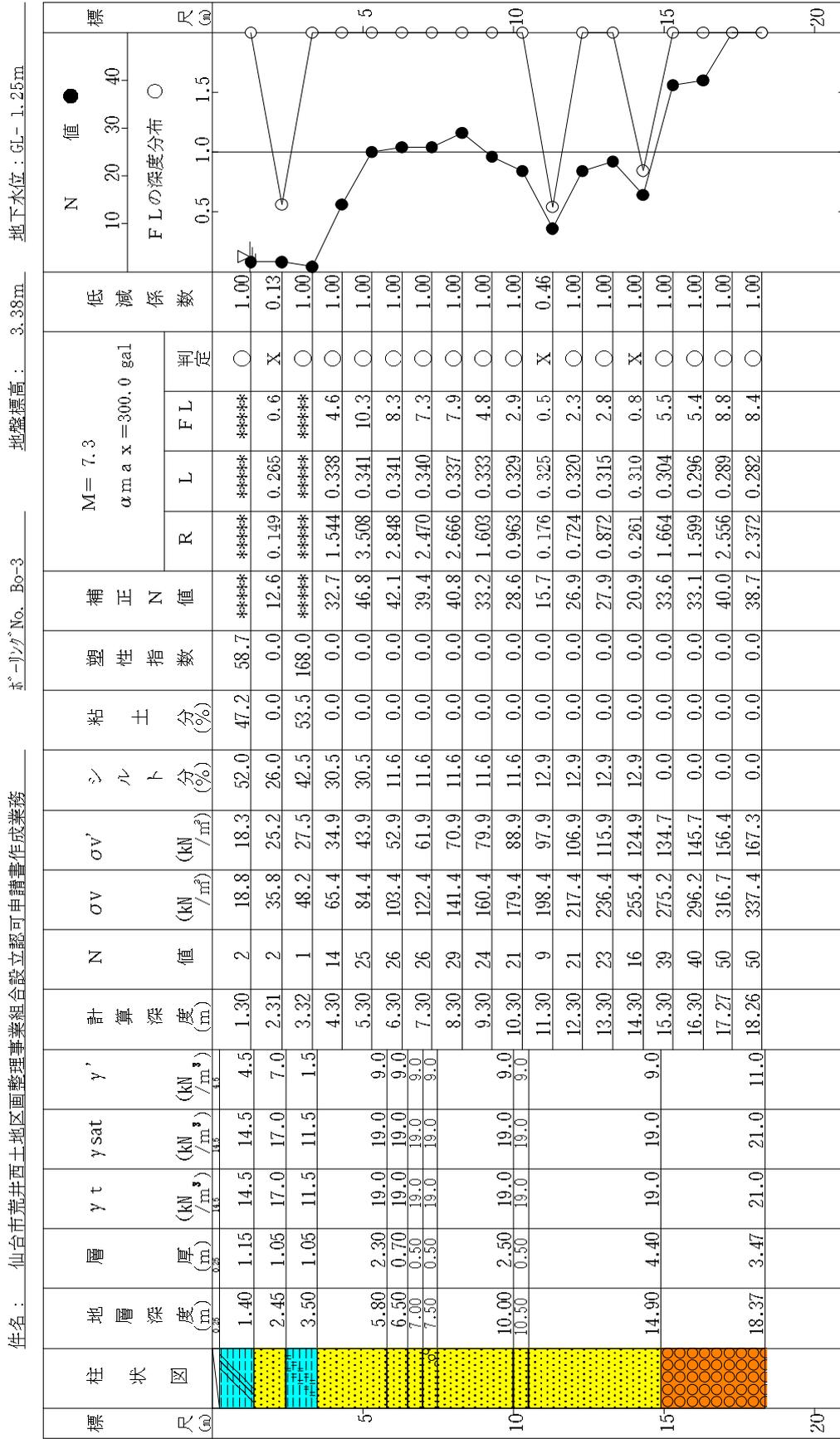
[1kN/m<sup>2</sup> ≒ 0.102kgf/cm<sup>2</sup>]

液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))

液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))



液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))



液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))

標尺 (m)	柱状図	地層深度 (m)	層厚 (m)	$\gamma_t$ (kN/m <sup>3</sup> )	$\gamma_{sat}$ (kN/m <sup>3</sup> )	$\gamma'$ (kN/m <sup>3</sup> )	計算深度 (m)	N 値	$\sigma_v$ (kN/m <sup>2</sup> )	$\sigma_v'$ (kN/m <sup>2</sup> )	シルト分 (%)	粘土分 (%)	塑性指数	補正 N 値	M = 7.3 $\alpha_{max} = 350.0 \text{ gal}$				低減係数	N 値	標尺 (m)
															R	L	FL	判定			
5		1.40	1.15	14.5	14.5	4.5	1.30	2	18.8	18.3	52.0	47.2	58.7	****	****	****	○	1.00	7	5	
2.45		1.05	17.0	17.0	7.0	2.31	2	35.8	25.2	26.0	0.0	0.0	0.0	12.6	0.149	0.309	0.5	X	0.13	5	
3.50		1.05	11.5	11.5	1.5	3.32	1	48.2	27.5	42.5	53.5	168.0	****	****	****	○	1.00	7	5		
4.30						4.30	14	65.4	34.9	30.5	0.0	0.0	0.0	32.7	1.544	0.394	3.9	○	1.00	5	
5.80		2.30	19.0	19.0	9.0	5.30	25	84.4	43.9	30.5	0.0	0.0	0.0	46.8	3.508	0.398	8.8	○	1.00	5	
6.50		0.70	19.0	19.0	9.0	6.30	26	103.4	52.9	11.6	0.0	0.0	0.0	42.1	2.848	0.398	7.2	○	1.00	5	
7.00		0.50	19.0	19.0	9.0	7.30	26	122.4	61.9	11.6	0.0	0.0	0.0	39.4	2.470	0.396	6.2	○	1.00	5	
7.30		0.30	19.0	19.0	9.0	8.30	29	141.4	70.9	11.6	0.0	0.0	0.0	40.8	2.666	0.393	6.8	○	1.00	5	
10.00		2.50	19.0	19.0	9.0	9.30	24	160.4	79.9	11.6	0.0	0.0	0.0	33.2	1.603	0.389	4.1	○	1.00	10	
10.30		0.50	19.0	19.0	9.0	10.30	21	179.4	88.9	11.6	0.0	0.0	0.0	28.6	0.963	0.384	2.5	○	1.00	10	
15		11.30			11.30	9	198.4	97.9	12.9	0.0	0.0	0.0	15.7	0.176	0.379	0.5	X	0.46	10	15	
12.30					12.30	21	217.4	106.9	12.9	0.0	0.0	0.0	26.9	0.724	0.373	1.9	○	1.00	10	15	
13.30					13.30	23	236.4	115.9	12.9	0.0	0.0	0.0	27.9	0.872	0.367	2.4	○	1.00	10	15	
14.30					14.30	16	255.4	124.9	12.9	0.0	0.0	0.0	20.9	0.261	0.361	0.7	X	1.00	10	15	
15.30		4.40	19.0	19.0	9.0	15.30	39	275.2	134.7	0.0	0.0	0.0	33.6	1.664	0.354	4.7	○	1.00	10	15	
16.30					16.30	40	296.2	145.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.1	1.599	0.346	4.6	○	1.00	10	15	
17.27				17.27	50	316.7	156.4	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	2.556	0.337	7.6	○	1.00	10	15		
18.37				18.37	50	337.4	167.3	0.0	0.0	0.0	0.0	38.7	2.372	0.329	7.2	○	1.00	10	15		
20																				20	

住名: 仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

ボーリング No. Bo-3

地盤標高: 3.38m

地下水位: GL-1.25m

FL値による判定  
 X - 液状化すると判定  
 ○ - 液状化しないと判定  
 PL法による判定  
 X -  $PL > 1.5$  液状化危険度が極めて高い  
 ○ -  $1.5 \geq PL > 5$  液状化危険度が高い  
 △ -  $PL \leq 5$  液状化危険度が低い

沈下量	PL法	
	8.7L	△

### 液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))

標尺 (m)	柱状図	地層深度 (m)	層厚 (m)	$\gamma_t$ (kN/m <sup>3</sup> )	$\gamma_{sat}$ (kN/m <sup>3</sup> )	$\gamma'$ (kN/m <sup>3</sup> )	計算深度 (m)	N 値	$\sigma_v$ (kN/m <sup>2</sup> )	$\sigma_v'$ (kN/m <sup>2</sup> )	シルト分 (%)	粘土分 (%)	塑性指数	補正 N 値	M = 7.3 $\alpha_{max} = 200.0 \text{ gal}$				低減係数	N 値	標尺 (m)
															R	L	FL	判定			
5		1.80	1.50	14.5	14.5	4.5	1.33	2	19.2	17.0	49.3	43.4	0.0	****	****	****	****	1.00	●	15	
							2.30	9	34.6	22.6	23.8	0.0	0.0	27.3	0.784	0.190	4.1	1.00	●	15	
							3.32	8	52.0	29.8	23.8	0.0	0.0	23.0	0.328	0.213	1.5	1.00	●	15	
							4.30	1	64.2	32.2	46.1	0.0	0.0	****	****	****	****	1.00	●	15	
							5.31	2	75.8	33.7	46.1	0.0	0.0	****	****	****	****	1.00	●	15	
							6.30	24	94.0	42.0	18.9	0.0	0.0	44.8	3.237	0.261	12.4	1.00	●	15	
							7.28	50	112.6	50.8	18.9	0.0	0.0	78.0	3.960	0.254	15.6	1.00	●	15	
							8.30	46	132.0	60.0	18.9	0.0	0.0	67.2	3.960	0.248	16.0	1.00	●	15	
							9.30	44	151.0	69.0	18.9	0.0	0.0	60.8	3.960	0.242	16.3	1.00	●	15	
							10.45	47	170.0	78.0	18.9	0.0	0.0	61.0	3.960	0.237	16.7	1.00	●	15	
15																				15	
20																				20	

姓名: 仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務

プランNo. Bo-5

地盤標高: 4.74m

地下水位: GL-1.10m

FL値による判定  
 X-液状化すると判定  
 O-液状化しないと判定  
 PL法による判定  
 X-PL > 1.5 液状化危険度が極めて高い  
 Δ-1.5 ≤ PL < 5 液状化危険度が高い  
 O-PL ≤ 5 液状化危険度が低い

液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))

標尺 (m)	柱状図	地層深度 (m)	層厚 (m)	$\gamma_t$ (kN/m <sup>3</sup> )	$\gamma_{sat}$ (kN/m <sup>3</sup> )	$\gamma'$ (kN/m <sup>3</sup> )	計算深度 (m)	N 値	$\sigma_v$ (kN/m <sup>2</sup> )	$\sigma_v'$ (kN/m <sup>2</sup> )	シルト分 (%)	粘土分 (%)	塑性指数	補正 N 値	M=7.3 $\alpha_{max}=300.0 \text{ gal}$				係数	N 値	標尺 (m)
															R	L	FL	判定			
5		1.80	1.50	14.5	14.5	4.5	1.33	2	19.2	17.0	49.3	43.4	0.0	****	****	****	****	1.00	●	15	
		5.40	1.90	11.5	11.5	1.5	2.30	9	34.6	22.6	23.8	0.0	0.0	27.3	0.784	0.285	2.7	1.00	○		
10		3.50	1.70	17.0	17.0	7.0	3.32	8	52.0	29.8	23.8	0.0	0.0	23.0	0.328	0.320	1.0	1.00	○	20	
		5.90	0.50	19.0	19.0	9.0	4.30	1	64.2	32.2	46.1	0.0	0.0	****	****	****	****	1.00	○		
15		8.40	2.50	19.0	19.0	9.0	5.31	2	75.8	33.7	46.1	0.0	0.0	****	****	****	****	1.00	○	20	
		10.45	2.05	19.0	19.0	9.0	6.30	24	94.0	42.0	18.9	0.0	0.0	44.8	3.237	0.391	8.3	1.00	○		
20		8.40	2.50	19.0	19.0	9.0	7.28	50	112.6	50.8	18.9	0.0	0.0	78.0	3.960	0.381	10.4	1.00	○	20	
		10.45	2.05	19.0	19.0	9.0	8.30	46	132.0	60.0	18.9	0.0	0.0	67.2	3.960	0.372	10.7	1.00	○		
20		8.40	2.50	19.0	19.0	9.0	9.30	44	151.0	69.0	18.9	0.0	0.0	60.8	3.960	0.363	10.9	1.00	○	20	
		10.45	2.05	19.0	19.0	9.0	10.30	47	170.0	78.0	18.9	0.0	0.0	61.0	3.960	0.356	11.1	1.00	○		
																PL法				FL値による判定 X-液状化すると判定 ○-液状化しないと判定 PL法による判定 X-PL>1.5 液状化危険度が極めて高い △-1.5≦PL≦5 液状化危険度が高い ○-PL≦5 液状化危険度が低い	
																沈下量		0.00		0.00	
																0.00 cm		○			

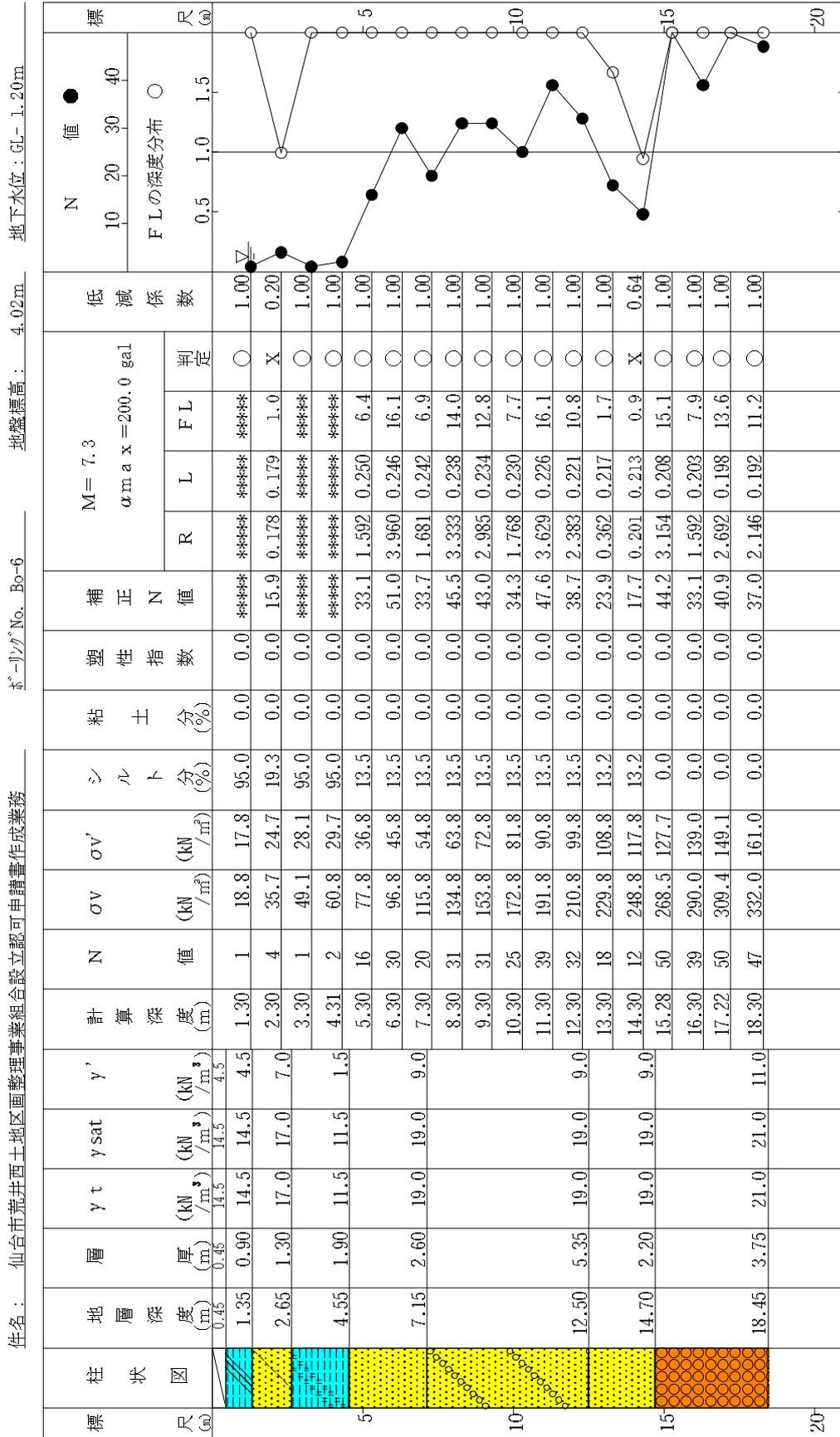
液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))

標尺 (m)	柱状図	地層深度 (m)	層厚 (m)	$\gamma_t$ (kN/m <sup>3</sup> )	$\gamma_{sat}$ (kN/m <sup>3</sup> )	$\gamma'$ (kN/m <sup>3</sup> )	計算深度 (m)	N 値	$\sigma_v$ (kN/m <sup>2</sup> )	$\sigma_v'$ (kN/m <sup>2</sup> )	シルト分 (%)	粘土分 (%)	塑性指数	補正 N 値	M=7.3 $\alpha_{max}=350.0 \text{ gal}$				低減係数	N 値	標尺 (m)
															R	L	FL	判定			
5		1.80	1.50	14.5	14.5	4.5	1.33	2	19.2	17.0	49.3	43.4	0.0	****	****	****	****	1.00	●	15	
							2.30	9	34.6	22.6	23.8	0.0	0.0	27.3	0.784	0.333	2.4	1.00	●	15	
		3.50	1.70	17.0	17.0	7.0	3.32	8	52.0	29.8	23.8	0.0	0.0	23.0	0.328	0.374	0.9	0.58	○	15	
							4.30	1	64.2	32.2	46.1	0.0	0.0	****	****	****	****	1.00	●	15	
		5.40	1.90	11.5	11.5	1.5	5.31	2	75.8	33.7	46.1	0.0	0.0	****	****	****	****	1.00	●	15	
							6.30	24	94.0	42.0	18.9	0.0	0.0	44.8	3.237	0.456	7.1	1.00	○	15	
							7.28	50	112.6	50.8	18.9	0.0	0.0	78.0	3.960	0.444	8.9	1.00	○	15	
		8.40	2.50	19.0	19.0	9.0	8.30	46	132.0	60.0	18.9	0.0	0.0	67.2	3.960	0.434	9.1	1.00	○	15	
							9.30	44	151.0	69.0	18.9	0.0	0.0	60.8	3.960	0.424	9.3	1.00	○	15	
		10.45	2.05	19.0	19.0	9.0	10.30	47	170.0	78.0	18.9	0.0	0.0	61.0	3.960	0.415	9.5	1.00	○	15	
15																				15	
20																				20	

FL値による判定  
 X-液状化すると判定  
 ○-液状化しないと判定  
 PL法による判定  
 X-PL>1.5 液状化危険度が極めて高い  
 △-1.5≧PL>5 液状化危険度が高い  
 ○-PL≦5 液状化危険度が低い

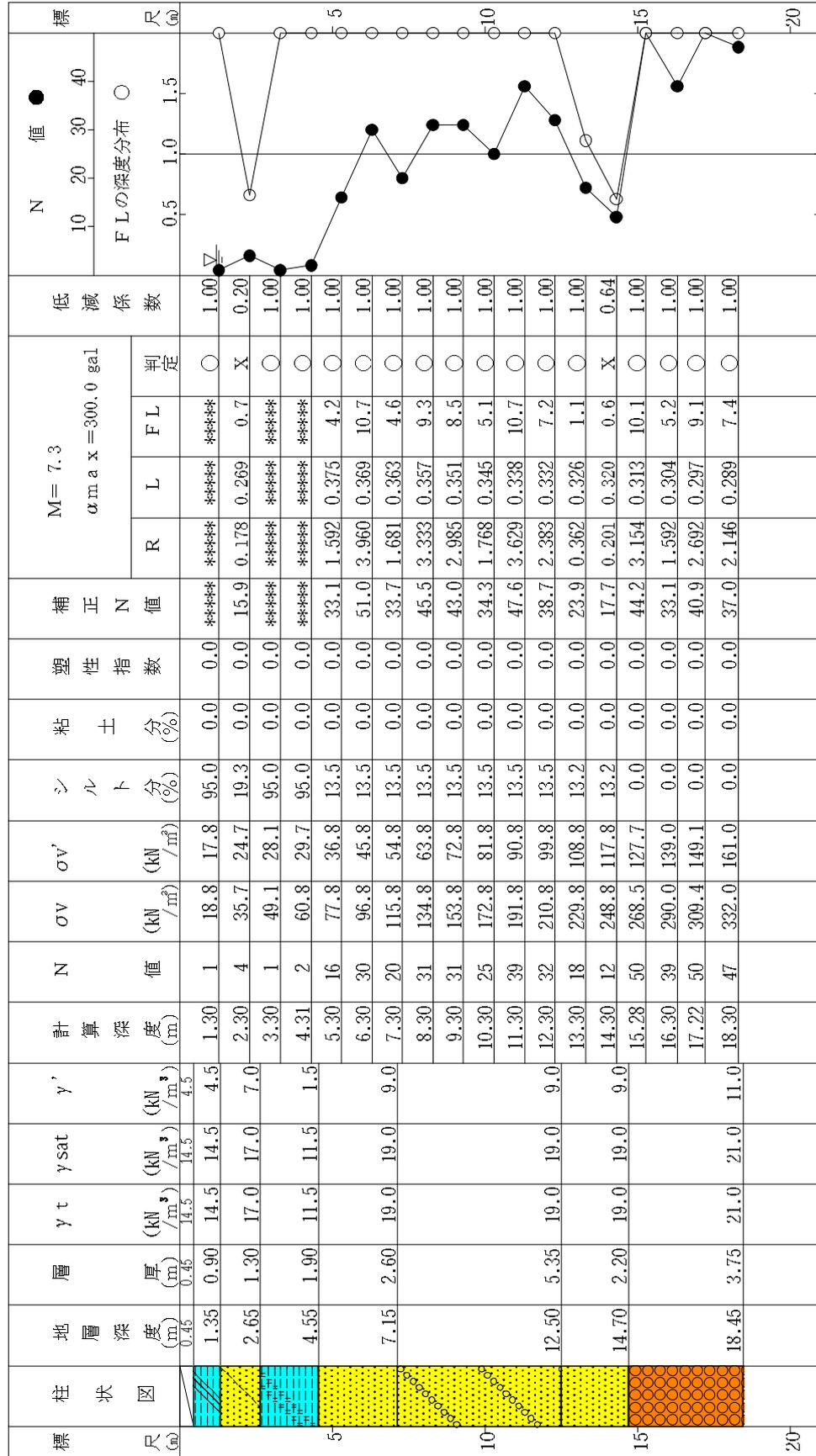
FL値による判定	0.70
PL法	○
沈下量	0.51 cm

液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))



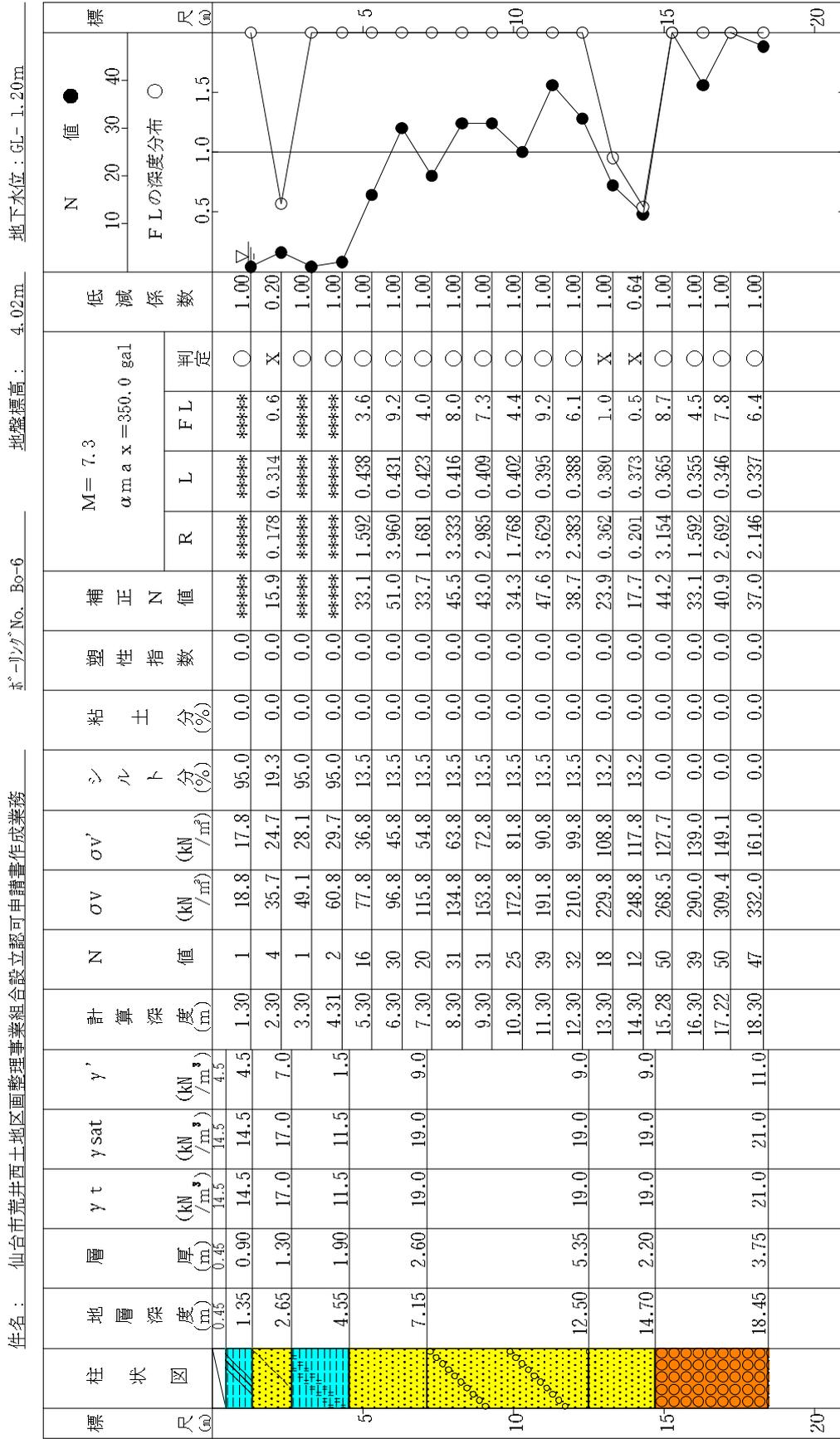
# 液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))

住名： 仙台市荒井西土地区画整理事業組合設立認可申請書作成業務  
 ボーリングNo. Bo-6  
 地盤標高： 4.02m  
 地下水位： GL-1.20m

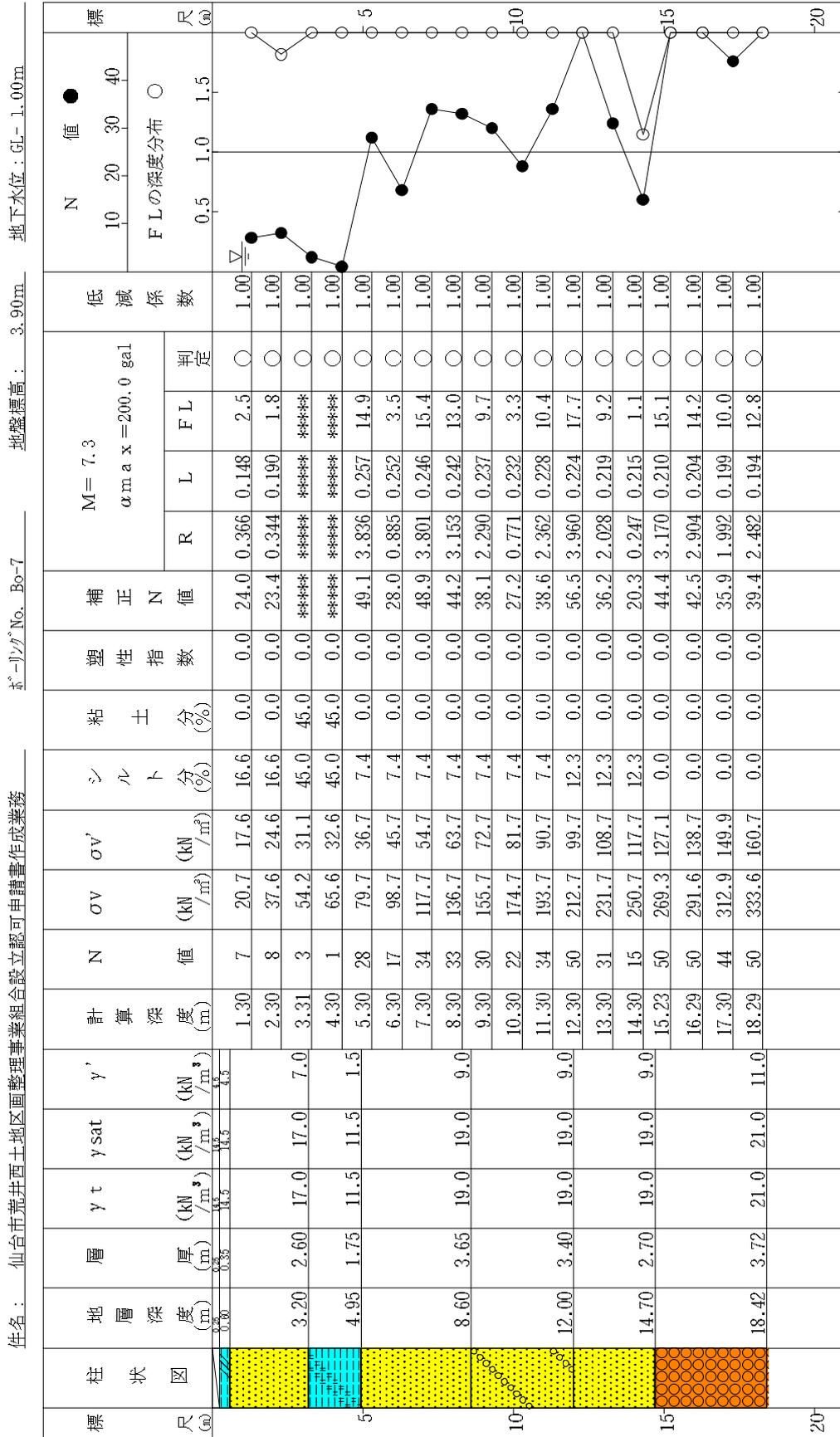


FL値による判定  
 X-液状化すると判定  
 O-液状化しないと判定  
 PL法による判定  
 X-PL>1.5 液状化危険度が極めて高い  
 △-1.5≧PL>5 液状化危険度が高い  
 O-PL≦5 液状化危険度が低い

液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))



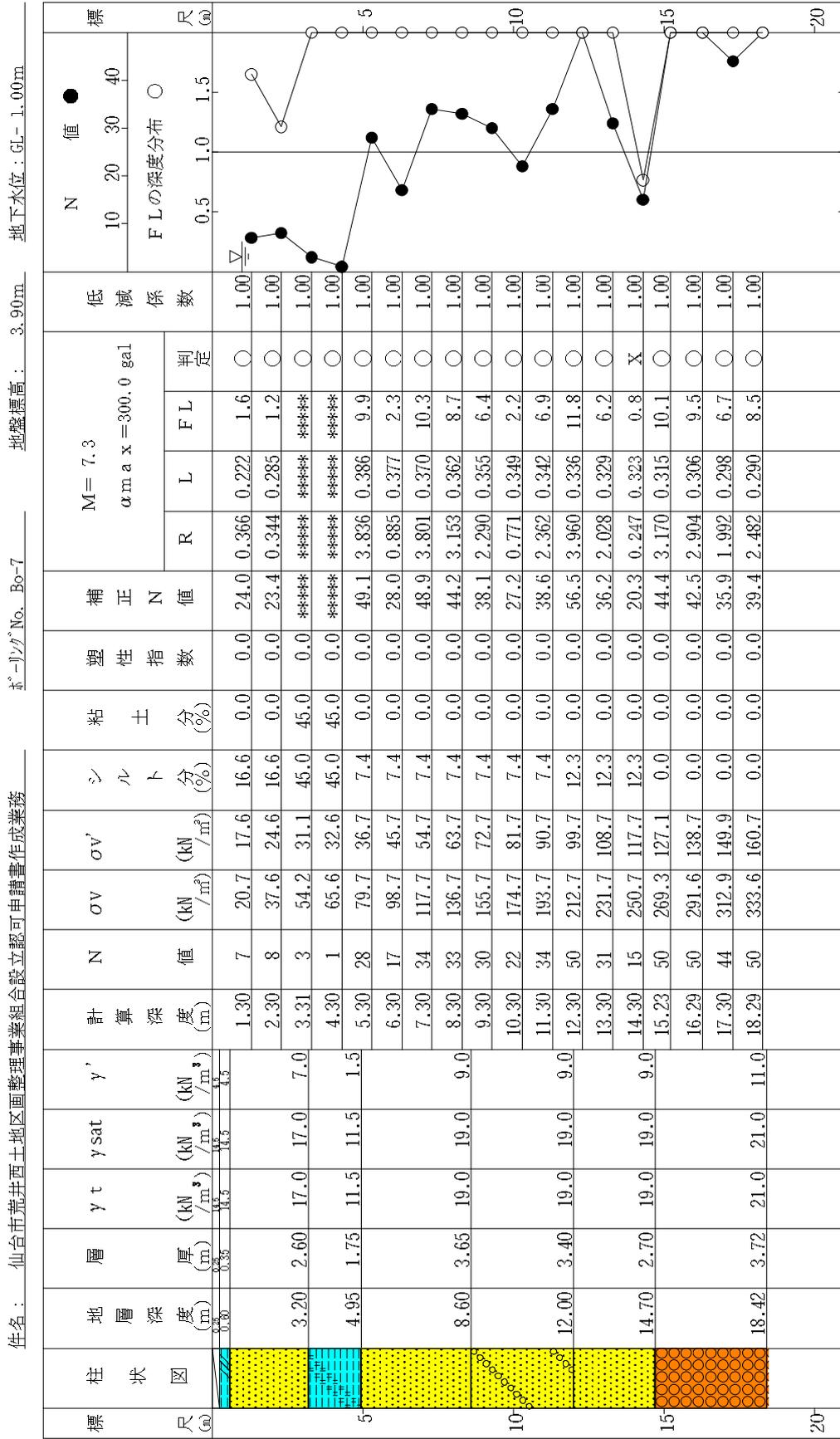
液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))



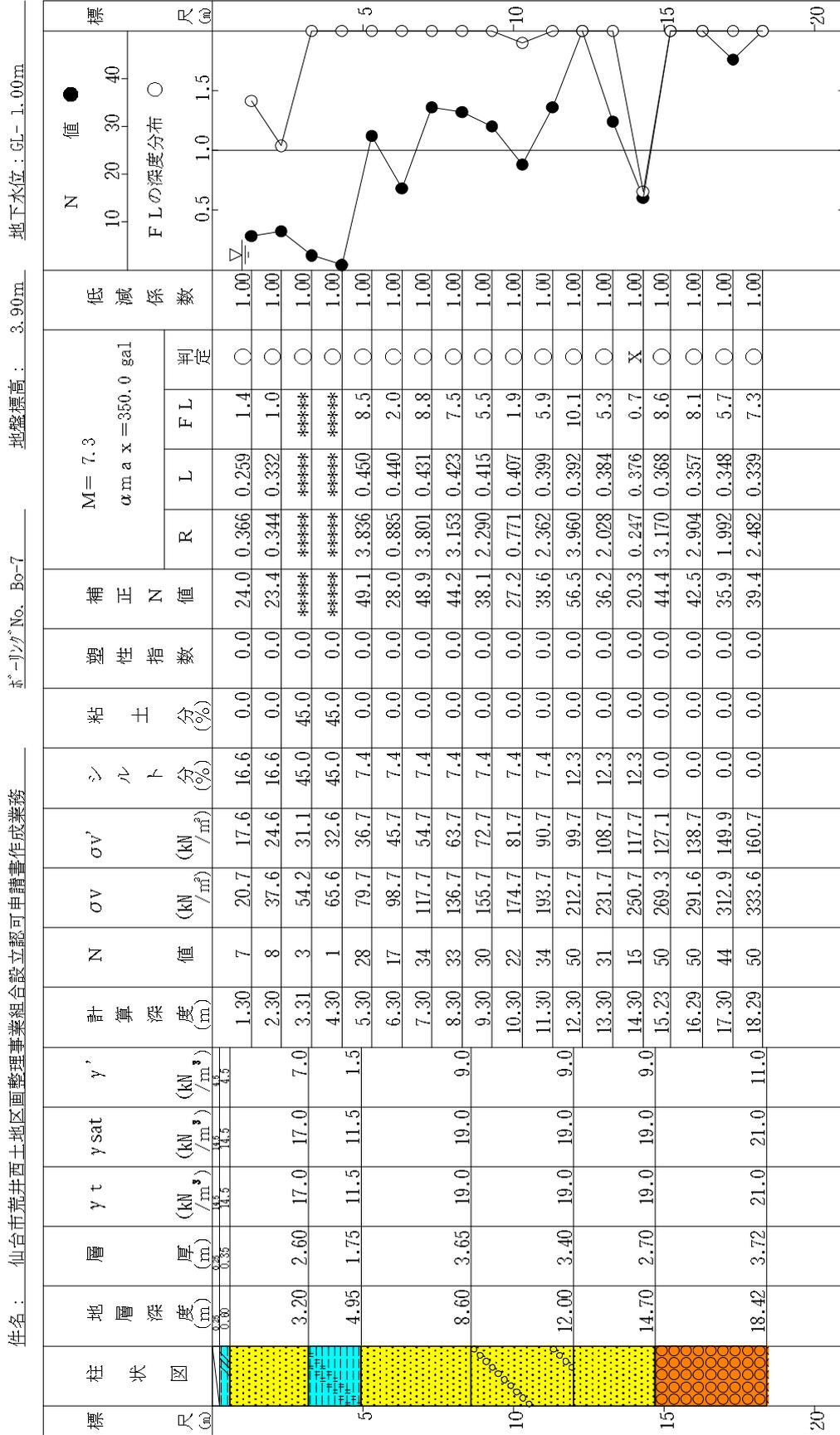
FL値による判定  
 X-液状化すると判定  
 O-液状化しないと判定  
 PL法による判定  
 X- $PL > 1.5$  液状化危険度が極めて高い  
 $\Delta$ - $1.5 \leq PL < 5$  液状化危険度が高い  
 O- $PL \leq 5$  液状化危険度が低い

沈下量		PL法	
0.00 cm		0.00	○

液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))



液状化簡易判定結果 (建築基礎構造設計指針 (新))



判定結果: FL値による判定  
 X-液状化すると判定  
 ○-液状化しないと判定  
 PL法による判定  
 X-PL>1.5 液状化危険度が極めて高い  
 △-1.5≧PL>5 液状化危険度が高い  
 ○-PL≦5 液状化危険度が低い

## 7. 植 物

# 植生調査票

2011年 9月 12日 調査者

No. Q-1	調査地 仙台市荒井西地区	図幅 1/5万	上下 左右
(地形) 山頂・尾根・斜面(上・中・下・凹・凸)・台地・扇状地・平地	(風当) 強・中・弱	海拔	m
(群系) 高・低・植林・草・湿原:海(岸・浜・中):河(岸・中):池(岸 路・水田・畑・堤・砂・岩・樹上	(日当) 陽・中陰・陰	方位	-
(土壌) ボド性・褐森・赤・黄・黄褐森・アンド・グライ・凝グライ・沼 沖積・高湿草・非固岩屑・固岩屑・水面	(土湿) 乾・適・湿・過湿	傾斜	0
	(母岩)	面積	5×5m
	(露岩) %	出現種数	6

階層	高さ m	植被率(%)	優占種	胸径 cm	種数
I 高木層					
II 垂高木層					
III 低木層					
IV1 草本層1	0.8	90	イネ		2
IV2 草本層2	0.01~0.1	1	コウキクサ		4
V コケ層					

D-S-V	IV1	D-S-V	IV2	D-S-V	D-S-V
1	5・5	イネ	1・1	コウキクサ	
2	+	ケイヌビエ	+・2	タマガヤツリ	
3			+	ミドリハコベ	
4			+	アゼナ	
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

群落名 水田草本群落

整理番号 No.

# 植生調査票

2011年 9月12日 調査者

No. Q-2	調査地 仙台市荒井西地区	図幅 1/5万	上下 左右
(地形) 山頂・尾根・斜面(上・中・下・凹・凸)・台地・扇状地・平地	(風当) 強・中・弱	海拔	m
(群系) 高・低・植林・草・湿原:海(岸・浜・中):河(岸・中):池(岸 路・水田・畑・堤・砂・岩・樹上	(日当) 陽・中陰・陰	方位	-
(土壌) ボド性・褐森・赤・黄・黄褐森・アンド・グライ・凝グライ・沼 沖積・高湿草・非固岩屑・固岩屑・水面	(土湿) 乾・適・湿・過湿	傾斜	0
	(母岩)	面積	3×5m
	(露岩) %	出現種数	8

階層	高さ m	植被率(%)	優占種	胸径 cm	種数
I 高木層					
II 亜高木層					
III 低木層					
IV1 草本層1	0.9、1.3	85	イネ		2
IV2 草本層2	0.01~0.4	25	コウキクサ		6
V コケ層					

	D・S・V	IV1	D・S・V	IV2	D・S・V	D・S・V
1	5・5	イネ	3・4	コウキクサ		
2	2・3	ケイヌビエ	2・3	ホタルイ		
3			1・2	タウコギ		
4			+・2	アメリカセンダングサ		
5			+・2	チョウジタデ		
6			+	タカサブロウ		
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
群落名		水田草本群落			整理番号 No.	

# 植生調査票

2011 年 9月12日 調査者

No. Q-3	<b>調査地</b> 仙台市荒井西地区	図幅 上下	1/5万 左右
(地形) 山頂・尾根・斜面(上・中・下・凹・凸)・台地・扇状地・平地	(風当) 強・中・弱	海拔	m
(群系) 高・低・植林・草・湿原:海(岸・浜・中):河(岸・中):池(岸 路・水田・畑・堤・砂・岩・樹上	(日当) 陽・中陰・陰	方位	-
(土壌) ボド性・褐森・赤・黄・黄褐森・アンド・グライ・凝グライ・沼 沖積・高湿草・非固岩屑・固岩屑・水面	(土湿) 乾・適・湿・過湿	傾斜	0
	(母岩)	面積	3×3m
	(露岩) %	出現種数	3

階層	高さ m	植被率(%)	優占種	胸径 cm	種数
I 高木層					
II 亜高木層					
III 低木層					
IV1 草本層1	1	90	イネ		2
IV2 草本層2	0.03	1未満	アメリカアゼナ		1
V コケ層					

	IV1		IV2				
	D-S	V	D-S	V			
1	5.5	イネ	+	アメリカアゼナ			
2	+	クサネム					
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
群落名		水田草本群落				整理番号 No.	

# 植生調査票

2011 年 9月12日 調査者

No.	Q-4	<b>調査地</b>	仙台市荒井西地区	図幅	上下
				1/5万	左右
(地形)	山頂・尾根・斜面(上・中・下・凹・凸)・台地・扇状地・平地		(風当)	強・中・弱	
(群系)	高・低・植林・草・湿原:海(岸・浜・中):河(岸・中):池(岸 路・水田・畑・堤・砂・岩・樹上		(日当)	陽・中陰・陰	
(土壌)	ポド性・褐森・赤・黄・黄褐森・アンド・グライ・凝グライ・沼 沖積・高湿草・非固岩屑・固岩屑・水面		(土湿)	乾・適・湿・過湿	
			(母岩)		面積 3×3m
			(露岩)	%	出現種数 2

階層	高さ m	植被率(%)	優占種	胸径 cm	種数
I 高木層					
II 垂高木層					
III 低木層					
IV1 草本層1	0.9、1.2	90	イネ		2
IV2 草本層2					
V コケ層					

	IV1								
	D	S	V	D	S	V	D	S	
1	5.5								
2	1.2								
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
群落名		水田草本群落						整理番号 No.	

# 植生調査票

2011 年 9月12日 調査者

No.	Q-5	<b>調査地</b>	仙台市荒井西地区	図幅	上下
				1/5万	左右
(地形)	山頂・尾根・斜面(上・中・下・凹・凸)・台地・扇状地・平地		(風当)	強・中・弱	
(群系)	高・低・植林・草・湿原:海(岸・浜・中):河(岸・中):池(岸 路・水田・畑・堤・砂・岩・樹上		(日当)	陽・中陰・陰	
(土壌)	ポド性・褐森・赤・黄・黄褐森・アンド・グライ・凝グライ・沼 沖積・高湿草・非固岩屑・固岩屑・水面		(土湿)	乾・適・湿・過湿	
			(母岩)		面積 3×3m
			(露岩)	%	出現種数 8

階層	高さ m	植被率(%)	優占種	胸径 cm	種数
I 高木層					
II 亜高木層					
III 低木層					
IV1 草本層1	0.8	95	イネ		1
IV2 草本層2	0.01~0.3	5	コウキクサ		7
V コケ層					

	IV1		IV2			
	D	S	D	S		
1	5	5	1	2		
2			+	2		
3			+			
4			+			
5			+			
6			+			
7			+			
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						

群落名 水田草本群落

整理番号 No.

# 植生調査票

2011年 9月12日 調査者

No.	Q-6	<b>調査地</b>	仙台市荒井西地区	図幅	上下
				1/5万	左右
(地形)	山頂・尾根・斜面(上・中・下・凹・凸)・台地・扇状地・平地		(風当)	強・中・弱	
(群系)	高・低・植林・草・湿原:海(岸・浜・中):河(岸・中):池(岸 路・水田・畑・堤・砂・岩・樹上		(日当)	陽・中陰・陰	
(土壌)	ポド性・褐森・赤・黄・黄褐森・アンド・グライ・凝グライ・沼 沖積・高湿草・非固岩屑・固岩屑・水面		(土湿)	乾・適・湿・過湿	
			(母岩)		面積 2×5m
			(露岩)	%	出現種数 10

階層	高さ m	植被率(%)	優占種	胸径 cm	種数
I 高木層					
II 垂高木層					
III 低木層					
IV1 草本層1	0.7~0.9	55	イネ		2
IV2 草本層2	0.1~0.4	25	クサネム		8
V コケ層	0.1未満	60	シャジクモの1種		1

	IV1		IV2		V	
	D	S	D	S	D	S
1	3・4	イネ	2・3	クサネム	4・4	シャジクモの1種
2	2・3	クサネム	1・2	アメリカアゼナ		
3			1・2	チョウジタデ		
4			1・2	コウキクサ		
5			1・2	タカサブロウ		
6			+2	ミズハコベ?		
7			+2	ツユクサ		
8			+	キカシグサ		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						

群落名	水田草本群落	整理番号 No.
-----	--------	----------

# 植生調査票

2011 年 9月12日 調査者

No.	Q-7	<b>調査地</b>	仙台市荒井西地区	図幅	上下
				1/5万	左右
(地形)	山頂・尾根・斜面(上・中・下・凹・凸)・台地・扇状地・平地		(風当)	強・中・弱	
(群系)	高・低・植林・草・湿原:海(岸・浜・中):河(岸・中):池(岸 路・水田・畑・堤・砂・岩・樹上		(日当)	陽・中陰・陰	
			(土湿)	乾・適・湿・過湿	
(土壌)	ポド性・褐森・赤・黄・黄褐森・アンド・グライ・凝グライ・沼 沖積・高湿草・非固岩屑・固岩屑・水面		(母岩)		
			(露岩)	%出現種数	
				2	

階層	高さ m	植被率(%)	優占種	胸径 cm	種数
I 高木層					
II 垂高木層					
III 低木層					
IV1 草本層1	0.9、1.8	95	イネ		2
IV2 草本層2					
V コケ層					

	IV1								
	D	S;V	D	S;V	D	S;V	D	S;V	
1	5.5	イネ							
2	4.5	マコモ							
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
群落名		水田草本群落				整理番号 No.			

# 植生調査票

2011年 9月12日 調査者

No. Q-8	調査地 仙台市荒井西地区	図幅 1/5万	上下 左右
(地形) 山頂・尾根・斜面(上・中・下・凹・凸)・台地・扇状地・平地	(風当) 強・中・弱	海拔	m
(群系) 高・低・植林・草・湿原:海(岸・浜・中):河(岸・中):池(岸 路・水田・畑・堤・砂・岩・樹上	(日当) 陽・中陰・陰	方位	-
(土壌) ボド性・褐森・赤・黄・黄褐森・アンド・グライ・凝グライ・沼 沖積・高湿草・非固岩屑・固岩屑・水面	(土湿) 乾・適・湿・過湿	傾斜	0
	(母岩)	面積	3×3m
	(露岩) %	出現種数	13

階層	高さ m	植被率(%)	優占種	胸径 cm	種数
I 高木層					
II 垂高木層					
III 低木層					
IV1 草本層1	0.9~1.4	90	イネ		7
IV2 草本層2	0.1~0.3	5	イヌビエ		9
V コケ層					

	D・S・V	IV1	D・S・V	IV2	D・S・V	D・S・V
1	5・5	イネ	1・2	イヌビエ		
2	3・4	ケイヌビエ	1・2	タカサブロウ		
3	2・2	クサネム	1・2	アメリカアゼナ		
4	1・2	イヌビエ	+・2	スギナ		
5	1・2	タカサブロウ	+・2	クサネム		
6	+・2	アメリカセンダングサ	+・2	トキンソウ		
7	+	サナエタデ	+・2	ホタルイ		
8			+	エノキグサ		
9			+	コセンダングサ		
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						

群落名 水田草本群落

整理番号 No.

# 植生調査票

2011年 9月12日 調査者

No. Q-9	調査地 仙台市荒井西地区	図幅 1/5万	上下 左右
(地形) 山頂・尾根・斜面(上・中・下・凹・凸)・台地・扇状地・平地	(風当) 強・中・弱	海拔	m
(群系) 高・低・植林・草・湿原:海(岸・浜・中):河(岸・中):池(岸 路・水田・畑・堤・砂・岩・樹上	(日当) 陽・中陰・陰	方位	-
(土壌) ボド性・褐森・赤・黄・黄褐森・アンド・グライ・凝グライ・沼 沖積・高湿草・非固岩屑・固岩屑・水面	(土湿) 乾・適・湿・過湿	傾斜	0
	(母岩)	面積	3×3m
	(露岩) %	出現種数	11

階層	高さ m	植被率(%)	優占種	胸径 cm	種数
I 高木層					
II 垂高木層					
III 低木層					
IV1 草本層1	0.9、1.8	90	イネ		3
IV2 草本層2	0.01~0.2	3	タカサブロウ		8
V コケ層					

	D・S・V	IV1	D・S・V	IV2	D・S・V	D・S・V
1	5・5	イネ	1・2	タカサブロウ		
2	3・3	ケイヌビエ	+・2	アメリカアゼナ		
3	+	ホタルイ	+・2	トキンソウ		
4			+・2	イヌホタルイ		
5			+・2	ハキダメギク		
6			+	アゼナ		
7			+	ツユクサ		
8			+	コゴメガヤツリ		
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
群落名	水田草本群落				整理番号 No.	

# 植生調査票

2011年 9月12日 調査者

No. Q-10	<b>調査地</b> 仙台市荒井西地区	図幅 1/5万	上下 左右
(地形) 山頂・尾根・斜面(上・中・下・凹・凸)・台地・扇状地・平地	(風当) 強・中・弱	海拔	m
(群系) 高・低・植林・草・湿原:海(岸・浜・中):河(岸・中):池(岸 路・水田・畑・堤・砂・岩・樹上	(日当) 陽・中陰・陰	方位	-
(土壌) ボド性・褐森・赤・黄・黄褐森・アンド・グライ・凝グライ・沼 沖積・高湿草・非固岩屑・固岩屑・水面	(土湿) 乾・適・湿・過湿	傾斜	0
	(母岩)	面積	2×3m
	(露岩)	%出現種数	12

階層	高さ m	植被率(%)	優占種	胸径 cm	種数
I 高木層					
II 垂高木層					
III 低木層					
IV1 草本層1	0.8、1.7	95	イネ		2
IV2 草本層2	0.01~0.1	1	ホタルイ		10
V コケ層					

	IV1		IV2		D-S-V	D-S-V	
	D-S-V		D-S-V				
1	5.5	イネ	1.2	ホタルイ			
2	3.4	マコモ	+2	タカサブロウ			
3			+2	ウキゴケ			
4			+2	トキンソウ			
5			+	クサネム			
6			+	ツユクサ			
7			+	アメリカセンダングサ			
8			+	タネツケバナ			
9			+	ハキダメギク			
10			+	チョウジタデ			
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
群落名		水田草本群落				整理番号 No.	

# 植生調査票

2011年 9月13日 調査者

No. Q-11	調査地 仙台市荒井西地区	図幅 1/5万	上下 左右
(地形) 山頂・尾根・斜面(上・中・下・凹・凸)・台地・扇状地・平地	(風当) 強・中・弱	海拔	m
(群系) 高・低・植林・草・湿原:海(岸・浜・中):河(岸・中):池(岸 路・水田・畑・堤・砂・岩・樹上	(日当) 陽・中陰・陰	方位	-
(土壌) ボド性・褐森・赤・黄・黄褐森・アンド・グライ・凝グライ・沼 沖積・高湿草・非固岩屑・固岩屑・水面	(土湿) 乾・適・湿・過湿	傾斜	0
	(母岩)	面積	3×3m
	(露岩) %	出現種数	11

階層	高さ m	植被率(%)	優占種	胸径 cm	種数
I 高木層					
II 垂高木層					
III 低木層					
IV1 草本層1					
IV2 草本層2	0.1~0.4	98	メヒシバ		11
V コケ層					

	D-S;V	IV2	D-S;V	D-S;V	D-S;V
1	5.5	メヒシバ			
2	3.4	アキノエノコログサ			
3	2.3	ヨモギ			
4	2.3	ケイヌビエ			
5	2.2	セイタカアワダチソウ			
6	1.2	Vicia sp.			
7	1.2	ガガイモ			
8	1.2	シロツメクサ			
9	1.2	ツルマメ			
10	1.1	アレチウリ			
11	+2	ツユクサ			
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
群落名	メヒシバ群落				整理番号 No.

# 植生調査票

2011年 9月13日 調査者

No. Q-12	<b>調査地</b> 仙台市荒井西地区	図幅 1/5万	上下 左右
(地形) 山頂・尾根・斜面(上・中・下・凹・凸)・台地・扇状地・平地	(風当) 強・中・弱	海拔	m
(群系) 高・低・植林・草・湿原:海(岸・浜・中):河(岸・中):池(岸 路・水田・畑・堤・砂・岩・樹上	(日当) 陽・中陰・陰	方位	-
(土壌) ボド性・褐森・赤・黄・黄褐森・アンド・グライ・凝グライ・沼 沖積・高湿草・非固岩屑・固岩屑・水面	(土湿) 乾・適・湿・過湿	傾斜	0
	(母岩)	面積	3×5m
	(露岩)	%出現種数	6

階層	高さ m	植被率(%)	優占種	胸径 cm	種数
I 高木層					
II 垂高木層					
III 低木層					
IV1 草本層1	2.3~2.5	90	セイタカアワダチソウ		1
IV2 草本層2	0.1~0.9	6	ヨモギ		6
V コケ層					

D-S:V	IV1	D-S:V	IV2	D-S:V	D-S:V
1	5:5	セイタカアワダチソウ	1:2	ヨモギ	
2			+2	セイタカアワダチソウ	
3			+2	スギナ	
4			+	ナガバギシギシ	
5			(2:3)枯	ナギナタガヤ	
6			(1:1)	クサヨシ	
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
群 落 名		セイタカアワダチソウ群落			整理番号 No.

群落組成表

植生区分 番号	水田耕作地草本群落										セイカアワ ダチソウ 群落	メシハ 群落
	マコモタイプ <sup>o</sup>		クログライ タイプ <sup>o</sup>	随伴種の多いタイプ <sup>o</sup>					出現種の少ない タイプ <sup>o</sup>			
	Q-7	Q-10	Q-4	Q-8	Q-6	Q-2	Q-9	Q-5	Q-1	Q-3		
標高 [m]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
斜面方位	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
傾斜 [°]	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
草本層1の高さ(最大) [m]	1.8	1.7	1.2	1.4	1.4	1.3	1.8	0.8	0.8	1	2.5	
草本層1の植被率 [%]	95	95	90	90		85	90	95	90	90	90	
草本層2の高さ(最大) [m]		0.1		0.3		0.4	0.2	0.3	0.1	0.1	0.9	0.4
草本層2の植被率 [%]		1		5		250	3	5	1	1	6	98
面積 [㎡]	10	6	9	9	10	15	9	9	25	9	15	9
出現種数	2	12	2	16	10	8	11	8	6	3	7	11
種名(階層)												
作付種												
イネ(IV 1)	5・5	5・5	5・5	5・5	3・4	5・5	5・5	5・5	5・5	5・5	・	・
マコモタイプの区分種												
マコモ(IV 1)	4・5	3・4	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
クログライタイプの区分種												
クログライ(IV 1)	・	・	1・2	・	・	・	・	・	・	・	・	・
水田を指標する種群(イネクラス、アゼナ群団など)												
タカサゴ(IV 1)	・	・	・	1・2	・	・	・	・	・	・	・	・
(IV 2)	・	+2	・	1・2	1・2	+	1・2	+2	・	・	・	・
クサネム(IV 1)	・	・	・	2・2	2・3	・	・	・	・	+	・	・
(IV 2)	・	+	・	+2	2・3	・	・	+	・	・	・	・
ケイビエ(IV 1)	・	・	・	3・4	・	2・3	3・3	・	+	・	・	・
(IV 2)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	2・3
ホタルイ(IV 1)	・	・	・	・	・	・	+	・	・	・	・	・
(IV 2)	・	1・2	・	+2	・	2・3	・	・	・	・	・	・
アメリカアゼナ(IV 2)	・	・	・	1・2	1・2	・	+2	・	・	+	・	・
アメリカセンタングサ(IV 1)	・	・	・	+2	・	・	・	・	・	・	・	・
(IV 2)	・	+	・	・	・	+2	・	+	・	・	・	・
コウキサ(IV 2)	・	・	・	・	1・2	3・4	・	1・2	1・1	・	・	・
チョウソウタデ(IV 2)	・	+	・	・	1・2	+2	・	・	・	・	・	・
アゼナ(IV 2)	・	・	・	・	・	・	+	・	+	・	・	・
ウキコケ(IV 2)	・	+2	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
イヌビエ(IV 1)	・	・	・	1・2	・	・	・	・	・	・	・	・
(IV 2)	・	・	・	1・2	・	・	・	・	・	・	・	・
ミスハコベ?(IV 2)	・	・	・	・	+2	・	・	・	・	・	・	・
キアシクサ(IV 2)	・	・	・	・	+	・	・	・	・	・	・	・
タウコギ(IV 2)	・	・	・	・	・	1・2	・	・	・	・	・	・
イヌホタルイ(IV 2)	・	・	・	・	・	・	+2	・	・	・	・	・
セイカアワダチソウ群落区分種												
セイカアワダチソウ(IV 1)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	5・5	・
(IV 2)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	+2	2・2
メシハ群落区分種												
メシハ(IV 2)	・	・	・	・	・	・	・	+	・	・	・	5・5
荒地を指標する種群												
アキノエノコロクサ(IV 2)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	3・4
ツルマメ(IV 2)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1・2
Vicia(IV 2)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1・2
カガイモ(IV 2)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1・2
アレチウリ(IV 2)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1・1
その他の種												
ツユクサ(IV 2)	・	+	・	・	+2	・	+	・	・	・	・	+2
トキンソウ(IV 2)	・	+2	・	+2	・	・	+2	・	・	・	・	・
ハキタメギク(IV 2)	・	+	・	・	・	・	+2	・	・	・	・	・
スキナ(IV 2)	・	・	・	+2	・	・	・	・	・	・	+2	・
ヨモギ(IV 2)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1・2	2・3
タネツケバナ(IV 2)	・	+	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
サナエタデ(IV 1)	・	・	・	+	・	・	・	・	・	・	・	・
エノキクサ(IV 2)	・	・	・	+	・	・	・	・	・	・	・	・
コセンダングサ(IV 2)	・	・	・	+	・	・	・	・	・	・	・	・
ココメカヤヅリ(IV 2)	・	・	・	・	・	・	+	・	・	・	・	・
ヒメシソ(IV 2)	・	・	・	・	・	・	・	+	・	・	・	・
アキメシハ(IV 2)	・	・	・	・	・	・	・	+	・	・	・	・
タマカヤヅリ(IV 2)	・	・	・	・	・	・	・	・	+2	・	・	・
ミドリハコベ(IV 2)	・	・	・	・	・	・	・	・	+	・	・	・
ナキナタカヤ(IV 2)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	2・3	・
クサヨシ(IV 2)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1・1	・
ナカバネシギシ(IV 2)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	+	・
シロツメクサ(IV 2)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	1・2

## 8. 植物及び昆虫出現種 荒井東との比較

植物出現種の荒井東と荒井西の比較

科名	和名	学名	荒井東	荒井西
ウキゴケ科	ウキゴケ	<i>Riccia fluitans</i>		○
	イチョウウキゴケ	<i>Ricciocarpus natans</i>		○
トクサ科	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>	○	○
	イヌスギナ	<i>Equisetum palustre</i>	○	
オシダ科	ヤブソテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i>		○
	クマワラビ	<i>Dryopteris lacera</i>	○	○
	オクマワラビ	<i>Dryopteris uniformis</i>	○	○
ヒメシダ科	ミゾシダ	<i>Stegnogramma pozoi ssp. mollissima</i>	○	
	ミドリヒメワラビ	<i>Thelypteris viridifrons</i>	○	
メシダ科	サトメシダ	<i>Athyrium deltoideofrons</i>	○	○
	イヌワラビ	<i>Athyrium niponicum</i>	○	○
	ホリハシケンダ	<i>Deparia conilii</i>	○	
	シケンダ	<i>Deparia japonica</i>	○	○
	クサソテツ	<i>Matteuccia struthiopteris</i>	○	
	コウヤワラビ	<i>Onoclea sensibilis var. interrupta</i>	○	
マツ科	ヒマラヤスギ	<i>Cedrus deodara</i>		○
	アカマツ	<i>Pinus densiflora</i>	○	
	クロマツ	<i>Pinus thunbergii</i>	○	○
スギ科	スギ	<i>Cryptomeria japonica</i>	○	○
ヒノキ科	ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i>	○	
	サワラ	<i>Chamaecyparis pisifera</i>	○	
	ヒノキアスナロ	<i>Thuopsis dolabrata var. hondae</i>	○	
イチイ科	カヤ	<i>Torreya nucifera</i>		○
クルミ科	オニグルミ	<i>Juglans ailanthifolia</i>	○	○
ヤナギ科	シダレヤナギ	<i>Salix babylonica var. lavalleyi</i>	○	
	ハッコヤナギ	<i>Salix bakko</i>	○	
	カワヤナギ	<i>Salix gilgiana</i>	○	
	イヌコリヤナギ	<i>Salix integra</i>	○	
	シロヤナギ	<i>Salix jessoensis</i>	○	
	オノエヤナギ	<i>Salix sachalinensis</i>	○	
	カチヤナギ	<i>Salix subfragilis</i>	○	○
	キツネヤナギ	<i>Salix vulpina</i>	○	
カバノキ科	ハンノキ	<i>Alnus japonica</i>	○	
	イヌシデ	<i>Carpinus tschonoskii</i>		○
ブナ科	クリ	<i>Castanea crenata</i>	○	○
	クヌギ	<i>Quercus acutissima</i>	○	
	シラカン	<i>Quercus myrsinaefolia</i>		○
	コナラ	<i>Quercus serrata</i>	○	
ニレ科	エノキ	<i>Celtis sinensis var. japonica</i>	○	○
	ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i>	○	○
クワ科	ヒメコウゾ	<i>Broussonetia kazinoki</i>	○	
	クワクサ	<i>Fatoua villosa</i>		○
	カナムグラ	<i>Humulus japonicus</i>	○	○
	トウクワ	<i>Morus alba</i>		○
	ヤマクワ	<i>Morus australis</i>	○	○
イラクサ科	クサコアカソ	<i>Boehmeria gracilis</i>		○
	オニヤブマオ	<i>Boehmeria holosericea</i>		○
	ヤブマオ	<i>Boehmeria japonica var. longispica</i>	○	○
	クサマオ	<i>Boehmeria nivea ssp. nipononivea</i>	○	
	コアカソ	<i>Boehmeria spicata</i>	○	
	アカソ	<i>Boehmeria sylvestris</i>	○	○
	アオミス	<i>Pilea pumila</i>		○
タデ科	ミスヒキ	<i>Antenoron filiforme</i>	○	○
	ヤナギタデ	<i>Persicaria hydropiper</i>	○	○
	シロハナサクラタデ	<i>Persicaria japonica</i>	○	
	オオイヌタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i>	○	○
	イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i>	○	○
	ヤノネグサ	<i>Persicaria nipponensis</i>	○	
	イシミカワ	<i>Persicaria perfoliata</i>	○	○
	オオケタデ	<i>Persicaria pilosa</i>	○	
	ハナタデ	<i>Persicaria posumbu var. laxiflora</i>	○	○
	ホントクダテ	<i>Persicaria pubescens</i>	○	
	サナエタデ	<i>Persicaria scabra</i>		○
	アキノウナギツカミ	<i>Persicaria sieboldii</i>	○	○
	ミゾツバ	<i>Persicaria thunbergii</i>	○	○
	ハルタデ	<i>Persicaria vulgaris</i>	○	
	ハイミチヤナギ	<i>Polygonum arenastrum</i>	○	
	ミチヤナギ	<i>Polygonum aviculare</i>	○	○
	イタドリ	<i>Reynoutria japonica</i>		○
	ケイタドリ	<i>Reynoutria japonica var. uzensis</i>	○	
	オオイタドリ	<i>Reynoutria sachalinensis</i>	○	
	スイハ	<i>Rumex acetosa</i>	○	
	ヒメスイハ	<i>Rumex acetosella</i>	○	○

科名	和名	学名	荒井東	荒井西
	アレキ <sup>シ</sup> ギ <sup>シ</sup>	<i>Rumex conglomeratus</i>	○	
	ナカ <sup>ハ</sup> ギ <sup>シ</sup> ギ <sup>シ</sup>	<i>Rumex crispus</i>	○	○
	ギ <sup>シ</sup> ギ <sup>シ</sup>	<i>Rumex japonicus</i>	○	○
	エツ <sup>ノ</sup> ギ <sup>シ</sup> ギ <sup>シ</sup>	<i>Rumex obtusifolius</i>	○	○
ヤマゴボウ科	ヨウシュヤマゴ <sup>ボウ</sup>	<i>Phytolacca americana</i>	○	○
オシロイバナ科	オシロイ <sup>バナ</sup>	<i>Mirabilis jalapa</i>		○
ザクロソウ科	サ <sup>ク</sup> ロウ	<i>Mollugo pentaphylla</i>	○	
ハマミズナ科	マツ <sup>ハ</sup> ギ <sup>ク</sup>	<i>Lampranthus spectabilis</i>	○	○
スベリヒユ科	マツ <sup>ハ</sup> ホ <sup>タン</sup>	<i>Portulaca grandiflora</i>		○
	スベ <sup>リ</sup> ヒユ	<i>Portulaca oleracea</i>	○	○
ナデシコ科	オランダ <sup>ミミナグ</sup> サ	<i>Cerastium glomeratum</i>	○	○
	ミミナグ <sup>サ</sup>	<i>Cerastium holosteoides</i> var. <i>angustifolium</i>	○	
	ツメクサ	<i>Sagina japonica</i>	○	○
	ムシトリナデシコ	<i>Silene armeria</i>	○	○
	ミノフスマ	<i>Stellaria alsine</i> var. <i>undulata</i>	○	○
	ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i>	○	○
	コハコベ	<i>Stellaria media</i>	○	○
	ミト <sup>リ</sup> ハコベ	<i>Stellaria neglecta</i>	○	○
アカザ科	シロサ <sup>ダ</sup>	<i>Chenopodium album</i>	○	○
	アサ <sup>ダ</sup>	<i>Chenopodium album</i> var. <i>centrorubrum</i>	○	
	ケアリタウ	<i>Chenopodium ambrosioides</i>	○	○
	コアサ <sup>ダ</sup>	<i>Chenopodium ficifolium</i>	○	○
	コ <sup>ウ</sup> シュウアリタウ	<i>Chenopodium pumilio</i>		○
ヒユ科	ヒカゲ <sup>ノ</sup> イコス <sup>チ</sup>	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>japonica</i>	○	○
	ヒナタイ <sup>ノ</sup> イコス <sup>チ</sup>	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>tomentosa</i>	○	○
	イヌビ <sup>ユ</sup>	<i>Amaranthus lividus</i>	○	○
	ホリアオガ <sup>イトウ</sup>	<i>Amaranthus patulus</i>	○	
	ホナカ <sup>イ</sup> ヌビ <sup>ユ</sup>	<i>Amaranthus viridis</i>	○	○
	ヒユ属の1種	<i>Amaranthus</i> sp.	○	
クスノキ科	クスノキ	<i>Cinnamomum camphora</i>		○
	カ <sup>ツ</sup> クイ <sup>シ</sup> ユ	<i>Laurus nobilis</i>		○
	シロタ <sup>モ</sup>	<i>Neolitsea sericea</i>	○	○
カツラ科	カツラ	<i>Cercidiphyllum japonicum</i>	○	
キンボウゲ科	オダ <sup>マ</sup> キ	<i>Aquilegia flabellata</i>		○
	センニンソウ	<i>Clematis terniflora</i>		○
	ケキツネ <sup>ノ</sup> ホ <sup>タン</sup>	<i>Ranunculus cantoniensis</i>	○	
	キツネ <sup>ノ</sup> ホ <sup>タン</sup>	<i>Ranunculus silerifolius</i>	○	○
メギ科	ナンテン	<i>Nandina domestica</i>		○
アケビ科	アケビ	<i>Akebia quinata</i>	○	○
	ミツ <sup>ハ</sup> アケビ	<i>Akebia trifoliata</i>	○	○
	ムベ	<i>Stauntonia hexaphylla</i>		○
マツモ科	マツモ	<i>Ceratophyllum demersum</i>		○
ドクダミ科	ト <sup>ク</sup> ダ <sup>ミ</sup>	<i>Houttuynia cordata</i>	○	○
マタタビ科	キウイ	<i>Actinidia chinensis</i>		○
ツバキ科	ヤマ <sup>ツ</sup> バ <sup>キ</sup>	<i>Camellia japonica</i>	○	○
	ヒサカキ	<i>Eurya japonica</i>	○	
ケシ科	カサノオウ	<i>Chelidonium majus</i> var. <i>asiaticum</i>	○	○
	ナカ <sup>ミ</sup> ナゲ <sup>シ</sup>	<i>Papaver dubium</i>	○	○
フウチョウソウ科	セイヨウフウ <sup>チョウソウ</sup>	<i>Cleome spinosa</i>		○
アブラナ科	シロイヌ <sup>スナ</sup>	<i>Arabidopsis thaliana</i>		○
	ハルサ <sup>キ</sup> ヤマカ <sup>ラシ</sup>	<i>Barbarea vulgaris</i>		○
	セイヨウカラシナ	<i>Brassica juncea</i>	○	○
	セイヨウア <sup>ブラ</sup> ナ	<i>Brassica napus</i>	○	○
	ナス <sup>ナ</sup>	<i>Capsella bursa-pastoris</i>	○	○
	タネツケ <sup>ハ</sup> ナ	<i>Cardamine flexuosa</i>	○	○
	ヤマタネツケ <sup>ハ</sup> ナ	<i>Cardamine scutata</i>		○
	イヌナス <sup>ナ</sup>	<i>Draba nemorosa</i>		○
	マメグ <sup>ン</sup> ハ <sup>イ</sup> ナス <sup>ナ</sup>	<i>Lepidium virginicum</i>	○	○
	ミチ <sup>ハ</sup> カ <sup>ラシ</sup>	<i>Rorippa dubia</i>	○	
	イヌカ <sup>ラシ</sup>	<i>Rorippa indica</i>	○	○
	スシタコ <sup>ホウ</sup>	<i>Rorippa islandica</i>	○	○
ベンケイソウ科	コモチマンネク <sup>サ</sup>	<i>Sedum bulbiferum</i>	○	○
	ツルマンネク <sup>サ</sup>	<i>Sedum sarmentosum</i>	○	○
ユキノシタ科	ウツキ	<i>Deutzia crenata</i>		○
	カ <sup>ク</sup> アジ <sup>サイ</sup>	<i>Hydrangea macrophylla</i> f. <i>normalis</i>		○
	ユキノシタ	<i>Saxifraga stolonifera</i>		○
トベラ科	トベラ	<i>Pittosporum tobira</i>		○
バラ科	キンミズ <sup>ヒキ</sup>	<i>Agrimonia japonica</i>		○
	ホ <sup>ケ</sup>	<i>Chaenomeles speciosa</i>		○
	ヘビ <sup>イ</sup> チ <sup>ゴ</sup>	<i>Duchesnea chrysantha</i>	○	○
	ヤマ <sup>ヘ</sup> ビ <sup>イ</sup> チ <sup>ゴ</sup>	<i>Duchesnea indica</i>	○	○
	ヒ <sup>リ</sup>	<i>Eriobotrya japonica</i>		○
	ヤマ <sup>フ</sup> キ	<i>Kerria japonica</i>		○
	ヒメ <sup>ヘ</sup> ビ <sup>イ</sup> チ <sup>ゴ</sup>	<i>Potentilla centigrana</i>	○	

科名	和名	学名	荒井東	荒井西
	ミツハツチグサ	<i>Potentilla freyniana</i>	○	
	オハビイチゴ	<i>Potentilla sundaica</i> var. <i>robusta</i>	○	○
	カマツカ	<i>Pourthiaea villosa</i> var. <i>laevis</i>	○	○
	イヌサクラ	<i>Prunus buergeriana</i>		○
	ウリミズサクラ	<i>Prunus grayana</i>		○
	オオシマサクラ	<i>Prunus lannesiana</i> var. <i>speciosa</i>		○
	ウメ	<i>Prunus mume</i>	○	
	ソメイヨシノ	<i>Prunus x yedoensis</i>	○	
	ヤマナシ	<i>Pyrus pyrifolia</i>		○
	ジャリンハイ	<i>Rhaphiolepis umbellata</i>		○
	マルハノジャリンハイ	<i>Rhaphiolepis umbellata</i> var. <i>integerrima</i>	○	
	ノイバラ	<i>Rosa multiflora</i>	○	○
	クマイチゴ	<i>Rubus crataegifolius</i>	○	
	カシイチゴ	<i>Rubus trifidus</i>		○
	ワレモコウ	<i>Sanguisorba officinalis</i>	○	
	ユキヤナギ	<i>Spiraea thunbergii</i>		○
マメ科	クサネム	<i>Aeschynomene indica</i>	○	○
	ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i>	○	○
	ヤブマメ	<i>Amphicarpaea bracteata</i> var. <i>japonica</i>	○	○
	ウスハヤブマメ	<i>Amphicarpaea edgeworthii</i> var. <i>trisperma</i>		○
	カワラケツメイ	<i>Cassia mimosoides</i> ssp. <i>nomame</i>	○	
	ノササゲ	<i>Dumasia truncata</i>		○
	タビ	<i>Glycine max</i>	○	
	ツルマメ	<i>Glycine max</i> ssp. <i>soja</i>	○	○
	コマツナギ	<i>Indigofera pseudo-tinctoria</i>	○	
	マルハヤハスソウ	<i>Kummerowia stipulacea</i>	○	○
	ヤハスソウ	<i>Kummerowia striata</i>	○	○
	ヤマハギ	<i>Lespedeza bicolor</i>	○	
	メトハギ	<i>Lespedeza cuneata</i>	○	○
	ツクシハギ	<i>Lespedeza homoloba</i>	○	
	ミヤギハギ	<i>Lespedeza thunbergii</i>	○	
	マキエハギ	<i>Lespedeza virgata</i>		○
	ミヤコグサ	<i>Lotus corniculatus</i> var. <i>japonicus</i>		○
	コマツフウマコヤシ	<i>Medicago lupulina</i>	○	
	クス	<i>Pueraria lobata</i>	○	○
	ニセアカシア	<i>Robinia pseudo-acacia</i>		○
	コマツフツメクサ	<i>Trifolium dubium</i>	○	
	ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i>	○	○
	シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>	○	○
	ヤハスエントウ	<i>Vicia angustifolia</i>	○	○
	スズメノエントウ	<i>Vicia hirsuta</i>	○	
	カスマグサ	<i>Vicia tetrasperma</i>	○	
	ヤブツルアズキ	<i>Vigna angularis</i> var. <i>nipponensis</i>	○	○
	フジ	<i>Wisteria floribunda</i>	○	○
カタバミ科	イモカタバミ	<i>Oxalis articulata</i>	○	○
	カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i>	○	○
	アカタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> f. <i>rubrifolia</i>	○	
	ウスアカタバミ	<i>Oxalis corniculata</i> f. <i>tropaeoloides</i>	○	
	エゾタチカタバミ	<i>Oxalis fontana</i>	○	
	オツタチカタバミ	<i>Oxalis stricta</i>	○	○
フウロソウ科	アメリカフウロ	<i>Geranium carolinianum</i>		○
	ヒメフウロ	<i>Geranium robertianum</i>		○
	カシノシヨウコ	<i>Geranium thunbergii</i>	○	○
トウダイグサ科	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i>	○	○
	ノウルシ	<i>Euphorbia adenochlora</i>	○	
	ハイニシキソウ	<i>Euphorbia chamaesyce</i>		○
	コニシキソウ	<i>Euphorbia supina</i>	○	○
	アケメカシ	<i>Mallotus japonicus</i>	○	○
ユズリハ科	ユズリハ	<i>Daphniphyllum macropodum</i>		○
ミカン科	ナツミカン	<i>Citrus natsudaidai</i>		○
	カラスザンショウ	<i>Zanthoxylum ailanthoides</i>		○
	ザンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i>	○	
センダン科	センダン	<i>Melia azedarach</i>		○
ウルシ科	ツタウルシ	<i>Rhus ambigua</i>		○
	ヌルデ	<i>Rhus javanica</i> var. <i>roxburghii</i>	○	
カエデ科	イロハモミジ	<i>Acer palmatum</i>	○	
	ヤマモミジ	<i>Acer palmatum</i> var. <i>matsumurae</i>	○	
ムクロジ科	フウセンカスラ	<i>Cardiospermum halicacabum</i>	○	
モチノキ科	イヌツゲ	<i>Ilex crenata</i>	○	○
ニシキギ科	ツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i>	○	○
	オニツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i> var. <i>papillosus</i>	○	
	コマユミ	<i>Euonymus alatus</i> f. <i>ciliato-dentatus</i>		○
	ツルマサキ	<i>Euonymus fortunei</i> var. <i>radicans</i>		○
	マサキ	<i>Euonymus japonicus</i>	○	○

科名	和名	学名	荒井東	荒井西
	ツリバナ	<i>Euonymus oxyphyllus</i>	○	○
	マユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i>		○
	ユモトマユミ	<i>Euonymus sieboldianus var. sanguineus</i>		○
クロウメモドキ科	ケンホナシ	<i>Hovenia dulcis</i>	○	○
	ナツメ	<i>Zizyphus jujuba</i>		○
ブドウ科	フブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa var. heterophylla</i>	○	○
	キレハフブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa var. heterophylla f. citrulloides</i>	○	
	ヤブガラシ	<i>Cayratia japonica</i>	○	○
	ツタ	<i>Parthenocissus tricuspidata</i>	○	○
	ヤマブドウ	<i>Vitis coignetiae</i>	○	
シナノキ科	シナノキ	<i>Tilia japonica</i>		○
アオイ科	ムクゲ	<i>Hibiscus syriacus</i>		○
	ゼニハアオイ	<i>Malva neglecta</i>		○
	ゼニアオイ	<i>Malva sylvestris var. mauritiana</i>	○	○
グミ科	オナツシログミ	<i>Elaeagnus nikaii</i>		○
	ミチノアケグミ	<i>Elaeagnus umbellata var. coreana</i>	○	
スマレ科	カチツボスミレ	<i>Viola grypoceras</i>	○	○
	スミレ	<i>Viola mandshurica</i>	○	○
	ヒメスミレ	<i>Viola minor</i>		○
	ニオイスミレ	<i>Viola odorata</i>		○
	オカスミレ	<i>Viola phalacrocarpa f. glaberrima</i>		○
	ツボスミレ	<i>Viola verecunda</i>	○	○
	フジスミレ	<i>Viola yedoensis</i>		○
ミヅハコベ科	ミヅハコベ	<i>Elatine triandra var. pedicellata</i>	○	○
シュウカイドウ科	シュウカイトウ	<i>Begonia evansiana</i>		○
ウリ科	アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i>		○
	ユウガオ	<i>Lagenaria siceraria var. hispida</i>	○	
	スズメウリ	<i>Melothria japonica</i>	○	○
	アレチウリ	<i>Sicyos angulatus</i>	○	○
	キカラサリ	<i>Trichosanthes kirilowii var. japonica</i>	○	○
ミソハギ科	キカシグサ	<i>Rotala indica var. uliginosa</i>	○	○
アカバナ科	チョウジタテ	<i>Ludwigia epilobioides</i>	○	○
	マツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>	○	○
	ユウゲショウ	<i>Oenothera rosea</i>		○
	ヒルサキツクミソウ	<i>Oenothera speciosa</i>	○	
アリノトウグサ科	アリノトウグサ	<i>Haloragis micrantha</i>	○	
ミズキ科	アオキ	<i>Aucuba japonica</i>	○	○
	ヤマホウシ	<i>Benthamidia japonica</i>	○	○
	ミスギ	<i>Cornus controversa</i>	○	○
ウコギ科	ヤマウコギ	<i>Acanthopanax spinosus</i>		○
	ウド	<i>Aralia cordata</i>	○	○
	タラノキ	<i>Aralia elata</i>	○	○
	カクレミノ	<i>Dendropanax trifidus</i>		○
	ヤツテ	<i>Fatsia japonica</i>	○	○
	キツタ	<i>Hedera rhombea</i>	○	○
セリ科	シヤク	<i>Anthriscus sylvestris</i>	○	○
	ミツハ	<i>Cryptotaenia japonica</i>	○	
	フチトメ	<i>Hydrocotyle maritima</i>	○	○
	オオチトメ	<i>Hydrocotyle ramiflora</i>	○	○
	チトメグサ	<i>Hydrocotyle sibthorpioides</i>	○	○
	セリ	<i>Oenanthe javanica</i>	○	○
	ヤブジラミ	<i>Torilis japonica</i>	○	
ヤブコウジ科	カラタチバナ	<i>Ardisia crispa</i>		○
	ヤブコウジ	<i>Ardisia japonica</i>		○
サクラソウ科	コナシ	<i>Lysimachia japonica f. subsessilis</i>	○	
カキノキ科	カキノキ	<i>Diospyros kaki</i>	○	○
エゴノキ科	エゴノキ	<i>Styrax japonica</i>	○	
モクセイ科	シナレンギョウ	<i>Forsythia viridissima</i>		○
	ネズミモチ	<i>Ligustrum japonicum</i>	○	○
	トウネズミモチ	<i>Ligustrum lucidum</i>	○	○
	イボタノキ	<i>Ligustrum obtusifolium</i>	○	
	ヒイラギ	<i>Osmanthus heterophyllus</i>		○
キョウチクトウ科	ニチチソウ	<i>Catharanthus roseus</i>		○
	テイカスラ	<i>Trachelospermum asiaticum var. intermedium</i>	○	
	ツルニチチソウ	<i>Vinca major</i>	○	○
ガガイモ科	ガガイモ	<i>Metaplexis japonica</i>	○	○
アカネ科	オオハシヤエムグサ	<i>Galium pseudo-asprellum</i>	○	
	ヤエムグサ	<i>Galium spurium var. echinospermon</i>	○	○
	ハクソカスラ	<i>Paederia scandens</i>	○	○
	アカネ	<i>Rubia argyi</i>	○	○
ヒルガオ科	コヒルガオ	<i>Calystegia hederacea</i>	○	○
	ヒルガオ	<i>Calystegia japonica</i>	○	○
	セイヨウヒルガオ	<i>Convolvulus arvensis</i>	○	○
	マルハルコウ	<i>Ipomoea coccinea</i>	○	○

科名	和名	学名	荒井東	荒井西
	マアサカ <sup>オ</sup>	<i>Ipomoea lacunosa</i>	○	
	アサカ <sup>オ</sup>	<i>Ipomoea nil</i>		○
	マルバ <sup>アサカ</sup> <sup>オ</sup>	<i>Ipomoea purpurea</i>	○	○
ムラサキ科	ハナイバナ	<i>Bothriospermum tenellum</i>		○
	ヒレハリソウ	<i>Symphytum officinale</i>	○	○
	キューリク <sup>サ</sup>	<i>Trigonotis peduncularis</i>	○	○
クマツヅラ科	コムラサキ	<i>Callicarpa dichotoma</i>		○
	クサキ <sup>ク</sup>	<i>Clerodendrum trichotomum</i>	○	○
	ヒメイワカ <sup>レソウ</sup>	<i>Lippia canescens</i>		○
	ヤナキ <sup>ハナカ</sup> <sup>サ</sup>	<i>Verbena bonariensis</i>		○
アワゴケ科	ミス <sup>ハコ</sup> <sup>ベ</sup>	<i>Callitriche verna</i>	○	
シソ科	セイヨウシ <sup>ユウ</sup> <sup>ニヒト</sup> <sup>エ</sup>	<i>Ajuga reptans</i>		○
	クルマバナ	<i>Clinopodium chinense var. parviflorum</i>		○
	トウバナ	<i>Clinopodium gracile</i>		○
	イストウバナ	<i>Clinopodium micranthum</i>		○
	ナギ <sup>ナタ</sup> <sup>コウ</sup> <sup>ジュ</sup>	<i>Elsholtzia ciliata</i>	○	○
	カキト <sup>オシ</sup>	<i>Glechoma hederacea var. grandis</i>	○	○
	ホトケ <sup>ノサ</sup>	<i>Lamium amplexicaule</i>	○	○
	ヒメオド <sup>リ</sup> <sup>コソウ</sup>	<i>Lamium purpureum</i>	○	○
	メバシ <sup>キ</sup>	<i>Leonurus japonicus</i>		○
	コシロネ	<i>Lycopus ramosissimus var. japonicus</i>		○
	ハッカ	<i>Mentha arvensis var. piperascens</i>	○	
	マルバ <sup>ハ</sup> <sup>ハッカ</sup>	<i>Mentha rotundifolia</i>		○
	ヒメシ <sup>ソ</sup>	<i>Mosla dianthera</i>	○	○
	イヌコウ <sup>ジュ</sup>	<i>Mosla punctulata</i>		○
	シソ	<i>Perilla frutescens var. crispa f. viridis</i>	○	○
	イヌ <sup>コ</sup> <sup>マ</sup>	<i>Stachys riedereri var. intermedia</i>	○	○
ナス科	ヨウシ <sup>ユ</sup> <sup>チ</sup> <sup>ョウ</sup> <sup>セン</sup> <sup>ア</sup> <sup>サ</sup> <sup>カ</sup> <sup>オ</sup>	<i>Datura stramonium</i>		○
	クコ	<i>Lycium chinense</i>	○	○
	トマト	<i>Lycopersicon esculentum</i>		○
	オオセンナリ	<i>Nicandra physalodes</i>	○	
	ホオス <sup>キ</sup>	<i>Physalis alkekengi var. franchetii</i>	○	○
	アメリカイヌホオス <sup>キ</sup>	<i>Solanum americanum</i>		○
	テリミノイヌホオス <sup>キ</sup>	<i>Solanum americanum</i>	○	
	マルバ <sup>ノ</sup> <sup>ホロシ</sup>	<i>Solanum maximowiczii</i>	○	
	オオマルバ <sup>ノ</sup> <sup>ホロシ</sup>	<i>Solanum megacarpum</i>	○	○
	イヌホオス <sup>キ</sup>	<i>Solanum nigrum</i>	○	○
	ジャ <sup>ガ</sup> <sup>イ</sup> <sup>モ</sup>	<i>Solanum tuberosum</i>	○	
ゴマノハグサ科	ツタバ <sup>ウ</sup> <sup>ラン</sup>	<i>Cymbalaria muralis</i>		○
	キクモ	<i>Limnophila sessiliflora</i>	○	○
	アメリカアゼ <sup>ナ</sup>	<i>Lindernia dubia</i>	○	○
	アゼ <sup>トウ</sup> <sup>カ</sup> <sup>ラシ</sup>	<i>Lindernia micrantha</i>		○
	アゼ <sup>ナ</sup>	<i>Lindernia procumbens</i>	○	○
	ムラサキサキ <sup>コ</sup> <sup>ケ</sup>	<i>Mazus miquelii</i>	○	○
	トキワセ <sup>ク</sup>	<i>Mazus pumilus</i>	○	○
	ビ <sup>ロ</sup> <sup>ド</sup> <sup>モ</sup> <sup>ウ</sup> <sup>ス</sup> <sup>イ</sup> <sup>カ</sup>	<i>Verbascum thapsus</i>	○	○
	タチイヌ <sup>フ</sup> <sup>グ</sup> <sup>リ</sup>	<i>Veronica arvensis</i>	○	○
	フサバ <sup>ソウ</sup>	<i>Veronica hederifolia</i>		○
	ムシクサ	<i>Veronica peregrina</i>		○
	オオイヌ <sup>フ</sup> <sup>グ</sup> <sup>リ</sup>	<i>Veronica persica</i>	○	○
ノウゼンカズラ科	ノウゼ <sup>ン</sup> <sup>カズ</sup> <sup>ラ</sup>	<i>Campsis glandiflora</i>		○
	キササゲ	<i>Catalpa ovata</i>		○
	キリ	<i>Paulownia tomentosa</i>	○	○
ハエドクソウ科	ハエ <sup>ド</sup> <sup>ク</sup> <sup>ソウ</sup>	<i>Phryma leptostachya ssp. asiatica</i>		○
オオバコ科	オオ <sup>バ</sup> <sup>コ</sup>	<i>Plantago asiatica</i>	○	○
	ハラオオ <sup>バ</sup> <sup>コ</sup>	<i>Plantago lanceolata</i>	○	○
	セイヨウオオ <sup>バ</sup> <sup>コ</sup>	<i>Plantago major</i>		○
スイカズラ科	スイカズ <sup>ラ</sup>	<i>Lonicera japonica</i>	○	○
	ニワトコ	<i>Sambucus racemosa ssp. sieboldiana</i>	○	○
	ガ <sup>マ</sup> <sup>ズ</sup> <sup>ミ</sup>	<i>Viburnum dilatatum</i>		○
オミナエシ科	オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i>		○
キキョウ科	ホタル <sup>フ</sup> <sup>クロ</sup>	<i>Campanula punctata</i>		○
	ミゾ <sup>カ</sup> <sup>クシ</sup>	<i>Lobelia chinensis</i>	○	○
キク科	フ <sup>タ</sup> <sup>クサ</sup>	<i>Ambrosia artemisiaefolia var. elatior</i>	○	○
	オオ <sup>フ</sup> <sup>タ</sup> <sup>クサ</sup>	<i>Ambrosia trifida</i>	○	○
	カララヨモキ <sup>ク</sup>	<i>Artemisia capillaris</i>	○	○
	ヨモキ <sup>ク</sup>	<i>Artemisia princeps</i>	○	○
	ノコン <sup>キ</sup> <sup>ク</sup>	<i>Aster ageratoides ssp. ovatus</i>	○	○
	ヒロ <sup>ハ</sup> <sup>ホウ</sup> <sup>キ</sup> <sup>ク</sup>	<i>Aster subulatus</i>	○	○
	ホウ <sup>キ</sup> <sup>ク</sup>	<i>Aster subulatus var. obtusifolius</i>	○	○
	オオ <sup>ホウ</sup> <sup>キ</sup> <sup>ク</sup>	<i>Aster exilis</i>		○
	コバ <sup>ノ</sup> <sup>セン</sup> <sup>ダ</sup> <sup>ン</sup> <sup>ク</sup> <sup>サ</sup>	<i>Bidens bipinnata</i>	○	○
	セン <sup>ダ</sup> <sup>ン</sup> <sup>ク</sup> <sup>サ</sup>	<i>Bidens biternata</i>	○	○
	アメリカセン <sup>ダ</sup> <sup>ン</sup> <sup>ク</sup> <sup>サ</sup>	<i>Bidens frondosa</i>	○	○

科名	和名	学名	荒井東	荒井西
	コセンダングサ	<i>Bidens pilosa</i>	○	○
	シロセンダングサ	<i>Bidens pilosa var. radiata</i>		○
	タウコギ	<i>Bidens tripartita</i>	○	○
	トキンソウ	<i>Centipeda minima</i>	○	○
	フランスキク	<i>Chrysanthemum leucanthemum</i>		○
	ハハラサミ	<i>Cirsium oligophyllum</i>		○
	オオアレチノギク	<i>Conyza sumatrensis</i>	○	○
	オオキンケイギク	<i>Coreopsis lanceolata</i>		○
	ハルシヤギク	<i>Coreopsis tinctoria</i>		○
	コスモス	<i>Cosmos bipinnatus</i>	○	○
	キバナコスモス	<i>Cosmos sulphureus</i>		○
	ペニバナホロギク	<i>Crassocephalum crepidioides</i>		○
	アメリカカタサブローウ	<i>Eclipta alba</i>		○
	タカサブローウ	<i>Eclipta prostrata</i>	○	○
	タンドホロギク	<i>Erechtites hieracifolia</i>	○	
	ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>	○	○
	ハルシオン	<i>Erigeron philadelphicus</i>	○	○
	ハキタメギク	<i>Galinsoga ciliata</i>	○	○
	ハハコグサ	<i>Gnaphalium affine</i>	○	○
	タチチコグサ	<i>Gnaphalium calviceps</i>		○
	セイタカハハコグサ	<i>Gnaphalium luteo-album</i>		○
	チコグササトギ	<i>Gnaphalium pensylvanicum</i>	○	
	ウラシロチコグサ	<i>Gnaphalium spicatum</i>		○
	キクイモ	<i>Helianthus thberosus</i>	○	○
	キツネアサミ	<i>Hemistepta lyrata</i>	○	
	オオシシバリ	<i>Ixeris debilis</i>	○	○
	ニガナ	<i>Ixeris dentata</i>	○	○
	ユウカギク	<i>Kalimeris pinnatifida</i>	○	
	カントウヨメナ	<i>Kalimeris pseudoyomena</i>		○
	アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i>	○	○
	ホリバナアキノノゲシ	<i>Lactuca indica f. indivisa</i>	○	
	トゲチシャ	<i>Lactuca scariola</i>	○	○
	ヤブタバコ	<i>Lapsana humilis</i>	○	
	カミツレ	<i>Matricaria chamomilla</i>	○	
	コシカギク	<i>Matricaria matricarioides</i>		○
	フキ	<i>Petasites japonicus</i>	○	○
	コウゾリナ	<i>Picris hieracioides var. glabrescens</i>	○	
	ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i>	○	○
	セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>	○	○
	オオアワダチソウ	<i>Solidago gigantea var. leiophylla</i>	○	○
	オノノゲシ	<i>Sonchus asper</i>	○	○
	ハチシヨウナ	<i>Sonchus brachyotus</i>	○	
	ノゲシ	<i>Sonchus oleraceus</i>	○	○
	ヒメシヨオン	<i>Stenactis annuus</i>	○	○
	エゾタンポポ	<i>Taraxacum hondoense</i>	○	○
	セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>	○	○
	イガオナモミ	<i>Xanthium italicum</i>	○	
	オオオナモミ	<i>Xanthium occidentale</i>	○	○
	オナモミ	<i>Xanthium strumarium</i>	○	
	オニタバコ	<i>Youngia japonica</i>	○	○
	ヒメキンセンカ	<i>Calendula arvensis</i>		○
オモダカ科	ウリカリ	<i>Sagittaria pygmaea</i>	○	
	オモダカ	<i>Sagittaria trifolia</i>	○	
ヒルムシロ科	エビモ	<i>Potamogeton crispus</i>	○	
	ヒルムシロ	<i>Potamogeton distinctus</i>	○	
	アイノイトモ	<i>Potamogeton orientalis</i>	○	
ユリ科	アサツキ	<i>Allium schoenoprasum var. foliosum</i>	○	○
	ニラ	<i>Allium tuberosum</i>	○	○
	ヤブカンゾウ	<i>Hemerocallis fulva var. kwanso</i>		○
	コバギボウシ	<i>Hosta sieboldii f. lancifolia</i>		○
	オニユリ	<i>Lilium lancifolium</i>	○	
	ヤブラン	<i>Liriope muscari</i>	○	○
	ムスカリ属の1種	<i>Muscari armeniacum</i>		○
	シヤノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i>	○	○
	オオバシヤノヒゲ	<i>Ophiopogon planiscapus</i>	○	○
	アマトコロ	<i>Polygonatum odoratum var. pluriflorum</i>		○
	オモト	<i>Rohdea japonica</i>	○	○
	サルトリイバラ	<i>Smilax china</i>	○	○
ヒガンバナ科	ヒガンバナ	<i>Lycoris radiata</i>	○	○
	スイセン	<i>Narcissus tazetta var. chinensis</i>		○
ヤマノイモ科	ナガイモ	<i>Dioscorea batatas</i>		○
	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i>	○	○
	オニトコロ	<i>Dioscorea tokoro</i>	○	○
ミズアオイ科	ミズアオイ	<i>Monochoria korsakowii</i>	○	

科名	和名	学名	荒井東	荒井西
	コナギ	<i>Monochoria vaginalis</i> var. <i>plantaginea</i>	○	○
アヤメ科	シヤカ	<i>Iris japonica</i>		○
	キシヨウフ	<i>Iris pseudacorus</i>		○
	ニワセキショウ	<i>Sisyrinchium atlanticum</i>	○	
	ヒメヒオキズイソ	<i>Tritonia crocosmaeflora</i>		○
イグサ科	イグサ	<i>Juncus effusus</i> var. <i>decipiens</i>	○	
	クサイ	<i>Juncus tenuis</i>	○	○
	スズメノヤリ	<i>Luzula capitata</i>		○
ツユクサ科	ツユクサ	<i>Commelina communis</i>	○	○
	イボクサ	<i>Murdannia keisak</i>	○	○
イネ科	アオカモシグサ	<i>Agropyron racemiferum</i>	○	
	カモシグサ	<i>Agropyron tsukushiense</i> var. <i>transiens</i>	○	○
	コスカグサ	<i>Agrostis alba</i>	○	○
	ヌカホ	<i>Agrostis clavata</i> ssp. <i>matsumurae</i>	○	
	クロスカグサ	<i>Agrostis nigra</i>	○	
	ハイノスカグサ	<i>Agrostis stolonifera</i>	○	
	スズメノテッポウ	<i>Alopecurus aequalis</i>	○	○
	クナシハルカヤ	<i>Anthoxanthum odoratum</i>		○
	コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i>	○	○
	コバンソウ	<i>Briza maxima</i>	○	
	イヌムギ	<i>Bromus catharticus</i>	○	○
	スズメノチャヒキ	<i>Bromus japonicus</i>	○	
	ヒゲナカスズメノチャヒキ	<i>Bromus rigidus</i>	○	
	カラスノチャヒキ	<i>Bromus secalinus</i>	○	
	ヤマアヲ	<i>Calamagrostis epigeios</i>	○	
	シユズタマ	<i>Coix lacryma-jobi</i>		○
	カモカヤ	<i>Dactylis glomerata</i>	○	○
	メヒシハ	<i>Digitaria ciliaris</i>	○	○
	アキメヒシハ	<i>Digitaria violascens</i>	○	○
	メヒシハ 属の1種	<i>Digitaria</i> sp.		
	イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i>	○	○
	クイヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>caudata</i> f. <i>praticola</i>	○	○
	タイヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>oryzicola</i>	○	○
	ヒメイヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i> var. <i>praticola</i>	○	
	オヒシハ	<i>Eleusine indica</i>	○	○
	スズメノカヤ	<i>Eragrostis cilianensis</i>	○	
	シナダレスノカヤ	<i>Eragrostis curvula</i>	○	○
	カゼクサ	<i>Eragrostis ferruginea</i>	○	○
	ニワホコリ	<i>Eragrostis multicaulis</i>	○	○
	コスノカヤ	<i>Eragrostis poaeoides</i>	○	○
	オウシノケグサ	<i>Festuca arundinacea</i>	○	○
	ハカワリトホシカヲ	<i>Festuca heterophylla</i>	○	
	ウシノケグサ	<i>Festuca ovina</i>	○	
	トホシカヲ	<i>Festuca parvigluma</i>	○	
	ヒロハノウシノケグサ	<i>Festuca pratensis</i>	○	○
	オウシノケグサ	<i>Festuca rubra</i>	○	
	ウシノケグサ属の1種	<i>Festuca</i> sp.	○	
	ムツオレクサ	<i>Glyceria acutiflora</i>	○	
	チカヤ	<i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i>	○	○
	チコササ	<i>Isachne globosa</i>	○	
	アシカキ	<i>Leersia japonica</i>		○
	エゾノサヤスカグサ	<i>Leersia oryzoides</i>	○	○
	サヤスカグサ	<i>Leersia sayanuka</i>	○	
	ネスミホソムギ	<i>Lolium x hybridum</i>	○	
	ネスミムギ	<i>Lolium multiflorum</i>	○	○
	ホソムギ	<i>Lolium perenne</i>	○	○
	アシホソ	<i>Microstegium vimineum</i> var. <i>polystachyum</i>		○
	オキ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i>	○	
	ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>	○	○
	ケチミササ	<i>Oplismenus undulatifolius</i>		○
	コチミササ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> var. <i>japonicus</i>		○
	イネ	<i>Oryza sativa</i>	○	
	ヌカキビ	<i>Panicum bisulcatum</i>	○	○
	オオクサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i>	○	○
	スズメノヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i>	○	○
	チカラシハ	<i>Pennisetum alopecuroides</i> f. <i>purpurascens</i>	○	○
	クサヨシ	<i>Phalaris arundinacea</i>	○	○
	オオアワカエリ	<i>Phleum pratense</i>	○	
	ヨシ	<i>Phragmites australis</i>	○	○
	ツルヨシ	<i>Phragmites japonica</i>		○
	ホテイチク	<i>Phyllostachys aurea</i>	○	
	マダケ	<i>Phyllostachys bambusoides</i>		○
	ハチク	<i>Phyllostachys nigra</i> var. <i>henonis</i>	○	
	モウソウチク	<i>Phyllostachys pubescens</i>	○	○

科名	和名	学名	荒井東	荒井西
	アズマササ	<i>Pleioblastus chino</i>	○	○
	アズメノカタビラ	<i>Poa annua</i>	○	○
	ツルズメノカタビラ	<i>Poa annua var. reptans</i>	○	
	ヌマイチコツナギ	<i>Poa palustris</i>	○	
	ナガハグサ	<i>Poa pratensis</i>	○	○
	オオスズメノカタビラ	<i>Poa trivialis</i>	○	
	ヤタケ	<i>Pseudosasa japonica</i>	○	○
	オオクマササ	<i>Sasa chartacea</i>	○	
	オオハササ	<i>Sasa megalophylla</i>		○
	ミヤコササ	<i>Sasa nipponica</i>		○
	クリオササ	<i>Sasaella masamuneana</i>	○	
	アズマササ	<i>Sasaella ramosa</i>	○	○
	アキノエノコグサ	<i>Setaria faberi</i>	○	○
	コツブキンエノコ	<i>Setaria pallide-fusca</i>		○
	キンエノコ	<i>Setaria pumila</i>	○	○
	オオエノコ	<i>Setaria x pycnocomia</i>	○	
	エノコグサ	<i>Setaria viridis</i>	○	○
	ムラサキエノコ	<i>Setaria viridis f. misera</i>	○	
	ネスミノ	<i>Sporobolus fertilis</i>		○
	コムギ	<i>Triticum aestivum</i>	○	
	ナギナカヤ	<i>Vulpia myuros</i>	○	○
	マコモ	<i>Zizania latifolia</i>	○	○
	シバ	<i>Zoysia japonica</i>	○	○
	コウライシバ	<i>Zoysia tenuifolia</i>		○
	イネ科の1種	<i>Gramineae</i>	○	
ヤシ科	シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i>	○	○
サトイモ科	ショウブ	<i>Acorus calamus</i>	○	
	カラスビシャク	<i>Pinellia ternata</i>	○	
ウキクサ科	アウキクサ	<i>Lemna aoukikusa</i>	○	○
	コウキクサ	<i>Lemna minor</i>		○
	ウキクサ	<i>Spirodela polyrhiza</i>	○	○
ミクリ科	ミクリ	<i>Sparganium erectum ssp. stoloniferum</i>	○	
ガマ科	ヒメカマ	<i>Typha angustifolia</i>	○	
カヤツリグサ科	ハタカヤ	<i>Bulbostylis barbata</i>	○	
	エナシヒコグサ	<i>Carex aphanolepis</i>	○	
	アオスゲ	<i>Carex breviculmis</i>		○
	カサスゲ	<i>Carex dispalata</i>	○	
	ヒロードスゲ	<i>Carex fedia var. miyabei</i>		○
	ヒコグサ	<i>Carex japonica</i>	○	
	アゼスゲ	<i>Carex thunbergii</i>	○	
	チャカヤツリ	<i>Cyperus amuricus</i>	○	
	ヒメグサ	<i>Cyperus brevifolius var. leiolepis</i>	○	○
	タマカヤツリ	<i>Cyperus difformis</i>	○	○
	ヒナカヤツリ	<i>Cyperus flaccidus</i>	○	
	アゼガヤツリ	<i>Cyperus globosus</i>		○
	コアゼガヤツリ	<i>Cyperus haspan</i>	○	
	ココメカヤツリ	<i>Cyperus iria</i>	○	○
	カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i>	○	○
	アオカヤツリ	<i>Cyperus nipponicus</i>	○	○
	ウシクサ	<i>Cyperus orthostachyus</i>	○	○
	カワラスカナ	<i>Cyperus sanguinolentus</i>	○	
	マツハイ	<i>Eleocharis acicularis var. longiseta</i>	○	○
	ハリイ	<i>Eleocharis congesta</i>	○	
	クロクワイ	<i>Eleocharis kuroguwai</i>		○
	シカクイ	<i>Eleocharis wichurae</i>	○	
	テンツキ	<i>Fimbristylis dichotoma</i>		○
	ヒデリコ	<i>Fimbristylis miliacea</i>		○
	ホタルイ	<i>Scirpus juncooides</i>	○	○
	イヌホタルイ	<i>Scirpus juncooides var. ohwianus</i>	○	○
	フトイ	<i>Scirpus tabernaemontani</i>	○	
	カンカレイ	<i>Scirpus triangulatus</i>	○	
	サンカクイ	<i>Scirpus triqueter</i>	○	
	アブラカヤ	<i>Scirpus wichurae</i>	○	
	カヤツリグサ科の1種	<i>Cyperaceae</i>	○	
ショウガ科	ショウガ	<i>Zingiber mioga</i>	○	○
ラン科	シシバナ	<i>Spiranthes sinensis var. amoena</i>	○	

昆虫出現種の荒井東と荒井西の比較

目名	科名	種名	学名	荒井西 確認種	季節	環境相 違	可能性 有り	その他
トンボ	イトトンボ	アジアイトトンボ	<i>Ischnura asiatica</i>		○			
トンボ	アオイトトンボ	オツネイトトンボ	<i>Sympecma paedisca paedisca</i>	○				
トンボ	カワトンボ	ハグロトンボ	<i>Calopteryx atrata</i>		○			
トンボ	オニヤンマ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	○				
トンボ	トンボ	シオカヲトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>		○			
トンボ	トンボ	ウスハキトンボ	<i>Pantala flavescens</i>	○				
トンボ	トンボ	ナツアカネ	<i>Sympetrum darwinianum</i>	○				
トンボ	トンボ	マユタテアカネ	<i>Sympetrum eroticum eroticum</i>			○		
トンボ	トンボ	アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>	○				
トンボ	トンボ	フシムトンボ	<i>Sympetrum infuscatum</i>	○				
トンボ	トンボ	マイコアカネ	<i>Sympetrum kunkeli</i>	○				
カマキリ	カマキリ	オオカマキリ	<i>Tenodera aridifolia</i>				○	
ハッた	キリギリス	ウスイロササキリ	<i>Conocephalus chinensis</i>	○				
ハッた	キリギリス	コハネササキリ	<i>Conocephalus japonicus</i>				○	
ハッた	キリギリス	ササキリ	<i>Conocephalus melaenus</i>			○		
ハッた	コオロギ	ハラオカメコオロギ	<i>Loxoblemmus campestris</i>					
ハッた	コオロギ	エンマコオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>	○				
ハッた	コオロギ	ツツレサセコオロギ	<i>Velarifictorus micado</i>	○				
ハッた	マツムシ	カンタン	<i>Oecanthus longicauda</i>	○				
ハッた	ヒバリモトキ	シバース	<i>Polionemobius mikado</i>	○				
ハッた	ヒバリモトキ	ヤチス	<i>Pteronemobius ohmachi</i>					⇒キタヤチス
ハッた	ケラ	ケラ	<i>Gryllotalpa orientalis</i>	○				
ハッた	ノミハッた	ノミハッた	<i>Xya japonica</i>	○				
ハッた	ヒシハッた	ハネナカヒシハッた	<i>Euparattix insularis</i>	○				
ハッた	ヒシハッた	コハネヒシハッた	<i>Formosatettix larvatus</i>			○		
ハッた	ヒシハッた	ヒシハッた科の一種	<i>Tetrigidae Gen.sp.</i>					○
ハッた	オンパハッた	オンパハッた	<i>Atractomorpha lata</i>	○				
ハッた	ハッた	コハネイナゴ	<i>Oxya yezoensis</i>	○				
ハッた	ハッた	ショウリヨウハッた	<i>Acrida cinerea</i>		○			
ハッた	ハッた	トノサマハッた	<i>Locusta migratoria</i>		○			
ハッた	ハッた	ツマクロイナゴ	<i>Stethophyma magister</i>		○			
ハサミムシ	クキヌキハサミムシ	クキヌキハサミムシ	<i>Forficula scudderii</i>			○		
カメムシ	セミ	アブラセミ	<i>Graptopsaltria nigrofusca</i>		○			
カメムシ	アワフキムシ	シロオビアワフキ	<i>Aphrophora intermedia</i>				○	
カメムシ	アワフキムシ	ハマヘアワフキ	<i>Aphrophora maritima</i>		○			
カメムシ	オオヨコバイ	ツマクロオオヨコバイ	<i>Bothrogonia ferruginea</i>	○				
カメムシ	オオヨコバイ	オオヨコバイ	<i>Cicadella viridis</i>	○				
カメムシ	オオヨコバイ	マエジロオオヨコバイ	<i>Kolla atramentaria</i>			○		
カメムシ	ヒメヨコバイ	ススキヒメヨコバイ	<i>Arboridia suzukii</i>				○	
カメムシ	ヨコバイ	イネマダラヨコバイ	<i>Recilia oryzae</i>				○	
カメムシ	ヨコバイ	ツマクロヨコバイ	<i>Nephotettix cincticeps</i>				○	
カメムシ	キシラミ	オビキシラミ	<i>Aphalara fasciata</i>			○		
カメムシ	アメンボ	アメンボ	<i>Gerris paludum paludum</i>	○				
カメムシ	アメンボ	ヒメアメンボ	<i>Gerris latiauratus</i>	○				
カメムシ	カスミカメムシ	カスミカメムシ科の一種	<i>Miridae Gen.sp.</i>					○
カメムシ	ハナカメムシ	ナミハナカメムシ	<i>Orius sauteri</i>	○				
カメムシ	サシガメ	アサシガメ	<i>Haematoloecha nigrorufa</i>			○		
カメムシ	ナガカメムシ	ヒメナガカメムシ	<i>Nysius plebejus</i>	○				
カメムシ	ナガカメムシ	コハネナガカメムシ	<i>Dimorphopterus pallipes</i>			○		
カメムシ	ナガカメムシ	ヒメオメカメムシ	<i>Geocoris proteus</i>			○		
カメムシ	ホシカメムシ	フタモンホシカメムシ	<i>Pyrrhocoris sibiricus</i>		○			
カメムシ	ホソヘリカメムシ	クモヘリカメムシ	<i>Leptocoris chinensis</i>				○	
カメムシ	ヒメヘリカメムシ	アカヒメヘリカメムシ	<i>Rhopalus maculatus</i>				○	
カメムシ	ヘリカメムシ	ブチヒケヘリカメムシ	<i>Stictopleurus crassicornis</i>				○	
カメムシ	マルカメムシ	マルカメムシ	<i>Megacopta punctatissima</i>		○			
カメムシ	ツチカメムシ	マルツチカメムシ	<i>Aethus nigrinus</i>			○		
カメムシ	ツチカメムシ	ミツホシツチカメムシ	<i>Adomerus triguttulus</i>	○				
カメムシ	カメムシ	ウスラカメムシ	<i>Aelia fieberi</i>				○	
カメムシ	カメムシ	ムラサキカメムシ	<i>Carpocoris purpureipennis</i>	○				
カメムシ	カメムシ	ブチヒケカメムシ	<i>Dolycoris baccalum</i>	○				
カメムシ	カメムシ	オオトゲシラホシカメムシ	<i>Eysarcoris lewisi</i>				○	
カメムシ	カメムシ	ツヤアオカメムシ	<i>Glaucias subpunctatus</i>		○			
カメムシ	カメムシ	クサキカメムシ	<i>Halymorpha picus</i>	○				
カメムシ	カメムシ	チャハネアオカメムシ	<i>Plautia crossota stali</i>	○				
アミメカゲロウ	クサカゲロウ	ニッポンクサカゲロウ	<i>Chrysoperla carnea</i>			○		
コウチュウ	オサムシ	アトモンシクワコムシ	<i>Bembidion niloticum batesi</i>	○				
コウチュウ	オサムシ	ヨツモンシクワコムシ	<i>Tachyura laetifica</i>				○	
コウチュウ	オサムシ	キンナガコムシ	<i>Pterostichus planicollis</i>				○	
コウチュウ	オサムシ	セアカヒラタコムシ	<i>Dolichus halensis</i>	○				
コウチュウ	オサムシ	オオヒラタコムシ	<i>Platynus magnus</i>	○				
コウチュウ	オサムシ	マルカゲコムシ	<i>Amara chalcites</i>				○	
コウチュウ	オサムシ	コマルカゲコムシ	<i>Amara simplicidens</i>	○				
コウチュウ	オサムシ	ホシホシコムシ	<i>Anisodactylus punctatipennis</i>	○				
コウチュウ	オサムシ	オオホシホシコムシ	<i>Anisodactylus sadoensis</i>			○		
コウチュウ	オサムシ	コムシ	<i>Anisodactylus signatus</i>	○				
コウチュウ	オサムシ	オオスケコムシ	<i>Harpalus eous</i>	○				
コウチュウ	オサムシ	ヒメケコムシ	<i>Harpalus jureceki</i>	○				
コウチュウ	オサムシ	クロケコムシ	<i>Harpalus niigatanus</i>	○				

目名	科名	種名	学名	荒井西 確認種	季節	環境相 違	可能性 有り	その他
コウチュウ	オサムシ	ウスアカクロモクムシ	<i>Harpalus sinicus</i>	○				
コウチュウ	オサムシ	アカアシマルガタゴモクムシ	<i>Harpalus tinctulus</i>			○		
コウチュウ	オサムシ	コクモクムシ	<i>Harpalus tridens</i>	○				
コウチュウ	オサムシ	キヘリコモクムシ	<i>Anoplogenus cyanescens</i>	○				
コウチュウ	オサムシ	ミドリマメコモクムシ	<i>Stenolophus difficilis</i>	○				
コウチュウ	オサムシ	ツヤマメコモクムシ	<i>Stenolophus iridicolor</i>	○				
コウチュウ	オサムシ	ヒメキヘリアオコミムシ	<i>Chlaenius inops</i>				○	
コウチュウ	オサムシ	オオアトホシオコミムシ	<i>Chlaenius micans</i>	○				
コウチュウ	オサムシ	ヤマトツクリコミムシ	<i>Lachnocrepis japonica</i>			○		
コウチュウ	ホソクビコミムシ	ミテラコミムシ	<i>Pheropsophus jessoensis</i>	○				
コウチュウ	ガムシ	キヘリヒラガムシ	<i>Enochrus japonicus</i>			○		
コウチュウ	ガムシ	コガムシ	<i>Hydrochara affinis</i>			○		
コウチュウ	ガムシ	トゲハコマフガムシ	<i>Berosus lewisius</i>	○				
コウチュウ	ガムシ	ゴマフガムシ	<i>Berosus signaticollis punctipennis</i>	○				
コウチュウ	シテムシ	オオヒラタシテムシ	<i>Eusilpha japonica</i>	○				
コウチュウ	ハネカクシ	アカセシハネカクシ	<i>Oxytelus incisus</i>		○			
コウチュウ	ハネカクシ	カラカネツヤメダカハネカクシ	<i>Stenus mercator</i>	○				
コウチュウ	ハネカクシ	クロスガリハネカクシ	<i>Lithocharis nigriceps</i>			○		
コウチュウ	ハネカクシ	アオハアリガタハネカクシ	<i>Paederus fuscipes</i>	○				
コウチュウ	ハネカクシ	クビホシハネカクシ	<i>Rugilus rufescens</i>			○		
コウチュウ	ハネカクシ	キアシチビコガシラハネカクシ	<i>Philonthus numata</i>			○		
コウチュウ	コガネムシ	マメコガネ	<i>Popillia japonica</i>	○				
コウチュウ	コメツキムシ	マダラチビコメツキ	<i>Aeoloderma agnatum</i>	○				
コウチュウ	コメツキムシ	サビキコリ	<i>Agrypnus binodulus binodulus</i>	○				
コウチュウ	シヨウカイホソ	ムネアカクシヨウカイ	<i>Lycocerus adusticollis</i>			○		
コウチュウ	シヨウカイモドキ	ツマキアオシヨウカイモドキ	<i>Malachius prolongatus</i>	○				
コウチュウ	シヨウカイモドキ	ヒメシヨウカイモドキ	<i>Nepachys japonicus</i>			○		
コウチュウ	テントウムシ	ヨツボシテントウムシ	<i>Ancylopus pictus asiaticus</i>	○				
コウチュウ	テントウムシ	クロヘリヒメテントウ	<i>Scymnus hoffmanni</i>			○		
コウチュウ	テントウムシ	カワムラヒメテントウ	<i>Scymnus kawamurai</i>			○		
コウチュウ	テントウムシ	ナナホシテントウ	<i>Coccinella septempunctata</i>	○				
コウチュウ	テントウムシ	ナミテントウ	<i>Harmonia axyridis</i>	○				
コウチュウ	テントウムシ	ヒメカメノテントウ	<i>Propylea japonica</i>	○				
コウチュウ	テントウムシ	ヤマトアザミテントウ	<i>Epilachna niponica</i>		○			
コウチュウ	ヒメマキムシ	ウスチャケシマキムシ	<i>Corticaria gibbosa</i>				○	
コウチュウ	アリモドキ	ヨツボシホソアリモドキ	<i>Pseudoleptaleus valpipes</i>	○				
コウチュウ	ツチハンミョウ	マメハンミョウ	<i>Epicauta gorhami</i>				○	
コウチュウ	ハナミダマシ	クワフナガタハナミ	<i>Anaspis marseuli</i>	○				
コウチュウ	ハムシ	チャバラマゾウムシ	<i>Callosobruchus ademptus</i>		○			
コウチュウ	ハムシ	トゲアシクビホソハムシ	<i>Lema coronata</i>		○			
コウチュウ	ハムシ	イネクビホソハムシ	<i>Oulema oryzae</i>	○				
コウチュウ	ハムシ	ヨモギハムシ	<i>Chrysolina aurichalcea</i>	○				
コウチュウ	ハムシ	クルミハムシ	<i>Gastrolina depressa</i>			○		
コウチュウ	ハムシ	コガタリハムシ	<i>Gastrophysa atrocyanea</i>	○				
コウチュウ	ハムシ	フジハムシ	<i>Gonioctena rubripennis</i>	○				
コウチュウ	ハムシ	ヤナギルリハムシ	<i>Plagioderma versicolora</i>			○		
コウチュウ	ハムシ	クワリハムシ	<i>Aulacophora nigripennis nigripennis</i>	○				
コウチュウ	ハムシ	ブタクサハムシ	<i>Ophraella communis</i>		○			
コウチュウ	ハムシ	カミナリハムシ	<i>Altica cyanea</i>		○			
コウチュウ	ハムシ	アハバチハムシ	<i>Altica oleracea</i>		○			
コウチュウ	ハムシ	ヒメウガネトビハムシ	<i>Chaetocnema concinnicollis</i>		○			
コウチュウ	ハムシ	チャバネツヤハムシ	<i>Phygadeuon fulvipennis</i>			○		
コウチュウ	ハムシ	キスジハムシ	<i>Phyllotreta striolata</i>	○				
コウチュウ	ハムシ	ナトビハムシ	<i>Psyllodes punctifrons</i>		○			
コウチュウ	ハムシ	ヒメジシガサハムシ	<i>Cassida fuscicornis</i>		○			
コウチュウ	オシロイ	ルリイロクビチョッキリ	<i>Deporaus mannerheimi</i>			○		
コウチュウ	ゾウムシ	ヤサイゾウムシ	<i>Listroderes costirostris</i>		○			
コウチュウ	ゾウムシ	イネゾウムシ	<i>Echinocnemus squameus</i>		○			
コウチュウ	ゾウムシ	イチコハナゾウムシ	<i>Anthonomus bisignifer</i>		○			
コウチュウ	ゾウムシ	キシキウチフトサルゾウムシ	<i>Rhinoncus jakovlevi</i>		○			
コウチュウ	ゾウムシ	アオハネサルゾウムシ	<i>Ceutorhynchus ibukianus</i>		○			
ハチ	ハバチ	オスグロハバチ	<i>Dolerus similis japonicus</i>		○			
ハチ	ハバチ	コシマハバチ	<i>Pachyprotasis pallidiventris</i>		○			
ハチ	ヒメハチ	ヒメハチ科の一種	<i>Ichneumonidae Gen.sp.</i>					○
ハチ	アリ	トビイロシアリ	<i>Tetramorium caespitum caespitum</i>	○				
ハチ	アリ	アメイロアリ	<i>Paratrechina flavipes</i>	○				
ハチ	アリ	トビイロケアリ	<i>Lasius niger</i>	○				
ハチ	アリ	クワヤマアリ	<i>Formica japonica</i>	○				
ハチ	ドロハチ	オオフタオビドロハチ	<i>Anterhynchium flavomarginatum micado</i>	○				
ハチ	スズメハチ	セグロアシナガハチ	<i>Polistes jadwigae jadwigae</i>	○				
ハチ	ミツハチ	ニホンミツハチ	<i>Apis cerana</i>	○				
ハチ	カガシボ	キイロホリカガシボ	<i>Nephrotoma virgata</i>	○				
ハチ	カガシボ	ヘリグロカガシボ	<i>Tipula nigrocostata</i>			○		
ハチ	カガシボ	キリウシカガシボ	<i>Tipula aino</i>	○				
ハチ	カガシボ	マダカガシボ	<i>Tipula nova</i>			○		
ハチ	ケハエ	ハゲロケハエ	<i>Bibio tenebrosus</i>	○				
ハチ	Pleciidae	ヒメセアケケハエ	<i>Penthetria japonica</i>		○			
ハチ	ミスアブ	エゾホリルミスアブ	<i>Actina jezoensis</i>	○				
ハチ	ハナアブ	ホリヒラアブ	<i>Episyrphus balteatus</i>	○				

目名	科名	種名	学名	荒井西 確認種	季節	環境相 違	可能性 有り	その他
ハエ	ハナアブ	エゾコヒラアブ	<i>Metasyrphus corollae</i>	○				
ハエ	ハナアブ	ナミホシヒラアブ	<i>Metasyrphus frequens</i>	○				
ハエ	ハナアブ	ホソヒラアブ	<i>Sphaerophoria macrogaster</i>	○				
ハエ	ハナアブ	ヒメヒラアブ	<i>Sphaerophoria menthastri</i>	○				
ハエ	ハナアブ	ホソツヤヒラアブ	<i>Melanostoma scalare</i>			○		
ハエ	ハナアブ	シマハナアブ	<i>Eristalis cerealis</i>	○				
ハエ	ハナアブ	アシフトハナアブ	<i>Helophilus virgatus</i>	○				
ハエ	ハナアブ	オオハナアブ	<i>Phytomia zonata</i>	○				
ハエ	ハナアブ	モモフトチビハナアブ	<i>Syritta pipiens</i>	○				
ハエ	フンバエ	ヒメフンバエ	<i>Scathophaga stercoraria</i>	○				
チョウ	ハマキガ	トビモンコハマキ	<i>Argyrotaenia congruentana</i>	○				
チョウ	スガ	コナガ	<i>Plutella xylostella</i>	○				
チョウ	ホソハマキモドキガ	ツマキホソハマキモドキ	<i>Lepidotarphus peromatella</i>		○			
チョウ	メイガ	コブノメイガ	<i>Cnaphalocrocis medinalis</i>		○			
チョウ	メイガ	シロヤヒメノメイガ	<i>Diasemia litterata</i>		○			
チョウ	メイガ	アヤナミノメイガ	<i>Eurrhyarodes accessalis</i>		○			
チョウ	メイガ	ウスベニノメイガ	<i>Evergestis extimalis</i>		○			
チョウ	メイガ	マエキノメイガ	<i>Herpetogramma rudis</i>		○			
チョウ	メイガ	シロオビノメイガ	<i>Hymenia recurvalis</i>	○				
チョウ	メイガ	マミノメイガ	<i>Maruca testulalis</i>		○			
チョウ	メイガ	ワモンノメイガ	<i>Nomophila noctuella</i>		○			
チョウ	メイガ	アヲノメイガ	<i>Ostrinia furnacalis</i>		○			
チョウ	セセリチョウ	イチモンジセセリ	<i>Parnara guttata guttata</i>	○				
チョウ	アゲハチョウ	キアゲハ	<i>Papilio machaon hippocrates</i>	○				
チョウ	シロチョウ	スジグロシロチョウ	<i>Pieris melete melete</i>	○				
チョウ	シロチョウ	モンシロチョウ	<i>Pieris rapae crucivora</i>	○				
チョウ	シロチョウ	モンキチョウ	<i>Colias erate poliographus</i>	○				
チョウ	シロチョウ	キチョウ	<i>Eurema hecabe</i>					⇒キタキチョウ
チョウ	シジミチョウ	ルリシジミ	<i>Celastrina argiolus ladonides</i>	○				
チョウ	シジミチョウ	ツバメシジミ	<i>Everes argiades hellotia</i>	○				
チョウ	シジミチョウ	ベニシジミ	<i>Lycaena phlaeas daimio</i>	○				
チョウ	シジミチョウ	ヤマトシジミ	<i>Zizeeria maha argia</i>	○				
チョウ	タテハチョウ	キタテハ	<i>Polygona c-aureum c-aureum</i>	○				
チョウ	タテハチョウ	アカタテハ	<i>Vanessa indica</i>	○				
チョウ	シヤノメチョウ	ヒメシヤノメ	<i>Mycalopsis gotama fulginia</i>	○				
チョウ	ジャクガ	キトガリヒメジャク	<i>Scopula emissaria</i>		○			
チョウ	ジャクガ	サカハチヒメジャク	<i>Scopula hanna</i>		○			
チョウ	ジャクガ	キナシロヒメジャク	<i>Scopula superior</i>		○			
チョウ	ジャクガ	ベニシジヒメジャク	<i>Timandra griseata prouti</i>		○			
チョウ	ジャクガ	クロマダラエダジャク	<i>Abraxas fulvobasalis</i>			○		
チョウ	ジャクガ	エグリツマエダジャク	<i>Odontopera arida arida</i>			○		
チョウ	スズメガ	コスズメ	<i>Theretra japonica</i>			○		
チョウ	ドクガ	マイマイガ	<i>Lymantria dispar japonica</i>		○			
チョウ	ヒトリガ	クワコマダラヒトリ	<i>Thanatarctia imparilis</i>		○			
チョウ	コブガ	クロシロコブガ	<i>Nola taeniata</i>			○		
チョウ	カノコガ	カノコガ	<i>Amata fortunei</i>	○				
チョウ	ヤガ	オオタバコガ	<i>Helicoverpa armigera</i>		○			
チョウ	ヤガ	タマナヤガ	<i>Agrotis ipsilon</i>		○			
チョウ	ヤガ	オオバコヤガ	<i>Diarsia canescens</i>		○			
チョウ	ヤガ	イネトウ	<i>Sesamia inferens</i>		○			
チョウ	ヤガ	スジキリヨトウ	<i>Spodoptera depravata</i>		○			
チョウ	ヤガ	イチシクキンウワハ	<i>Chrysodeixis eriosoma</i>	○				
チョウ	ヤガ	セアカキンウワハ	<i>Erythroplusia pyropia</i>		○			
チョウ	ヤガ	ギンズキンウワハ	<i>Erythroplusia rutilifrons</i>		○			
チョウ	ヤガ	テンクロアツハ	<i>Rivula sericealis</i>		○			
チョウ	ヤガ	オオアカマエツハ	<i>Simplicia nippona</i>		○			
チョウ	ヤガ	コウスグロアツハ	<i>Zanclognatha southi</i>		○			
		214		104	54	34	17	5

## 9. 景観及び自然との触れ合いの場 現地踏査

【居久根と田園風景 全景 眺望点⑥より】



【景観資源】

名 称	概	要
広瀬地区の 居久根 事業区域から の距離： 約 1km	荒井東地区事業区域内に立地する。 計画地周辺の主要な眺望地点から事業区域方向に視 認されない。また当地点から事業区域を視認出来な い。	
遠見塚古墳 事業区域から の距離： 約 1km	計画地周辺の主要な眺望地点から事業区域方向に視 認されない。また当地点から事業区域を視認出来な い。	

名 称	概	要
<p>大沼</p> <p>事業区域からの距離： 約 3km</p>	<p>計画地周辺の主要な眺望地点から事業区域方向に視認されない。また当地点から事業区域を視認出来ない。</p>	
<p>広瀬川</p> <p>(名取川合流点付近)</p> <p>事業区域からの距離： 約 3km</p>	<p>計画地周辺の主要な眺望地点から事業区域方向に視認されない。また当地点から事業区域を視認出来ない。</p>	
<p>井戸浦</p> <p>事業区域からの距離： 約 4km</p>	<p>計画地周辺の主要な眺望地点から事業区域方向に視認されない。また当地点から事業区域を視認出来ない。</p>	

【眺望点】

名 称	概	要
<p>国道4号 (遠見塚歩道橋) 事業区域からの距離： 約0.5km</p>	<p>建物に遮蔽され事業区域を視認出来ない。</p>	
<p>遠見塚古墳 (後円上) 事業区域からの距離： 約1km</p>	<p>建物に遮蔽され事業区域を視認出来ない。</p>	
<p>七郷市民センター 事業区域からの距離： 約0.5km</p>	<p>建物に遮蔽され事業区域を視認出来ない。</p>	
<p>仙台市立沖野小学校 事業区域からの距離： 約2km</p>	<p>建物に遮蔽され事業区域を視認出来ない。</p>	
<p>沖野市民センター 事業区域からの距離： 約1.5km</p>	<p>建物に遮蔽され事業区域を視認出来ない。</p>	

名 称	概	要
仙台東高等学校 事業区域からの 距離： 約 1.5km	建物に遮蔽され事業区域を視認出来ない。	
井土長町線 事業区域からの 距離： 約 2km	建物に遮蔽され事業区域を視認出来ない。	
仙台南部道路 事業区域からの 距離： 約 3km	建物に遮蔽され事業区域を視認出来ない。	
仙台東部道路 (側道) 事業区域からの 距離： 約 2.5km	遠景に一部が視認されるが周辺の住宅地と混在し視 認しにくい。また仙台東部道路自体からは盛土にクロ マツの植栽があり、視認出来ない。 景観特性は眺望点⑥と同等。	
荒浜浜町線 事業区域からの 距離： 約 1.5km	建物に遮蔽され事業区域を視認出来ない。	

名 称	概	要
農業園芸センター 事業区域からの距離： 約 2.5km	仙台東部道路の盛土及び植栽に遮蔽され事業区域を視認出来ない。	

【自然との触れ合いの場：事業区域周辺 200m】

名 称	概	要
近隣公園 1580 七郷中央公園	芝生広場を中心としたオープンスペースで、一部に遊具が設置され樹木は少ない。 近隣の人々の憩いの場となっているが、自然環境豊かな空間ではなく、自然との触れ合いの場とはなっていない。 当公園は事業区域北側を東西に走る県道 235 号より北側の住宅地内にあり、当該事業による工事車両等は住宅地内の街路に進入しないことから、影響はないと考えられる。 なお、敷地内に仮設住宅が設置されている。	
街区公園 718 蒲町公園	比較的小面積で緑が少なくオープンスペースと遊具中心の公園であり、自然との触れ合いの場とはなっていない。狭隘な街路に囲まれており、近隣からの誘致の範囲に当該事業による工事車両等の進入はないことから、影響はないと考えられる。	
街区公園 784 七曲公園	小面積で緑が少なくオープンスペースと遊具中心の公園であり、自然との触れ合いの場とはなっていない。狭隘な街路に囲まれており、近隣からの誘致の範囲に当該事業による工事車両等の進入はないことから、影響はないと考えられる。	

名 称	概	要
街区公園 787 霞ノ目背 戸公園	<p>小面積で緑が少なくオープンスペースと遊具中心の公園であり、自然との触れ合いの場とはなっていない。狭隘な街路に囲まれており、近隣からの誘致の範囲に当該事業による工事車両等の進入はないことから、影響はないと考えられる。</p>	
街区公園 789 伊藤屋敷 下公園	<p>小面積で緑が少なくオープンスペースと遊具中心の公園であり、自然との触れ合いの場とはなっていない。狭隘な街路に囲まれており、近隣からの誘致の範囲に当該事業による工事車両等の進入はないことから、影響はないと考えられる。</p>	
街区公園 790 門田東公 園	<p>小面積で緑が少なくオープンスペースと遊具中心の公園であり、自然との触れ合いの場とはなっていない。狭隘な街路に囲まれており、近隣からの誘致の範囲に当該事業による工事車両等の進入はないことから、影響はないと考えられる。</p>	
街区公園 791 土手下中 公園	<p>小面積で緑が少なくオープンスペースと遊具中心の公園であり、自然との触れ合いの場とはなっていない。狭隘な街路に囲まれており、近隣からの誘致の範囲に当該事業による工事車両等の進入はないことから、影響はないと考えられる。</p>	
街区公園 796 七曲 2 号 公園	<p>小面積で緑が少なくオープンスペースと遊具中心の公園であり、自然との触れ合いの場とはなっていない。狭隘な街路に囲まれており、近隣からの誘致の範囲に当該事業による工事車両等の進入はないことから、影響はないと考えられる。</p>	

名 称	概	要
街区公園 798 長喜城公園	<p>小面積で緑が少なくオープンスペースと遊具中心の公園であり、自然との触れ合いの場とはなっていない。狭隘な街路に囲まれており、近隣からの誘致の範囲に当該事業による工事車両等の進入はないことから、影響はないと考えられる。</p>	
街区公園 1634 荒井十文字公園	<p>面積は比較的広いが、で緑がほとんどなくオープンスペースと遊具中心の公園であり、自然との触れ合いの場とはなっていない。狭隘な街路に囲まれており、近隣からの誘致の範囲に当該事業による工事車両等の進入はないことから、影響はないと考えられる。</p>	
大沼と農業園芸センター	<p>事業区域から約 3km と隔たっており、調査範囲とした事業区域周辺 200m の範囲の外に位置する。該事業による工事車両等の進入はないことから、影響はないと考えられる。</p>	
海岸公園	<p>事業区域から約 4km と隔たっており、調査範囲とした事業区域周辺 200m の範囲の外に位置する。該事業による工事車両等の進入はないことから、影響はないと考えられる。</p>	
広瀬川の都市計画緑地	<p>事業区域から約 3km と隔たっており、調査範囲とした事業区域周辺 200m の範囲の外に位置する。該事業による工事車両等の進入はないことから、影響はないと考えられる。</p>	